

中医古籍珍稀抄本精选 (九)

竹 亭 医 案

(上 册)

清·孙采邻 撰

赵善祥 点校

金芷君 审订

上海科学技术出版社

本书由

全国古籍整理出版规划领导小组资助出版

中医古籍珍稀抄本精选

主 审 段逸山 吉文辉

副主审 (按姓氏笔画为序)

王大妹 宋立人

张如青 陈 熠

审 订 李其忠 李 飞

吴九伟 招萼华

金芷君 潘朝曦

前 言

中医药抄本是中国传统文化中颇有价值的遗产，蕴含着历代医家诸多精辟的学术理论与丰富的临证经验，是中医药古籍整理研究的一个重要方面。尤其是其中的临床各科与医案部分，每每具有独到的理论启迪与临床见解，有助于拓展治疗的思路，丰富治疗的方法，具有深入整理研究的价值。

《中医图书联合目录》收录全国 51 个图书馆截至 1984 年底为止的馆藏中医药图书，其中中华人民共和国成立前出版的中文中医药图书，共计 1019 种。内有中医药抄本 235 种。其中未刻抄本 149 种，已属孤本的有 125 部；清末前抄本 106 种，其中未刻抄本 82 种，已属孤本的有 65 部。内容涉及医经、医案、诊法、方药、综合与临床各科类。其中临证各科的抄本多达 215 种，其次为方书、医案类抄本。从馆藏抄本品类的数量来说，中国中医研究院图书馆与上海中医药大学图书馆收藏量最多，分别为 103 种与 102 种，合计为 205 种，占总量的

源缘。

对抄本进行系统整理研究,是一项巨大的工程,摆在研究者面前的困难重重。具体表现为:目前没有一部书目能完整全面地反映现存抄本的情况;抄本数量庞大,分散各处,难于收集整理;从几千种抄本中进行筛选,既费时耗力,又须具有识别能力;抄本为手写体文字,字体多不规范,异体字、俗体字、讹误字甚多,再加抄写时日既久,字体有的磨灭,难以辨识,因而要求研究者不仅具有中医药等方面知识,还要善于辨识各种字体,并须依据上下文意与相关著作加以酌定;提要的一个重要内容是介绍作者,而很多作者因无传世著作,其生平难以了解,须借助相关工具书查寻。唯其如此,对于中医药抄本这一部分遗产,尤其是世上目前仅存一部的珍贵抄本,长期以来乏人问津,未见有人加以系统整理,因而至今仍是迷雾一团,不知底细。随着时间的迁移,因人为与自然的原因,中医药抄本损失惨重,从现存清末前未刻抄本的数量已远少于清末后未刻抄本的状况,便可见一斑。因此,对中医药抄本进行整理研究,不仅具有保存中医古籍精华、弘扬中医学术、促进临床发展的作用,而且具有抢救祖国文化遗产的特殊意义。

据我们对抄本的初步研究,其内容体式大致可归纳为三类:第一类是类辑抄本,即按内容分类抄录前人的资料,如清代张璐《医通祖方》、朱时进《一见能

医》等即是。此类抄本虽然属于编辑性质,但其有两方面可取之处:一是将相关资料汇辑一处,给后人阅读使用提供了方便。二是所抄录的前代资料有的业已亡佚,凭此抄录而得以留传。第二类是评述抄本,即在抄录前人资料的基础上,加上个人的分析评述,如清代杨和《幼科折衷秘传真本》、方谟重订《薛氏济阴万金书》等即是。此类抄本汇集前代医家重要论述,间附作者的临证心得,分析评述往往一言中的,寓有真知灼见,有助于读者把握前代资料的精髓。第三类是心得抄本,即在医学理论上有着独到的见解,或在临证实践上有丰富的经验,如清代徐养恬《徐养恬方案》、江泽之《江泽之医案》等即是。此类抄本最具学术价值,是我们整理研究的主要对象,本套丛书所收录大多为此类抄本。

本套丛书共收录抄本五十余种,绝大多数为清代抄本,以临床各科类、医案类为主。入选的标准主要有三条:一是具有较高的学术价值与实用价值,在理论与实践上有独特的见解和经验;二是古代既无刻本,现代又无排印本、影印本;三是内容完整、版式清楚的善本。

上海中医药大学图书馆、南京中医药大学图书馆为本套丛书提供底本,谨致谢忱!上海科学技术出版社为传承发扬中国传统文化,编辑出版本套丛书,其眼力之非凡,气魄之恢弘,殊实令人感佩!

本套丛书的出版,旨在将沉埋多年的中医瑰宝呈现给广大读者,以引起人们对中医古籍抄本的重视,并开展更为深入的研究。本套丛书主要为中医药专业工作者、中医药院校学生、古代文献与传统文化工作者及其爱好者阅读研究,也可供各地图书馆与相关专业图书馆收藏。

段逸山

二〇〇三年六月

凡 例

一、字体。统一使用简化字,不出现繁体字与异体字。

二、提要。置于正文之前。介绍作者与全书内容,注重其在理论与临床上的特点。

三、正文。按内容分段,并加标点符号。为便于分辨,属于眉批、夹注以及药物剂量、炮制方法用小号字排印。

四、校注。置于同页下方,按照正文所加序号依次分行排列。凡内容重要,且校勘有据者,选择采用本校、他校、理校等校勘方法。注释对象有二:一是注音。凡冷僻的难读字,采用拼音加直音的方法注音。二是释义。凡疑难词句,加以注释。校语与释文力求科学规范,简明扼要。凡明显错字或重复的内容,一律直接予以改正或删除,不再出注。

五、目录。为读者检阅方便起见,抄本原有目录的照录,补上序号;原目录与正文不一致者,则依照正文改正;原无目录的,依据正文补上序号与目录。

六、案序。为醒目易检,凡医案类抄本,每一病证所录医案,均用阿拉伯数字编排序次。

七、禁用药物。抄本中有些药物现属国家禁止使用的动、植、矿物药材,为保持古籍抄本原貌,本书对此均不作删改,仅供参考。

【提要】

作者孙采邻 (夙邈?) ,字亮揆 ,又字竹亭 ,祖籍崇川 (今江苏南通) ,清代名医。其父孙廷问 (夙邈?) ,字雨香 ,号我舟 ,著有《寸心知医案》。采邻早年随父习医 ,后行医于苏州。门人程定治 (济霖) 、金传勋 (继文) 与侄孙兰生 (芳田) 、孙庆生 (景刘) 以及男孙鹤生 (于九、青山) 、孙凤生 (茂常) 均继其业。

《竹亭医案》共九卷 ,其中内科杂病 (包括少量外科病例) 六卷、妇科三卷。因作者将历年积累的病案似珍珠般地串连一起 ,故又名《缀珠编》。本书涉及的病种颇为广泛 ,凡感冒咽痛、湿毒暑热、瘰疬痧痘、霍乱吐泻等等 ,无不详录在案 ,且多为复诊医案 ,使读者对病案的发生、发展与转归 ,有一个较完整的认识。案中的议论与按语也时有神来之笔 ,具有画龙点睛的作用。处方用药体现江南医家平正的特色 ,基本上不用峻烈之品 ,即使必须使用攻逐之剂 ,嗣后仍图补脾和胃 ,深得中医调理之三味。此外 ,“治病必求其本”也是孙氏的一大特色。如卷五案 殒以补肾法 (熟地、天冬、牡蛎、胡桃肉等) 治疗久病虚羸、咳痰浓稠症 ,即是典型病例。其妇科医案也占不小篇幅 ,对十余岁至六七十岁的经、带、胎、产等妇科杂病均有涉及 ,可见孙氏医术之丰富全面。

本书原由常熟顾坤一收藏,现据上海中医药大学图书馆所藏清代抄本整理,分上下两册,上册为卷一至卷五,下册为卷六及女科三卷。

目 录

顾大田序.....	员
沈凤生序.....	猿
卓序.....	源
李梦蓉序.....	缘
竹亭医案卷之一.....	苑
(案 员) 陆廷佐时热症 邪伏募原治验	苑
(案 圆) 姚心一时热症 狂叫呼骂危笃 治验	怨
(案 猿) 殷廷植右膝坚硬 寒着筋骨， 几成附骨治验	园
(案 源) 双林程宫培右耳常鸣七载 丸方 调理	员
(案 缘) 广东董荆山左头角并颞颊漫肿 治验	圆
(案 远) 木川吴师瞻病后脾虚 几成鼓胀	

- 治验 圆
- (案苑) 陆森万舅兄喘咳屡发,体虚感冒
治验 缘
- (案愿) 予大子于九种痘之后感冒咳嗽
治验 苑
- (案怨) 襟兄蒋奎光乃郎外感身热,腹膨
夹食治验 苑
- (案园) 黄云泉咽痛声哑,风火上炎
治验 苑
- (案罅) 徐州王巨川腰腿疼,寒湿内
侵治验 愿
- (案圆) 休宁叶汝良两肩疼痛,筋脉抽
掣治验(附药酒方)..... 怨
- (案猿) 常熟金文彩筋骨疼痛,手足不
能举动治验(附药酒方)..... 圆
- (案源) 王南乔时热误治垂危救苏之验
(并附病原) 圆
- (案缘) 朱氏子痘出两朝,谵语咬牙,毒
火内壅治验(附水痘注上)..... 缘
- (案苑) 王月轩次子七岁布痘,并女出
痘治验 猿
- (案园) 曹宏章子念岁布痘险症治验
(附先大人雨香公论红曲) 猿

- (案 愿) 陆森万喘咳复发 , 气逆不能
卧之治验 源
- (案 愿) 先大人雨香公高年痢疾 , 点滴
后重奇验 (附论) 源
- (案 愿) 文学金藹春右肩胛肉高突数载 ,
灸法奇验 源
- (案 愿) 慈溪季良佐后项湿毒数余年 ,
用灸法收功 缘
- (案 愿) 崇明蒋仁圃串病两载 , 用外灸
内托法奇验 (附论) 缘
- (案 愿) 舅兄陆平庄足指肿痛异常 , 用
灸法治验 远
- 竹亭医案卷之二 远
- (案 员) 崇川钱佳修年逾七旬 , 耳鸣日久 ,
丸方调理 远
- (案 圆) 伯岳陆鉴亭乃孙廷珍痧症治验 远
- (案 猿) 洞庭吴寄塘子咳嗽、发痧、咽痛、
口干治验 (附论) 源
- (案 源) 唐凤鸣子痧毒归肺 , 气喘 , 声哑 ,
垂危救苏奇验 缘
- (案 缘) 王星池四子出痧 , 早投寒凉 , 余
毒归肺治验 远

- (案远) 岭南陈洪昌春温, 壮热无汗
治验 邈
- (案苑) 祁万程患巅顶痛、鼻塞、目眶疼
治验 邈
- (案愿) 程嘉佑自幼胎疝, 不时举发
治验 苑
- (案怨) 花山潘良臣病后疰发屡复治验 苑
- (案园) 舅兄陆平庄足肿疼痛, 不能屈
伸, 用灸法奇验 园
- (案罅) 徽歙罗用修脾虚肢肿、呃忒, 几
成中满治验 罅
- (案圆) 休邑胡慎修背心疼, 三载沉痾
治验 圆
- (案隰) 休邑孙馨远右目红肿, 内如针刺
治验 隰
- (案颀) 内侄陆玉符风疹有年, 举发无时
治验 (附膏方) 颀
- (案隰) 予于仲冬冒风, 咳嗽频甚, 一剂
全安 隰
- (案颀) 广东林茂怀下部广疮, 头角结毒,
灸法奇验 颀
- (案颀) 岭南黄朝泗咽痛口干, 虚火上炎
治验 颀

- (案 愿) 南海董璞开种子丸方 ,详论阴阳善后之法 愿原
- (案 愿) 文学叶芳林喘哮症 ,感冒随发治验 愿缘
- (案 愿) 孙馨远火升时饥 ,几成中消奇验 (先君子雨香公论治注识) 愿远
- (案 愿) 陕西胡芬若阴亏阳弱 ,肝阳上升治验 愿愿
- (案 愿) 王浩然心神不靖 ,火起痰升 ,语言错乱治法 愿愿
- (案 愿) 泾县胡仲机黄疸有年 ,自误病剧 ,详论治法 愿愿
- (案 愿) 内侄陆玉符风疹 ,服前膏颇妙 ,复诊再定膏方 愿愿
- (案 愿) 休邑项鸣球乃弟寒热无期 ,暑湿内蕴治验 愿愿
- (案 愿) 詹芝山暑湿交阻 ,身热泄泻、腹痛治验 愿愿
- (案 愿) 舅兄陆古堂次郎自幼鼻中浓涕常流治法 愿原
- (案 愿) 黄燮功夏暑纵啖西瓜 ,小腹痛胀无时治验 愿缘
- (案 愿) 内侄陆星翘风温闭肺 ,身热 ,咳

- 嗽夜甚治验 怨远
- (案 猿) 张奕山咳嗽,痰中挟血治验 怨远
- (案 猿) 钱兰九外邪已解,朝凉暮热,阴
虚发热治验 怨苑
- (案 猿) 婺源曹允功子自幼鼻血,复发
将痊,详论速归 怨苑
- (案 猿) 休宁项鸣球当脐作胀,三载沉
疴,详论奇验 贵园
- (案 猿) 歙邑吴声振素有寒湿筋挛,近
感风邪治验 贵源
- (案 猿) 舅兄陆古堂四郎嘉征风邪客肺
治验..... 贵缘
- (案 猿) 徽州陈庭若伤寒误治,几成虚
怯奇验 贵缘
- (案 猿) 余东张绍庭夜热痰黏,暑湿症
治验..... 贵愿
- (案 猿) 先大人雨香公病后行步欲跌
如踏浮云治验 贵怨
- (案 猿) 汪召南子痧发未透,防毒内闭
归肺治法 贵园
- (案 源) 休邑叶茂林深秋患疟夹食
治验..... 贵园
- (案 源) 邵步云疔腮,早投寒凉结硬肿

- 痛治验 员
- (案 圆) 休邑陈绳武脐下作疼治法
奇验..... 员
- (案 濂) 詹鸣玉目珠色红、干涩无泪
治验..... 员
- (案 濂) 汪元长左右痰痲 ,用灸法
奇验..... 员
- (案 濂) 山西童炳摄伤寒误补 ,病危救
醒治验 员
- 竹亭医案卷之三 员
- (案 员) 治程耀远齿鼻俱衄之验 员
- (案 圆) 山西孙绳武疟后误投温热之剂 ,
以致胸腹满闷、食少、痰稠、大便
十日不解治验 员
- (案 猿) 严进思咳嗽喉痒 ,日轻夜重 ,阴
火上炎治验 员
- (案 源) 详辨项鸣球眩运欲仆 ,内火生
风 ,风自火出 ,用引经上达之法
始建奇绩 ,继以丸剂收功 (附捣
鲜荷叶汁法)..... 员
- (案 缘) 面议吴兴周久痢百治不效 ,得
余丸剂调理全安 ,并附答问及

- 论用方之妙 愿源
- (案远) 详论海盐文学陈立斋三令郎虫
蛊危症, 立起回生奇验, 并绘虫
形及丸方调治, 永不再发 愿苑
- (案苑) 治奚鸿伯右腿疼痛, 足不任地,
几成鹤膝之验 愿园
- (案愿) 徽州吴宾鸿大腹疼痛, 感寒夹
食治验 愿原
- (案怨) 徽州金子陶右耳脓水结核, 几
为庸工所误 愿园
- (案园) 休邑詹寅宾三阴亏损, 丸剂
调理 愿猿
- (案园) 盛泽沈懋嘉暑疟, 寒热欲呕
治验 愿源
- (案园) 邹上珍次子风暑夹食, 身热
治验 愿缘
- (案猿) 詹介臣子腹痛旧恙, 交秋感寒
停食复发治验 愿远
- (案源) 朱声传上吐下泻将成霍乱
治验 愿远
- (案缘) 慈溪岑自高深秋病疟治验 愿苑
- (案园) 钱怀德积块常痛, 深秋受寒, 腹
痛益增兼呕吐 愿愿

- (案 苑) 论治休邑汪雨苍湿郁太阴渐
成黄疸之验 员愿
- (案 愿) 详论王兰谷太亲翁类中险症
治验 ,并附丸方调理收功 员园
- (案 愿) 张云衢喘症屡发治验 员源
- (案 园) 上舍钱云峰齿痛、头胀治验 员缘
- (案 园) 文学汪书蕉头眩欲呕治验 员远
- (案 园) 上舍程梅溪忽然畏寒身热 ,遍
体不疏治验 员远
- (案 园) 陆玉鸣患春温症治验 员愿
- (案 园) 孙振华春温 ,身热、胸闷、便结
治验..... 员怨
- (案 园) 范秋坪素有吐血症 ,近因咳喘
气逆引动旧恙 ,痰红继又呕血
治验..... 员园
- (案 园) 金陵俞正林春月感寒 ,辜丸胀
痛引腰治验 员源
- (案 园) 陆竹斋幼男腹膨便溏治验 员源
- (案 愿) 廷尉汪式金两颧湿毒 ,暑风上
袭 ,溃烂出血漫肿 ,用轻清法
甚效..... 员缘
- (案 愿) 杨德裕向有吐血症 ,今夏冒暑
身热治验 员缘

- (案 獮) 南京夏耀庭先粪后血、脱肛
治验..... 员远
- (案 獮) 论治上舍程梅溪湿毒风癣药
酒方,服后颇效,并定擦虫癣
膏方奇验..... 员苑
- (案 獮) 詹寅宾子夏四月寒热交作,温
邪内蕴治验..... 员怨
- (案 獮) 汪书蕉身热头胀湿温治验..... 员园
- (案 獮) 上舍刘玉成由泻转痢治验..... 员员
- (案 獮) 王星池乃郎叶帆六月得时热无
汗危险治验..... 员员
- (案 獮) 俞宝成五月间患时热便泄,邪
阻中宫治验..... 员缘
- (案 獮) 吴江吴树廷咳嗽十有余月,昼
轻夜重,内热喉痒,痰不易出,
几成虚怯治验..... 员远
- (案 獮) 李小山六月身热、头胀、骨节疼
治验..... 员愿
- (案 獮) 详论盛泽李餐竹荒于酒色,阳
事不甚举,为土医过用热药,
以致媾精时徒劳空阵,得余丸
方益气养水、填精固肾之法,
服之颇效..... 员怨

- (案 瀾) 论治山西赵景福左乳下痛 痛
即呕奇效 (附丸方) 灵猿
- (案 瀾) 详论徽州叶朝栋伤寒无汗, 误
投寒凉不治症 灵缘
- (案 瀾) 叶宏基孟冬身热、便泄、湿阻
治验..... 灵苑
- (案 瀾) 邑宰史元甫瘰疬, 详议治法 灵愿
- (案 瀾) 崇川曹普南耳鸣症, 丸方调理
治验..... 灵恩
- (案 瀾) 王宗华甥呕吐沉疴屡发屡验,
继以丸方调理永不再发..... 灵园
- (案 瀾) 夏禹功脾阳不运, 单腹作胀
治验..... 灵泉
- (案 瀾) 总司陈岐山呕痛痼疾常发
治验..... 灵园
- (案 瀾) 门人金继文痔血有年治验 灵猿
- (案 瀾) 陆钟范冬月脘腹频痛治验 灵猿
- (案 瀾) 吴声振症后肢跗浮肿治验 灵源
- (案 瀾) 详论王星池乃郎叶帆患春温
症危险治验 灵缘
- (案 瀾) 南京张玉亭腰痛偏左治验 灵愿
- (案 瀾) 福建谢客水肠红甘载, 近又兼
泄泻治验 (并丸方) 灵恩

- (案 缘) 山西石生玫体虚咳痰治验 圆园
- (案 缘) 溧阳金渭川间疟治验 圆员
- (案 缘) 南京夏耀宗子红痢腹痛治验 圆员
- (案 缘) 休邑程梅溪大兄高年骤然呕
吐、汗多、头眩、眼闭羞明极
险治验 圆圆
- (案 缘) 详审海门张胪先咽痛治验 圆猿
- (案 缘) 山西任富泰腰痛、腹块奇效
并调理丸方 圆源
- (案 远) 山西晋宏达痛痹兼杂症治法
颇善而收全功 圆远
- (案 远) 山西曹伯侯素有脚气,发则胀
痛、呕吐、肢体不能举动,药服
奇效..... 圆怨
- (案 远) 山西陈云中痢疾点滴色红
治验..... 圆园
- (案 远) 介休宋仁伯咳久痰红治验 圆园
- (案 远) 山西梁文彩畏寒欲呕、胸闷作
疼治验 圆猿
- (案 远) 陆诚斋乃郎出痘治验 圆源
- (案 远) 怡贤寺二非大和尚正月感寒,
咳嗽、无汗、痰甚,误治几成劳
倦治验 圆愿

- 竹亭医案卷之四 猿员
- (案员) 汪善章风邪客肺,咳久肺虚
治验 猿员
- (案圆) 治陈元隆咳嗽,痰不易出,肺
脾气虚之验 猿圆
- (案猿) 邹上珍素好饮酒,彻夜不寐,
两耳常鸣治验 猿猿
- (案源) 太学张嵩山足跟漫肿疼痛,进
药立愈 猿缘
- (案缘) 休邑程梅溪饮酒贪凉,骤然呕
吐、眩运之治验 猿缘
- (案远) 山西温树三暑湿内伏,因误治
几成消渴之验 猿远
- (案苑) 山西宋藹堂暑湿内蕴,由单寒
而转疟之验(附案) 猿苑
- (案愿) 甄湘文得食即呕吐治验 猿愿
- (案怨) 治歙县汪吉士喘症垂危,卧不着
枕,陡然汗出如淋,立刻救苏奇
效,并详论收功调理丸方用药配
合善后之法 猿怨
- (案园) 王宇葵脾阳不运,胸胁胀痛,便
泄兼呕酸之验 猿缘

- (案 源) 山西曹伯侯脚气常发 ,发时腿膝胀痛 ,甚则寒热 ,手臂肩背皆不能举动 ,治之屡效 圆源
- (案 源) 妹倩王履安丹症 寒热、额痛、咽疼极险奇验 圆源
- (案 源) 山西田德润素有喘症 ,因感而发极重治验 圆源
- (案 源) 邢裕芳白浊治验 圆源
- (案 源) 海盐张铁珊堂侄身热、耳聋、便秘治验 圆源
- (案 源) 伯岳陆鉴堂风邪上攻 ,脑后、鱼尾二穴牵掣抽痛、寒热治法极效..... 圆源
- (案 源) 马元奎子初生胎毒 ,腿胯浸淫湿烂治验 圆源
- (案 源) 山西任福泰大小腹痛则便泄治验..... 圆源
- (案 源) 张凤梧小便涓滴有年 ,举发无期 ,内如刀割 ,症起于壮年溺情过度 ,治法奇妙 ,效如桴鼓之应..... 圆源
- (案 源) 海盐张铁珊调理脾肾膏滋方治验..... 圆源

- (案 圆) 歙县丰干庭伤寒误治垂危 , 立刻救苏治验 (已后调理收功丸方) 圆缘
- (案 圆) 何兆丰感暑湿病 余热未尽治验 , 并后调理收功丸方 圆象
- (案 圆) 休邑黄其祥尿血数月 渐自小便涓滴 , 甚至茎中疼刺 , 便溺不爽 , 必得小便先出而大便始解 , 亦由溺情所致 , 治法颇验 (附论上层) 圆猿
- (案 圆) 休宁汪春舫房劳不节 脾肾大亏 , 兼之肝气作楚 , 两手足掌心痛剧难忍为最甚治验 (并丸方洗方) 圆肆
- (案 圆) 詹苻洲长子旧有淋症未楚 , 新感风寒 , 误治病增 , 几乎变症治验 圆源
- (案 圆) 吴廷玉幼子腹痛块攻 , 食积挟虫治验 圆苑
- (案 圆) 歙县汪小庭伤寒垂危救苏 , 并详议治法奇效 , 调理丸方收功 圆愿
- (案 圆) 山西梁瑞文腹中频痛治验 圆源
- (案 圆) 陆诚斋尻骨 疼治验 (附案) 圆缘

- (案 獮) 余于季冬忽然畏寒 遍体不舒
治验..... 圆缘
- (案 獮) 梁士奎脐腹作疼治验 ,并外用
熨法..... 圆远
- (案 獮) 周玉如脾湿中阻 ,口吐涎沫
治验..... 圆苑
- (案 獮) 程秉维幼子痧痘之后 便泄、神
倦、气短、面 、不食垂危治验 圆愿
- (案 獮) 胡恒大劳力吐血治验 圆怨
- (案 獮) 宋兆奎脐腹上下全痛 胸闷块
攻治验 圆怨
- (案 獮) 山西任光斗白浊症 溺窍洩出
疼痛治验 圆园
- (案 獮) 歙县李载扬两足浮肿治验 圆员
- (案 獮) 海盐上舍张铁珊由怔忡症兼
脐上胀痛 肝胃气阻 宜先治
标之验 圆员
- (案 獮) 张耀文小溲涓滴不爽 溺底
疼刺痛 病发无时 得之少不节
欲奇验 圆圆
- (案 源) 旌德周仁山瘧疟奇效 圆源
- (案 源) 叶含青肝胃气 腹胀无时
治验..... 圆缘

- (案 瀾) 徽歙丰干庭症由呕恶、腹疼误
治垂危治验 園苑
- (案 瀾) 休邑上舍程梅溪感寒挟食
治验..... 園苑
- (案 瀾) 门人金书山外痔、脱肛治验 園苑
- (案 瀾) 昭文邑宰金 斋先生脘腹胀
痛奇验 園猿
- (案 瀾) 休邑詹寅宾子寒热、呕吐
治验..... 園缘
- (案 瀾) 山西宋大成得汤即呕 ,胸胃
作疼治验 園缘
- (案 瀾) 李兆文胸闷、腹疼治验 園苑
- (案 瀾) 溧阳金元愷溺血成条几危
治验..... 園苑
- (案 缘) 太平吴卓人泄泻两月极险
治验..... 園愿
- (案 缘) 溧阳金元愷溺血全愈 ,因二便
不畅误治 ,腹痛难忍 ,辜丸胀
大 ,食不喜进几危治验 園愿
- (案 缘) 詹介臣目疾治验 猿园
- (案 缘) 妹倩王履安吐血垂危治验 猿园
- (案 缘) 歙县吴声振高年湿毒 ,痒无宁
刻治验 猿愿

- (案 緣) 徐云坡子房劳感寒治验 猿怨
- (案 緣) 余于癸未九秋心嘈、咽塞
治验..... 猿怨
- (案 緣) 南京李灿明肠红治验 猿园
- (案 缘) 休邑程宏元腹痛难忍 寒与虫
并治验 猿园
- (案 缘) 吕毅庵余热未清 ,误投寒凉以
致呕吐治验 猿园
- (案 远) 木川文学吴磊斋素好饮酒 ,以
致得食即泻 ,迄今半载 ,肌瘦
体羸危症治验 猿猿
- (案 远) 王宗华甥暑热症治验 猿源
- (案 远) 山西介休张旭升脐腹上下痛甚
治验..... 猿远
- (案 远) 歙县鲍云樵痰症 ,丸方调理治
验 (针三方) 猿苑
- (案 远) 鲍氏价人怔忡治验 猿园
- (案 缘) 山西介休张仁伯胎疴间发
治验..... 猿员
- (案 远) 山西任承山风邪外袭 ,头痛畏
寒治验 猿员
- (案 远) 山西宋鉴堂胸脘胀痛、呕吐酸
水治验 猿圆

- (案 遽) 萧斗光阴虚吐血几危 亟救
治验..... 猿
- 竹亭医案卷之五..... 猿
- (案 员) 山西梁济生气食相凝 脐腹胀
痛兼呕治验 猿
- (案 圆) 介休任富泰冒风霖雨 湿侵腠
理 臂痛如割 兼寒热间症 汗
出过多 神虚见鬼危症奇验 猿
- (案 猿) 庐州张耀宗堂弟不服水土 纵
啖荤腥 以致呕吐、泄泻、转筋
极险治验 猿
- (案 源) 吴菊圃内侄蒋世兄伏暑误治，
以致身热不彻邪陷 耳聋、脐下
痛、溺时疼极险奇效 猿
- (案 缘) 山西梁茂千寒凝气阻 泄泻、腹
痛治验 猿
- (案 远) 山西董湘文两胁胀疼 波及肩
背、腰胯 外受风寒 内挟食积
治验 (心中寒者 其人病心如
啖蒜状) 猿
- (案 苑) 余次子茂常仲夏出正痧极重
治验 猿

- (案愿) 徐绳武咳嗽匝月,痰出不易
治验 猿猿
- (案怨) 歙县孝廉洪季威先生仲秋得伏
暑 极险治验 猿源
- (案园) 王庆书湿温症 寒热、头疼欲呕、
两胫冷治验 猿远
- (案员) 余次子茂常孟秋头痛、寒热、咳
嗽成疟治验 猿苑
- (案圆) 南京孙云衢胸脘痛胀痼疾五载
奇效 (并详论治法) 猿愿
- (案猿) 山西曹门人风痰闭络 胸闷、背
臂 楚治验 猿园
- (案源) 徽州曹雅堂风温症误治 身热
不解治验 猿园
- (案缘) 黄云泉大兄咳嗽喉痒昼轻夜重
治验..... 猿员
- (案园) 文学汪书蕉二兄上下齿龈偏左
作痛治验 猿圆
- (案苑) 海盐郑淡园次子内疝误治,以
致腹膨有块 小腹疼由阴囊上冲,
夜来发热、足肿、肌瘦骨立,迄
今九月,几危救苏奇效极验 猿圆
- (案愿) 金六吉湿温症误治几危治验 猿源

- (案 卷) 陆琴轩乃弟囁轩痛痹症迄今
三载治验 猿猿
- (案 肆) 山西武之文胸腹奇痛,湿与
寒并治验 猿远
- (案 肆) 万松岩大兄脾湿症六载沉痾
治验 (并附丸方、八珍粉方) 猿远
- (案 肆) 陆琴轩六兄痛痹症治验 猿远
- (案 卷) 宁波苏成章左头角刺痛如锥
治验 猿猿
- (案 肆) 山西焦永盛高年身热、泄泻、动
即出汗垂危治验 猿猿
- (案 肆) 门人金书山滑精之后忽又闪腰,
不能举立,治法颇奇立效 猿远
- (案 肆) 山西李世安中脘胀闷,食不能进,
昼夜不安,先进温舒,再以通幽,
立见奇验 猿猿
- (案 卷) 孝廉洪季威先生左足次指生疽
极险,用灸法奇验 猿源
- (案 肆) 屈世泰冲年仲秋患夜热及四肢、
唇裂、衄血,延绵周年,几成童
怯之验 猿远
- (案 卷) 黄埭顾文元滞下红白,湿热交
阻治验 猿远

- (案 獮) 萧山胡福堂鼻衄如注极危
奇验..... 猿苑
- (案 獮) 萧二泉三疟年余 ,正虚邪恋 ,治
法极效 猿愿
- (案 獮) 汪书蕉二兄素好饮茶 ,腕痛欲
呕治验 猿怨
- (案 獮) 王店屈文炳胃气作楚 ,感寒呕
酸治验 猿园
- (案 獮) 袁履安喘症危候 ,卧不着枕 ,痰
出不易 ,便溏食减 ,屡进滋阴病
增 ,立刻救治 ,渐自回生之验 猿园
- (案 獮) 山西杨国桢食后脐下作胀、胸
闷呕酸治验 猿猿
- (案 獮) 管芝亭吐血三载 ,梦泄五年 ,体
瘦食减治验 猿猿
- (案 獮) 歙县洪季威孝廉四兄先生病后
动辄冷汗、头眩欲仆 ,阳虚阴弱
危险奇验 猿源
- (案 獮) 湖广周正珽暑湿症误治几危
奇验..... 猿苑
- (案 獮) 韩晚香类中症几危 ,又兼滞下
后重之验 猿怨
- (案 源) 萧山胡福堂鼻衄期年复发

- 治验..... 猿園
- (案源) 山西康上珍戌初气逆、腹胀、暖腐、下行便泄有声 寒与湿食交阻 并论药服有时乃效之验 猿藪
- (案源) 顾建功痛痹症 外寒引动内湿治验..... 猿源
- (案源) 金岳山颈肩 疼 转侧维艰，寒湿上侵治验 猿远
- (案源) 王履安妹倩旧恙屡发 气逆痰鸣治验 猿苑
- (案源) 泾县朱际云心肾不交 水火不济治验 猿愿
- (案源) 泾县朱小园疝症有年 兼之滑精治验 (并附丸方) 猿园
- (案源) 於潜董仲海中满症治验..... 猿员
- (案源) 海盐张铁珊喉痒如有物阻于上奇症奇验 猿猿
- (案源) 万梅圃胎疔误治转剧治验 猿源
- (案源) 常熟胡在德六年前腹痛异常，今复发奇验 猿远
- (案源) 陆吟轩虚羸几危 详论治法奇验..... 猿苑
- (案源) 山西张景章腹痛误攻增重

- 治验.....猿愿
- (案缘) 陈旭岑三令郎暑湿症误治,危
笃救苏奇验.....猿怨
- (案缘) 镇海倪秉纲忽然泄泻,昼夜无
度治验.....猿园
- (案缘) 张竹坡长子友卿暑湿病,复犯
房劳险症治验.....猿员
- (案缘) 胡在德滞下早投止涩,攻痛匝
月,几成休息之验.....猿缘
- (案缘) 王采堂虚羸咳嗽,内热便泄,肌
瘦肉削,救生之验.....猿远
- (案缘) 广东南海钱小汀淋症,溺时痛
如刀割治验.....猿怨
- (案缘) 孙永征脾土久亏,喜啖厚味,脘
腹胀痛治验.....源园
- (案源) 门人金书山怔忡极险奇效奇验
(并详明病原治法).....源园
- (案源) 嘉兴王芝峤滞下,寒热、腹膨、
面目虚浮险症之验.....源苑
- (案源) 山西梁瑞之脐腹绞痛,寒与湿
食交阻治验.....源怨
- (案源) 胡世安风温,寒热、头痛、干咳
无痰治验.....源园

- (案 远) 山西荣盛华胸脘脐腹痛剧危
症治验 源园
- (案 远) 忻州连涌泉咳嗽 痰不易出 ,
气喘不能卧治验 源园
- (案 远) 绍兴王学兴痛症数年 ,发于脐
之左右治验 源园
- (案 远) 李芳园肠红见于粪后治验 源园
- (案 远) 汪书蕉二兄滞下逼迫 湿火下
注治验 源园
- (案 远) 万松岩大兄大病愈后调理丸方
(并详明调治善后之法)..... 源源
- (案 远) 王省斋大兄次郎质弱肌瘦调理
丸方..... 源远
- (案 远) 胞侄芳田湿温夹食 胶痰内阻 ,
乱语奔走治验 源远
- (案 远) 门人金书山暑湿内蕴 ,体倦好
眠治验 源远
- (案 远) 妹倩王履安兄久病虚羸 ,肌体
骨立 喘咳痰癖 且兼虚浮鼓症
极危急症再生奇验 源远
- (案 远) 徽州金六吉温邪身热误治增剧
治验..... 源远

顾大田序

竹亭先生 崇川^① 旧族 迁苏^② 后以医术著名 精理内外大小各科 尤于妇人科为特长。暇日集所诊定经验方案若干卷 颜^③ 曰《缀珠编》。

盖先生儒而医者也。文章之事 通于性命，而得失之故 贯于天人。轩岐之道与孔门之道，千古同一理也。

先都^④ 运公自致政^⑤ 归家 居二十载 亦尝喜读灵、素书。犹忆初见先生时 谈顷即深相引重。曰：“审君抱负 道必大行。”及观其书 每多巧发而奇中 可见心灵智巧而能用意精通 诚有得乎仓、扁、元化^⑥ 之遗。假有良史^⑦ 如子

① 崇川 地名 今属江苏南通。

② 苏 苏州 今属江苏。

③ 颜 题名。

④ 都 明清时对都督、巡抚等官吏的省称。

⑤ 致政 交还官职、退職。

⑥ 仓、扁、元化：仓，仓公淳于意；扁，扁鹊秦越人；元化，华佗（元化）均为古代名医。

⑦ 良史 优秀的历史学家。

长、承祚^① 辈 ,其必有采焉可知也。春^② 适侍侧 ,得闻庭训 ,至今不忘。

先生三十年来 ,历治险症 ,活者甚众 ,方案特十之一二耳。其中奇正^③ 相生 ,变化不测 ,所以嘉惠后学者不少。立案则要言不烦 ,用药无一味虚设 ,尤可宝贵。异日付诸剞劂^④ ,传世不朽 ,发扬光大 ,救世无穷。岂医家以一技自鸣 ,而墨守一隅者所共论也。

道光二十四年岁次甲辰仲冬吴门

顾大田春林甫识

竹亭先生生于乾隆卅年 ,其尊人雨香生于雍正五年 ,父子均享大年。

① 子长、承祚：西汉史学家司马迁字子长；西晋史学家陈寿字承祚。

② 春：此文作者顾春林自称。

③ 奇正：特殊与常规。

④ 剞劂：刻印出版。

沈凤生序

先祖竹亭公，一字亮揆。原籍崇川，迁苏后医道大行，活人无算。寿登八秩，而犹手不释卷。当时临证医案积稿颇夥，其捷如桴鼓、效如影响者大半散佚，只有什之一二汇为大方、杂症六卷，女科三卷，置诸笥中历有年矣，是皆先祖手笔。凤生于临诊之余，披阅手泽^①，深有所得。窃思医案取诊治以成理而理由明，得药剂以成法而法自信，俾后学者可以领悟而效用焉。曾记吾祖竹亭公昔年撰句有“命悬指下争功险，药到肠中补过迟”一联以自警，敢以就正有道，亦见吾祖朝乾夕惕^②之意云尔。

时在光绪戊寅四年季春月孙男凤生

谨识于春雨楼

① 手泽：为手汗所湿润，借指先人的遗物。

② 朝乾夕惕：形容终日勤奋谨慎而不稍事懈怠。

卓 序

此编方案乃海内孤本未曾刊行者。余喜搜罗医籍，在春申^①旧书店以重价购归。曾呈我师鉴定，亦颇赞许。其用药灵巧，后进诚可效学，洵^②是一部有实用之参考书也。惜首卷数页已烂破漫漶，不能修补，只可照录二序，脱字未补，俟高才下笔，弥其缺憾。书边有竺生鲍氏图章，必先收藏，是亦有心于医道者，附志钦佩。

卓 识

① 春申 指上海。

② 洵 实在。

李梦蓉序

余少失学，壮习医，中道而废，以所学不精，恐误人生命也。往岁行道槎溪^①，识顾子坤一^②于许氏宅中，觉其道义过人，为学不倦，热肠侠性，有足多者。后于海上重逢，悬壶济世，不治生产。室中医书满架，四壁萧条，手不释卷，寒暑无间。或于书摊、冷肆获得珍秘医书，饷予评鹭^③。予弃医已久，愧无贡献。第念交同水乳，有类弟昆^④，数十年无一违言。次儿拜从门下，获益更多。乃者以孙氏竹亭手泽《缀珠编》嘱为抄录，原序残缺之处加以篡改，以不学如余将贻点金成铁之诮^⑤。然阿私所好或不见讥，谨为修整如上。

云间^⑥ 李梦蓉识 甲午重阳

-
- ① 槎溪 地名，今上海嘉定南翔。
 ② 顾子坤一 顾坤一 现代医家。
 ③ 饷予评鹭 给我评论鉴定。
 ④ 昆 况。
 ⑤ 诮 (qiào 窍) 讥讽嘲笑。
 ⑥ 云间 今上海松江，古又称华亭。

竹亭公手笔 ,道光年间旧钞本 ,价值可贵 ,勿轻视之 ,兰雪老人题 “医门珍笈 ”四字 ,宝之 ! 宝之 !

始于乾隆 ,迄至嘉、道间 ,名医竹亭孙公与南城顾雨田^① 齐名。顾郎大田从孙公游 ,因雨田先生先归道山。此事闻诸兰雪老人 ,盖云洲公乃顾大田之入室弟子。老人又云孙公之医案曾未寓目 ,今得见古人手笔真梦想不到 ,快何如之 ,岂独眼福而已也。又云此公心思灵巧 ,先祖亦曾言及 ,往往用药有奥妙 ,看似数味却有奇效 ,与时医所常用之套药迥别。当时雨田、惕人等诸名医俱甚钦佩 ,每逢疑难杂症必介绍于孙公也 ,可见人之智慧大有不同。

辛亥仙诞日^② 记
后人宝珍 ,勿轻示人。

① 顾雨田 清代医家 ,名文 ,号西畴 (一作恭寿)。

② 仙诞日 夏历四月初八。

竹亭医案卷之一

古吴^① 孙采邻亮揆甫著

受业程定治济霖

金传勋继文

侄兰生芳田

男鹤生于九

凤生茂常 同校

竹
亭
医
案

(案员) 陆廷佐时热症,邪伏募原治验

陆廷佐,年五旬,乙丑五月。

时热四日,头痛身热,舌苔腻白,胸闷,口干而喜热饮,脉俱沉象,邪伏募原。

蔓荆子二钱 防风一钱半 草薢仁一钱,煨
槟榔三钱 焦谷芽三钱 秦艽二钱 广藿香一钱
半 陈皮一钱半 姜制厚朴一钱半

^① 吴 苏州的古称,今属江苏。

加生姜皮五分、葱一大枝。

服后热渐缓，胸稍宽，而头痛、舌白未减，此邪仍未离膜原也。

又，复诊方：

羌活一钱半 荆芥一钱半 淡豆豉三钱 制半夏一钱半 槟榔二钱 草果八分，煨 制厚朴一钱半 赤茯苓一钱半 甘草六分

加葱白两枚。

服此，头不痛，热又减，甚妥。

又，复诊方：

午后大汗，热势渐退。主家因头汗过多、四肢清凉，以为虚脱之象。余至，细绎病情：出汗未半刻，所以汗多者，因棉被过遏所致，非虚脱之汗也。况病者清爽，问答明白。表邪固从汗解，而里热亦从斯而退矣，否则，问答何能自如？而脉象惟有细数，并无虚脱之象。倘轻信旁言，自无主见，未免误人。察脉审证，望色听声，于四诊中悉心推索，庶几得之矣。汗解后，用后方清其余热。

细生地三钱 丹皮一钱半，炒 麦冬一钱半，去心 生甘草六分 瓜蒌仁三钱 赤苓一钱半 陈皮一钱半 块滑石三钱

加灯心三尺。

服后热退身凉，舌胎从尖上渐退至舌心，胸亦不闷，惟不思食，此胃土未和也。

又，复诊方：

鲜石斛四钱 生谷芽三钱 广藿香一钱半
甘草五分 赤茯苓一钱半 白通草八分 新会皮一钱半 麦冬一钱半

服后渐能进粥，腹中渐疏，时有转失气。再剂，大便结粪一次未畅，原方加鲜首乌四钱。再剂，又大便一次，舌苔退清，食增睡安。后以养胃生津，调理而安。

(案圆) 姚心一时热症，狂叫呼骂危笃治验

姚心一，年近三旬。

时热半月，人事不知，狂叫呼骂，不避亲疏，诸医束手，坐以待毙。其母寡居，独此一子，索治于余。细按脉象，左寸、关数而带滑，此热邪入里，痰火壅闭。当清心、肝之火，佐以开窍豁痰，庶可图其转机。

川黄连八分 羚羊角三钱，镑 天竺黄一钱半
南星一钱，煨 石菖蒲八分 黑山栀一钱半

熟半夏二钱

加明矾八分、松萝茶六分。

进药后，人事顿知，口吐痰涎盈碗，后渐调理收功。

（案猿）殷廷植右膝坚硬，寒着筋骨，几成附骨治验

殷廷植，年逾三旬，嘉庆乙丑八月。

左关、尺虚濡，肝肾素亏。右膝坚硬不散，寒着筋骨，屈而不伸，延绵五十日，穴近委中。若早为疏筋温散，俾气血流通，肿消筋疏，自尔行步自如。乃不此之求而概以凉血清火（外所敷者料亦凉药），以致肿不退、筋不伸。附骨之虞何能免哉，不忍坐视，姑拟温筋活血法以图之。

陈牛筋六钱，打扁 鹿筋六钱，打扁 归尾一钱半
怀牛膝三钱 宣木瓜二钱 独活一钱半 红花一钱半
川山甲八分 炙

用陈酒、河水各一盞半，先将牛、鹿二筋同煎至两碗，再将后六味同煎至一碗服。

外用陈酒燉热，烱化去油乳香、没药各四分，离火调冲和散，乘热厚敷膝盖，中间留一小

孔,至一周时去药。用青葱二两,香椽二两,生姜二两,三味煎汤,带热先熏后洗,避风拭干,仍如前再敷,用皮纸盖上,再以绢缚之。

服前方并敷药后,觉膝盖中温暖松爽,稍能伸,筋脉渐有活动之机。再如前服,右膝之坚硬亦渐有柔软之象。

五日后复诊:用十全大补汤去黄芪,加熟附子。服十二剂而收全功。

(案源) 双林程宫培右耳常鸣七载,丸方调理

双林程宫培,丸方。

右耳常鸣,七载以来苦无宁刻。细按脉象,左关虚弦,两尺虚数。水火未济,相火未静,治宜养水济火,俾火下降,则耳鸣自平,匪朝伊夕也。

西党参三两 炙黄芪二两 大熟地四两 归身二两 粉丹皮一两半,炒 山萸肉一两半 石菖蒲一两 陈皮一两半 灵磁石二两,煅红醋淬七次 远志肉一两半,甘草水浸炒 酸枣仁一两半,炒 茯神一两半 龙胆草一两,酒浸、焙

上为细末,炼白蜜为丸,如桐子大。每服五

钱 ,清晨淡盐汤送下。

(案缘) 广东董荆山左头角并颐颊漫肿治
验

广东南海董荆山 ,年逾四旬 ,嘉庆乙丑六
月。

左头角痛 ,并左颊漫肿 ,乃少阳风火上行 ,
速宜疏解 ,防其嗌痛 (嗌 ,音益 ,咽喉也)。

蔓荆子一钱半 防风一钱半 薄荷头五分 川
芎八分 象贝母一钱半 ,去心 甘菊一钱半 左牡蛎
二钱 ,煨 甘草五分

加青葱尖三枚。

外以透关散吹左鼻。

进前方两剂全愈。

(案远) 木川吴师瞻病后脾虚 ,几成鼓胀
治验

木川吴师瞻 ,年三十三岁 ,乙丑八月。

病后脾虚 ,四肢、面目浮肿 ,腹大脐凸 ,肿及
阴囊 ,鼓胀将成 ,幸未过投杂药 ,尚可挽回造化。
脉象虚弦 ,舌之两旁有紫红胎两条 ,约各半寸。
夜睡不久即醒 ,腹胀兼疼。病起月余 ,食饮

稍减。

黄芪皮一钱半 防风皮一钱 茯苓皮一钱半
 陈皮一钱半 大腹皮一钱半 淡干姜一钱,炒 广
 藿梗一钱半 苡仁五钱,炒

加砂仁末三分,冲。

服一帖,夜能安睡,舌旁紫红苔渐淡而短,
 进粥两盏,脚背之浮急稍宽。

次日,原方去芪皮、防风、藿梗,加党参、山
 药、木香。再两剂,眼泡之浮肿及腹之膨胀脐凸
 俱渐减,二便亦渐调。

又,复诊方:

生黄芪二钱 西党参三钱 建莲肉三钱,去心,
 炒 炙草八分 茯苓皮一钱半 大腹皮一钱半 熟
 附子五分 炮姜八分 酸枣仁一钱半,炒 新会皮
 一钱半

服三剂,头面浮肿减去大半,两手亦然,大
 腹渐宽,非前之紧急可比,惟两足未减。前次食
 粥甚少,且食后即胀而疼,自服予方,食饮日增
 而腹中不胀不疼、松爽易饥。

又,复诊方:

生黄芪二钱 西党参三钱 於白术一钱半,
 炒 炙草八分 茯苓皮一钱半 制首乌三钱 熟附

子六分 炮姜八分 当归身一钱半 杜仲二钱 炒
砂仁四分 研冲

加赤小豆三钱。

服三帖两足浮肿十退七八，头面两手俱退，右腰觉疼，舌之两旁紫红苔已去大半，口舌稍碎却不口干，两膝盖之肿全消矣，阴囊肿亦退矣。

又，复诊方：

用六君子汤加鲜石斛、麦冬。

服后腰疼、口疮顿除，肿势俱退。日饮粥四五次，每次三盏之外，另又莲心、米粉之加，究嫌其太过，恐脾土将健而难以运化也。所以腹皮虽宽，而腹内尚未软和，是以食后腹中觉响者非无因也。两日内盗汗过多，其余安妥。

又，复诊方：

炙黄芪二钱 西党参三钱 建莲肉三钱，去心，
炒 芡实三钱，炒 制首乌三钱 枸杞子三钱 女
贞子三钱 归身一钱半 北五味子五分 麦门冬一
钱半，去心

服后，盗汗大减，舌苔始退，二便如常。午前食饭，酉后饮粥。数日间，精神健旺。后以八珍汤去川芎，加黄芪、杜仲、续断、砂仁调理收功。

〔案苑〕 陆森万舅兄喘咳屡发，体虚感冒
治验

舅兄陆森万，嘉庆癸亥十一月。

喘咳旧病，复感新寒，正虽虚而邪则实，自
宜先散。

黑苏子三钱，研 防风一钱半 熟半夏一钱
半 桔梗八分 生甘草五分 橘红八分 川桂枝一
钱 杏仁三钱

加银杏十四粒，去心衣。

服一剂，喘咳减半，自觉气由胃而升，两太
阳作痛。

复诊用防风、羌活、前胡、熟半夏、旋覆花各
一钱五分 苏子、杏仁各二钱 甘草五分 银杏十四
粒 煨姜八分

两剂而安。

又，十二月十五日诊：

风痰上壅，喘哮声急，脉象沉细，气逆不能
卧，议用代赭旋覆法。

旋覆花三钱，生绢包 熟半夏二钱 代赭石三
钱，煨 杏仁三钱 海浮石三钱 海蛤粉三钱 前
胡一钱半 橘红一钱

加煨姜八分、白萝卜汁半酒杯冲。

服后喘定哮平 ,脉亦渐起 ,进粥安妥 ,再剂而痊。

(案愿) 予大子于九种痘之后感冒咳嗽治验

予大子鹤生 ,四岁 ,于嘉庆甲子三月初六日。

延种痘王云湘 辰刻下苗 ,至酉时即喷嚏三声。十一日见标 ,晚间身微热。次日标点见于人中。至十三四日又增十有余粒 ,身热渐退 ,食饮如常 ,睡卧安宁 ,痘粒肥大浆足。至二十日渐回 ,通计痘粒十有四粒。至二十四日 ,冒风身热 ,少有咳嗽。服疏散药一剂 ,汗出热退 ,而咳嗽愈甚 ,频咳不止。又用 :

前胡八分 杏仁一钱半 黑苏子一钱半 ,炒
海蛤粉二钱 橘红八分 桔梗五分 生甘草四分

午后服此安睡 ,至点灯后并未咳嗽 ,至鸡鸣方咳嗽 ,约减其半。

次日 ,原方内前胡减去三分 ,再剂而咳嗽全愈。

(案怨) 襟兄蒋奎光乃郎外感身热 ,腹胀

夹食治验

蒋奎光襟兄之子 ,六岁 嘉庆甲子八月。

身热有汗 ,五日未解 ,兼之腹膨 ,脉象浮缓。
风邪外束 ,食饮中停。治宜表里疏通 ,俾邪外达
为妥。

葱汁炒荷叶二钱 取解肺肝风热 防风一钱半
查肉三钱 炒 麦芽三钱 炒 青蒿子一钱半 枳壳
一钱半 炒 赤苓一钱半 甘草四分 车前子一钱半 ,
炒研

加鸡内金一枚 炙。

服一帖 ,身热大减 ,食滞未消 ,大便欲解未
解已三四日矣。

又 ,复诊方 :议和中润燥法。

广藿香一钱半 焦谷芽二钱 麻仁三钱 研
杏仁二钱 研 油当归一钱半 赤茯苓一钱 枳壳
一钱 炒 甘草四分

服后便解身凉 ,腹中松爽 ,食进睡安而痊
矣。

(案 苑) 黄云泉咽痛声哑 ,风火上炎治验
黄云泉

悬雍垂下 ,咽痛声哑 ,风火上炎 ,治在轻清。

荆芥穗一钱半 防风一钱半 元参二钱 马勃五分 押煎 广橘红八分 桔梗八分 甘草五分
外用自制“红炉雪”吹喉。
服一剂全安。

(案 录) 徐州王巨川腰腿痠疼,寒湿内侵
治验

徐州王巨川,年五旬,甲子仲冬。

腰腿痠痛,偏于右畔。寒湿内郁,此脉之所
以沉迟而独见于右也。法宜温通。

油松节三钱,打碎 全当归二钱 桂枝二钱
丝瓜络二钱 制香附三钱 川续断三钱,炒 杜仲
三钱,炒

加陈酒一盞、河水一盞和匀,同煎服。

外用葱三两 生姜三两 大皂角三枝 木瓜
二两,煎数滚,带热熨洗。

服药并熨后,痠痛十去其五。

又,复诊方:

独活二钱,葱汁炒 稽豆皮三钱,酒炒 熟附子
一钱二分 杜仲三钱,盐水炒 当归二钱 怀牛膝三
钱 虎胫骨三钱,炙 木瓜三钱

进两剂,腰腿痠痛十减七八,再两剂而全

瘳矣。

(案 圆) 休宁叶汝良两肩疼痛,筋脉抽掣
治验(附药酒方)

休宁叶汝良,年五十七岁。

两肩疼痛,不能举动。皆由寒湿郁于经络,
以致筋脉抽掣。病经半载,脉象虚细。先宜温
疏,再商善后。

制香附三钱 熟附子一钱半 苏木节三节
红花一钱半 片姜黄三钱 茅山术一钱半,炒 丝
瓜络三钱,酒炒 木瓜一钱半 全当归二钱

加虎胫骨三钱,炙。

服两帖,肩肘疼痛俱减三分。

复诊:原方去红花、茅术,加白芍一钱半,嫩
桑枝一两。

服四剂,疼痛大减。

继用药酒方附后,甲子年十二月望日定。

西党参一两 生黄芪一两 归身一两 独活
一两 片姜黄一两 苏木节一两 续断一两 松节
一两 五加皮一两 宣木瓜一两

凡浸酒规则,大率以一两之药可浸一斤之酒。或
略为增减,亦未始不可。

上药十味 ,用“原福珍”^① 十斤浸之。先以夏布袋贮药 ,线扎 ,置酒内。约十日后 ,每晚燉热量饮。

服此药酒 ,疼痛若失 ,大为合宜。

于乙丑二月望日复诊 ,仍将前方去独活、木瓜 ,加陈皮、白芍各一两 ,再浸一料 ,服之可收全功。

(案 录) 常熟金文彩筋骨疼痛 ,手足不能举动治验 (附药酒方)

常熟金文彩 ,年五旬 乾隆乙卯季春。

遍身筋骨疼痛 ,手足不能举动。病经年余 ,诸医罔效 ,特求治于余。当以气血并补之剂 ,佐以疏筋、却湿、祛风为法 ,服后颇妙。因用浸酒之药 ,取其常服 ,以拔病根。服后方一料 ,果然全愈 ,快甚 ! 快甚 !

西党参一两五钱 於白术一两五钱 ,炒 全当归一两半 鳖甲一两 虎胫骨一两半 ,炙 甘枸杞一两五钱 片姜黄五钱 羌活一两 怀牛膝一两半 川萆薢一两 油松节一两半 秦艽一两半 晚蚕沙

① 原福珍 :一种酒名。

一两 川桂枝七钱 茄根一两 防风一两 苍耳子
一两 防己五钱

上药十八味 ,用“原福珍”酒二十斤。用本色夏布袋盛药 ,线扎 ,浸酒内半月 ,看药味透出 ,即可开饮。晚间随量饮之 ,善饮者早上少少饮些亦可。

(案 原) 王南乔时热误治垂危救苏之验
(并附病原)

王南乔 时热危证治验 ,并附病原。

据述感时邪于房劳之后 ,他医指为夹阴伤寒 ,即用桂枝、柴胡等疏散之。因壮热未解 ,又用犀角地黄汤。不第热未解而反增气逆 ,更医。医因其气逆 ,随用代赭旋覆汤。后又作奔豚治者 ,不一而足。甚至病者头摇声喘 ,欲溲不能 ,二目直视 ,懒于言语 ,医又用沙参、生地、当归、枣仁、茯神、百合、石决明等以防虚脱 ,不应。次日 ,原方加党参、熟地、沉香等 ,病势沉重 ,危在顷刻 ,主家固然张皇 ,医者亦伎穷力竭 ,方束手而回 ,以为无救也。

于嘉庆乙丑四月二十二日二鼓扣门延诊 ,适先君子就寝 ,命予往视。及进门 ,有同道薛先

生正在立方，主家即请予登楼诊视。身微热，胸按则痛，二目直视，问之不答。据述心内明白，懒于言语，故原能伸舌也，其舌胎边白中黄。看毕下楼，前医已去，予当立方案于下：

时热三候，热邪内蕴，痰火郁闭，时而上逆则蹙，头摇，时而下奔则转浮甚急。脉则右寸、关细数而滑，左关、尺弦细。知其痰火郁闭，升降不灵也，拟用黄连汤合小陷胸汤加减之。

川黄连六分 熟半夏一钱半 干姜一钱 瓜蒌全三钱 炙甘草六分 块滑石三钱 知母一钱半 广陈皮一钱

加白萝卜汁半酒杯，冲。

立方后，随阅前医方，其方即伊徒^①之原方去生地、百合，加白芍、五味子，如是而去。其方未用，当服予方一剂，病势顿减，并不头摇气喘，进粥一盞半，且能卧，诸恙俱缓，妙哉！妙哉！

二十三日，原方去陈皮、萝卜汁，加麦冬、灯心，服后小便通畅，舌尖苔渐退，食粥渐增，大便六日未解。

① 伊徒 此人。

先君子往诊,二十四日仍用黄连汤全方。煎好去渣,临服加生大黄一钱,置碗内,盖少顷,服之。服后大便一次甚多,先硬后栗,色带老黄。自觉爽快,食粥又加,神识渐清。

二十五日,先君子用二陈汤加生谷芽、干姜、远志肉、麦冬、黑山栀,加藕二两。和胃安神,兼清余邪。服后舌苔渐退其半,二目亦觉活动。

二十六日,原方去干姜、远志,加鲜石斛、苡仁、藿梗。服之食粥又增,小便色淡而长,夜渐能安寐。

又,复诊方:病后脾胃渐和,胃津未复,议清养胃阴法。

细生地三钱 花粉一钱 大麦冬一钱半 茯神一钱半 生谷芽五钱 陈皮一钱半 广藿梗一钱半 山栀一钱半 炒

又,大便五六日未解,用润燥之剂仍有欲解不解之势,转失气时下。用润燥法,加元明粉,大便结粪始下,胃气和而饮食倍增。

二原地^①三钱 制首乌三钱 柏子仁二钱

① 二原地 地黄,玄参科多年生草本地黄的干燥根,养血补阴,补而不膩。

麻仁二钱 广木香一钱 川续断二钱 怀牛膝一钱
半 远志一钱半 西党参三钱

临服加元明粉八分冲。

又大便已解，体虚脉爽。用六君子汤，去白术，加山药、杜仲、木瓜、怀牛膝、建莲肉，服后可以起身，稍可步行。

又用益气养营之剂，阴阳并调。

西党参三钱 炙黄芪三钱 制首乌三钱 玉
竹三钱 怀牛膝一钱半 枸杞子三钱 益智仁二
钱 归身一钱半

加建莲肉四钱。

服后精神爽健，安卧如常。

又再以壮水滋木法：

大熟地三钱 制首乌三钱 归身一钱半 白
芍一钱半 炒 女贞子三钱 川续断二钱 杜仲三
钱 炒 芡实三钱 炒 远志肉一钱半 炒 净砂仁八
分

加桂圆肉七枚。

恙后食饮日增，精神健旺。回想一月以前，不独服药者称快也。服数剂后，继以丸方调理收功。

丸方：素有滑精病，今大病后，正气渐旺，肝

肾虚火妄动，小便后稍有精出，法宜扶正为最。

西党参四两 黄精四两 大熟地四两 砂仁五钱
同捣 元武板三两 炙 炙鳖甲三两 芡实三两，
炒 山萸肉二两 远志肉一两半 线鱼鳔三两 炒
珠 茯苓二两 牡蛎粉三两 煨 炙甘草一两半
新会皮二两

上为细末，炼白蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨淡盐汤送下。

(案 錄) 朱氏子痘出两朝，谵语咬牙，毒火内壅治验 (附水痘注上)

朱氏子，九岁，出痘于嘉庆乙丑二月二十日。

痘放两朝，身热神昏，点粒干红，谵语妄言，腹痛咬牙，大便三日不解。毒火内壅，痘之极险者也，速宜松毒，俾痘点透发，庶可图也。

附 水痘 凡出水痘，先十数点。一日后，其顶尖有水泡。二日、三日，又出渐多。四日，浑身作痒，疮头皆破，微加壮热即收矣。水痘要忌发物，七八日乃痊。

紫草茸二钱 生大黄三钱 荆芥穗二钱 桔梗一钱 牛蒡子一钱半 炒 赤芍药一钱半 炒 小

青皮一钱 地丁一钱半 人中黄八分 山查肉四钱 炒 蝉衣一钱半 去足

加元菱三钱、芦根一两五钱、香薷三钱。

进药后，大便结粪两次，烦躁谵语顿平。

又三朝方：痘点渐起，天庭、两颧渐增，却不攒簇^①。口干，舌中苔黄。大小便通，食饮尚不大贪。神识安静，手足心尚未齐到。宜拟清火化毒法，冀其点齐。

犀角尖八分 镑 羚羊角一钱半 镑 紫草茸二钱 连翘一钱半 牛蒡子一钱半 炒 枳壳一钱 赤芍药一钱半 炒 红花八分 小青皮一钱 山查肉三钱 炒 生甘草八分 桔梗一钱

加笋尖五钱、芦根一两五钱、地龙干五条。

又四朝方：进昨药，点齐热缓，食贪睡安，险痘渐转之象也。

犀角尖一钱 镑 羚羊角一钱半 镑 连翘一钱半 丹皮一钱半 炒 牛蒡子一钱半 炒 人中黄八分 桔梗一钱 元参二钱 小青皮一钱 山查炭三钱 麦冬一钱半 去心

加鲫鱼一大尾，洗去肠肚，笋尖五钱、芦根

① 攒簇（cuán cù 促）聚集、簇拥、集中。

二两,去节。

又,五朝方:痘点放白,面胖眼渐封。舌苔转淡黄,大腹时疼,兼之屎气。宜以活血解毒,冀其起胀,少佐通幽之法。

小生地五钱 丹皮一钱半,炒 羚羊角三钱,镑
 黄连六分 人中黄八分 连翘一钱半 赤芍药一钱
 半,炒 元参二钱 皂角刺一钱 桔梗一钱 当归
 全一钱半

加鲫鱼一大尾、笋尖五钱、芦根二两,去节,元明粉一钱,冲。

据述,元明粉未服。自不知医而执意不服,殊属可嗤。

又,六朝方:进药后,头面先出者饱满,眼封,安睡。舌苔渐退,口唇滋润,内外平静。饱满、色润,外象平也;安睡,舌胎退,口唇润,内象平也。所嫌者,腹稍痛,便仍秘,总由元明粉未遵方服。今因行浆时,却又不使用矣,恐反招傍议。

小生地五钱 羚羊角三钱,镑 小川连六分
 丹皮一钱半,炒 制僵蚕,一名天虫一钱半 皂角
 刺一钱 小青皮一钱 连翘一钱半 川山甲四分,
 炙 肥知母一钱半 人中黄八分 桔梗一钱

加鲫鱼一大尾、麻菇三钱、芦根二两，三味煎汤代水。

又，七朝方：头面浆行半足，顶渐充而根渐附，气血将交之象。下体方有行浆之势，出有先后，应当如此。眼封有泪，所嫌者自己拨开左眼并鼻；所喜者神静安睡、能食、唇润、舌苔十去七八矣。大便未解，仍然腹疼，正在行浆，未便疏泄。如前服余之元明粉，何至于此。

生黄芪一钱半 防风七分 小生地六钱 川连七分 酒炒 羚羊角三钱 镑 连翘一钱半 制僵蚕三钱 桔梗一钱 皂角刺七分 丹皮一钱半 炒 香白芷三分 陈皮一钱 生查肉三钱 人中黄八分
加雄鸡头一个，劈开，芦根一两半，去节，二味煎汤代水。

又，八朝方：头面浆足，人中左右已有渐结糖心者，下部阳物亦然。上下相应，至胸背以下，约有半足之意。能食安睡，唇舌滋润。虽觉口干、腹疼，而大便已有欲解之意，却不足虑。

西党参一钱半 生黄芪一钱半 羚羊角二钱，镑 川连七分 酒炒 制僵蚕三钱 香白芷三分 生查肉二钱 桔梗一钱 肥知母二钱 人中黄八

分 赤芍药一钱半 炒 元参三钱
加鲫鱼一大尾、芦根一两半，二味煎汤代水。

又，九朝方：人中左右、两颧渐有回意，鼻上擦破五六粒，大便六七日未解，清晨解结粪甚多，唇舌俱润，能食，睡卧安宁。

北沙参二钱 生黄芪二钱 丹皮一钱半 炒
地骨皮一钱半 川黄连六分 酒炒 人中黄六分
制蚕二钱 生山查二钱 肥知母一钱半 大麦冬一钱半 元参三钱 新会皮一钱 桔梗一钱

加鲫鱼一大尾、芦根一两，去节。

眼封俱开，却嫌其早。幸自己拨开，尚可原也。或顺痘亦可，如险痘至此眼开非所宜也。正理总以十二朝开眼为是。

又，十朝方：正值回浆，发物宜忌。补脾利水，助其收靨。

觉两目稍疼，究嫌开早之故。

北沙参二钱 山药二钱 炒 生苡仁三钱 丹皮一钱半 炒 桑白皮一钱半 黄芩一钱半 地骨皮一钱半 麦冬一钱半 去心 生甘草五分 陈皮一钱半

加炒糯米百粒，绢包煎，米倒河内。

又,十一朝方:面部俱回,惟头顶及腿足、两手尚未回也。

额与足迟靨者轻,额与足先靨者重。

西党参二钱 制首乌二钱 二原地三钱 茯苓一钱半 薏苡仁三钱,炒 甘草节八分 天花粉一钱 甘菊一钱 广皮白八分
加糯米百粒、荷蒂一枚。

又,十二朝方:面部俱靨,头顶及两腿四肢渐有回意。

音清能食,睡卧安宁,神静气爽,唇舌滋润,佳象也。所嫌者,面上将靨,任意剥落,防其余毒。

西党参二钱 於白术一钱,土炒 山药二钱,炒 茯苓一钱半 二原地二钱 地骨皮一钱半 丹皮一钱半 甘菊一钱 麦门冬一钱半,去心
加灯心三十寸。

又,十三朝方:腰腿四肢渐转靨色,觉周身稍痒。

北沙参二钱 於白术一钱半,炒 茯苓一钱半 苡仁四钱,炒 甘草节八分 金银花一钱半 丹参二钱 贝母一钱半,去心 怀牛膝一钱半
加荷蒂一枚。

又,十四朝方:下半身十靨其六七,唯脚背

心与头顶处尚未靨也。头面结痂,十脱七八,约有大半自剥者。幸痂落有托衣,痂色红润,唇舌滋润,能食安卧。

薏苡仁四钱 炒 山药三钱 炒 茯苓一钱半
半夏曲一钱半 炒 怀牛膝一钱半 甘菊一钱 银
花一钱半 地骨皮一钱半 甘草节八分
加荷蒂一枚。

又,十五朝方:通体俱靨,大便日一次。

玉竹三钱 淮山药三钱 炒 苡仁三钱 炒 茯
神一钱五分 远志一钱半 炒 地骨皮一钱半 银花
一钱半 贝母一钱五分 陈皮一钱

加荷蒂一枚。

又,十六朝方:原方再剂。

十七朝落痂调理:醒后汗多。

用建莲肉、苡仁各三钱 柏子仁、川贝、银
花、茯苓各一钱五分 炙黄芪二钱 陈皮一钱

加红枣四枚。

进五六剂而收全功。

(案 苑) 王月轩次子七岁布痘,并女出痘
治验

王月轩次子,七岁,布痘于嘉庆乙丑三月二

十一日。

初标。

身热两日 ,腹痛喷嚏。两颧花纹过现 ,左颧下有一二点。汗多口干 ,大便三日未解 ,今晨解溏粪些少 ,自觉肛门内有结粪欲解不解 ,时有转失气。虽头疼身热 ,却不壮热 ,神识清爽 ,顺痘之象也。第汗多、体弱 ,不宜过表。

小便色白 ,热邪尚郁。

前胡一钱半 蝉衣一钱 ,去足 荆芥穗一钱半
山查肉三钱 ,炒 桔梗八分 枳壳一钱半 ,炒 牛蒡子一钱 ,炒 生甘草五分

加青葱一枝。

又 ,初朝方 :痘点将放 ,陆续渐增 ,最为妥当。但体弱之痘 ,宜于预为留神。

紫草茸一钱半 荆芥穗一钱半 蝉衣一钱半 ,去足 桔梗一钱 牛蒡子一钱半 ,炒 小青皮一钱 红花八分 连翘一钱半 ,去心 山查炭三钱 生甘草五分

加茅根四钱、生大黄一钱 ,泡服 ,因大便欲解未解。

昨小便清白 ,服此后小便转红色 ,热邪下降。

又 ,两朝方 :头面点粒疏朗 ,口角数粒明润

圆净。手、足、面俱到，惟脚心尚未。腹仍稍痛，大便仍欲解未解。唇舌俱润，舌中稍带黄色。取其神清气爽，饮食睡卧安宁，不足虑也。当拟解表清里，冀其透发。

紫草茸一钱半 地丁一钱 当归尾一钱 桔梗一钱 小青皮一钱 蝉衣一钱，去足 人中黄八分 荆芥一钱半 赤芍药一钱，炒 查炭三钱 生大黄一钱

加茅根四钱、笋尖三钱、元明粉八分，冲。

如未服药前大便已解，即将大黄、元明粉去之。

次日往诊，据云未服药大便已解，腹亦不痛。

又三朝方：痘点将齐，便解痛止，毒火渐松，服药应手，险势已转。

小便仍红且腻，浊气下降。

羚羊角一钱半，镑 丹皮一钱半，炒 全当归一钱 紫草一钱半 江枳壳一钱半，炒 木通七分 小青皮一钱 白芷五分 山查炭三钱 蝉衣一钱，去足 桔梗八分

加芦根五钱，去节，笋尖五钱、麻菇二钱。

又四朝方：服昨药，饮食大进，睡卧安宁，

小便清白，唇舌滋润，微苔渐退。案云：顶白根红，气血将分，宜以活血解毒，望其起胀。

细生地三钱 羚羊角一钱半，镑 黄芩一钱半，炒 红花八分 山查肉三钱，炒 人中黄八分 制蚕一钱 角刺一钱 白通草八分 香白芷五分 陈皮一钱

加鲫鱼一大尾，洗净肠肚，芦根八钱，去节，笋尖五钱、口蘑三钱，四味煎汤代水。

又，五朝方：正值放白行浆之际，宜拟化毒中兼之清凉可也。

因其顺痘，眼却未封。但正值行浆之时，不可因其静坐而弄其笑。勿因眼开而与物戏耍，以致精神不能内固。虽系顺症，亦宜防之。

细生地四钱 羚羊角一钱半，镑 丹皮一钱半，炒 地骨皮一钱半 制僵蚕一钱半 川山甲三分，炙 角刺一钱 生甘草八分 小青皮一钱 块滑石三钱 川芎六分

加鲫鱼一大尾、芦根一两，去节，笋尖五钱。

又，六朝方：因其行浆，故周身稍觉其疼，饮食如常，睡卧安宁，唇舌滋润，顶渐充而根渐附。宜拟托里清火，稍加解毒治之。

头面浆行八九，因其表虚微汗，托而清之。

生黄芪一钱半 防风三分 川黄连四分 陈酒一
滴焙 丹皮一钱半 炒 人中黄八分 连翘一钱半 去
心 制僵蚕二钱 桔梗八分 香白芷四分 查肉三
钱 生 川山甲三分 炙

加雄鸡头一个、芦根一两二钱，去节，煎汤
代水。

又，七朝方：头面渐回，下体尚未充足也。

北沙参二钱 细生地四钱 羚羊角一钱半，
镑 丹皮一钱半，炒 怀牛膝一钱半 黑山栀一钱
半 人中黄八分 滑石三钱 新会皮一钱

加糯米二百粒，生绢袋扎煎。

又，十朝方：进前方两帖，停药一日，通身俱
回，惟脚背尚有几粒未靨。食饮大进，便调睡
安，唇舌滋润，喜笑如常。案云：浆回痘靨，清理
余邪，再为议补。

苡仁五钱，炒 金银花一钱半 土贝母一钱半，
去心 麦冬一钱半，去心 陈皮一钱 甘草节六分
荆芥穗三分 茯苓一钱半

加大南枣四枚，去核，糯米百粒，绢袋扎煎。

服两剂痂落体健，用沙参、黄芪、山药、苡
仁、陈皮、制首乌、二原地、归身，加鸡内金三分，
调补四剂而安。

王月轩女,五岁,四月十九日。

发热三日渐缓,头疼,口稍渴,小便赤,大便溏。案云:身热颧红,痘象也。

羌活一钱 防风一钱 荆芥穗一钱半 生甘草四分 蝉衣一钱半,去足 桔梗五分 江枳壳一钱半 炒 六神曲三钱 炒 赤苓一钱半

加葱白两枚。

初朝方:头面、四肢、胸背痘点俱见,惟右臂背两处攒簇,而面部、胸膛尚属匀净,饮食如常,唇舌滋润,稍有白胎,口微渴,神识清爽。案云:点红色滞,正在放标,速宜解肌,冀其疏透。

前胡一钱半 荆芥穗一钱半 升麻四分 赤芍药一钱 炒 枳壳一钱半 炒 赤茯苓一钱半 红花八分 小青皮八分 蝉衣一钱,去足 桔梗五分 连翘壳一钱半

加元蓼八分、茅根五钱。

两朝方:进昨方,上半夜稍有烦躁,下半夜即安睡,口渴喜饮,却不过渴,唇舌滋润,舌中略带黄苔。昨晚大便结粪一次,今午又一次。案云:点渐增而色亦渐转,拟疏解法,以俟其齐。

紫草茸一钱半 地丁一钱 红花八分 生甘

草五分 牛蒡子一钱半,炒 连翘一钱半 知母一钱半 熟石膏四钱 小青皮一钱 桔梗八分 查肉三钱,炒 荆芥穗一钱半

加茅根五钱、笋尖四钱。

三朝方:诸恙渐减,手足心痘点齐到,饮食如常,大便微溏,小溲色赤。案云:攒簇已松,毒火渐透,治宜清解。

羚羊角一钱半,镑 紫草茸一钱 黄芩一钱半 丹皮一钱半,炒 人中黄五分 牛蒡子一钱半,炒 桔梗八分 连翘一钱半 赤茯苓一钱半

加芦根一两、笋尖五钱。

四朝方:凉血解毒。

细生地五钱 羚羊角一钱半,镑 丹皮一钱半,炒 连翘一钱半 小青皮一钱 制僵蚕一钱半 花粉一钱 桔梗八分 全当归五分 赤芍药一钱,炒 川芎五分

加活水芦根一两二钱,去节,笋尖五钱、鲫鱼一大尾,洗净肠肚,三味煎汤代水。

五朝方:头面先见者浆足,并有一二粒起糖心者。肩背处有半足者,下体亦有未行浆者,并有起胀未透者。眼虽未封而有泪,并不肿。饮食睡卧如常,唇舌滋润。案云:浆水已有半足

者，治须凉血清火，以畅气机。

细生地五钱 川黄连四分 丹皮一钱半 炒
制蚕一钱半 地骨皮一钱半 大麦冬一钱半 去心
滑石二钱 甘草八分 香白芷五分 山查肉三钱，
炒 山梔一钱 炒 青皮八分

加鲫鱼一大尾、芦根一两五钱，去节。

六朝方：浆来充足，点点桃葩杏萼^①，颗颗
玉粒金珠^②。第血热之痘，毒火宜于清透，末后
又须养阴。俾气血归元，方为善治之法。

生黄芪三钱 川黄连四分 连翘一钱半 制
蚕一钱 皂角刺四分 霜桑叶一钱半 陈皮一钱
白芷五分 人中黄六分

加糯米百粒，生绢袋包扎，芦根八钱，去节。

七朝方：面部将靨，下部尚有未回者，宜托
而清之。

西党参二钱 薏苡仁四钱 炒 茯苓一钱半
丹皮一钱半 炒 人中黄五分 白通草八分 生地
三钱 滑石二钱 黑山梔一钱半

加糯米百粒，绢包，灯心三尺。

① 桃葩杏萼：描述痘疮基底部粉红色，顶部黄白色。

② 玉粒金珠：形容痘疮饱满。

服此 ,下部俱回 ,继以养阴。顺痘也 ,至此不服药矣。

(案 勇) 曹宏章子念岁布痘险症治验 (附先大人雨香公论红曲)

曹宏章子 ,年二十岁。

布痘于嘉庆六年二月二十日 ,放标日大便一次 ,故未用大黄。案云 :痘系一朝 ,色滞顶平 ,毒火内郁 ,治宜疏散。

荆芥穗二钱 防风二钱 蝉衣一钱半 ,去足
牛蒡子一钱半 ,炒 连翘壳一钱半 桔梗一钱 青
皮一钱 山查肉三钱 ,生用 红花一钱

加元荜一钱、茅根三钱。

服药后热退。

两朝方 ,案 :色滞顶平 ,脉象虚数 ,毒火未透 ,仍宜升散。

荆芥穗一钱半 防风一钱半 牛蒡子一钱半 ,
炒 蝉衣一钱半 ,去足 连翘壳一钱半 葛根一钱
半 紫草茸三钱 青皮一钱 生山查三钱 红曲三
钱

加芦根三钱、猪尾血半小杯 ,入冰片二厘 ,和匀绞汁 ,冲。

先大人曰：“红曲一物，寓神奇于平淡，用之得法，不啻^①仙丹。故治脾胃营血以及跌打损伤、下痢赤白、产后恶露者，每多取效。”而予于痘症中亦尝用之，取其活血和血，得造化自然之妙也。奈庸工少见多怪，以为“本草”并无治痘之说，妄加诽谤，而主家亦误听其言，直置妙药于无用之地，而予竟不便概用矣。虽然命寄于我，药由我用，岂以俗议而致令红曲受屈也。后于《痘科键》^②中有喜用红曲者，足见红曲之治痘非予一人之偏见，快甚！快甚！八十老人我舟孙廷问识。

三朝方 案：平者渐起，滞者渐活，但脉虚无力，恐行浆时不能充足耳。

羚羊角三钱，镑 丹皮一钱半 桔梗一钱 人中黄一钱 牛蒡子二钱，炒 红花八分 青皮八分 马勃一钱 连翘壳一钱半

加芦根八钱、笋尖五枚，仍用猪尾膏冲。

四朝方：点齐，无别证，只大便三日不解。此系病状，非案也，下仿此。

① 啻(chì 翅)止。

② 《痘科键》明·朱巽撰。

羚羊角三钱 镑 金线重楼二钱 桔梗一钱
 丹皮一钱半 人中黄一钱 牛蒡子二钱 炒 僵蚕
 三钱 炙 地丁二钱 洗 紫草茸三钱 连翘壳一钱半
 加桑芽百粒、芦根一两、笋尖三枚、鲫鱼两
 尾 洗净肠肚。

五朝方 放白行浆。

小川连八分 羚羊角三钱 镑 小生地三钱
 丹皮一钱半 僵蚕三钱 炙 川木通一钱半 人中
 黄一钱 桔梗一钱 角刺一钱 赤芍一钱半
 加桑芽百粒、笋尖三枚、鲫鱼两尾。

六朝方 浆行半足，下身尚未起齐。

小川连一钱 小生地五钱 丹皮二钱 地骨
 皮二钱 怀牛膝一钱半 制僵蚕四钱 桔梗一钱
 白通草八分 生石膏八钱 小青皮一钱

加笋尖三枚、糯米百粒、鲫鱼二尾 药渣倾
 河内。

七朝方，案：正在行浆之际，忽而感冒，
 恶寒发热，补泻两难，思所以治之，防其停浆
 也。

生黄芪皮三钱 鲁豆皮三钱 防风皮一钱半
 丹皮二钱 地骨皮二钱 川黄连一钱 人中黄
 八分 滑石三钱 僵蚕四钱 炒 桔梗一钱

加笋尖三枚、薑菜花^① 八钱 (即薑薑花也) 糯米百粒、鲫鱼二尾 药渣倾河内。

进药后,不寒热,食饮贪,浆亦充足,但无催浆痘耳。

八朝方:

生黄芪二钱 西党参二钱 大生地三钱 山药二钱 炒 小川连一钱 地骨皮二钱 桑白皮一钱半 丹皮二钱 炒 怀牛膝一钱半 生山查一钱半 天花粉一钱半 僵蚕三钱 炒 防风五分

加笋尖三枚、鲫鱼二尾、糯米百粒,药渣倒河内。

九朝方:

生黄芪二钱 西党参二钱 大生地三钱 元参一钱半 粉丹皮一钱半 地骨皮二钱 小川连八分 僵蚕三钱 炒 生山查二钱 怀牛膝一钱半 糯米百粒

加笋尖三个、鲫鱼二尾,药渣倾河内。

十朝方,案 擦破不小心,恐留余毒。

生黄芪一钱半 西党参一钱半 小生地五钱

^① 薑菜花 薑薑花,十字花科一年生或二年生草本油菜的总状花序。

丹皮一钱半 地骨皮二钱 川黄连六分 炒查肉二钱
僵蚕二钱,炒 怀牛膝一钱半 小青皮一钱
黑山栀一钱半

加笋尖二枚、金银花露半杯,冲。

自初朝大便之后,至今未解。

十一朝:头面回靛,粒粒珠结可观。

生苡仁三钱 山药二钱,炒 甘菊花一钱 桑皮一钱半
地骨皮一钱半 丹参三钱 小生地四钱 贝母一钱半,去心
人中黄八分 茯苓一钱半
用金银花露一碗半,代水

至今晨方大便。

十二朝:是夜梦遗,且停清火解毒之剂。

薏苡仁三钱,炒 淮山药三钱,炒 稽豆皮三钱
甘菊一钱 女贞子三钱 制首乌二钱 新会皮一钱
茯苓一钱半

加灯心一团。

服后颇安,继以清火解毒一二帖,再以清补之剂调理收功。

(案 58) 陆森万喘咳复发,气逆不能卧之治验

舅兄陆森万。

喘咳旧疾复发，痰厚，喘急不能卧，心中热闷，却不口渴，喉中水鸡声，脉象沉细而滑，专治痰喘为最耳。

旋覆花三钱，生绢包 代赭石三钱，煨 清阿胶三钱，蛤粉炒 苏梗一钱半 浮海石三钱 广藿梗一钱半 叭哒杏^①三钱，去皮尖

加梨汁半杯，入生姜一小匙冲，白萝卜汁半茶杯，冲。

隔汤炖服。

服后喘咳大减，喉中水鸡声已停，食饮渐进，惟痰仍多，咳至喉间即下，此气弱不能送也。

又，复诊方：

北沙参三钱 清阿胶三钱，蛤粉炒 旋覆花二钱，绢包 茯苓一钱半 代赭石三钱，煨 叭哒杏三钱，去皮尖 熟半夏一钱半 橘红一钱

加梨汁半杯，生姜汁一匙冲，白萝卜汁半杯，冲。

服此喘咳平，痰肯出，食饮贪，且能安睡，继

① 叭哒杏 甜杏仁，又称巴旦杏。

以调脾保肺之剂而痊。

(案 15) 先大人雨香公高年痢疾 ,点滴后重奇验 (附论)

先大人 ,年七十九岁。

于嘉庆乙丑闰六月十六日清晨忽便泄。素体虚寒 ,时值炎热兼多阴雨 ,居处卑湿 ,因旧病腰痛 ,少步多坐 ,虽起居、饮食如常 ,脾气不无壅滞。连泻五六次 ,舌腻胎白 ,不贪饮食。疑是泄泻 ,实如鱼脑冻色白 ,知是痢也 ,却不腹痛。

先大人自用神曲、查肉各三钱 熟附子八分 干姜八分 炙草五分 煨木香八分 加青葱一枝。

服之平平 ,头觉微热。是晚邻又用荆芥、香薷、防风、茅术、泽泻、大腹绒^①、谷芽、查肉辈 ,服之一夜点滴十余次 ,有里急后重之意。

又 ,十七日复诊 :头热退 ,舌苔尖白中黄 ,痢仍如昨 ,昼夜廿余次 ,每解滴点 ,虽不腹痛 ,而里急不及更衣。邻用方于下 :

西党参三钱 熟附子八分 淡干姜一钱 ,炒

① 大腹绒 :大腹皮。外形腹大而扁 ,有长毛绒 故名。

木香八分 生大黄一钱 五谷虫二钱 炙 莱菔子二钱 炒 神曲三钱 炒 炙甘草六分 淡条芩一钱

服之至午后，类鱼冻者成堆，次数减半，约共碗许。申刻方见酱色粪，又碗许。粪多脓少，共约又四五次，夜间约二三次。其里急后重之势略觉减可，舌胎中间亦转淡黄。

又，十八日方：

淡豆豉三钱 焦谷芽三钱 莱菔子三钱 炒 薤白三钱 五谷虫一钱半 炙 生甘草五分 赤茯苓一钱半

先大人以桔梗一钱易赤苓，因肛门尚带下坠也。服之至辰刻，又解淡黄脓粪三次，小便通利，精神觉健，非昨晨可比，食亦渐贪。午后又解一次，适包衙前陈姓延诊甚急，随轿进城，至酉时回家，并未一解。更余方解一次，半软半硬，类鱼冻者固无，即稀粪亦未之见，且多转失气，此肠气之疏通也，亦不下坠。夜间安睡，小便三次，惟舌中淡黄胎究未尽退也。

又，二十二日：清晨微觉后重，又解溏粪二三寸，似乎未尽，而仍有欲解未解之意。少顷又欲解，登圜未及更衣，而成条者三四寸已先解下，仍有欲解不能之象。幸喜无脓，非复痢也，

知其中气虚不能尽送大肠之余垢。邻随拟理中汤加制大黄、木香治之，取其补而兼松，诚对证之良方也。

西党参三钱 焦冬术二钱 淡干姜一钱 炒
炙草八分 制大黄七分 广木香五分 滚水磨冲
服后未解，安然无恙。

二十三日：清晨解正粪三四寸，并转失气，后重之意全无，并无欲解不能之状，与平素相同，快甚！快甚！

其最快者，理中汤中虽加大黄、木香，固无多解，亦无余垢后重之意。妙在理中汤之补气温中，则清浊分而升降灵也，余垢即从正粪中带去。而大黄、木香之功亦寓于此汤中，设无此二味，则昨之余垢后重者，今何即止而安然无恙耶。竹亭（邻）识

（案 圃）文学金藹春右肩胛肉高突数载，灸法奇验

文学金藹春，右肩胛肉高突用灸法治验。

症起于伤寒后，余毒发肿，出脓数日，后渐收口。不觉日渐长大，宛如胡桃略扁，约三四分厚。迩来不时觉痒，疑似虫动。上面之肉形如

螺盖而起云头者,其肉坚硬如石,迄今八九年矣。

于嘉庆十年七月初二日延予治之。细阅此肉,高大坚硬,舍灸法难以除根。因用白艾绒隔蒜灸二三十壮(蒜宜横切,约三分厚),初不觉痛,后渐大痛即停灸。至初五日,灸顶上起一泡,未破,复用大蒜捣烂铺疮上(约三分厚),以艾绒放上灸之,又三十余壮(约两炷香)始知痛时停灸。至初八日灸皮始破,当用家制滴滴金点上,外以膏药盖之,日换一张。内觉疼痛,四围脓水即出。贴至五张,至十三日又换化坚拔毒膏六七张。

至二十日侵晨,细阅疮势,虽有脓水而赘肉并未稍减,犹如生肉圆一般摆在肩上,四边根脚坚固毫无活动之意。因思赘肉数载,如此形状,设非灸法何能去此沉疴,且舍灸法根脚何能活动,而赘肉又何能尽落也。仍用艾绒,不必蒜隔,竟用艾铺赘肉上明火灸之。初灸数壮并不觉痛,后艾绒用至蚕豆大者方知其痛。灸至三十余壮而停,以膏盖之。

二十一日复灸亦不觉大痛,约灸至两炷香始知痛时而停。

二十二日胬肉四边稍有出滋水之象 ,其肉紧缩而小 ,色亦带黑 ,仍灸至两炷香而止。

二十三日胬肉四边浮起大半 ,滋水愈多 ,仍明灸至三十余壮而止。至二十四日 ,膏药揭开 ,胬肉随膏而脱 ,坚硬之极。快哉 ! 快哉 !

连灸四日 ,患者亦无所苦 ,复用拔毒膏贴之。至二十八日 ,用家制紫霞生肌膏贴之。三十日仍以紫霞膏和珍珠散 (即青云散) 调匀搽之 ,外用膏药盖之。待三四日肉长肌平 ,再以珍珠散掺膏药上贴之 ,至八月初十日而完口全瘳矣。

二十二日灸时 ,胬肉内时觉爆声 ,二十三日灸时亦如此。予想胬肉底下经血与好肉相联贯 ,数年来根脚紧固 ,四日间共灸百余壮 ,其中经血相离 ,故有一爆之声。后两日而胬肉脱然落下 ,诚良法也。是以各名家论灸最详 ,诸书具载 ,学者宜深玩^① 之。然勿因灸法之佳而概施之 ,设不应灸而灸之未免有误 ,犹不自责 ,反疑灸法之不善。殊不知非灸之不善也 ,诚识认之未真 ,何必毁古人之良法哉。

① 玩 探究。

(案 圓) 慈溪季良佐后项湿毒数余年 ,用灸法收功

慈溪季良佐 ,后项湿毒有年用灸法治验 ,年四十三岁。

体胖多痰 ,好饮浓茶 ,喜啖厚味。湿毒浸淫 ,近于后项大椎 ,小者如黄豆 ,大者如桂圆核 ,共计十有五粒。滋水淋漓 ,痛痒异常 ,甚者出血或出黄水薄脓。迄今十有余年 ,无分寒夏 ,不时举发 ,冬来更甚。医治有年 ,毫无一效。于嘉庆十三年八月二十一日 ,甫求治于余。余细绎病情 ,兼参色脉 ,知其体肥多痰 ,喜啖厚味 ,好饮浓茶。深悉脾中之湿热素盛 ,胃中之湿痰常存 ,兼挟湿郁之火而上升头顶 ,发为湿毒。穴近太阳膀胱 ,而实关乎脾胃也 ,先以表里双解一法 ,再为善后之谋。

方用 :葱汁炒羌活二钱 葱汁炒防风二钱
藁本一钱 陈酒浸生大黄二钱 酒炒苍耳子一钱
五分 连翘一钱五分

共六味 ,加荷叶一小个托底煎药。

外用家制东里膏 ,以本布^①蘸药搽擦患处。

① 本布 :未经染色的坯布。

服两剂并搽膏后：初剂痛痒渐减，再剂即不觉痛痒。大便日二三行，饮食安卧如常。即于方内去大黄，其余略为增减。再二剂，搽药同前。服之如前安妥，惟项后有大有者一颗如桂圆核者，稍有痛痒。

二十五日：

方用：炒茅术、制半夏、羌活各二钱 厚朴、陈皮、角刺各一钱 藁本、丹皮、连翘各一钱五分
仍用荷叶一小个放罐底，置药于上，河水煎服。

项后一疮如桂圆核者，用家制“一滴金”唾调点疮头，外以膏药护之。其余之小者，仍如前搽之。煎服方系平胃散去甘草，加味治之。因素多湿痰、湿火，不时欲呕，心一烦而项后之疮愈剧。

数年来，他医概以寒凉遏之，疮势益盛，时止时发。火愈凉而湿愈郁，痰得寒而痰愈凝，以致痰湿中阻，脾胃不无大受其累矣，是以痰多而时呕也。然而证见于项后者，又未尝不关乎太阳经也。予初用太阳引经药，先解湿郁，佐酒浸大黄以清头顶之湿毒，最后托以荷叶煎药。合而用之，取其清升浊降，表里双解之法，服后果

然应手。今又以“平胃”加减，治太阳而又治阳明之湿者，治其源也。服四五剂，痰减呕平。项后一大疮，连用“一滴金”照前点之，日出滋水。其次者，于九月初三日用大蒜捣如泥，作薄饼（约三分厚）铺疮上，用艾如黄豆大者放蒜饼上灸之。初灸三四壮觉痒，复换一蒜饼灸之，至三壮觉痛而停。间日再灸之，灸七八壮觉痒，灸至二十壮觉痛而止。连灸数日，右项发际下四五疮共并一块，大如胡桃，肿高半寸。今用艾着肉灸之（明灸法），灸时痛痒交加。灸至廿壮反觉痒甚痛微，再十壮痒少痛多而止。其余之小者俱用东里膏搽之，渐平，无庸灸法。至项后一大者点药后唯出黄水，其疮势不动不变，用大蒜捣饼铺疮上，放艾于饼上灸之，共灸六壮，觉小痛而止。灸至数日，越灸越痒，后亦用艾着肉灸之。灸至十壮，仍觉痒多痛少，再至廿壮，灸圆亦倍于前，如黄豆大者，始不觉痒而小痛，疮边黄水甚多。于是项后两疮分先后灸之，俱不用蒜铺，竟以艾圆着肉灸之。痛则少灸，而艾小如绿豆者。如灸时甚痒则多灸，而艾大如黄豆者，或如皂子大者。灸时不计壮数之多少，总以痒而灸至痛者止。如灸痛疽言，痛而灸至不痛，不

痛而灸至痛是也。依此辨痛痒之轻重,而分艾之大小、壮数之多寡而灸之。灸后果然奇妙,疮之四围滋水不绝,高耸者渐平,坚硬者渐松。后项两疮,一大如核者渐灸渐松,至十月十八日而平。其四五枚并一疮者灸后甚痒,水出无停,逐日灸之,灸至痒减而痛,水少疮软。间日再灸,直灸至艾大如皂子。灸至三四十壮,始觉痒停而痛,水止疮平,外用紫霞膏贴之。两日后,疮中又有微痒出水之象,复灸四五壮而平。再以家制紫霞膏调珍珠生肌粉(即青云散)搽上,膏药盖之。不数日而肉长肌生,至十一月十一日项后之疮俱愈矣。

凡灸法不用蒜铺疮上,只用艾着肉灸之,谓之明灸。凡用火补者勿吹其火,必待从容彻底自灭。灸毕即可用膏贴之,以养火气。若欲报^①者,直待报毕贴之可也。用火泻者可吹其火传其艾,宜于迅速,须待灸疮溃发,然后贴膏。此补泻之法也。其有脉数、躁烦、口干咽痛、面赤火盛、阴虚内热等症,俱不宜灸,反以火助火。不当灸而灸之,灾害立至矣。道光乙酉冬竹亭注。

据述风府穴下,十余年来后项常觉板硬,似乎皮

^① 报 重复。

如夹袋,手摸之犹如中间有物在皮肉,抓之不仁。疮则不时而发,四季中惟夏稍缓,冬则愈甚。发时头面亦有,项后为最。自今灸后,非惟疮平,且自觉皮肉软和灵活,抓之痛痒自知。所最快者,灸时觉背脊左右两边之气上下往来,气脉温和流通,越灸越快。予闻此言颇是,如《灵光赋》云:灸时气下苍苍然如流水之降者,即此谓耳,足征古人语非泛设,此灸法之妙也。至内服煎剂数十帖,自觉胸中舒畅,湿痰止,呕哕平,食增卧安,此服药之妙也。自八月至此,内外调治,通计八十日而安,亦大费苦心矣。竹亭(邻)识

中间所服之药总不外乎“四、六君”、“玉屏风”,佐以轻疏,以清头项之湿热。间用养阴降火之剂,以滋肝肾之阴。内外俱安,继以丸剂调理收功。

大熟地五两 淮山药三两,炒 归身一两半,酒洗 粉丹皮一两半,炒 山萸肉一两半 猪苓一两半 泽泻一两半,盐水炒 砂仁一两二钱 猪脊髓十四条,用羌活五钱、防风五钱煎浓汤,去渣,将汤煮脊髓极烂,捣入前药内 猪项骨五寸,从项下大椎骨起整骨勿劈开,用茅术五钱、青葱二两煎浓汤,去渣,以汤煮骨,用酥涂,炙黄脆,研磨极细入药

上为细末,炼白蜜为丸如小绿豆大。

外用西党参五两 生黄芪二两 防风一两五钱

焦冬术三两 茯苓二两 炙甘草一两 制半夏一两
五钱 新会皮一两五钱

共八味 ,各焙研极细末 ,用荷叶煎汤 ,洒叠为衣。

每服五钱 ,清晨滚水送下。

是方内用蜜丸者 ,即六味地黄丸。以猪苓易茯苓而出入之 ,以固里而入阴 ,兼通督脉 ,直达病所。外用为衣者即六君子合玉屏风散 ,以固表而通阳。合而用之 ,诚表里两固、气血并调之良法也。

连进三料 ,颇为合宜 ,项后原疤并不一发。向来火升无时、口舌常干 ,均若失矣。

(案 圃) 崇明蒋仁圃串痂两载 ,用外灸内托法奇验 (附论)

崇明蒋仁圃 ,年三十三岁。

串痂有年 ,初从足小腿外侧生广疮^①而起 ,渐溃出水。疡科作毒治 ,攻伐太过 ,腹痛便秘 ,疮究未平 ,惟堆沙结盖^② ,盖脱斑黑。未几

① 广疮 杨梅疮 ,即梅毒。

② 堆沙结盖 :假性愈合。

又发 ,抓之水出 ,缠绵不已。药投罔效 ,本元日亏。于嘉庆二十二年冬间 ,头颈始发瘰疬 ,发于右颈 ,相近牙床骨 ,形如龙眼 ,随后又串一疔。于二十三年四月 ,渐自溃烂出脓 ,疮口不合 ,滋水凝结似盖 ,堆满复脱 ,脱后依然如前。两疔俱溃 ,一长一圆 ,长约寸余 ,圆如钱大。今春两疔中间又结一核 ,大如胡桃 ,坚硬不散。更兼屡屡梦泄 ,上腐下遗 ,牵连两载。从外走内 ,由浅入深 ,一转虚损 ,尤难许治。于廿四年四月渡江来吴 ,与门人金书山为友 ,特求治于余。余诊其脉 ,右三部虚软小数 ,左三部虚弦濡小。知其脾肺虚而坎阳不充 ,肝肾亏而相火易动。不此之求而专以疡科套药以治疔 ,非但疔不能除而反节外生枝。然不治疔而概以滋补降火为法则串疔难除。治如之何 ? 曰 :善治者 ,于标本先后缓急轻重之间 ,兼合外内之道以求治 ,庶几毒可清而疔可除也。于是月廿九日 ,先于右臂肩髃穴用葱白捣饼贴穴 ,以艾铺于葱上灸之 ,以泻经中之凝滞。灸数壮 ,觉疼而止。复又于肘后曲池穴中 ,如前法点火于艾上 ,亦灸数壮 ,觉疼而停灸。每间三四日一灸 ,灸至颈核渐渐化松 ,核腐脓薄而停。然亦有不宜灸者 ,全凭望色切脉。

俱无一定规则 ,亦无限定日期也。

病发于颈项而先从肩、肘两穴灸之 ,灸后而颈项之病顿松。灸法之精 ,一言难尽也。

其颈边两疔并小腿一疮 ,俱以家制“一滴金”(即黑云散也)用津唾调匀点上 ,外以膏药护之。逐日如法点换 ,内服养阴固精之剂。数日来 ,上疔下疮俱出脓水。又服归芍六君 ,佐牡蛎、元参、萸肉、远志辈 ,上下两固。疮与疔随用提毒黄云散掺上 ,照前膏护 ,逐日换之 ,俱出稠厚之脓。又数日 ,脓虽有而腐肉不去 ,又用去腐白云散掺上 ,膏盖。其有脓而无坚腐败肉者 ,仍用黄云散如前法 ,内服八珍汤加味。又数日 ,腐肉顿松 ,内有一疔中间起一鱼眼 ,坚硬不移 ,即以三品锭子大如芝麻放鱼眼上 ,膏药盖之。连用二三日 ,鱼眼化松 ,再以去腐白云散掺上 ,膏盖 ,腐肉随去。再掺以提毒黄云散 ,膏盖 ,间佐以隔蒜灸之 ,觉痛而止。内服“归脾”法 ,间以“逍遥”意。外仍用黄云散掺之 ,脓水日减。又数日 ,腐尽脓少 ,即以长肉生肌之药掺入疔中 ,渐自完口而平矣。其小腿广疮始出黑毒水 ,继出厚脓 ,脓去潭深 ,当用家制长肉紫霞膏 ,和红玉散拔毒生肌 ,填入疮中 ,外以膏药贴之。内暂

进六味地黄汤加土茯苓煎服。未数日而肉长肌平，随用青云散（即真珠散）生肌完口而痊，上下疮平。惟两病中间之结核向如胡桃者，仍然坚硬未松，于是用葱白头捣烂作饼贴核上，铺艾绒于葱上，点火灸之。连灸数壮，觉痛而止。再于肩、肘二穴，灸如前法，连灸数日。每灸约四五壮，一换葱饼。初灸数壮觉核中少有刺痛，再灸之反觉其痒。病边滋水淋漓，连灸三十壮而始痛，痛而止其灸。次日复报，仍如前先疼后痒而至痛。直灸至数余日方觉四围滋水渐少，核之坚硬亦渐松软而小，灸之壮数亦少，不过数壮或六七壮，觉痛即止。外用提毒黄云散掺上，膏盖。又数日，候至核化脓少，复灸至四围水无、病平。随用长肉紫霞膏和青云生肌散掺上，膏盖。内服益气养营法。又数余日，渐自肉长肌生，通计百日而愈。

蒋仁圃丸方瘰疬已痊，梦泄有年，其人无子。继以丸剂，以善其后。己卯七月定。

瘰疬一症，所关甚钜，有因湿痰而生者，有因湿火而生者，有因风毒而生者，有因热毒而生者，有从气弱血滞而成者，有从阳虚阴亏而成者，又或从纵欲过度、淫火炽盛而毒火上窜者。

种种情事 ,察脉审证 ,于标本后先、缓急轻重之间而求治 ,斯为尽善 ,岂可执一以应无穷之变哉。是病也 ,色脉合参 ,知其病由下焦阴亏 ,相火与湿毒相缠 ,始于足疮。《易》曰：“震为足 ” ,足属东方木也。继而上炎项侧 ,《书》云：“火曰炎上 ” ,惟木生之相火挟湿毒而上升 ,此瘰疬之所由来也。形如贯珠 ,坚者坚 ,而坚如梅核 ;溃者溃 ,而溃似桃胶。自去春至今 ,一年以来医更数手 ,病日加深 ,脓血相兼 ,亦苦无宁刻矣。自崇游苏 ,遵海而南 ,就治于予。予察脉辨色 ,敢云能治 ?聊尽婆心 ,以报知己。今也疗治三月 ,坚者溃而溃者痊 ,肌完肉长 ,循序结痂而愈。未必良工 ,却有良药 ,亦先生专一诚心之报欤。昔齐侯怠于皮肤之微 ,以致骨髓之痼 ,皆由不专一于医而致斯也。甚矣 !医之难也。今毒解火清 ,病已痊可 ,尚有梦泄之虞。始也治标 ,继也治本 ,亦先后缓急之意耳。第病经有年 ,肾水内亏 ,水不济火 ,水火隔而心肾乖 ,交媾之道不堪回想矣。满拟一阴一阳大化云中之雨 ,谁之三战三北 ,空扬马上之鞭。设不大补真阴 ,何能生生不息。然阴非阳不生 ,阳者气也。气为水母 ,水出高原。生气者肺 ,纳气者肾。补肾不补肺

是母贫而冀子富，源竭而望流长也，必无是理。况右寸虚软，左尺濡小，又显有明征耶。及早图之，商瞿有后，亦何嫌其迟也。

元武胶六两 炒珠 大熟地六两 西党参五两
 山药三两 炒 山萸肉三两 制首乌三两 炙鳖甲
 三两 建莲肉三两 去心 用远志肉二两煎浓汁 去渣 拌蒸
 晒 再拌再晒 以汁尽为度 芡实三两 用金樱子三两 打碎
 去毛 煎浓汁 去渣以汁拌芡实 蒸晒 以汁尽为度 猪脊髓
 七条 临用蒸熟 用广木香一两研极细 和髓捣和入药 猪外
 肾一对 临用蒸熟 用麝香一钱乳细 同外肾捣和入药 再捣和
 匀

上为细末，所制者俱入药捣和极匀，量加炼白蜜为丸如桐子大。每服五钱，清晨淡盐汤送下。

医有案为准，方无论不明。是方以“元武”重镇北方，熟地大壮坎水。水能制火，火不烁金。水能养木，木不侮金。且水足不食母气，不治肺而肺已治，况又有党参以补肺耶。用山药、萸肉者，金水合德。用首乌、鳖甲者，乙癸同源。交水火者建莲，得远志而心肾自媾。固精气者芡实，得金樱而水陆称仙。猪脊取其补髓，猪肾用以达阴。药赋者虑其满中，假木香以运之。

精涩者防其闭窍,藉麝香以疏之。王荆公之妙法也,服之得宜亦何梦之有。至于寡欲节劳,保身者料知自爱,固无烦余之过为叮咛者。

服此丸后,非但梦泄全愈,而且生子有后矣。

(案 圆) 舅兄陆平庄足指肿痛异常,用灸法治验

舅兄陆平庄。

素患湿热下注,足指常带湿痒。适于嘉庆乙丑八月三日,足次指、小指肿痛难忍。余用退毒膏与贴,足指痛缓。两日后,足背肿痛过甚,近于小指,兼之寒热,症类足发。予当用艾绒隔蒜灸二十余壮,其痛始缓。随用葱汁调冲和散敷疮四围,中留灸头。次日灸头发泡,内已有脓。针之厚脓甚多,自觉疮中宽松。当以家制“滴滴金”点上,外以膏护,日换三张,内服托里解毒之剂,稍可步行,非前之足不履地可较也。仍用前药膏护,脓肉随出。又以红云散搽上,外用膏盖,提出稠厚之脓。不三日,脓稀,肉色红活,即以生肌青云散掺上,膏盖。三四日后,肌完肉长而愈。

竹亭医案卷之二

三吴竹亭孙亮揆甫著

侄兰生芳田

庆生景刘

男鹤生青山

凤生茂常 同校

中医古籍珍稀抄本精选（九）

（案员）崇川钱佳修年逾七旬，耳鸣日久，丸方调理

崇川钱佳修，年七十二岁。

耳鸣丸方，乾隆戊申仲秋八日定于紫琅书屋，方案列下：

耳鸣有年，肾元不固，阳气渐涣之征耳。欲求来复，其势诚难，但得稍缓，即已幸矣。其惟调理得宜，而日培根本乎。方用桂附八味丸一料，加灵慈石一两五钱，用西党参、嫩黄芪各六两煎膏代蜜为丸。每服四钱，清晨滚水送下。

服此一料，耳鸣大减。

(案圆) 伯岳陆鉴亭乃孙廷珍痧症治验
陆鉴亭伯岳孙。

头面痧点渐出，遍体隐隐，身热咳嗽，鼻塞
口渴。法宜疏解，避风是嘱。

前胡一钱半 苏子一钱半 炒 牛蒡子一钱半 炒
研 桔梗一钱 蝉衣一钱半 去足 甘草五分 冬桑
叶一钱半 枳壳一钱半 炒

加西河柳五钱、芦根五钱。

服后头面痧点已透，口渴减，身热渐缓。

又，手足痧点将齐，咳嗽痰厚，夜睡渐安，宜
以清解。

荆芥穗一钱半 淡黄芩六分 桔梗一钱 蝉
衣一钱半 去足 川贝母一钱半 去心 薄荷八分 橘
红一钱 甘草五分 元参二钱

加芦根五钱，去节。

服后痧点渐退，咳嗽上气未平，此痰火未清
也。

又，冬桑叶 一钱半 桔梗一钱 黑苏子一钱
半 炒 杏仁三钱 生甘草五分 橘红一钱 赤茯
苓一钱半 知母一钱

加灯心三尺。

服前方汗出身凉,咳缓气平,痰火渐退也。
后以清肺养胃,调理而痊。

(案猿) 洞庭吴寄塘子咳嗽、发痧、咽痛、
口干治验(附论)

洞庭吴寄塘子,十五岁,嘉庆丙寅仲春
身热咳嗽,鼻流清涕,痧点未透,咽痛口干,
胸闷不食,治宜疏解。

凡热起至收完,但看右手一指脉。洪大有力,虽
有别症亦不为害,此定存亡之要诀也。仁端录注。

先大人雨香公亦如斯云。

荆芥穗一钱半 前胡一钱半 杏仁二钱 牛蒡
子一钱半 炒 黑苏子一钱半 炒 桔梗八分 山查
炭三钱 生甘草五分 橘红八分

加西河柳三钱、芦根五钱(去节)。

又,头面痧点渐透,而手足尚未齐也。

前胡一钱半 杏仁二钱 防风一钱半 黑苏子
一钱半 炒 蝉衣一钱半 桔梗八分 枳壳一钱炒
川贝母一钱半,去心 甘草五分

加芦根一两,去节。

凡疹出至二三日,两鼻俱干。待收完,看毒气轻

者,清涕即来,就思饮食,此不必服药。若清涕来迟,不思饮食者,须清肺解毒,候涕出乃弗药。仁端注。

又,痧点齐透,右寸浮数,热势透发,宜以清解。至于恶心不食、烦躁口渴等象理所必然,无足虑也。第须避风,俾毒不致内攻为最也。

痧点之齐,自头至足俱见为齐,若头面愈多尤佳。《痘科键》注。

发透三日而渐没者,轻。

细生地三钱 羚羊角一钱半,镑 前胡一钱半
杏仁二钱 冬桑叶一钱半 川贝母一钱半,去心
桔梗八分 甘草五分 薄荷八分

加活水芦根一两,去节。

服此痧退,诸恙向安,惟少有咳嗽未尽,随用清降肺胃之剂而痊可。

疹后误食鸡鱼鲜物、虾蟹海味等,则终身肌肤粟起,春夏抓痒无宁,遍体皆有,又名痧疮。予曾经验屡屡,惟收野菊花连根茎带花叶晒干,至六月间候痧疮正发时,煎浓汤乘热先熏后洗,洗后避风拭干,颇见奇功。必待四十九日或百日后,方可无忌也。竹亭(邻)识

(案源) 唐凤鸣子痧毒归肺,气喘,声哑,垂危救苏奇验

唐凤鸣子，六岁，丙寅二月二十三日。

点出即收，痧毒归肺。咳嗽声哑，气喘身热，两目无泪，鼻干唇燥。此痧点为风邪所搏，理应提散。医以羚羊角、犀角、生地、连翘、山栀等凉剂，愈遏而痧点尽没，以致款症叠出，难以救治。缘主人勉求，姑拟一方内服，外用洗浴法。

荆芥穗一钱半 防风一钱半 牛蒡子一钱半，
炒 杏仁三钱，研 黑苏子一钱半，炒 橘红八分
生甘草五分 前胡一钱半

加西河柳二钱、芦根二两（去节）煎服。

洗浴方 鲜浮萍八两 西河柳四两 芫荽四两
三味煎汤，乘热先熨头面，次及周身、手足。待稍温，即将药汤放木桶内，将小官放下，头面周身淋洗。洗后避风拭干，幸勿再为风扑，将衣被盖好，不可过遏。

次日求治，据云照法洗浴并服药后，喘咳顿停，夜间安睡，热势亦退，声哑渐清，进粥少许，亦大快事也。是晚适予往木渎看症未回。先大人将原方加减与服，不再浴，而愈。

（案缘）王星池四子出痧，早投寒凉，余毒

归肺治验

王星池四子,五岁。

半月前出时痧,他医早投犀角、羚羊角、石膏辈凉药,以致痧发未透,身热未清,余毒归肺,变为喉腐、声哑等证。三月初九延余诊视,案云:喉腐舌疔,声哑痰稠,痧毒归肺。早为清提,何至此极。姑拟一方,候自裁之。

元参二钱 川贝母一钱,去心 真柿霜五分,
冲 天冬一钱,去心 甘草四分 薄荷头八方 冬
桑叶一钱半

外用马勃散吹喉,舌上用家制红炉雪掺之。

间四五日用山药、苡仁、沙参、元参辈,少佐清肺止嗽之药,外用“红炉雪”,舌疔渐小而平,嗽亦渐停而安。

(案远) 岭南陈洪昌春温,壮热无汗治验
岭南陈洪昌,年三旬,嘉庆丙寅三月二十六日。

头痛,壮热无汗,舌苔白腻,欲呕不食。此风邪夹食,宜发表为先。

羌活二钱 蔓荆子二钱 防风一钱半 制半
夏一钱半 神曲三钱,炒 江枳壳一钱半,炒 陈皮一

钱半 山楂肉三钱 炒

加青葱一枝、生姜八分。

据述服后得微汗，夜间又服一剂汗又来，自觉头不甚痛，壮热稍缓，周身松爽。

又二十七日诊：解表退热，兼理中宫。

荆芥穗一钱半 防风一钱半 淡豆豉三钱 槟榔一钱半 熟半夏一钱半 赤苓一钱半 焦谷芽三钱 白蔻仁七分（研）

加青葱一枝。

服后身热退其七八，舌之腻白浮而松，边如粉皮色。口不渴，惟小溲短赤。

又二十八日诊：专理中宫，余邪自退，痰食自消。

老苏梗一钱半 瓜蒌仁二钱 熟半夏一钱半 陈皮一钱半 广藿香一钱半 白蔻仁六分（研） 大麦芽三钱（炒） 枳壳一钱半 黑山栀一钱半

加鸡内金一钱，炙黄。

服后痰少胸宽，身热退，舌中微黄，小溲仍赤，口干不渴，拟清胃调中法。二十九日方列下：

鲜石斛三钱 广藿香一钱半 半夏曲一钱半，炒 陈皮一钱 赤茯苓一钱半 砂仁壳一钱 焦谷

芽三钱 甘草四分

服两帖口干减，小溲色淡，惟食饮未贪。

四月初二日：原方去赤苓，换生谷芽四钱，加麦芽、麦冬、黑山栀。服之食进胃和而痊。

（案苑） 祁万程患巅顶痛、鼻塞、目眶疼治
验

祁万程，年四十六岁，丙寅季夏。

患巅顶痛、鼻塞、目眶疼、齿浮痛。病经一月，诸治不应，乃求治于余。余细按脉象，右寸关浮缓，左尺浮小，知其足太阳受邪而兼乎肺胃，上通巅顶。问其至早远行否？答曰：“缘船务事每每天明早行，自觉为此而得疾，先生何见之神也！”曰：“非神也，凭之于脉耳。”

藁本二钱 防风一钱半 薄荷头一钱 香白芷八分 甘菊一钱半 川芎七分 生甘草五分

加鲜荷叶一小个。

服两剂，巅顶之痛十去其五，即目眶、鼻塞、齿浮痛等俱亦减矣。

两日后复诊：原方去白芷、甘草，加生鳖甲、钩藤钩、白芍。

再两剂，诸证若失，惟耳内稍如针刺。方用细生地、鳖甲、元参各三钱，薄荷一钱，白芍一钱半，川芎六分，柴胡三分，鲜荷叶一小个，服之全愈。

(案愿) 程嘉佑自幼胎疝，不时举发治验程嘉佑，年逾三旬。

自幼疝气，本属胎传，未必除根，信真调治，尚可得效。

小茴香一钱半，盐水炒，川楝肉一钱半，盐水炒，橘核三钱，柴胡五分，小青皮一钱半，山楂核三钱。

又，复诊方：病疝有年，或感寒，或劳力愈加坠痛，气虚可知。调治全在未发之先，临时煎剂须随机变动，不可执一方以为法也。

西党参三钱，生黄芪三钱，防风一钱，焦冬术一钱半，小茴香一钱半，盐水炒，川楝肉二钱，盐水炒，当归一钱半，广木香八分，元胡索一钱半，炙甘草五分。

加荔枝壳两个，用荷叶揉软填入，线扎。

前两方系乙丑秋先君子诊定，据述服后颇属对证。今于丙寅孟秋疝发，复求治于予，方案列下：

疝痛偏左，静养调摄，服药勿懈。

川楝肉二钱，盐水炒 元胡索一钱半 小茴香一钱半，盐水炒 独活一钱 小青皮一钱 淡茺萸二分 生山栀八分

加荷叶一小个。

又，复诊方 进前方两帖，胎疝坠痛稍减。

西党参三钱 川楝肉二钱，盐水炒 小茴香一钱半，盐水炒 木香七分，切片 小青皮八分 薏苡仁四钱，炒 台乌药一钱

加荔枝壳两个，内填揉莩荷叶，以线扎同煎。

此方服五剂，疝痛大减。

又，复诊方：

西党参三钱 制首乌三钱 制香附三钱 柴胡三分，蜜炙 小茴香一钱半 广木香七分 川楝肉一钱半 青皮八分 淡茺萸二分

加荔枝壳两枚，内填荷叶，线扎。

服此五剂，疝痛全愈。据述每发辜丸疼痛上攻，今已归肾囊，昨步行念里并不觉疼。

(案怨) 花山潘良臣病后疝发屡复治验
花山潘良臣，年近四旬，丙寅八月。

病后体虚 ,继以疔疾愈而复发。疔之虚者也 ,况两关虚数而弦 ,更显有明征耶。

制首乌三钱 炙鳖甲三钱 黄芩一钱半 ,酒炒
知母一钱半 熟半夏一钱半 鳖血炒柴胡三分
青皮一钱 甘草五分 西党参二钱
加生姜五分、黑大枣两枚 ,去核。

服两帖 ,疔至寒热减半 ,竟不觉其热重。

又 ,复诊方 :

西党参三钱 生冬术一钱半 茯苓一钱半 炙
甘草五分 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 黄芩一钱
半 ,酒炒 青蒿子一钱半 鳖血炒柴胡二分 生蛤
壳三钱 ,因虚火咳呛而佐之

加生姜五分、黑大枣两枚 ,去核。

服两剂 ,疔止。

又 ,复诊 :原方去冬术、黄芩、青蒿、柴胡 ,加
山药、建莲、广皮 ,调理而痊。

(案 癩) 舅兄陆平庄足肿疼痛 ,不能屈伸 ,用灸法奇验

舅兄陆平庄。

寒热两日后 ,足胫疼痛 ,穴近三阴交 ,属足太阴脾经 ,在足内踝 ,除踝三寸 ,骨下陷中。皮

色微红,稍肿,痛甚,不能屈伸,亦不能垂下。

《千金》云:“筋骨挛痛,灸三阴交五十壮。”予隔蒜灸约六十余壮方知痛,即停灸以膏药盖之。隔一日即能屈伸,痛减七八,唯垂下仍稍痠疼,足外踝亦觉漫肿。

予用青葱四两、生姜三两、大皂角三挺、白芷三钱,四味切碎,以酒醋各一碗、河水三碗和匀煎浓,置桶内先熏后洗,避风。随用家制冲和、霞城两散以陈酒炖热,调敷足外踝肿处,外用纸盖、绢扎。其内踝三阴交之灸处,仍以退毒膏盖之。三日后全愈。

此症疮发肢末气血罕到之所,得予灸后疼痛、屈伸顿平。灸之利人,笔难尽述。设是疮若经疡科之手,待其敷贴提脓开刀,受尽痛苦,竟是收功未必如予之三日而全愈。

灸用大蒜横切,约切三分厚。放疮顶,用艾绒铺于蒜上点火灸之。此处艾可用黄豆大,或大或小看毒之浅深而增减之,无一定之规则也。

(案 癩) 徽歙罗用修脾虚肢肿、呃忒,几成中满治验

徽歙罗用修,年六十二岁,嘉庆丙寅九月二

十四日

脾虚之证 ,医作湿热治 ,治不中窾^① ,延绵两月 ,始求余诊。案云 :脾土久亏 ,四肢浮肿 ,食入则呃。固中气之不足 ,亦脾阳之不运也。

西党参三钱 黄芪皮二钱 防风皮一钱五分
白芍一钱半 炒 茯苓皮一钱半 新会皮一钱半 当
归身一钱半 木瓜一钱半 茅山术一钱半 炒 制香
附二钱

加母丁香二只、柿蒂两只。

服两帖 ,四肢肿退十之五 ,呃亦稍减。

二十六日 :原方去香附、木瓜 ,加制半夏、猪苓、白通草。再两剂 ,肿自膝退至足跗 ,两手腕背之肿又减。

复诊 :据述因四肢浮肿俱渐退 ,停药半月 ,食减呃增 ,兼多涎痰。诊其脉 ,两关弦硬 ,肺脉短促。固属戊土壅滞 ,亦关卯木横冲 ,大非所宜 ,当静养调摄 ,以免变迁。议“四君子”合“左金”意。

西党参四钱 於白术一钱半 ,炒 茯苓一钱半
炙草四分 淡茱萸一分半 生山栀一钱二分

① 窾(kuǎn 款)空处、要害部。

沉香五分 切片

加旧铁器两许同煎。

服两剂 呃忒稍缓。

又 胃土久虚 木挟相火直冲清道 此哕之所由来耶。先治其标 再为治本。议《金匱》橘皮竹茹汤法。

西党参四钱 大南枣五枚 去核 竹茹一钱
 陈皮一钱二分 炙甘草五分 制半夏一钱半 赤苓
 一钱半 山梔一钱二分 淡茱萸二分

加生姜八分。

服此一剂 午前食入时固未呃 晚间食入亦未呃 惟觉胸前少有阻碍耳。

《金匱》橘皮竹茹汤治呃逆 系橘皮、竹茹、姜、枣、参、草六味 后人加半夏、麦冬、赤苓、枇杷叶亦名其汤。

《内经》所谓哕者 即呃逆也。成无己、许学士亦以哕为呃逆也。《经》云：“胃气逆为哕”，哕者即呃也。人之阴气依胃为养 胃土伤损则木气侮之 此土败木贼也。阴为火所乘 不得内守 木挟相火乘之 故直冲清道而上为呃逆。然呃之来非止此也 亦有虚实、寒热、表里之不同 未可一概论之 临时切脉审证可也。

又 哕虽停而两关尚嫌弦硬 仍拟《金匱》橘皮竹茹汤合代赭旋覆汤出入之。

西党参四钱 淮山药三钱,炒 南枣五枚,去核
竹茹一钱五分 炙甘草五分 旋覆花一钱半,生
绢包 橘皮二钱 茯苓一钱半 代赭石二钱半,煨

加生姜八分、水二钟煎一钟服。

服后早晚食入俱不呃,胸前亦不觉阻碍,饮食喜进。后以脾肾双补法调理收功。

(案 圆) 休邑胡慎修背心痠疼,三载沉痾
治验

休邑胡慎修,年三十五岁,丙寅十月诊。

案云:背心痠疼,三载沉痾,苦无宁刻。君以病试医,医以药试病。试之久而未能一效者,究未得其窍耳。予岂尚医,敢曰能治。就脉论之,右寸关沉滑而细,湿痰为患。其所以治痰之法,又在乎用药者。拟胃苓汤法。

茅山术一钱五分,用葱汁拌炒 厚朴一钱半,姜
制 制冬术一钱半 茯苓一钱半 制半夏三钱 陈
皮一钱 炙甘草五分 猪苓一钱半 上肉桂五分,去
粗皮 泽泻一钱半

加猪脊髓一条。

服两剂,肩背痠疼稍缓。

复诊 细述病情,每逢节期或阴天则背心痠

疼愈甚，每日寅、卯时痠疼且胀更增。三年来朝朝如是，必得腹中作泻方缓，足征湿痰内郁。逢节期而重者，邪正交攻也。遇天阴而甚者，湿得阴而愈郁也。郁之极而下注大肠为泄泻，一泻而湿去，背心之痠胀渐减。不久又甚者，究未拔去病根也。再每日寅、卯时疼胀必增者，盖湿痰已久，脾肺自虚，土虚金弱，木无所畏而反来侮土乘金。木生于亥而旺于卯，故至时而背心之疼胀愈增也。余之所谓脾、肺二经之湿痰内郁者无疑。

焦冬术三钱 茅山术一钱半 葱汁炒 秦艽二钱
羌活一钱半 熟附子一钱二分 制半夏三钱 防风
一钱半 当归一钱半 宣木瓜二钱 制香附三钱
加猪脊髓三条。

外用熨方：

青葱五两 生姜五两 大皂角三挺 蚕沙一两
半 独活二两 红花一两 陈香椽二两 川椒五钱

上八味用滴醋、陈酒各一斤和匀煎药，以棉布浸透，乘热熨背心疼胀处，冷则易。日数次，熨时避风为最，熨后亦然。

服前方两剂并熨后，觉背心疼胀俱减十之五。

复诊方：

生黄芪三钱 焦冬术二钱 防风一钱半 秦
艽二钱 熟附子一钱二分 制香附三钱 猪苓一钱
半 半夏二钱 制 虎项骨三钱(炙)

加大青葱管尖五寸,内填去油乳香一钱,线
扎同煎。

服后如前安妥,因往乡收帐,药停半月,背
心之疼胀未增,而肩背及腰间俱觉痠疼,亦因停
药之故耳。

复诊方：

防风一钱半 葱汁炒 独活一钱 稽豆皮三钱 酒
炒 杜仲三钱 生姜汁炒 秦艽一钱半 半夏二钱,
炒 熟附子一钱半 冬术三钱 生 猪苓一钱半 泽
泻一钱半

服后,仍将前熨方再如前煎熨之。

服两剂并熨后,腰背之疼大减。

复诊方：

生黄芪三钱 生冬术三钱 茅术一钱半 炒
干姜一钱 制半夏二钱 川桂枝一钱半 猪苓一钱
半 茯苓一钱半 泽泻一钱半

服三剂,背心痠疼十去六七。

丸方:证脉合参,痠疼每见三椎,肺穴攸关,

而揆其源则受累于脾土者居多。盖土虚则生湿成痰，痰湿交阻，脾阳不运而肺金愈弱。外则易于冒风，内则痰凝湿郁，故不时背心痠疼，波及肩臂、腰脊也。虽非疾痛害事，而三载沉痾亦苦无宁刻矣。服予煎剂病减大半，继之以丸，自尔痊可。

西党参四两 生黄芪三两 焦冬术三两 防风三两 制半夏二两 熟附子一两 生香附三两，酒炒 炮姜一两 全当归一两半，酒洗 炙甘草一两半 猪苓一两半 泽泻一两半 猪脊骨自头下大椎约用五寸长，蜜水涂，炙脆存性，磨研粉 建莲肉五两，去心，用猪脊髓七条酒煮，蒸、晒七次 杜仲三两，用生姜汁拌炒，研末。另用大猪腰子一对，去内膜，填杜仲末于内，线扎，酒煮熟。饭上再蒸、晒七次，捣和前药内

上为细末，炼白蜜和丸如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

三椎痠疼，迄今三载。用猪大椎以下背脊骨五寸者以作引导之使，颇有取意。

(案员) 休邑孙馨远右目红肿，内如针刺
治验

休邑孙馨远。

右目红肿 ,半月来微有薄翳 ,目内常如针刺 ,不时泪出 ,见风则泪尤甚。

案云 :目红且胀 ,常如针刺 ,阳邪内郁。胀而多泪 ,风自火出。治在轻清。

荆芥穗一钱半 甘菊二钱 薄荷头一钱 青皮一钱 桑白皮一钱半 钩藤五钱 后入 细生地三钱

加青葱管五寸。

外用熏目法 :

川黄柏三钱 红枣五枚 胆矾一分 柴胡一钱 四味煎汤熏眼 ,候温淋洗 ,洗后避风。

服前方并熏后 ,目之红者十退其八 ,胀泪俱减 ,惟夜来目内仍稍有针刺之意 ,而浮翳却退。

复诊 :原方去荆芥、钩藤钩 ,加赤芍 ;外仍用前方熏洗 ,两日全愈。

(案 108) 内侄陆玉符风疹有年 ,举发无时 治验 (附膏方)

内侄陆玉符 ,年十八岁 ,丙寅冬。

风疹八载 ,不时举发 ,发则肤热燥痒 ,色红块现 ,头面遍身以及手足俱有 ,甚至小腹脘痛 ,脉象浮弦 ,治宜凉血疏风。

小生地四钱 粉丹皮一钱半 酒炒 当归一钱
 半 赤芍一钱半 炒 苍耳子一钱半 酒炒 秦艽一钱
 半 防风一钱半

加白蒺藜四钱。

服两剂，风疹退其八九，皮肤亦不燥热。

复诊方：

小生地四钱 牡丹皮一钱半 炒 当归一钱
 半 赤芍一钱半 炒 制首乌三钱 苍耳子一钱半，
 炒 香附三钱 炒

服前方三剂，风疹全退。

又，膏滋方 脉右寸虚浮，左关、尺虚濡。卫气不固则易于冒风，营血不充则血热生风。外风与内风相召，肤热痛痒，风疹随起。所谓风独不利于血热之人者，良有以也。治宜固表养血，血行风自灭。

生黄芪四两 制冬术三两 防风二两 大生地五两 元武板五两 炙 制首乌四两 丹皮二两，炒 黄明胶六两 熔化 白蒺藜二两，去刺，酒炒 苍耳子二两，酒炒 当归二两 荆芥穗二两 制香附三两 白芍药二两 炒

上药十四味，内黄明胶待膏将成时敲碎同煎熔化。其法用长流水如法煎膏，收膏时量加

炼白蜜和匀，磁器收贮。每晨用五六钱，少加滚水调和，隔汤炖服。

此方据述服二三料，风疹全瘥，多年未发。庚午秋复定膏方，记后八十五页内，可检阅。

(案 53) 予于仲冬冒风，咳嗽频甚，一剂全安

前胡一钱半 防风一钱半 杏仁三钱，研 苏子一钱半，炒 桔梗八分 冬桑叶一钱半 橘红八分 甘草五分

加青葱一枝。

(案 54) 广东林茂怀下部广疮，头角结毒，灸法奇验

广东林茂怀。

下疳腐溃，兼之胯腿毒疮，遍治罔效，于嘉庆丙寅季冬求治于余。

余色脉合参，用清火解毒之剂，兼服五宝丹一分，以土茯苓汤调送，日三次。

外之腐溃处用家制青云散和紫霞膏搽之，不数日而痊可。

惟头右角发际内一疮如桂圆大者，滋水淋

漓，痛痒异常，迄今两月，遍治无功。以药掺上，少顷结盖，次日疮内仍然极痒，抓之黄黏滋水甚多，结盖仍随滋水而脱，毫不建绩。予于丁卯正月初八日，用大蒜捣烂贴疮上，加艾如黄豆大者灸至七壮，觉痛而止。至初十日复如前灸，始痒后痛，亦七壮而止。十一日亦如前灸，灸三四壮觉痒，滋水拔出，又灸至九壮觉痛而停。十二日，灸至五壮而知痛。十三日不用蒜，以艾铺于疮上明灸三壮，滋水少，痒亦减。十四日又隔蒜灸五壮，疮盖结硬，痒止、水无。十五日疮根已脱，取下硬盖如钱大，厚约三分，新肉已平。当用珍珠散掺上，于十八日全愈，诸恙向安。一应滋水淋漓，久远恶疮，诸药不能奏功者，惟灸法最妙，予屡验之。

(案灸) 岭南黄朝泗咽痛口干，虚火上炎
治验

岭南黄朝泗。

左关、尺虚数，虚火上炎，发为咽痛、口干，治宜益阴降火。

小生地三钱 元参二钱 麦冬一钱，去心 贝母一钱半 生甘草六分 女贞子三钱

加入中白三分，冲。
服两帖，全愈。

（案 愿） 南海董璞开种子丸方，详论阴阳善后之法

岭南董璞开，家南海，客吴门。

一日自广来吴友人传以种子壮阳之方，并送其鹿茎、驴茎、狗茎三物，配合前方浸酒常服，酌之于余。余细阅来方，用参、芪、归、地、杜仲、川断、首乌、黄精、苡蓉、巴戟、仙茅、淫羊藿、覆盆子、骨碎补、破故纸、菟丝子、狗脊、杞子、牛膝、黑枣等。此广人纵欲之方也，虽有参、芪、归、地辈之补，而其间纯热兴阳助火之燥药颇伙。不惟无益有损，且阴亏之人服此未有不从兹丧生者。即阳虚阴弱者，亦非所宜也，余特阻其断不可服。盖阴阳之道，阳密乃固，两者不和，如春无秋，如冬无夏。故圣人于男女之际，其交会之法度不过，使阳气秘密乃得坚固不泄耳。然而阴阳贵相和，有春无秋是无阴也，有冬无夏是无阳也。所以圣人但调其偏以归和同，允为交会之法度而已，何可偏也。因坚请代处一方，仍欲将前三物配合浸酒之法，因用阴阳两

平之药以应之，即经文“阴平阳秘”之旨也。况脉右软小乏力，左脉濡虚，又显有明征耶。

西党参三两 炙黄芪二两 於白术一两 土炒归身一两 制首乌二两 大熟地三两 元武胶一两 烱化酒内 茯苓一两 女贞子一两半 山萸肉一两 炙甘草一两 陈皮一两 上肉桂五钱 去粗皮 破故纸一两 炒 胡桃肉二两 鹿茎一具 切片炙 驴茎一具 切片炙 狗茎一具 切片炙

上药十八味，用无灰福珍酒二十五斤瓦坛盛贮，将前药入生绢袋内，离袋口三四寸线缝其口，其龟胶先烱酒内，密封其口。此药宜秋冬开饮，秋日约浸半月后即可开饮，冬日浸廿余日可也。斟酌量饮，服之有时。

凡药渍酒皆须细切，生绢袋盛，入酒密封。随寒暑日数漉出滓，可暴燥、微捣、更渍，亦可为散服。注李时珍《纲目》。

（案 疑）文学叶芳林喘哮症，感冒随发治验文学叶芳林。

素有喘哮症，丁卯四月自翔来吴，途中冒风，气逆痰多，喘而兼胀，肺胃不舒。

方用二陈汤加苏梗、藿梗、砂仁壳、大腹绒、

银杏二十粒 ,去心衣同煎。

服四剂 ,气平痰减 ,胀缓大半。

复诊 :原方加淡干姜一钱 ,再二剂而痊。

(案 國) 孙馨远火升时饥 ,几成中消奇验
(先君子雨香公论治注识)

余先君子于嘉庆丙寅三月初六日治休邑孙馨远 ,年六十岁。

于去年季冬十八日 ,因多走过饥 ,途中食面过饱。两三日即觉腹中胀闷 ,以后不时觉饥 ,饥则食 ,食则安。至今春不时饥极 ,甚则右胁火升且痛 ,火升则脱衣去帽 ,如此则胃中之饥更甚 ,必得食入即缓 ,食后又饥。至晚睡时亦必先食 ,睡后方安 ,否则胁痛火升 ,饥不待食。他医因初起过饱胀闷妄投攻伐 ,以致病日加深 ,几成中消。

方用 :

向阳壁土二两 煎汤澄清 ,代水煎汤 小川黄连八分
淡茱萸三分

服后火势稍缓 ,欲食之意亦不过急 ,右胁之痛亦渐松。用黄土遏火 ,甚得其法。

又 ,初八日复诊 :是日因李旭如之内产后恶

血上冲，延先君子出关往诊未回，就治于予。予悉照前方加四君子汤，佐鲜石斛，仍用黄土水煎服。

服两剂，火升、多食俱减大半。竹亭孙采邻注

又，十一日复诊：先君子定方列下：

西党参三钱 淮山药三钱 炒 芡实三钱 炒
炙甘草五分 建莲肉三钱 去心 淡茺萸一分 黄
连六分 泽泻一钱半 鲜石斛五钱

加向阳土二两，照前法煎。

服此三剂，右胁之火不上升，饮食亦渐如常。

又，十四日复诊方：

西党参三钱 炙黄芪二钱 茯苓一钱半 炙
甘草五分 川黄连六分 姜汁浸炒 淡茺萸一分 石
斛五钱 西瓜子二两 不落水

仍用向阳土二两煎汤代水。

服此火平，饮食如常。随用六君子汤加炮姜、黑山栀，水泛为丸。每服五钱，调治收功。据云：病经四月，几无宁刻，医药罔效，苦难尽述。夜间更苦于白昼，必得多食方能就寝。否则火升，腹饥刻不待时，食饱方安。今服余药数剂，病即全愈，称为神手。曰：“非神也，理也，焉

有理明而药不效者乎。”岁在丙寅十一年三月十四日，八十老人雨香孙廷问（我舟）识。

（案 圆） 陕西胡芬若阴亏阳弱，肝阳上升
治验

陕西胡芬若，年逾六旬，丙寅仲春，客吴门。

细绎病情：素体阴亏阳弱，肝阳上升，头目眩晕，腰重，手足麻木，大便燥结每四五日方解，小便多而且长，四肢倦怠，已非一日，其眩晕、麻木俱是新添。

细审眼不黑暗，非眩也。视物不转，非晕也。病人之言，岂可轻信。——竹亭自识

元武板五钱 炙 炙鳖甲四钱 制首乌三钱
白芍二钱 炒 西党参一钱半 羚羊角一钱半 镑
明天麻二钱 煨 川芎八分 防风皮一钱半 全当
归三钱

加竹沥五钱，冲、生姜汁一匙，冲。

服两帖，麻木渐减，原方去防风皮。再两剂又减，大便稍润，阴血渐滋，阳气未充，再议后法。

又，复诊方：脾阳不能四达，中州运用不灵，法宜温中。用附子理中汤加熟半夏、新会皮、黑

大枣为引。进两剂阳气渐回 ,身不觉冷 ,四肢之软渐自有力。

又 ,复诊方 :用香砂六君子汤加熟附子、淡干姜、桂圆。服两帖后 ,两手觉能握而两足尚未大有力也。

又 ,复诊方 :用党参、黄精、山药、萸肉、杜仲、续断、怀牛膝、破故纸、胡桃肉、砂仁辈 ,引以大南枣两枚去核净肉。

服两剂 ,麻木大减。原方再二剂 ,手臂渐渐有力 ,惟两足稍软 ,腰以下尚乏力 ,饮食如常。

五日后 ,原方去黄精、牛膝 ,加归身、枸杞、鹿筋切片先煎。

服十剂 ,调理全瘳。

(案 圆) 王浩然心神不靖 ,火起痰升 ,语言错乱治法

王浩然 ,南通州三角沙人 ,年三十一岁 ,丙寅季春。

病起三载 ,药饵乱投。案云 :心神不靖 ,总由肾阴之亏 ,火一起而痰升 ,语言错乱 ,半昧半明 ,时发时止 ,不治则大累在后。

生藕一大索 ,切去盖头一寸 ,用大生地浸胖捣汁灌入藕

孔内,填满则以原盖合定竹签插牢,入后药,煮两个时辰服之 茯神三钱 元武板八钱,炙 远志肉二钱 牡蛎粉五钱

入前藕,用河水六七碗同煎至两碗,分早晚服。服十剂,其煮熟之药藕,空心乘热食之可也。

(案 圓) 泾县胡仲机黄疸有年,自误病剧,详论治法

泾县胡仲机,客槎溪,年近六旬。

黄疸症自嘉庆戊辰六月由疟疾而起,疟发未几,渐自身目俱黄,溲赤短少。自精于医,随服利湿等剂似觉稍缓。适因要事他往,舟次^①未便服药,以后劳役辛苦,不避风霜,常常远行,黄疸日增。遍访名医,惟用清热利湿者居多。缠绵两载,病日加深,甚至肌体消削(较之平常十削其六七),而肌肉面目仍黄。迩来两足微肿至膝,朝轻暮重,日中溲赤短少,夜半方增。现有用四苓散加苡仁、木通、茵陈辈者,据述如此等药服之甚伙,不过如是。亦间有用温补而兼

① 舟次:停留在船上,坐船。

利湿，偶服之亦未见效。

今于庚午五月二十七日买舟就治于余。余细审病原，再望其色黄乃熏黄晦色，非明黄娇亮可比，即此可知其为阴黄而非阳黄也，明矣。既知阴黄，则知其脏、在里，而不在腑、在表，益明矣。再切其脉，左脉弦硬，尺则稍涩，右寸、关虚而细，尺则浮而无力，知其病关脾肺，波及肝肾，于此求治，或可图维。疏方于后，属服十剂，再为斟酌。第乔居槎溪，即日解缆，数百里之遥，服毕之后究不知能从予治否？中无阻隔，竭力调治则幸矣。

案云：色脉合参，脾阳不运，肝肾有亏，此黄疸、溲赤之所由来也。但疸经两载，概以治疸套药清热利湿，攻伐太过，恐脾土败而肾阳亏。中满之变，虽“长沙”复起亦无如之何矣。为今之计，宗经旨虚则补母，俾中宫之脾阳得以运动，则肺之元气旺，而能通调水道、下输膀胱，庶肾水不致凌土，肝木不致侮脾，不治黄而黄自退矣，何必枝枝节节而求之。

于是以理中汤加广木香，陈仓米一合煎数滚去米代水煎药，午后服。清晨用桂附八味丸，每服三钱，开水送下。

辛未春 ,适仲翁令嗣来吴。据述服予方两剂 ,似觉安妥。偶因冒风又自服疏散药 ,已后竟未服予方。复延他医 ,服药不过如斯 ,仍自立方 ,亦不见功 ,延至深秋而逝。甚矣 !明于斯道者 ,尚不识自病之由 ,况昧者乎。

(案 圓原) 内侄陆玉符风疹 ,服前膏颇妙 ,复诊再定膏方

内侄陆玉符膏方。

素有风疹 ,每发必腹痛 ,服余嘉庆丙寅年膏滋方颇合。今停药已久 ,而风疹偶发 ,来势甚轻 ,不过一潮即止 ,非向之发时坐卧不安可较也。

今于庚午九月五日复诊 ,案云 :证脉合参 ,肝阴有亏 ,肾水不足 ,此风疹之所以有年也。宜以壮水以滋木 ,养血以润燥 ,而补气之品亦不可少也。益气有生血之能 ,血无扶气之力也 ,是又在乎用药者。丙寅冬所定膏方记前七十四页内 ,可查阅。

西党参五两 生黄芪四两 大熟地六两 当归二两 ,酒洗 炙鳖甲五两 黄明胶六两 白蒺藜二两 ,酒炒 丹皮二两 ,酒炒 木瓜二两 云茯苓二

两 炙甘草一两半 陈皮一两半

上药如常法煎膏，每服五钱，清晨隔汤炖服。如膏厚，稍和开水调服。此膏服后，风疹未发。

(案 圆) 休邑项鸣球乃弟寒热无期，暑湿内蕴治验

休邑项鸣球乃弟，七月下浣。

寒热无期，舌白苔腻。乃暑湿内蕴，法宜清暑、却湿、和胃。

香薷一钱半 淡豆豉三钱 白蔻仁五分 神曲三钱(炒) 熟半夏一钱半 广藿香一钱半 块滑石三钱 甘草五分

加鸡内金一钱半，炙。

服两帖寒热顿退，惟早上口苦，食饮未贪。

复诊用鲜石斛、谷芽、藿香、半夏曲、陈皮、滑石、甘草辈和胃清火，两剂而愈。

(案 圆) 詹芝山暑湿交阻，身热泄泻、腹痛治验

詹芝山。

暑湿交阻，身热有汗，吐泻并作，腹痛溲短，议和中法。

香茹一钱半 半夏曲一钱半 炒 藿香一钱半
木香五分 赤茯苓二钱 块滑石三钱 甘草五分
石斛三钱

加西瓜翠一两。

服此两帖 ,热退 ,吐泻停 ,而小腹尚痛。原方去香茹、石斛、西瓜翠 ,加乌药、焦谷芽、鸡内金。两剂而安。

(案 圆) 舅兄陆古堂次郎自幼鼻中浓涕常流治法

舅兄陆古堂次郎 ,庚午九月 ,年十四岁。

鼻中常流浓涕 ,自幼如此 ,已四五年矣。案云 浊涕有年 ,右寸虚数 ,肺火郁也。

百合十两 冬桑叶四两 紫降香五钱 ,勿经火 青盐五钱

上四味为细末 ,用白萝卜汁洒叠成丸。每服三钱 ,食后滚水送下。

医有案而病情得 ,方无论而药不明。是方以百合清补肺气 ,得桑叶而肺金之郁火自解 ,降香取其辛能降气 ,青盐取其咸能润下。肺之浓涕上升 ,得诸清肺降润之品而引之下达 ,则升者自降矣。最后又以萝卜汁洒叠者 ,更取入肺之

本经以降浊气耳。神奇平淡，不执成方，实有至理存焉。

服此两月，浓涕顿减，捷如影响。

(案 圆) 黄燮功夏暑纵啖西瓜，小腹痛胀，无时治验。

黄燮功，年二十八岁，家休邑，客上洋，嘉庆庚午六月。

暑热交蒸，纵啖西瓜，脾土遏抑，致令小腹胀痛。医作寒湿治不应，继用温补下焦，痛缓胀未除，忽又增一团热气，略偏于小腹之左。医又以黄芩、丹皮、丹参、生地辈凉之，而热终未清，胀亦未减，食饮日少。

于十一月十三日始求治于余，余细按脉象，右关细而软，左关、尺濡小兼数，按之不足。素有内痔脱肛，合而参之，治病必求其本。知其肝肾阴亏，小腹乃至阴之地。纵啖西瓜，暑热为寒凉所逼，致脾土伤而中气下陷于阴也。挈领提纲，治在脾肾。

朝以六味地黄丸五钱，用砂仁末二分、生姜一片捣渣，滚水泡汤送下。午后用补中益气汤加益智仁煎服。

服两剂 ,小腹之胀顿止矣 ,即脐下之热亦减去大半矣。

后仍以六味地黄丸如前服 ,午后用四君子汤加木香、砂仁、归身、白芍、金铃子、蜜炙柴胡三分煎服 ,服五剂而全瘳。

(案 國) 内侄陆星翘风温闭肺 ,身热 ,咳嗽夜甚治验

内侄陆星翘 ,嘉庆辛未正月二十八。

风温闭肺 ,身热咳嗽 ,喉痒无汗。用疏解法四五帖不应 ,以致咳呛声音不扬 ,夜甚于昼。

用老苏梗、马兜铃、杏仁、橘白、赤茯苓、白通草、黑山梔皮、生甘草、枇杷叶 ,服两剂咳呛声低顿减七八。原方去马兜铃、梔皮 ,加冬桑叶、川贝母 ,再剂而痊。

(案 猿) 张奕山咳嗽 ,痰中挟血治验

张奕山 ,年十五岁。

咳嗽数日 ,痰中挟血。案云 :脉来细数 ,幼年咳呛痰红 ,最防成怯^① ,速于调治 ,尚可图维。

① 怯 :不能任劳。

北沙参三钱 紫苑一钱半 冬桑叶一钱半 血
 余五分 冲 叭啞杏三钱 去皮尖炒 款冬花三钱 旱
 莲草一钱半 蛤壳三钱 煨

加入中白三分冲。

服三帖 咳停血止。

(案猿) 钱兰九外邪已解 朝凉暮热 阴
 虚发热治验

钱兰九 年近三旬。

外邪已解 夜来微热 天明渐退 脉象濡小。
 阴分素亏 治以养阴退热法。

青蒿子一钱半 生鳖甲三钱 苡仁三钱 半
 夏曲一钱半 广藿梗一钱半 生谷芽三钱 甘草五
 分 白通草八分

加砂仁末三分冲。

服一剂 夜热全退。

(案猿) 婺源曹允功子自幼鼻血 复发将
 痊 详论速归

婺源曹允功乃郎 年十八岁。

据述乃郎素体质薄 自幼有鼻衄、风疹 举
 发无时。成婚之后 少不节欲 又多咳嗽。于嘉

庆辛未二月邸吴，初七日求治于余。病者白云：迩来惟盗汗、腰疼为最。诊其脉，右数急，左弦劲。卫虚营亏，先议固表养血，俾其盗汗止而腰疼平，再为之计。

生黄芪皮三钱 归身二钱 白芍一钱半 炒
茯神二钱 酸枣仁二钱 炒 杜仲三钱 盐水炒 续
断二钱 炒 甘草五分 炙

服此两剂，盗汗止，腰疼停，颇属合宜。

又，二月初九日复诊：服前方盗汗、腰疼已停，而向有之鼻衄又发，更兼咳嗽。证脉合参，皆由于金虚不能平木而肝火上逆，木来乘金，此衄血、咳嗽之所由来耶。况左右脉来弦数而急，又显有明征欤。

素有鼻衄之人，最防目白珠见红色，则鼻衄必发。因鼻为肺窍，火乘金也。

元武板四钱 炙 细生地三钱 款冬花三钱
百合三钱 生蛤壳三钱 叭啞杏三钱 去皮尖炒 旱
莲草三钱

加入中白五分，漂淡研冲。

服两帖衄止、咳松。

又，十一日复诊：咳嗽渐缓，而鸡鸣时又少有盗汗。

小生地三钱 炒麦冬一钱半 酸枣仁一钱半，
炒 茯神一钱半 生蛤壳三钱 黑苏子一钱半 炒
叭啞杏三钱，去皮尖炒 百合三钱

加枇杷膏三钱冲。

服两帖，盗汗又止，咳嗽大减。原方再三剂，甚妥。

又，十六日复诊：汗止咳减，脉之数象稍缓，而弦急之势究未平也，弦主于肝。法宜清肺以养肝，肺气旺而木不侮金，金气足而肾水赖以生之，则水能养木，而木自平矣，又合隔三之治。

北沙参三钱 款冬花三钱 百合三钱 二原地三钱 女贞子三钱 叭啞杏三钱，去皮尖，炒 茯苓一钱半 黑苏子一钱半，炒 炙甘草五分

加雪梨肉一两五钱。

服三剂，咳嗽十去其五。

又，十九日复诊：

二原地三钱 女贞子三钱 归身一钱半 百合三钱 柏子仁三钱，研 黑苏子一钱半，炒 山药三钱，炒 茯苓一钱半 冬桑叶一钱半

加雪梨肉二两。

服此五剂，咳嗽减去七八。

又，二十四日复诊：咳嗽大减，盗汗又来。

夫盗汗固阴虚之征 ,而多汗亦亡阳之渐。法宜固表养营 ,是为正本清源之治。

生黄芪皮二钱 归身一钱半 北沙参三钱
玉竹三钱 北五味子三分 ,研 茯苓二钱 款冬花
三钱 甘草五分 新会皮一钱半
加建莲肉三钱 ,连心炒。

又 ,二十七日复诊 :盗汗、咳呛 ,脉仍弦急 ,
益气养营是其治法。

生芪皮三钱 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 茯
神二钱 女贞子三钱 酸枣仁一钱半 ,炒 左牡蛎
三钱 ,煨 陈皮一钱 淮小麦三钱
加红枣五枚。

服此三帖 ,盗汗又止 ,咳嗽平静。

又 ,三月初三日复诊 :允功因其汗止咳停 ,
意欲在寓缓缓调理。恐新婚之后早归 ,究防病
覆 ,假此调治 ,亦爱子之心也。其如子心非是 ,
终日默默无言 ,体瘦食减。诊其脉 ,弦急者究未
一减。左右寸口脉仍弦劲 ,火乘金也。两关弦
急 ,木侮土也。左尺虚数 ,水不足也。水不足则
木失所养 ,肾阴亏则肺金愈虚 ,未有子贫而母独
富者 ,无怪乎鼻衄、咳呛、盗汗之常发也。今病
虽小愈 ,而脉仍未平 ,攸关心病 ,有诸内而形诸

脉也。脉既如斯，强留异地则恐变端莫测，而悔之不及也何。允功谓予曰：“君何知之深，而见之明也？”曰：“病以脉为主，今病减而脉不减，寸脉仍弦急，此心病也。更见肝脉弦，出寸口，上鱼际，则为思室何疑。年少新婚，归心如箭，而必欲阻之，大非所宜。”允功深信余言，恳求丸方途中调理，因以益气养营、壮水滋木之法以应之。于是月初八挂帆回里，与其后悔，莫如早归为善也。后于壬申春仲邸吴，适允功至主戚^①患病于苏，特荐治于予。述及乃郎回家未几而逝，允功始信予之脉理毫发无爽^②也。

（案猿） 休宁项鸣球当脐作胀，三载沉疴，详论奇验

休宁项鸣球。

当脐作胀，胀在午后，不食亦胀。痰黏口干，却不喜饮，惟法制半夏或蔗浆润之，则口干缓、黏痰减，而其胀则仍然。向喜饮酒，迩来不敢饮，饮之则上焦觉热，痰愈增，胸中不爽。年

① 主戚：最亲近的戚属。

② 毫发无爽：丝毫不差。

近五旬 病起于嘉庆戊辰五月 ,据述医更数手 ,药服罔效 ,于辛未闰三月初二乃延余诊。观其诸方 ,有因胸闷、痰多而用香燥破气者 ,有言阴虚而纯用滋阴腻补者 ,更有因口干腹胀而以知柏地黄汤加破气疏通之品者。其余之方杂乱无章 ,更不足观。据云每服一二剂似乎稍减 ,再服之则胀势愈增 ,而口干、胸闷等情亦愈加矣。病近三载 终未得瘳 ,其所以不瘳者 ,皆缘医者只识病标 ,不识病之本也。第^① 知治胀 ,而不知胀在当脐 ,脐属于肾。胀在午后 ,午后属于阴。再请验之于脉 ,右关、尺虚奕 ,左关、尺弦数。自是坎阳不足以生脾土 ,肾水不足以滋肝木 ,水不足而相火上炎 ,故时觉口干。坎阳不足 ,脾土愈亏 ,故当脐作胀 ,胀则中宫之食不能运化而成痰 ,甚至清阳不升 ,浊阴不降 ,以致胸膈窒塞不爽而黏痰常吐也。

证脉合参 ,予于滋肾养肝中寓补火生土法以治本。

方用熟地、首乌、鳖甲、破故纸、胡桃肉、茯苓、炙甘草、益智仁等 ,加蔗浆冲服。

① 第 即使。

不数帖而胀减其半，复于此而加減。其熟地俱用砂仁同炒，每用破故纸必佐胡桃肉，取其补火生土，润而不燥，有木火相生之妙。又以益智仁调中快膈，补命门之不足，乃心脾肾之良药，自首至尾未间也。其余者以肝肾平补之法佐之，如首乌、鳖甲、归、芍、女贞之类。非惟胀势日减，即口干、胸闷、黏痰亦渐平矣。又以四君子汤加益智仁，少佐滋肾养肝之法。再三剂而少腹之胀十去其七，其胸闷、口干竟不觉矣。其“四君子”内去白术而加扁豆者，缘初加脾药不可过燥，且脾肾同治，药宜不燥不润，两得其平，乃为脾肾同治之法也。前医亦曾有论脾肾者，云病在中、下二焦，所用者熟地、牡蛎、党参、白术、石斛、茯苓辈，服之其胀愈增。惟图治标，其意在于滋阴、扶脾、清胃，不治胀而兼治口干、痰黏也。殊不知其要在于治胀，治胀在于补肾，补肾在于补肾中之阳，不专于补肾中之阴也，取火能生土，水能养木，如法治之，果获大效。

最后又以“四、六君”、“香砂”、“异功”之法专调脾土，而补火之药渐彻之，使脾肾交通而胀自除矣，诸恙向安矣。药之效捷，即此义耳。

调理收功丸方：

西党参五两 淮山药三两,炒 建莲肉四两,去心炒 芡实四两,炒 益智仁一两半 大熟地六两,炒仁五钱同研 元武胶二两,切片炒珠 陈皮一两半 山萸肉一两半 菟丝子三两,蒸熟 牡蛎粉三两,煨女贞子二两

上为细末,用金石斛煎膏代蜜和丸如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

(案獬) 歙邑吴声振素有寒湿筋挛,近感风邪治验

徽歙吴声振,年六十三。

素有寒湿筋挛症,近冒风邪,舌苔腻黄,兼之气逆夹食欲呕,防其身热,先宜治标,再为之计。

老苏梗一钱半 广藿梗一钱半 半夏曲一钱半,炒 麦芽三钱,炒 山楂肉三钱,炒 生甘草五分 陈皮一钱

加青葱一枝、鸡内金一钱半,炙。

又,复诊方:胸中气逆不爽,舌胎腻黄,大便八日未解,小溲赤,不饥纳少。胃土不和,宿滞内蕴。疏理中宫,兼之润肠,便结自通。

旋覆花三钱,生绢包 半夏曲一钱半,炒 瓜蒌

仁三钱 研 陈皮一钱半 广藿梗一钱半 大麻仁三钱 研 柏子仁三钱 研 杏仁三钱 去皮尖

加生谷芽一两煎汤代水。

服后 ,清晨解结粪甚畅 ,自觉胸中渐松 ,气逆渐平 ,澀亦淡 ,舌之膩黄苔中分散薄 ,非前之满布厚膩可比。

又 ,复诊方 :用二陈汤加鲜石斛、瓜蒌仁、藿梗、砂仁壳、鸡内金等和中养胃 ,两帖而痊。

(案 獠) 舅兄陆古堂四郎嘉征风邪客肺治验

舅兄上舍陆古堂四郎嘉征。

风邪客肺 ,挟痰而咳 ,拟降气豁痰法。

老苏梗一钱半 马兜铃一钱 杏仁三钱 研 生甘草五分 赤茯苓二钱 前胡一钱半 橘红一钱 桔梗一钱

加白萝卜汁一酒杯冲。

服两帖 ,浓痰大减 ,咳去七八。

复诊 :原方去苏梗、前胡、桔梗 ,加半夏曲、冬桑叶、黑梔皮 ,两帖而愈。

(案 獠) 徽州陈庭若伤寒误治 ,几成虚怯

奇验

徽邑陈庭若，危症治验，年逾二旬。

病由寒热咳嗽而起，医用清肺治咳之品，每增芦根、丝瓜络辈。延绵月余，寒热渐退，而咳呛日盛，浓痰愈多，肌肉日削，始告治于余。诊脉右虚软，左脉虚弦，面白无神，食饮不贪，盗汗淋漓，更兼气逆痰稠且腥，固防痰血之虞，亦恐肺痿之成。正值夏令初交，火烁金伤，危险极矣。姑拟肺胃并治，以冀转机。

百合四钱 款冬花三钱 叭啞杏三钱，去皮尖
茯苓一钱半 山药三钱，炒 薏苡仁三钱，炒
黑芝麻一钱半，炒 橘红八分，蜜炙 麦冬一钱半，元米^①同炒

加建莲肉二钱，去心炒。

服此气逆稍缓，脉仍如昨。

原方去苡仁、芝麻、橘红、麦冬加芡实、紫菀、苏子、蛤粉炒阿胶、紫衣胡桃肉一枚，连皮并鬲板同用，加枇杷叶三片，去毛蜜炙。

服后气逆渐减，咳嗽亦缓，惟浓痰仍多，自早至暮约有两碗。

① 元米 糯米。

又，复诊方案：肺以虚而呛咳，脾以弱而多痰。自晨至午浓痰盈盂，缠绵日久，食少神疲，盗汗淋漓，虚怯之征已露先声矣。亟宜扶脾保肺，佐以顺气却痰，不致血溢上逆，庶可图之。

西党参三钱 淮山药三钱 炒 茯苓一钱半
炙甘草五分 浸胖海参五钱 叭啞杏三钱，去皮尖炒
百合三钱 款冬花三钱 陈阿胶三钱，蛤粉炒
川贝母一钱半，去心 苏子一钱半 炒

加紫衣胡桃肉三钱，连皮、鬲用。

浸胖海参，方中暂用之，究非王道^①正药可比，予于四十岁外，永戒不用。道光乙未春三月十日 七十一老人竹亭识于活水源。

服两剂，咳缓痰减，气逆渐平，盗汗渐少，神采渐转，颇有生机矣。

又，复诊方，病势日减，再拟肺肾并治法。

西党参三钱 淮山药三钱 炒 芡实三钱 炒
茯苓二钱 大熟地三钱 炒松 浸胖海参五钱 阿
胶三钱 蛤粉炒 炙草五分 大麦冬一钱半 米炒 叭
啞杏三钱 去皮尖炒

① 王道 指正规的、较为平和的治疗方法及药物。

加北五味子七粒 打碎。

自服余药数剂 ,咳嗽、浓痰俱去七八 ,人固渐健 ,食亦倍增 ,且易饥。此时病者深悔前医滥用芦根、丝瓜络辈加于甘寒药中 ,帖帖皆有 ,用至二十余剂。以致肌体骨立 ,气逆咳呛 ,浓痰盈盂 ,几乎大误。幸服余药后日渐减轻 ,不致有成怯之虞 ,诚快事也。

又 ,两日来相火易升 ,亦肾阴之不足 ,法宜肺肾并治 ,俾金水相生 ,火自降矣。

北沙参三钱 大熟地三钱 山药三钱 炒 茯苓二钱 制黄精三钱 柏子仁三钱 百合四钱 炙草五分 叭哒杏三钱 ,去皮尖炒 新会皮一钱

加五味子七粒 打碎。

服前方三剂 ,咳止痰清 ,相火亦平 ,诸恙向安矣。继用益气养阴之剂 ,调理收功。

(案 猿) 余东张绍庭夜热痰黏 ,暑湿症治验

余东张绍庭。

夜来身热 ,舌苔白腻 ,痰沫稠粘。暑湿中停 ,和中却湿 ,解暑退热是其治法。

葱汁炒豆豉四钱 生姜汁炒半夏一钱半 通

草八分 酒炒淡黄芩二钱 青蒿子二钱 地骨皮一钱半 车前子二钱 炒研

加鲜西瓜子三两煎汤代水，临服用白蔻仁三分研细冲。

服前方一剂，夜间未热，痰沫亦少。次日思食糕饼，随又服药，似觉中宫不爽，暖出药味，而夜间仍未身热。

又复诊，痰沫仍吐，项后三椎痠疼，此穴属肺。舌苔边白中黄。暑邪解而身热退，而湿浊之中阻究未尽也。用瓜蒌薤白汤加淡豆豉、炒半夏、藿梗、姜汁炒山栀、滑石、车前子，加鸡内金等。服一剂，肺俞痠疼立止，秽浊之痰亦大减，再剂而痊矣。

（案 獮）先大人雨香公病后行步欲跌如踏浮云治验

先大人雨香公。（又号我舟）

病后行步欲跌，如踏浮云。服后方两剂，行步平稳，不致有欲跌之势，再剂而愈。

白芍药四钱 炒 二原地三钱 女贞子三钱 归身二钱 酒炒 白甘菊二钱 炒 甘枸杞二钱 老钩藤三钱 后入 木瓜二钱 广陈皮一钱 生甘草

一钱

(案 獯) 汪召南子痧发未透 ,防毒内闭归肺治法

汪召南子 ,七岁。

痧出四朝 ,发而未透 ,音低嗽稀 ,眼闭不张 ,鼻干无涕 ,身热烦躁 ,咽痛喉哑。乃痧毒内闭 ,防有归肺之虞 ,慎勿藐视。

羚羊角一钱半 ,镑 淡黄芩一钱半 ,炒 前胡一钱半 杏仁三钱 ,研 牛蒡子二钱 ,炒 桑白皮一钱半 连翘一钱半 桔梗一钱 黑苏子一钱半 ,炒 生甘草五分

加西河柳四钱。

外用芫荽三两、西河柳二两煎汤 ,用棉布浸透绞干 ,熨洗头面、胸背。

咳实喘虚 ,得嗽者出 ,得喘者入 ,必合目懒倦。疹出二三日 ,两鼻俱干。待收完 ,看毒气轻者清涕即来 ,就思饮食 ,可不必服药 ;若清涕来迟 ,不思饮食者 ,须清肺解毒 ,候涕出乃弗药 ,此要诀也。

(案 源) 休邑叶茂林深秋患疟夹食治验

休邑叶茂林。

症发深秋，兼之食滞，数发未已，风邪内搏，法用和解。

桂枝一钱 防风一钱半 制半夏一钱半 黄芩一钱半 柴胡五分 甘草五分 六神曲三钱 炒 麦芽三钱 炒

加生姜一片、大枣一枚。

据述连发五六日，药投罔效，服予方一剂而止。妙在和解，非截法也。继以二陈汤加藿梗、麦芽、查肉、鸡内金，和胃运食，两帖而安。

(案源) 邵步云痲腮，早投寒凉，结硬肿痛，治验

邵步云。

少阳、阳明风热内攻，发为痲腮。理应解散，则易于消退。他医早投凉剂，外敷飞面^①，调以米醋，使风热内郁，以致结硬肿痛，寒热，牙关带紧。余用疏解法，外以冲和散消之。

防风一钱半 白芷一钱 荆芥穗一钱半 连翘一钱半 去心 乳香三分 去油 没药三分 去油 川山

① 飞面：麦粉。

甲五分 炙 桔梗一钱 甘草节八分 当归一钱半
外用冲和散葱汁调敷。

服药并敷后 寒热退 肿痛大减。次日仍照原方服之 敷药同前 再剂而消。

(案 瀾) 休邑陈绳武脐下作疼治法奇验
陈绳武,休邑人,年五旬又一。

据述素有头眩,又兼三疟之后,医者专治头眩,不思扶脾,而常服肝肾滋阴之药,更兼素喜浓茶,迩来脐下不时作疼,食饮渐减。于嘉庆辛未冬十月,始问治于余。诊其脉,右关、尺虚软无力,知其脾阴弱而肾阳不足也,此所以脐下作疼无已也。及早图之,恐成中满。

焦冬术二钱 云茯苓二钱 益智仁二钱 沉香三分 广木香八分 淡茱萸三分 炙甘草八分 加煨生姜二钱。

服两帖,据云初帖小腹痛缓,次帖自早至晚竟不觉疼,惟夜睡后稍疼,比之前次十减其半。

又,复诊方拟理中汤加味治之,方附下:

西党参二钱 焦冬术二钱 炮姜六分 炙甘草六分 益智仁二钱 破故纸一钱半 炒 乌药一钱 新会皮一钱

加砂仁末三分冲。

服前方两帖，少腹痛止，据述脐上稍觉其痛。

又，复诊方：拟附子理中汤加味，即前方去益智、乌药，加熟附子五分、淡茺萸三分，引用胡桃肉二枚（连髑板用），嘱服四剂。

据述服三剂腹痛已停。所余一剂因朔日典内事冗，未及进药，当夜小腹又觉稍疼，足征药之效验如此。仍用原方，再四帖而痊。

（案源）詹鸣玉目珠色红、干涩无泪治验詹鸣玉，年三旬。

白珠色红，朝轻暮重，干涩无泪。火郁肺肝，宜于清疏。

蔓荆子—钱半 荆芥穗—钱半 甘菊花—钱半
甘草六分 淡黄芩—钱半 酒浸炒 赤芍药—钱半 酒炒
当归头—钱半 桑皮—钱半 地骨皮—钱半
夏枯草—钱半 细生地三钱

加鹅儿不食草—钱半。

服此两帖，目中流泪，流泪者风自火出也，故觉目珠松爽，而白珠之红究未退也。诊脉右寸浮数，左关弦数。白珠属于肺，目窍开于肝，

肝肺火未清也。

风火内郁，服此得泪渐松，即“火郁发之”之义也。

仍用原方去地骨皮、夏枯草、鹅不食草、生甘草四味，加酒炒丹皮、钩藤钩、知母、川芎，煎好去渣，投薄荷八分，泡盖须臾服。服两剂白珠之红全退，夜看灯光不散大矣。

清而兼散，白珠之红全退矣。

（案源）汪元长左右痰疔，用灸法奇验

汪元长，年二十四岁。

痰疔生于项侧，牵连寸余，左右皆同。其右侧之疔，先于后起之小如桂圆核者灸之。当用大蒜捣烂涂疔上，以艾铺于蒜上灸之，至九壮觉痛而止。其左侧者，亦先从后发之小者灸如前法，灸至三壮觉痛而止。然后再灸先起之母核，亦三壮而知痛。灸毕俱用家制紫霞膏涂疔上，外以皮纸搓奭盖之。每灸，或三四壮，或数余壮，总以痛灸至不痛，不痛灸至痛而止，无拘拘于壮数之多寡也。

每灸后，俱以桑皮纸搨捺紫霞膏贴疔上者，取其清火、凉血、固肌，不致起灸泡而破皮，且又取其遮风，亦一举两得之意耳。

合参色脉，阴亏痰结，内服养阴、化痰、软坚之剂，外用艾灸。连灸十日，痲上俱结厚盖，再灸之盖已浮起。次日浮盖脱落，中间皮肉色白并不破损。年余之痲半月而消，非精于灸法者焉能速奏全功。

(案 源) 山西童炳摄伤寒误补，病危救醒治验

山西汾州童炳摄，年三十二岁。

素体阴亏，近感温邪，忽寒忽热，不饥食少。医人误认阴虚内热，重投滋阴膩补之剂，病势日增，延绵二十余日，热终不解，于嘉庆壬申五月朔日特求治于余。诊脉象虚数，温邪内陷，乍寒乍热，两颧甚红，舌苔边白中黄。深怕邪烁真阴，劫夺胃津，势属重险。姑念客途，聊尽婆心。治宜育阴祛热，以冀转机，议复脉汤法。

小生地四钱 麦门冬二钱 青蒿子二钱 鳖甲三钱 清阿胶二钱，后入，烱化 桂枝梢六分 地骨皮一钱半 炙甘草八分

加青蔗浆半杯冲。

又，复诊方（五月初二日）：据述服方颇安，至二更时复又畏寒发热，遍身疼痛，至天明渐

减,口干不渴,痰挟紫血。此热伤阴分,恐劫胃津,仍宜育阴退热。方用小生地、丹皮、麦冬、知母、黄芩、连翘、青蒿、赤苓、地骨皮、老苏梗、瓜蒌全,加生姜、大枣煎。

服后,午间汗出周身,头面、手足俱到。至灯前,身热渐退,夜间神识稍安。

次日复诊:寒热已退,尚不知饥,舌边转赤,中心仍黄。余邪未清,是以咽痛、口舌干燥而喜饮也。方用鲜生地、丹皮、麦冬、元参心、连翘心、竹卷心、青蒿子、甘草辈,加水梨肉二两煎服。服后余邪渐退,两颧之红大减,稍能进粥,咽痛、口干喜饮未除。大有转机,宜遵前方,去连翘、竹卷心、青蒿,加牛蒡子、贝母、天花粉、黑山栀煎服。服后咽喉痛减,再剂喉痛、口干喜饮俱大减,知饥,日进粥二三碗,夜间安卧。惟大便数日未解,欲出不出,急迫之极。西人性躁不能耐,权拟补润兼通之法。方用人参、柏子仁、麻仁、当归、炙草,煎好去渣,入大黄八分略泡服。服后未半时,解结粪甚畅。继用归脾法,收功全愈。

终

竹亭医案卷之三

古吴孙采邻亮揆甫著

受业程定治济霖

金传勋继文

侄兰生芳田

男鹤生于九

凤生茂常 同校

竹

亭

医

案

(案员) 治程耀远齿鼻俱衄之验

程耀远。

鼻衄属肺,齿衄属胃,而未始不关乎肾。盖齿乃骨之余,因肾主骨也。先天阴虚,血热上冲,或鼻或齿皆可以衄而不归经矣。然徒于血分中求之,恐未得法,且服煎剂。

炙黄芪四钱 归身八分 元武板五钱,炙 旱
莲草二钱 人中白八分,冲 血余一钱,冲 荷叶灰
一钱半

上五味 ,用河水一碗半煎去一半 ,去渣 ,入人中白、血余冲服。服三帖 ,二衄俱停。

(案 圆) 山西孙绳武疟后误投温热之剂 ,以致胸腹满闷、食少、痰稠、大便十日不解治验山西孙绳武。

间日疟疾 ,入发已停。停后胸腹满闷 ,饮食不贪 ,口吐稠痰 ,几无宁刻 ,大便十日未解 ,脉象虚滑。满拟^① 他医寒凉过抑 ,以致此极。及历阅前方 ,热药居其大半 ,想因西人素畏寒凉 ,故作逢迎之态耳。噫 !何不辨脉审症 ,而草菅人命耶。

案云 :疟后吐痰不止 ,似宜温中化痰 ,而热剂过多 ,消痰之药亦复不少。知其中气大亏 ,不能健运 ,克之固不可 ,若再加热剂 ,大便已十日不通 ,何可过燥。法宜温凉并用以和之 ,先宜通便为要。

瓜蒌实五钱 酒炒 熟半夏三钱 姜汁炒 淡苻蓉二钱 豆豉三钱 葱汁炒 生山栀一钱 淡干姜一钱

① 满拟 :完全可以估量 猜测。

加元明粉一钱半冲。

服此 ,大便通而未畅 ,胸膈亦觉宽爽 ,惟痰吐不止。

又 ,复诊方案 :脾虚食不运化 ,变而为痰 ,大便虽解未畅 ,亦虚滞也。

大腹绒一钱半 熟半夏一钱半 茯苓一钱半
新会皮一钱 瓜蒌仁三钱 六神曲三钱 炒 枳实
一钱半 生山栀一钱 淡干姜一钱 鸡内金一枚 炙

服此 ,大便又解 ,饮食亦贪 ,痰仍未少。又用六君子加益智仁、广木香。服后痰减六分 ,气亦通畅。而予嫌其食之过多 ,据云一日四餐共吃粥十六碗 ,深嘱少进为妥。仍以原方去木香 ,加川石斛 ,三剂而诸恙霍然矣。

(案猿) 严进思咳嗽喉痒 ,日轻夜重 ,阴火上炎治验

严进思 ,年四旬又五。

咳嗽三月 ,渐自喉痒 ,因痒而咳益盛 ,日轻夜重。阴火上炎 ,病关肺肾 ,防有喉癰之变 ,法宜清金润燥。

北沙参三钱 百合五钱 款冬花三钱 生贝壳三钱 肥知母一钱半 天冬一钱半 去心 淮山药

三钱 炒 叭哒杏三钱 去皮尖 二原地三钱 百部一钱半

加枇杷叶三钱 去毛蜜炙。

服此一帖 喉痒大减 再帖而停 且咳嗽亦从兹而渐缓矣 惟有黏厚痰味带酸未除也。

复诊 原方去沙参、百部 加川贝、丹皮。再二剂 咳痰俱十减七八 而尚有气塞喉间 必得黏痰呕出 喉中始宽 每夜如是。方附下：

大生地三钱 淮山药三钱 炒 茯苓二钱 炙甘草六分 川贝母一钱半 去心 瓜蒌仁三钱 知母一钱半 海浮石三钱 诃子肉三分 生用清金行气 广陈皮一钱

加沉香二分 研细冲。

服此两剂 夜来气逆塞喉顿止 (诃子之功于此可见) 咳嗽、黏痰、欲呕俱不觉矣。继用保肺滋肾之药作丸 调理收功。

(案源) 详辨项鸣球眩运欲仆 内火生风 风自火出 用引经上达之法始建奇绩 继以丸剂收功

项鸣球。

眩运症起于去冬十月 更医数手 投剂无

功。即服予滋肾养肝、益气化痰等法，亦似平而未平。更有用“龙胆泻肝”以及芩、连、柴胡、生熟地辈者，亦俱罔效。缠延日久，而眩运欲仆之势依然如前。辛未秋，复乞治于予，因深论之。夫眩，谓眼黑眩也。运，如运转之运。《五藏生成篇》云：“徇蒙招尤”。蒙，昏冒也；招，掉也；即眩运之症也。

徇蒙者，如以物蒙其首也。又，徇，疾也。蒙，目不明也。招，掉摇不定也。尤，甚也。

《内经》曰：“诸风掉眩，皆属于肝”，而肝有虚实、上下、风火、内外之不同。仲景治眩以痰饮为先，丹溪亦以治痰、降火、补虚为法，总不外乎阴阳水火之道。其顺净清谧者水之化（班固《汉书武帝内传》“内外寂谧”，音蜜。静语也，无声也，慎也，安也）动扰挠乱者火之用也（《左传》：“成二年，畏君之震，师徒挠败。十三年，挠乱我同盟”）。脑者地气之所主，故藏于阴；目之瞳子亦肾水至阴所主，故二者皆喜静谧而恶动扰。静谧则清明内持，动扰则掉摇散乱。是故脑转目眩者，皆由火也。然既因火而成眩，何《内经》谓“诸风掉眩皆属于肝”者，是专言风邪矣。河间曰：“风火皆属阳，多为兼化。阳主乎动，两动

相搏，则头目为之眩运而旋转。”火本动也，焰得风则自然旋转，于是乎掉眩。掉，摇也。此非风之因火所成者欤。然风有内外，外入者兼火化，内发者尤其是，因火所生之风也，经所谓风自火出者是也。风火煽而头旋生，目中生花，有时昏黑而欲仆也，总缘内火动而生风。虽有滋阴降火之剂，而不能上达巅顶而引火下降也，终无济于事。当佐以引经上达之法始建奇绩，于是用知柏地黄汤加味而变动之，深有取意。方中大生地用鲜荷叶汁浸胖，捣烂绞汁，去生地渣留汁。候众药煎好去滓，投前汁再煎二三滚服之。是方之妙，妙在荷叶，取其色青入肝而属木，在卦为震，震仰盂。地黄非荷叶引之上升，则不能达巅顶而入厥阴肝经也。留汁后投二三滚即服者，更取轻清上升之意耳。

生升熟降。

加以杞子、甘菊平内风而上达于目窍，合之“知柏八味”之滋阴降火，由上而下，风自平而火自降矣。临服时冲以朱砂入心宁神，则君主安而相火自静，亦药中之点缀也，用意微矣。

服初剂，据云夜半目中仍觉有火光。次日再剂则目中之火光毫不觉矣，且眩运、巅顶胀、

足软欲跌之势亦俱若失矣。惟烦劳后，二目偶有昏花不清。前方再进八剂，诸证咸安。又于原方内去丹皮、泽泻，加首乌、鳖甲，间佐归、芍辈。又十剂，食饮倍增，康复如常。继以丸剂，调理收功。

煎、丸两方并列于下：

煎方：大生地六钱，用鲜荷叶汁一茶杯浸生地，候生地发胖，捣汁绞去渣，留汁听用。淮山药三钱，炒。粉丹皮一钱半，炒。茯苓二钱。山萸肉一钱半。肥知母一钱半，盐水炒。川黄柏一钱半，盐水炒。泽泻一钱半。甘菊花二钱。枸杞子二钱。

上九味煎好去渣，投生地汁再煎二三滚即服。服时以水飞朱砂三分冲服。

丸方：即前方十倍，再加西党参三两、炙甘草一两。不落水猪脑一具，用当归、川芎研细末各三钱，同陈酒一杯煮烂，捣和前药内。即以荷叶汁浸捣之生地汁代蜜为丸，如不足稍和炼白蜜同丸，如桐子大。每服五钱，清晨淡姜汤送下。

附 捣鲜荷叶汁法：

鲜荷叶须先放热水内泡之，然后有汁捣出。若不经泡法则汁难出，可见一物有一物之法度，

不可不知。于此观之,医之用药,药竟对病而法制不精,又难取效。如是方用生地,以荷叶汁浸捣绞汁后入二三沸之意,岂非至精至妙之法也。

是症值八月中,尚有鲜荷叶可取。设值春冬,可用干荷叶以热水泡浸绞汁用之,第力缓不及鲜者多多矣。

(案缘) 面议吴兴周久痢百治不效,得余丸剂调理全安,并附答问及论用方之妙

吴兴周,痢久病案,年五十八岁,服后丸调理收功。

痢久而得虚弦之脉,肠胃伤矣,而肺、脾、肾、肝亦无不累及。盖胃与大肠同属阳明,大肠滞而久虚之胃气未必运行。肺与大肠相为表里,大肠滑而久虚之肺气何能统摄。且肾乃胃之关,肾气久虚而关门不固。脾为胃之妻,脾气久虚而妻道有亏。再者肝木逢春,理应生气充沛,乃左关之脉不弦,而反弦于右关以克脾土。肝气上冲而清阳扰乱,肝气下泄而浊阴留连。病已九月有余,医竟百治不效。岂无补气者,而重则助邪。亦有理气者,而急则伤正。旦晚濛濛何,自有氤氲化醇之日,惜乎未有以化气之说

告之者。而气有阴阳之分 ,化有变通之妙 ,得其法者可与言医。

或诘之曰：“热伤气分则痢白 ,热伤血分则痢红。今案中所云 ,独重在气 ,岂先生是而古人非欤？况病者先从血痢起 ,亦何得偏重于气？”曰：“予岂不知血已大伤 ,而脱血固气 ,谓有形之血不能速生 ,无形之气在所急固也。且补气本可生血 ,则化气自可运血 ,不言血而血在其中矣。试观天道 ,《易》曰：‘雨以润之’。物之得雨 ,犹人之得血也。而必须乎风以散之 ,‘日以暄之’。日与风 ,非气而何。则予之所谓气化者何疑。”

连尿猪脬数具 ,将尿倾入盆内 ,存拌后药 西党参
二两 炙黄芪二两 炙甘草二两 归身一两二钱
制香附二两 干荷叶二两

先将脬口剪一小洞 ,将尿倾盆内拌上六味 ,余尿去之。复将所拌之药尽入脬内 ,用线扎紧脬口勿令走气 ,用大砂锅盛好陈酒数斤 ,煮脬将烂 ,酒少再加 ,不可过多 ,时以柳枝拨动防脬皮焦烂 ,拨动切勿刺破以致走气。约脬皮黄赤色将烂未烂之际 ,便可离火。将酒倒出 ,将脬划开 ,将诸药晒干 ,将脬皮炙黄。

猪肚一小具(刮洗净),内填於白术二两,口上线扎紧。

猪大肠数寸(刮洗净),内填煨过赤石脂末二两,两头以线扎紧。

另用好陈酒煮透,将两处药取出晒干,其肚与肠俱不用。

外用:马料豆二两炒 五谷虫二两焙 沉香五钱末 勿经火 川连末五钱 勿经火 上肉桂五钱 勿经火 炊单布一两半 炙黄

以上连脬皮共十五味俱为细末,炼白蜜为丸,如梧桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

有何奇方,无他妙药。所不同者,在标本缓急、轻重取舍间。是方也,用参、芪、术、草诸气药大补脾、肺,少加当归引入血分以生血,复用水畜之血肉有情者和酒煮,以得酝酿^①之气,取其以肚补胃,以肠补肠也。何以又用猪脬煮香附?脬即膀胱,取其州都气化通三焦而运行不悖也。至于猪肚润而白术燥,猪肠滑而石脂涩,匹配合症,亦化机也。料豆色黑属水,借填癸水之虚阴。谷虫色白属金,用刮庚金之宿垢。

① 酝酿 逐渐形成。

升清则有荷叶 ,既可凉肺而疏肝。降浊则有沉香 ,非但理脾而暖肾。“连”得“桂”而肠胃温厚 ,“桂”得“连”而心肾交符。一阴一阳 ,何患乎气之不化也。再加以炊单布之熏蒸 ,而氤氲化醇之妙有非笔舌所能传者。

(案 远) 详论海盐文学陈立斋三令郎虫蛊危症 ,立起回生奇验 ,并绘虫形及丸方调治 ,永不再发

论文学陈立斋三令郎宝斋虫鼓危症奇验。

陈文斋文学 ,嘉兴海盐人 ,寄居京省 ,管理盐务。三令郎自幼有脾疾 ,腹中胀塞不爽。京中医士以大黄清宁丸二三行 ,腹中随宽。屡屡如斯 ,脾土暗伤。数年来 ,迁居吴门 ,年十三岁。据述素喜生冷油腻 ,夏月酷嗜瓜果 ,恣食肥甘 ,以致面色痿黄 ,腹膨脐突 ,头大颈细 ,青筋毕露 ,肚内时痛。一日呕出扁虫两条 ,次日又一 ,形如杏仁 ,尚大一倍 ,色红带角 ,有嘴无足。举家踌躇 ,各访名医。有云肺虫 ,不出者妙。有云肠虫 ,呕出者妙。议论纷纷 ,各执一说。又延吴中老医治 ,据述此虫出者为要 ,不出者必有祸患。第此虫形从未见过 ,若云腹中有无难以妄答 ,务

候识者早治为最。次早主家特嘱亲友僮仆三人往街问卜访医，并持此虫于卖卜诸思补堂处访之。适遇予友人岑君、妹倩王履安兄于思补堂中见此奇虫，观者失色，皆以为人所罕见者。二公素知予有家传之术，因荐治于予。访治者欣然而来，乃至，予已公出。俟至良久归，见庭中满座。家人取出磁盒，以水养此虫，持与余观。余一见，知其虫从肠胃中出。惟呕出者多，从泻出者少。斯虫宛如昔年先君子治汪氏之虫相仿佛，现有存案图形，予亦治验有年。当请借阅，随检与观，捧读多遍，深信钦服。时嘉庆戊寅六月十九日，乞治于余。余察其色，果然面黄肌瘦，食饮减半。呕虫三条之后，仍然纵啖瓜果，肥甘不禁。腹膨筋青，时痛时止，唇鼻两旁俱疮，发根耳后亦有小疮。

虫之形迹于此可验。

按其腹，外膨内坚。手足心热，便溏溲赤。诊其脉右关虚大，左关浮弦。色脉合参，脾虚积蓄，湿郁虫生，虫蛊之征也。察色、辨脉、按腹，腹中之虫不少矣。欲愈斯疾，预为扶土疏木，佐以调之、运之、和之而引动之，亦须禁生冷肥甘及杂杂难化之物。调治半月，至月之初三、四、

五之日 ,正值治虫之的候。再以人参辅正 ,佐以驱虫之法。服后果然虫下 ,三剂而积除虫尽 ,诸证咸安矣。通计服煎剂二十六帖而痊愈可 ,继以丸剂调理收功。

六月十九日煎方附后 :

焦冬术一钱半 建莲肉三钱 ,炒 ,去心 白扁豆三钱 ,炒 苡仁三钱 ,炒 白茯苓一钱半 广木香六分 榧子肉二钱 百部一钱半 生甘草三分
加鸡内金一钱五分 ,炙。

服两帖 ,腹中痛 ,大便黏滞 ,内挟瓜子仁并麦大之物齐出。

又 二十一日复诊方案 :

虫之生也 ,非厥阴风木之气不生 ,非太阴湿土之气不化。要之皆由于坤土之不充 ,土一虚而食饮不运 ,更兼恣食生冷、肥甘油腻 ,以致精气不能四布 ,而湿热愈郁 ,团结肠胃 ,以故化而为虫。治之不早 ,变端莫测。思所以调之、和之、运之、化之而引动之 ,则治虫之法 ,思过半矣。

西党参二钱 焦冬术一钱半 黑大枣一枚 ,去核 ,内填乌梅肉二分 ,线扎 白扁豆三钱 ,炒 薏苡仁三钱 ,炒 红大枣一枚 ,去核 ,内填升麻末一分 ,线扎 五谷

虫六分 炙 广木香七分 大桂圆一枚,去内核,内填搓软如核大之荷叶一团,线扎 生甘草三分 块滑石二钱
上药十一味,用河水两钟煎至一钟服。两帖。

又二十三日复诊方:

西党参二钱 焦冬术一钱半 大黑枣两枚,去核,一个内入川连末三分,一个入沉香末二分,俱以线扎 淡干姜六分,炒 生甘草三分 黑牵牛七分 略焙
加荷叶梗五寸。

河水煎服。

又二十五日复诊方:

大猪肚一具,外以盐擦,去其涎沫,破开洗净,内填大蒜穰五瓣、使君子十四粒,略焙、川椒十四粒(炒出汗,拣去闭口者),同入猪肚内,外以线缝口。用河水三盏、福珍酒一盏和匀,煎至一盏半。去肚,以汤煎后药。

方用:党参二钱 焦冬术一钱 苡仁四钱,炒 扁豆三钱,炒 茯苓三钱 木香七分 甘草三分 黑大枣一枚,去核,内入川连末二分,线扎 猪苓二钱
上九味,用前猪肚汤煎服。两帖。

至此共服药八剂,面色稍转,腹之膨急稍宽。夜来足跗浮肿,清晨渐退。早上面目虚浮,

顷之即消。种种见端 ,皆脾土之久虚也。

又 二十七日复诊方案并论治法 :

色脉合参 ,补脾和肝 ,佐以祛积引虫 ,最为稳当。

潞党参二钱 焦冬术一钱 云茯苓三钱 甘草四分 广陈皮六分 槟榔一钱 黑大枣一枚 ,去核 ,内填乌梅肉三分 ,线扎 红曲三钱 米醋拌炒

药亦甚无奇耳 ,而标本后先、缓急轻重之间寓意远矣。方以“异功”为君 ,调脾温中 ,树帜中州。以槟榔为臣 ,运脾中之积秽 ,而又能化食。佐以红曲 ,脾之谷也 ,取其湿热 ① 蒸而转为真红 ,能入脾胃之荣分 ,且能和血以导滞。炒之以米醋 ,更取杀果木、鱼肉之虫毒 ,昔钱仲阳治孩童之良剂也。使以大枣 ,脾之果也 ,去其核能除烦满。寓乌梅于其中 ,肠虫可引 ,腹疼可止 ,孙真人之妙法可传。义取甘酸并至 ,土木合德。《书经·洪范》云 :“土曰稼穡” ,“稼穡作甘” ,“木曰曲直” ,“曲直作酸” 。假此以治 ,药虽无奇 ,实有至理存焉 ,药岂轻投哉。

服前方两剂 ,积滞颇多 ,粪中培出如瓜子

① (in 俺)覆盖。

式，带囫圇，两头稍尖，色黄，此即积中之虫形也。久则色红而扁大，如前之呕出之虫是也。

又，二十九日复诊方案：积滞渐松，小腹青筋稍退，大腹尚膨，仍宜扶脾和肝，旁加点缀，是其治法。

潞党参一钱半 淮山药二钱，炒 白扁豆二钱，炒 茯苓三钱 薏苡仁三钱，炒 荆三棱六分，煨 生甘草四分 红曲三钱，米醋拌炒 黑大枣一枚，去核，内填麝香三厘，线扎同煎

向阳壁土二两（前一日淘净晒干），用河水三盏，先将壁土同砂仁一钱煎至一盏半，去土等澄清，入前药九味煎至一半服。

如法服两剂，大便成条且多，小腹左旁之青筋十退其七，右旁尚多，腹膨脐突渐减，小溲赤而长。

又，七月初一日复诊方：用四君子汤加苡仁、苦楝子、大腹绒、红曲、黑大枣（二味仍照前法），用向阳壁土二两，以鲜荷叶包土（线扎），用河水两碗半煎至一半，去土澄清，煎药八分一碗服。

又，初三日复诊方案：正值治虫之际，法宜益胃养正，佐以酸、苦、甘、平，虫可渐去，积可

渐消。

人参三分,另煎 焦冬术八分 白扁豆三钱,
炒 苡仁三钱,炒 广木香六分,切片 黑牵牛六分,
略焙 乌梅肉三分 茯苓三钱 黑大枣一枚,去核,内
入炒开口川椒末二分,扎紧

上药煎好去渣,至未末申初先服其半。其余一半,至五更初用鹤虱八分(焙黄)槟榔六分(晒研勿炒)榧子肉八分(略炒),预将三味俱各研极细和匀,至时用前药汤炖温调服。服后勿即饮食,待虫出觉饥以薄粥运之。

次日复诊:据述遵余法,于申初先服煎剂一半,预将后三味如法研极细,至五更初正值自鸣钟寅时之初,将前汤炖温调和末药,徐徐服之。服后未几即觉腹中攻动,不甚疼。少顷觉饥,主人遵余言不肯与食。至辰时泻出扁虫九条,夹稀粪而下。其虫与前之呕出者一般样式,惟头上无尖角,大者长约八分,色红形扁,有嘴无足,养于水中特持余观,离盆尺许即有秽浊蓄毒之气,是以不能近视。以箸拨之,头尾皆能举动。再以箸捺之,复以小刀破其肚,腹中有白膜,内又有如菜子细粒者,似乎子也。当与吾子侄辈并及门诸生详视之,以为来日临

症之鉴。其虫较之扁杏仁尚大一倍,长约八分,亦有稍短者。此虫,先大人我舟公治验屡屡。所谓肉鳖虫,形如扁杏者,信不诬也。此虫若不速治,久留肠胃屈曲之所,渐生四足。始也蚀胃中之宿物,继也蚀人身之血肉,渐成血鳖,游走肠胃空虚之所。五味断绝,虫便蚀人五脏之五味。甚至腹大如箕,青筋毕露,四肢消瘦,时胀时痛。虫蛊已成,缓治杀人,种种变幻,皆斯虫之为害耳。虫式列下,虫形稍有阔狭长短,其式样绘图无二。



以物擦之可以
伸长可以缩短



反面色淡有眼



正面色红无眼

又,初四日复诊方案:昨以辅正驱虫法,虫下九条,形色若鳖。证脉详谛,尚有未尽者,仍宜固本养胃,少佐祛虫之法,尤为上策。

人参三分,另煎 淮山药二钱,炒 焦冬术八分
茯苓三钱 广木香六分,切片 椿根白皮一钱,
焙 乌梅肉二分 黑枣一个,去核,内入川椒末二分
煎好去渣,照昨法先服一半,其余一半,预

用白茺萸一钱 (干面同炒黄 ,去面研细) 槟榔六分 (研细) 使君子肉一钱 (切片 ,研细) 生甘草三分 (猪胆汁浸透 ,焙研细)。

四味研极细 ,至五更初调入前汤内温服。如饥 ,照昨勿与食。待虫出后 ,少顷饮以稀粥。

如法服药 ,腹中不攻不痛。至二更时泻出如前之虫二十五条 ,挟稀粪积滞而下。至五更初 ,仍将前一半药汤与四味药末调服。服后至辰时 ,又泻出如前之虫六条。连日疲倦欲睡 ,自虫出之后觉精神稍健。自昨至今 ,共出肉鳖虫四十条 ,皆从大便夹稀粪积滞而下。腹中有如此之虫累月穷年 ,无怪乎颈细腹胀、食减体羸、脐突筋青、时痛时止、好啖水果生冷肥甘油腻。脾愈伤 ,胃愈弱 ,以致积愈滞 ,虫愈增。庸工无识 ,不敢治疗 ,延绵至今 ,求治于余。余察脉辨色 ,明知积虫满腹 ,所不即驱者 ,深悉脾土久亏 ,骤然一攻 ,儿命何存。必得调元辅正 ,中佐以酸、辛、甘、苦而引导之。待其坤元日健 ,然后以人参辈益胃养正 ,佐以消积去虫之剂。服后约三时之久而虫下九条 ,更方再剂而又下三倍零四 ,非但神识不疲而反觉精神稍健。服予煎剂半月 ,虽得验于此刻 ,倘前无数日之良剂 ,则又

难以效速于今日,医岂易易^①哉。

又,初五日复诊方:

人参三分,另煎 云茯苓三钱 白扁豆三钱,
炒 苡仁四钱,炒 归身八分 白芍药六分,炒 乌
梅肉三分 木香六分,切片 白芫夷一钱,干面同炒
黑大枣一枚,去核,内入阿魏末二分,线扎

上十味用河水煎好去渣,预备猪胆汁浸甘草三分,焙干研细,冲服。

午前空腹时服,至申刻下虫一条如前式。
自初三至此服药三剂,共下肉鳖虫四十一条。

又,初六日复诊方案:虫除积消,由渐而下,
再拟扫清一法,以杜余波。

人参四分,另煎 制黄精二钱 芡实二钱,炒
苡仁三钱,炒 茯苓二钱 草薹仁三分,炒 槟榔一
钱 木香六分,切片 黑大枣一枚,去核,内入芦荟三分,
线扎

上九味用河水煎好去渣,再用雷丸五分
(焙),鹤虱六分(炒),使君子七分(炒),乌梅肉
三分(焙),猪胆汁浸甘草三分(炒)。

五味共研极细末,计重二钱四分,分作

^① 易易:容易,轻率,简单。

两服。

初服如前，申初用前煎好药汤一半调末药一钱二分，炖温服。后一半药汤，待五更初再以末药一钱二分调服，服后仍勿饮食。俟积秽等出，嘱其细看，或有如瓜瓣者，如烂杏片者，如枣核者，等等不一，当仔细视之。待既出觉饥，继以薄粥调之。

照法服后，即觉腹疼肚膨，小腹青筋在脐下粗急微痛，少顷渐缓。随解溏粪培看，内有细碎如谷者，又有如老菜筋之状者，前虫全无。已后又解黏垢积滞之粪，腹膨顿宽，青筋亦退。至于夜来跗肿、早上面浮，三日前已不觉矣。今虫除积消，遵经旨大积大聚衰其大半而止，但以参苓白术散出入加减。煎服七八剂，继以丸剂调理收功。

丸剂调理方案。戊寅七月望日定

脾胃久亏，得之纵啖生冷，肥甘不禁，以致积蓄虫生。头大颈细，腹膨筋青，肚痛脐突，面色痿黄，骤然呕出三虫。虫何状，色红形扁，有嘴无足，异形怪象亦人所罕见者。余虽经验有年，然亦有可治而不能治者，有不能治而可治者。其说有二，一者有腹如铁石，胀大如鼓，面

浮足肿 种种恶象不能治也。然喜其食能稍进，六脉虽洪大，冲阳脉尚平，知其胃气犹存一线生机，尚可救活，所谓不能治而可治者此也。二者娇养过爱，证已成而尚纵啖无忌，予以药治，彼以食乱。竟是诱之、劝之而详述之，反生怨尤。虽有婆心，其如功亏一篑，何所谓可治而不能治者此也。如三令郎之疾，则介乎二者之间。五疳虫积，原非轻证，况积非食积，虫非蛔虫。色脉合参，虚实相兼。将谓驱虫以存正，而僻壤岂可勤兵。抑或辅正以驱虫，而朽索终难驭马。谛思良久，莫如补之、调之、和之、运之，间佐以引动之。不数剂而脉渐有神，面之挟青亦渐转而微黄。黄者，中央戊己之土色也，亦渐有生机之征也。虽精神尚疲，喜其脐突渐平，腹筋渐退，知是积将松、虫将动，又值治虫之期。于是以人参、苓、术辈，少佐化积祛虫之法。三日来循序而下，通计四十余虫，不为不伙也。况年将十有三岁，日食几何，气血几何，能容此虫而日蚀精华乎。不久变易，命何如之。设非辅佐之法，何能一驱而去之。然而，初无数日之工夫预备潜藏，虽有参、苓辅督，亦难一驱而出。犹如用兵伐寇，须预为藏伏，然后得“一战以取胜之”

之意耳。今也积消虫除，脉象渐平，惟右关脉虚大无力，左关微弦，肝脾之正气未复，加意调治，继之以丸，三易其稿，不无小补云尔。至于食淡茹蔬，莫贪生冷肥甘，保身之家，料知慎重，亦毋烦余之过为叮咛者。

潞党参三两 於白朮一两五钱，用向阳壁土二两同炒焦黄，筛去土 云茯苓二两，人乳拌蒸晒 大红绸一尺，要无胶水者，阴阳瓦上炙脆勿焦，研极细和入药内

李时珍积滞单方用黄丝绢灰和汤服，与余之用大红丝绢灰同群药为丸而治虫积后调理收功之法，亦各有取意存焉。

益智仁一两五钱 建莲肉四两，去心衣，用胡黄连二钱、河水一盞同煮烂，捣入药内 炙甘草一两 黑大枣五枚，去核，用乌梅肉二钱、河水一钟同煮极烂，捣入药内 当归身一两，酒洗 青蒿子一两五钱，用鳖血拌透，晒干焙脆，研极细，和入药内 白芍药一两，炒

上药十一味，各焙、研、煮、捣、和匀，炼白蜜为丸如小绿豆大，晒令极干。外用鸡内金二两，炙 大麦仁二两，炒 薏苡仁四两，炒 山查炭三两 广木香一两，不经火 六神曲二两，炒 新会皮一两，炒

共七味，俱研筛极细，用鲜荷叶煎汤，洒叠

为衣。每服四钱，清晨百合汤送下，间以炒米汤送亦可。

案定方成，适有客过予而诘之曰：“子之案则明矣，何用药之意不遵古方，而私心自用，所谓学古者何在！”曰：“因脉定证，因证制方，无取乎学古不化必执古方以治今病。试问轩岐又宗谁氏之方？可知今日之古方即昔日之新方也，安见今日之新方非后日之古方乎。”曰：“子之理则明也，辞则达也，志则高也，未免言大而夸矣。”曰：“否，碌碌庸庸，草菅人命，吾忍乎哉。”客唯唯，不复辩。

（案苑） 治奚鸿伯右腿疼痛，足不任地，几成鹤膝之验

奚鸿伯，年二十五岁，嘉庆壬申四月延诊痛痹症。

风寒湿合而成痹，气血凝滞，右腿疼痛，大筋急缩，足不任地，屈而不伸，其病在筋，迄今月余。疡科妄作外症治，几乎误事。现在膝盖大而腿弯小，渐成鹤膝。况在新婚之后，更非所宜。脉形细涩，法当养血，佐以温疏，再为之计。

制香附三钱 归身一钱半 薏苡仁三钱 木

瓜一钱半 川桂枝一钱 红花一钱半 怀牛膝一钱半
乳香八分,去油 新会皮一钱半

加嫩桑枝五寸。

外用青葱一把,同大皂角两枝(打碎)河水煎滚,用棉布浸透绞干,熨右腿胯及膝盖上,冷则易,熨时避风。

服方两帖并熨后,疼痛、筋缩稍缓。

又复诊方:前方去苡仁、红花,加续断、木通、没药等。外用葱白头五两捣碎炒熟,乘热熨右胯及膝盖,冷则易之。晚间即用余下葱管同生姜五两、大皂角两枝俱打碎,用河水两大碗再和滴醋一茶钟同煎滚,乘热用绵布浸透,自胯至膝及脚淋洗数遍,冷则易之,避风拭干。

服前方两帖并熨后,右脚可落地,稍可扶立,非前之筋屈不伸、足不任地可比,且右胯及膝之大筋牵痛亦自觉缓。

复诊:仍用原方,再三剂,前证又减。再以补中益气汤加木瓜、木通,服五剂而足跗之肿、胯膝之牵疼、筋缩俱减大半矣。再如前服五剂,诸证全瘳。

(案愿) 徽州吴宾鸿大腹疼痛,感寒夹食

治验

徽州吴宾鸿，年逾二旬。

大腹疼痛，右脉紧滑。感寒夹食，温疏运食为宜。

广木香八分 白蔻仁五分 制香附三钱 神曲三钱 炒 半夏曲一钱半 炒 广藿梗一钱半 生甘草六分 陈皮一钱

加青葱一大枝。

服一剂，寒散痛止。

（案怨）徽州金子陶右耳脓水结核，几为庸工所误

徽款金子陶，癸酉七月三十诊。

右耳脓水结核，由寒热而起。其始未经疏解，徒用耳门套药，以致寒热八日未退。幸喜年少，暑湿之邪感之尚轻，未见害事。法宜清解，二者兼治。

香薷一钱半 防风一钱半 绿豆皮三钱 扁豆皮三钱 藿香一钱半 柴胡五分 淡黄芩一钱半，炒 生甘草五分 连翘一钱半 去心

加生姜一片、松萝茶二分，河水煎。

服一帖，寒热退，耳脓少。再剂，耳门之肿

硬消矣。

(案 苑) 休邑詹寅宾三阴亏损 ,丸剂调理
休宁詹寅宾丸方 ,癸酉八月初四日诊。

案云 :右尺虚软无力 ,责之命火之有亏 ;左尺濡小 ,责之肾水之不足。水不足而木失所养 ,相火上炎 ,则喉舌有时而干苦 ,肝主疏泄 ,则又有遗泄之患。火一亏而脾土失运化之机 ,是以食后每有不疏之象。他如阳事之不举 ,举而不坚 ,亦命火之不充也。法宜养水以滋木 ,补火以生土 ,则水火旺而阴平阳秘矣。然气为水母 ,水出高原 ,而固气之品亦何可少。经云“未有子贫而母独富者” ,正此谓耳。

大熟地六两 ,捣入 元武胶一两五钱 ,炒珠 鹿角霜二两 山药三两 ,炒 破故纸一两半 ,芝麻同炒 益智仁一两半 洋肉果一两半 ,煨 杜仲二两 ,盐水炒 青龙骨二两 ,煨 山萸肉二两 五味子一两 沉香一两 ,勿经火 左牡蛎三两 ,煨 羊外肾一对 ,蒸熟捣入

上为细末 ,用西党参六两煎膏代蜜为丸 ,如梧桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送下。

(案 丙) 盛泽沈懋嘉暑症 寒热欲呕治验
盛泽沈懋嘉,癸酉五月下浣。

暑症内蕴,法宜和解。

香薷一钱半 广藿香一钱半 淡黄芩一钱半,
炒 陈皮一钱半 赤苓二钱 江枳壳一钱半,炒 山
查炭三钱 柴胡三分 甘草六分

加生姜五分、黑大枣一枚(去核)同煎。

服此,症发于午,寒轻热重,至更余退凉。

又,复诊:症发欲呕,病关少阳、阳明。

淡豆豉三钱 香薷一钱 广藿香一钱半 制
半夏一钱半 淡黄芩一钱半,炒 柴胡五分 肥知
母一钱半 生甘草六分 赤茯苓二钱 橘白一钱
山查炭三钱 白蔻仁三分,研

加生姜皮三分、松萝茶二分,河水煎。

服此,寒热俱减,惟寒时仍欲呕,胸闷不饥,
大便七日未解,小溲短赤。

又,复诊:

瓜蒌全四钱,酒炒 淡黄芩一钱半,炒 淡豆豉
三钱 柴胡四分 半夏曲一钱半,炒 赤茯苓二钱
大麻仁三钱,研 连翘一钱半 飞滑石三钱 生甘
草五分

加生姜皮三分、黑大枣一枚,去核同煎。

服后寒热更轻，口不甚渴，大便次早解结粪成条。从此胸闷渐宽，脉之弦滑者亦渐平矣。

又复诊：

生葛根一钱半 淡黄芩一钱半 半夏曲一钱半
炒 滑石三钱 广藿梗一钱半 生甘草六分
赤茯苓二钱 知母一钱半 白蔻仁五分 研

加生姜皮三分、黑大枣一枚，去核。

服此症止，口稍干，小溲仍赤，渐知饥。法宜和胃生津。

次日复诊用：鲜石斛、麦冬、花粉、半夏曲、生谷芽、滑石、甘草、青皮、湖藕等，服三剂而安。

(案 圆) 邹上珍次子风暑夹食，身热治验
邹上珍次子。

头胀、身热、欲呕，舌苔腻黄，时值七月，脉象浮小。风暑夹食，治宜清疏。

香薷一钱半 防风一钱半 淡豆豉三钱 江枳壳一钱半 炒 神曲三钱 炒 查肉三钱 炒 赤茯苓二钱 半夏曲一钱半 炒 藿梗一钱半

加六一散三钱（同煎），白蔻仁三分（冲）。

服后少顷，汗出遍身，热即渐退。

次日复诊：大便结粪甚畅，舌苔退其大半，

知饥,惟头角少有微疼。再以二陈汤加枳壳、滑石、白薏仁,和其胃土,两帖而痊。

(案 灵苑) 詹介臣子腹痛旧恙,交秋感寒停食复发治验

休宁詹介臣乃郎。

腹痛旧恙,正值秋令,感寒停食而发,此气口脉之所以紧滑也。速宜疏通,防转寒热。

老苏梗一钱半 广木香八分 焦谷芽三钱
陈皮一钱半 大腹绒一钱半 六神曲三钱,炒 生
甘草七分 滑石三钱

加青葱一枝。

服一帖痛即止,惟大腹少有不疏,再剂而瘳。

(案 灵苑) 朱声传上吐下泻将成霍乱治验
朱声传

脉形沉数,暑湿热三气内阻,秋凉外袭,头疼腹痛兼呕,泄泻稀水,胸闷不饥,小溲短少。病关上下,实由邪闭中宫,霍乱之征也。当和其中,俾邪解湿降,以免变端。

淡豆豉三钱,葱汁炒 姜制半夏一钱半 藿香

一钱半 甘草五分 六神曲三钱 炒 姜制厚朴一钱
滑石三钱 陈皮一钱半 车前子一钱半 炒 赤茯
苓二钱

加藕二两同煎。

服一剂，呕痛即止，小溲渐长，再剂而胸闷、
泄泻霍然矣。

(案 员) 慈溪岑自高深秋病症治验

慈溪岑自高。

寒热有期，症起三日，舌中腻黄。邪阻少
阳、阳明，发在深秋，当和荣卫为主。

柴胡一钱 葛根一钱半 淡黄芩一钱半 制半
夏一钱半 藿香一钱半 滑石三钱 赤茯苓三钱
白蔻仁六分 甘草五分 知母一钱半

加姜皮五分、松萝茶二分。

服前方，寒热减半。

又，复诊，拟小柴胡加味治之。

柴胡一钱 黄芩一钱半 熟半夏一钱半 赤茯
苓三钱 草果六分 煨 槟榔一钱半 山查炭三钱
炒麦仁三钱 花粉一钱半 甘草五分

加生姜皮六分、黑大枣一枚（去核）。

服此，寒热大减，溲赤，舌苔尚腻。继用鳖

血炒柴胡、黄芩、制半夏、煨草果、酒炒常山、滑石、甘草、焦谷芽、黑山栀等，加姜、枣煎，服此症止。

(案 10) 钱怀德积块常痛，深秋受寒，腹痛益增兼呕吐

钱怀德

气食相凝，积而成块。两月以来，大腹常痛，今因深秋受寒，逐动旧块，腹痛益增，食入即吐，法宜和中兼疏。

制香附三钱 良姜一钱 半夏曲一钱半，炒
藿梗一钱半 广木香一钱，切片 枳壳一钱半，炒 焦
谷芽三钱 薤白三钱 元胡索一钱半 查炭三钱
加葱一枝。

服此一剂，腹痛即止，吐亦停矣。

(案 11) 论治休邑汪雨苍湿郁太阴渐成黄疸之验

休宁汪雨苍，年逾二旬，甲戌正月。

黄瘴症，由感寒而复，恣食荤腥，身热五日，有内伤外感之象。服余疏解药，无汗而热退，虽退而腹中水鸣、疼胀、不饥纳少、嗜卧，从此面目

俱黄，胸腹肢臂亦渐转黄色，小溲短赤，四肢清冷，右关沉细。其为湿阻中宫，脾阳不运可知。拟“开鬼门、洁净府”之法而变通之。《经》云：“溺黄赤，安卧者，瘕病。”溺赤者，热之征也；安静嗜卧者，湿之征也。所以有开鬼门，洁净府之法。开鬼门者，从汗而泄其热于肌表也；洁净府者，从下而泄其湿于小便也。

茅山术二钱，葱汁炒 苏叶二钱 淡豆豉三钱
赤苓三钱 广木香八分 秦艽二钱 川木通八分
猪苓一钱半 江枳壳一钱半 炒
加煨生姜一片，河水煎。

服前方一帖，二目之黄稍减，小溲仍日二次，其余如前（正月十七日方）。

又，复诊方（十八日）：

煨葛根二钱 生茅术一钱半 姜制厚朴一钱
苡仁五钱 淡豆豉三钱 黑梔皮一钱半 桑白皮一钱半
泽泻一钱半 赤茯苓三钱 猪苓二钱
加灯心五尺。

服此一帖，二目白珠之黄约减三分，小便日三次，色赤稍长，其余如前。

又，复诊方：仍拟温中却湿法（十九日）。

葱汁炒妙法 淡豆豉三钱 姜制厚朴一钱

泽泻一钱半 葱汁炒妙法 大豆卷三钱 酒炒秦
 艽二钱 赤苓三钱 淡干姜五分 黑山栀一钱半
 木通一钱 猪苓二钱

加苡仁五钱，河水煎服。

服此方，面目之黄俱减，胸腹之黄色亦渐退，约十去其五。小溲仍赤，日三次。知饥，日进粥三四碗，甚妥。

又二十日复诊方：

茅山术一钱半，炒 焦冬术一钱半 秦艽二
 钱 茵陈一钱半 淡干姜六分，焙 赤茯苓三钱
 猪苓一钱半 木通一钱 桑白皮一钱半 生甘草六
 分

加苡仁五钱，同煎。

服两剂，黄瘴退其七八，小溲日三四次，长而色白，知饥能纳，惟腹中少有疼胀不疏之象。即原方去茅术、桑白皮、木通，加半夏曲、麦芽。再二剂，黄始退清。继以六君子汤加扁豆、益智仁、黑大枣调理而痊。

(案 臆) 详论王兰谷太亲翁类中险症治
 验，并附丸方调理收功

妹倩王履安乃尊兰谷老亲翁，年近古稀，甲

戌春正。

卒然昏默 ,口角流涎 ,语言蹇涩 ,目呆鼾睡 ,体倦肢冷 ,遣人邀予救之。其脉浮小而软 ,左关带弦 ,右关兼滑。口喎于右 ,病属于左 ,所谓正气反急而邪气反缓也。正值春令 ,假外风而引动内风 ,风火煽而痰升 ,此类中之征也。权拟调卫和荣、顺气化痰一法。冀其神识稍清 ,再为之计。(正月二十四日案)

西党参三钱 桂枝梢一钱 制半夏一钱半
青皮八分 制僵蚕一钱半 钩藤钩五钱 ,后入 菖蒲根五分 陈皮一钱 炙甘草五分

加竹沥五钱、生姜汁一匙冲。

服后神识渐安 ,痰涎稍减 ,左手足亦渐活动 ,溲便如常 ,少可进粥 ,语言仍有似清非清之象 ,身中畏寒 ,脉形如昨。原方去青皮、僵蚕 ,加生黄芪、防风。再剂 ,服之畏寒之势渐止。

又 ,正月二十六日复诊方 :用六君子汤加钩藤、威灵仙、桂枝、归身、白芍辈 ,加竹沥、姜汁冲服。服两剂 ,日来精神稍健 ,食饮渐增 ,而口角流涎未已 ,舌本尚强 ,苔白如膩粉。足征脾胃之精气未复 ,土虚木横 ,见证于左。法当扶土养肝 ,益气平木 ,从左引右 ,从右引左。喻西昌所

谓“溉其未枯，旁枝自茂”，旨哉斯言！仍用六君子汤加生黄芪、归身、天麻、秦艽、淡苡容、甘菊炭等，加煨姜一片、南枣两枚同煎。

服三剂，大便一次，先结后溏，食饮如前，舌之白腻胎稍松。即舌强喎左，中间高突之势亦渐有伸直之象，其口向右歪亦觉稍平。第素性病后最喜多啖杂食，刻下亦复如是，思食糕饼，而又想吃建莲、枣子及面食、荤腥等物，与粥饭相兼。恐脾胃稍健，又为杂食所伤，深属告戒，以杜其变耳。

复诊：仍用六君子汤加生黄芪、淡苡容、怀牛膝、远志、木香、秦艽辈。最后加香谷芽五钱，取同参、芪等，生发胃土之精，又取调脾运食，一举而两得之也。进三剂，安妥如前。

复诊：再以归芍六君子汤加制首乌、女贞子、远志、木瓜，加姜、枣同煎。服三帖后，左半身渐有力活动，可以扶持行步。惟左手指虽能把握，究觉无力。口稍歪于右，舌根渐正，究嫌肥胖，语言仍稍不清，舌之强也，却非心中不明可比。

复诊：仍以“归芍六君”加炙黄芪、枸杞子、枣仁、益智仁，加姜、枣煎。服四剂后，左手足渐

自活动 能步能握 足征气血之渐运于左也。惟舌本稍强而带胖 心脾攸关。

复诊 议归脾汤加柏子仁、建莲肉等。煎服四帖颇安 而指掌摄握犹嫌乏力。

又 复诊方 经云“掌受血而能握 指受血而能摄”。今握、摄不能自如者 亦血之不能荣筋也 固宜养血 亦须益气。《难经》云：“气主煦之 血主濡之。”《内经·调经论》曰：“气之所并为血虚 血之所并为气虚。”又曰：“气并则无血，血并则无气。”由此推之 则血虚者亦宜补气 与予意相符也。

西党参三钱 炙黄芪二钱 制首乌三钱 归身一钱半 枸杞子三钱 柏子仁三钱 女贞子三钱 白芍一钱半 炒 菟丝饼一钱半 怀牛膝一钱半 制香附二钱 陈皮一钱

加建莲肉三钱 去心炒。

服前方四剂 食饮倍增 精神渐旺 左手足亦渐有力 手指稍可摄物 二便如常 口渴渐正 舌强而胖大之象亦十减其半 舌胎之腻白亦十退其七矣。惟贪食易饥 食后疲倦欲睡 究属脾胃之不健运也。

复诊 用“五味异功”加柏子仁、益智仁、麦

芽、山查、建莲肉，补而兼运。服四剂，诸证咸安，继以膏滋方调理收功。膏方列下：

西党参五两 炙黄芪二两 大熟地六两 归身一两半 枸杞子二两 柏子仁三两 酸枣仁一两半 炒 茯神二两 鹿角霜一两半 女贞子四两 山萸肉一两半 炙草一两 左牡蛎四两 筛粉，候膏成和入 宣木瓜一两半 怀牛膝一两半 砂仁八钱

上药十六味如常法煎膏，量加炼白蜜收膏，贮磁器内，退火气三日。每晨服五钱，用开水调服。

（案 员） 张云衢喘症屡发治验

张云衢，年五十三岁，甲戌二月，喘症复发治验。

案云：喘咳有年，不时举发，发则气逆痰壅不能卧，必得气平痰缓始能渐卧。即此知其喘咳之发，实由痰之不易出也。而痰之所以不易出者，则又关乎气与火耳。盖“气有余便是火”，火即无形之痰，痰即有形之火也。于此三者而分虚实缓急之治，是为尽善。而分之之法，又在乎脉之虚实而定之。此脉之右寸软小不疏，关脉滑数，左尺濡小，而按之皆无力者是其验也。

当宜治本 ,而少佐治标之法 ,庶乎近理。

西党参四钱 淮山药三钱 炒 白花百合五钱
 苏子一钱半 炒 甜葶苈一钱半。糯米同炒 黑大枣
 三枚 ,去核 叭哒杏三钱 ,去皮尖 代赭石一钱 ,煨研冲
 旋覆花一钱半 绢包

加老枇杷叶三大片 ,去毛 ,用姜汁和蜜水涂
 炙。

服此两帖 ,喘咳大减 ,呕亦停矣。

复诊 :原方去枇杷叶 ,加茯苓、梨汁半杯 ,入
 生姜汁两小匙冲。再两剂喘减六七 ,痰咳易出。

又 ,复诊方案 :调肺气而肾阴自旺 ,扶脾土
 而肺金自清 ,得此意者可与论治。

前方去代赭石、梨汁 ,加生黄芪、芡实、炙甘
 草。服三剂而喘咳遂平 ,惟食后常有原味噎出 ,
 且稍多啖必有腹胀不松之状 ,向来常有。固脾
 土之不运 ,亦肾阳之不充耳。再拟四君子汤加
 益智仁、旋覆花、叭哒杏、牡蛎、柏子仁等 ,调理
 而安。

(案 四) 上舍钱云峰齿痛、头胀治验
 上舍钱云峰。

上、下齿痛不止 ,兼之头胀 ,脉象浮缓小数。

风火相搏，用蔓荆子、甘菊、薄荷、元参、细生地辈。服三剂头胀平，惟齿痛尚有二三，用后方再两帖而痊。

大生地四钱 当归头一钱半 黑小豆三钱
白芷三分 生甘草五分 薄荷头一钱半 独活八分
用河水一碗半煎至一半，去渣服。

(案 圆) 文学汪书蕉头眩欲呕治验
文学汪书蕉。

头眩且重，舌苔腻黄，欲呕，肝胃为病。

天麻一钱半，煨 白池菊一钱半 元参二钱
白蔻仁四分 通草八分 生苡仁三钱 赤苓二钱
广藿梗一钱半 半夏曲一钱半 炒

加广木香二分磨冲。

服一帖，舌中黄苔十去其八，头眩恶心减半，再帖而痊。

间一月后，忽又胸背疼痛，咽嗝不爽。气闭痰凝，脉络不利。当用瓜蒌仁、丝瓜络、半夏曲、陈皮、枳壳、杏仁、桔梗、牛蒡子等，三剂而愈。

(案 圆) 上舍程梅溪忽然畏寒身热，遍体

不疏治验

程梅溪 年六十九岁 ,于四月二十九日。

忽然畏寒发热 略兼腰疼 周身不疏 无汗 ,舌胎白腻。贪凉恶热 ,不无冒风受凉 ,脉象浮小。法宜疏解 俾邪达表为妥。现在足冷 恐高年人难以胜任。

苏叶二钱 防风一钱半 秦艽二钱 薄荷叶一钱半 藿梗一钱半 甘草五分 半夏曲一钱半 赤茯苓二钱 陈皮一钱

加生姜皮六分、葱一枚同煎。

嘱其服药后 随以米饮助之。

次日复诊 :据述依法行之 ,少顷渐自汗出 ,遍体松爽。傍晚热退身凉。是方之妙 ,妙在苏叶、防风、秦艽、薄荷之功 ,取其疏表解肌 ,合薄荷而凉散之 ,佐群药以疏通之。服后歠粥饮以助之 ,仿桂枝汤之服法。少顷渐渐汗出透表 ,其病若失。设宗时下庸工以为温邪忌汗之说 ,则未有不误人于反掌间者。如果温邪 ,其人必壮热口渴 ,热自内达外 ,其脉多在肌肉之分而不甚浮 ,且右手反甚于左手者 ,诚由怫热在内故也。是以仲景曰 :“太阳病发热而渴 ,不恶寒者为温病也。”此证不渴而恶寒发热 ,舌苔白腻者 ,非温

病也明矣。

(案 圆) 陆玉鸣患春温症治验

陆玉鸣,年二十三岁,甲戌三月。

患春温症,由乍寒乍热而起,头重胸闷,舌白恶心,溲少腹疼,骨节痛,口干不喜冷饮,脉象浮弦。病经四日,温邪内蕴,疏解为宜。方以豆豉、苏梗、蔻仁、橘皮、枳壳、赤苓、半夏辈。服后乍寒之势不觉,其余如前。

次日复诊:用豆豉、瓜蒌、葛根、秦艽、枳壳、赤苓、连翘、山栀、半夏曲、杏仁等。服后惟小便一次甚长,而身热胸闷、头重恶心等仍如前未减,上部闭闷不疏,下部时有矢气。大便平素两日一解,今自起病前至此八九日未解。再拟小陷胸汤加味治之,方用小陷胸加葛根、大竹叶、枳实、赤苓、陈皮等。服之身热稍缓,头重、恶心略减,腹痛止。惟胸膈尚闷,仍气塞不疏,大便未解。复诊方列下:

细生地三钱 粉丹皮一钱半 炒 川黄连五分,
姜汁炒 前胡一钱半 瓜蒌全三钱 酒炒 赤茯苓二
钱 枳实汁六分 冲 槟榔一钱半 黑苏子一钱 炒
加梨肉一两、萝卜汁一小杯冲。

服此 ,至次日清晨大便一次 ,甚结且畅 ,胸闷气塞渐宽 ,惟身热十去其三耳。

又 ,复诊方 :

细生地三钱 竹卷心三钱 黄芩一钱半 炒
连翘一钱半 大麦冬一钱半 ,去心 牛蒡子一钱半 ,
炒 元参二钱 杏仁三钱 黑苏子一钱半 炒
加水梨肉一两。

服后身热十退其七 ,胸闷气塞大减 ,自早至午已饮粥四碗矣。

又 ,复诊方 :

霍山石斛五钱 知母一钱半 天花粉一钱半
连翘一钱半 ,去心 黑山栀一钱半 赤苓二钱 块滑
石三钱 苏子一钱半 炒 牛蒡子一钱半 炒 陈皮一
钱半

加荷蒂一枚。

服一帖 ,热始退尽 ,小溲亦淡而多 ,胸中气闷亦平。惟觉其口苦食无味耳。前方去知母、连翘、苏子、滑石、牛蒡子等 ,加小生地、麦冬、元参 ,两帖而瘳。

(案 圆) 孙振华春温 ,身热、胸闷、便结治
验

孙振华。

春温身热 ,六日未解 ,昨夜汗出遍身 ,今仍有微热 ,胸闷不饥 ,舌腻溲少 ,大便六七日未解。素多劳苦思虑 ,于三月二十四始求予治。诊脉象浮小 ,头痛胸闷 ,身热未彻。温邪内蕴 ,拟轻疏退热法。

蔓荆子一钱半 制半夏一钱半 瓜蒌仁三钱
池菊一钱半 广藿梗一钱半 山查肉三钱 ,炒 赤
茯苓二钱 陈皮一钱半 黑山栀一钱半

加青葱白两枚 ,河水煎服。

服此 ,头痛十去其八 ,大便通 ,身热渐退。

又 ,复诊方 :

瓜蒌皮三钱 薄荷一钱半 连翘一钱半 黑山
栀一钱半 赤茯苓一钱半 陈皮一钱半 元参二钱

服前方 ,身热退清 ,头痛胸闷俱已 ,惟大小便虽有而究未通畅 ,口苦无味。

复诊 :再以生地、麦冬、连翘、花粉、滑石、杏仁、甘草、赤茯苓、生谷芽等。服两帖 ,大小便通畅 ,食饮有味而安矣。

(案 圆) 范秋坪素有吐血症 ,近因咳喘气逆引动旧恙 ,痰红继又呕血治验

范秋坪。

素有吐血症，迩来咳喘气逆，痰块凝结，肌肉消瘦。脉右弱，左虚弦。正值春令，防其见血。

北沙参三钱 款冬花三钱 百合三钱 海浮石三钱 薏苡仁四钱 炙甘草六分 茯苓二钱 黑苏子一钱半，炒 叭啞杏三钱，去皮尖炒

加老枇杷叶三大片，去毛蜜炙，水煎服。

服四帖，痰渐少，咳呛上气如前。原方去苡仁、沙参，加党参、川贝母。再四帖，气逆稍平，痰色转黄，惟咳呛未减。

又，复诊方：

西党参三钱 北沙参三钱 山药三钱，炒 茯苓一钱半 炙甘草六分 川贝母一钱半，去心 百合三钱 蛤壳三钱 二原地三钱

加叭啞杏三钱，去皮尖炒。

服此四帖，咳呛、气逆、痰稠俱减。停药数日，又多步劳力，忽于三月初五日气逆呛血，色红无块，火升面热，约吐血一茶杯。右寸虚数，关脉见芤，左关弦数。速宜益气养阴，佐以引血归经之法，冀其渐止为最。

北沙参三钱 参三七五分，开水磨冲 紫菀一钱

半 川贝母一钱半,去心 款冬花三钱 侧柏叶三钱,炙 血余八分,研冲 人中白一钱,漂淡 黑苏子一钱半,炒 二原地三钱

加藕节七枚。

服后是夜未吐血,至清晨稍吐几口。

又,复诊换方:

北沙参三钱 丹参三钱 参三七五分,磨冲 茯苓二钱 蛤粉炒阿胶三钱 山药三钱,炒 旱莲草三钱 人中白一钱,漂淡 侧柏叶三钱,炙 叭啞杏三钱,去皮尖

加藕节七枚。

服两帖仍未吐,惟痰中带红。是日少劳动,至酉后忽又吐血几次,共约杯许。戌时延诊,其脉右虚、左弦、尺濡。随诊足脉,趺阳、太溪两脉尚存。然血吐过多,究防陡然汗脱,亟亟固气以统血,益阴以降火,不致再吐为最。

西党参四钱 参三七六分,磨冲 炒熟地四钱 麦冬一钱半 陈阿胶三钱,蛤粉炒 旱莲草三钱 侧柏叶三钱,炙 蒲黄一钱半,炒黑存性 五味子三分,研

加藕汁一酒杯冲。

用陈仓米一合煎汤代水,药渣内米须倒

河内。

服两帖，安妥如前，惟咳痰中挟血五六次，
 食饮稍增。

又，复诊方：咳呛痰红，益气润肺，兼养肝肾
 之阴。

西党参四钱 清阿胶三钱 血余一钱同炒 百合
 三钱 女贞子三钱 大熟地四钱 炙鳖甲三钱 紫
 苑一钱半 川贝母一钱半 侧柏叶三钱 炙 旱莲
 草三钱 茯苓二钱 五味子三分 研

上药仍用仓米煎汤代水，临服藕汁冲如前。

又，复诊：进前方，痰红甚少，而咳呛气逆之
 势午后尤甚。阴火潜燃，治当保肺清金，降火止
 血，以冀呛停，庶免血溢之虞。

北沙参三钱 淮山药三钱 炒 款冬花三钱
 百合三钱 叭啞杏三钱 去皮尖 清阿胶三钱 蛤粉
 炒 侧柏叶三钱 炙 鳖甲三钱 炙 制首乌三钱
 藕节七枚

上药煎好去渣，投梨汁一酒杯，再煎二三
 滚，倒碗内，入血余末八分冲服。

服两剂，咳呛气逆顿平，再两剂而痰红渐
 少。明日午刻立夏，再拟益气养阴，佐以清之、
 降之，以杜虚火上炎，是为上策。方用人参、熟

地、生地、天冬、麦冬、茯苓、炙甘草、人中白等，煎服两帖而痊。

(案 圆) 金陵俞正林春月感寒，辜丸胀痛引腰治验

金陵俞正林。

去春患腰痛颇重，服予煎帖全愈。今二月间，舟中受寒，辜丸胀疼，牵连两腰，脉象沉细。乃寒湿闭于下焦，宜以散寒却湿，防引动旧恙。

茅山术二钱 炒 小茴香一钱半 制香附三钱
独活一钱半 盐水炒 川续断二钱 炒 淡茺萸二分
当归梢一钱半 杜仲三钱 炒

加青葱须一钱五分。

服两帖，辜丸之疼痛顿止，腰痛大减，再帖全安。

(案 圆) 陆竹斋幼男腹膨便溏治验

陆竹斋乃郎，三岁。

腹膨便溏，手心发热。脾土不运，兼之食滞，轻补为宜，节食是嘱。

薏苡仁三钱 炒 白扁豆三钱 炒 大腹绒八

分 茯苓一钱 炙甘草三分 煨木香五分 砂仁
壳六分 查肉二钱 炒

加鸡内金八分 炙。

服三剂而霍然矣。

(案 圆) 廷尉汪式金两颧湿毒 ,暑风上
袭 ,溃烂出血漫肿 ,用轻清法甚效

廷尉汪式金 乾隆庚戌六月。

两颧湿毒 ,暑风上袭 ,疮溃出血 ,肿势未退。
治在轻清 ,避风、慎味为最。

绿豆皮三钱 元参三钱 土贝母一钱半 ,去
心 甘草节八分 荆芥穗一钱半 白芷八分 薄荷
叶一钱半 块滑石三钱

加西瓜翠衣二两。

服两帖 ,肿退血止。后头额又发疮痍 ,复将
此方再服三剂而痊。

(案 圆) 杨德裕向有吐血症 ,今夏冒暑身
热治验

杨德裕 ,六月二十九日诊 ,年十八岁。

向有吐血症 ,体羸瘦。近冒暑风 ,身热 ,舌
苔白 ,口干 ,溲赤 ,便结。法宜清解暑邪 ,当用香

薹饮合六一散，去厚朴，加藿香、薄荷、赤苓、白薹仁等。服后热势稍减，其余如前。

次日用薄荷、葛根、藿香、半夏曲、赤苓、车前子，合六一散，加荷梗。煎服一帖，身热大减，溲稍赤，出时溺管不痛，惟头胀兼咳。肺金之气未疏也，再以瓜蒌皮、蔓荆子、杏仁、橘红、贝母、赤苓、甘草、黑山栀辈。煎服一帖，热退咳平，而头额作胀，溲出尚赤，犹未平也。

复诊：用后方两帖而瘳，方列下：

鲜荷叶三钱 薄荷叶一钱半 藿香叶一钱半
通草一钱 冬桑叶一钱半 生甘草八分 黑山栀一钱半
橘红七分 蜜炙 车前子一钱半 炒研
加薹苡仁三钱，河水煎。

（案猿）南京夏耀庭先粪后血、脱肛治验
南京夏耀庭。

先粪后血，此远血也。脉形两关虚奕，法宜益气养荣，俾血止、肛收为妥。况值仲冬，水冷金寒，尤非所宜。

西党参三钱 焦冬术一钱半 炙甘草八分
炮姜五分 炒黑槐花三钱 炒黑地榆三钱 炒黑归身一钱半
陈皮一钱 蜜炙升麻三分

加炒黑荷叶二钱。

服前方三帖，血停，脱肛渐收。

复诊：原方去炮姜、地榆，加炙黄芪、白芍，再三剂而痊。

(案猿) 论治上舍程梅溪湿毒风癬药酒方，服后颇效，并定擦虫癬膏方奇验

休宁上舍程梅溪，药酒方，年六十九岁，乙亥三月二十三日诊。

素患风癬，见于股足。近又肢体手、腹湿毒浸淫，瘙痒无宁。起于肝脾，而波及于肺肾。艮、坤属土，震、巽属木。震为足而巽为股，坤为腹而艮为手也，二经有疾则见于部位。其所以又关肺、肾者，以肺主皮毛，肾主骨髓也。土虚挟湿而金弱，金弱而水亏，水亏则木火动而筋脉不荣也，一以贯之。法宜益气养水，润燥除湿，兼之壮筋健力，大可益寿延年，岂仅为风癬湿毒已也。

炙黄芪二两 制洋参三两，西洋者佳 大熟地六两 当归一两 元武板二两 炙 虎骨胶一两 不入袋 猪板油四两 不入袋 杜仲一两半 炒 怀牛膝一两 川续断一两 炒 绿豆皮二两 丹皮一两半，

炒 薏苡仁三两 炙甘草一两 苍耳子一两半 炒
白芍一两半 炒 黑大枣四两 新会皮一两半

上药十八味 ,内除去虎骨胶、猪油两味留待
熔化酒坛内。用滴花糟烧^① 十六斤、酒酿汁八
斤 ,共计二十四斤和匀置酒坛内。用本色夏布
袋将前药十六味盛袋内 ,线扎口 ,袋贮宜宽 ,防
药胀胖而味难出。其余虎骨胶、猪油两味另放
酒坛内 ,将药袋浸酒内 ,坛口用粗草纸数层盖
好 ,再以重物压之 ,使其气不外泄。约半月后 ,
早晚炖热量饮可也。

此酒服之有年 ,精力颇健 ,风癖大减 ,甚属
合宜。外用擦癣膏方附下 :

擦风湿虫癣膏方 :

百部一两 槟榔三两 芫荇三两 白芷二两

四味用河水三大碗煎至一碗半 ,将药汤另
置钵内。再用水一碗同煎药渣 ,煎至半碗 ,候药
渣色淡味出即去渣。将前汤和入后汤内 ,久煎
成膏。

候冷 ,再用芦荟五钱、胡桐泪五钱 ,二味候
天晴乳细 ,调入前膏内和匀。用本布蘸膏早晚

① 糟烧 :一种酒名。

擦癬,其痒自止。此予新制之方也,颇有至理存焉。自搽擦之后,其痒渐止,风癬渐除。

前注芦荟、胡桐泪二味候天晴乳者,因二药遇天阴黏滞难乳,天晴则脆而易乳也。后遇药铺中人述及芦荟须用盖钵,先放整矿灰于底,用油纸置灰上,将药摆上,再以油纸盖药上,又加矿灰于上,药隔于矿灰之中间,无论天晴、阴湿取用俱脆,一研如粉,因特注之。

(案獾) 詹寅宾子夏四月寒热交作,温邪内蕴治验

詹寅宾乃郎,四月中。

患寒热交作无定期,头疼身痛,舌苔腻白,鼻气直冲。温邪内蕴,治从辛凉疏解。

葛根一钱半 蔓荆子一钱半 薄荷一钱半 秦
 艽一钱半 赤苓二钱 半夏曲一钱半,炒 陈皮一钱
 半 青蒿子一钱半 甘草五分

加白蔻仁三分,研冲。

服后微汗,周体俱到,头痛、身疼、鼻气俱已。

次日复诊:舌绛而润,不饥纳少。当和胃土,兼清余热。方用霍山石斛、小生地、半夏曲、

赤茯苓、陈皮、甘草、黑山栀等，两帖而痊。

（案猿）汪书蕉身热头胀湿温治验

文学汪书蕉，乙亥五月二十八。

身热头胀，舌淡绛，胎腻，先凛凛而后热，脉象数而不浮。湿温内蕴，法从清解。

葛根一钱半 淡豆豉三钱 半夏曲一钱半，
炒 大豆卷二钱 薄荷一钱半 广皮白一钱 白蔻
仁五分，研 赤茯苓二钱 甘草五分

加生姜皮五分、葱白两枚。

服后汗出热退，而头额仍胀疼，兼咳，舌苔
腻。客邪未清，日晡仍防复热。

又，复诊方：

葛根一钱半 蔓荆子一钱半 大豆黄卷三钱
橘红八分 麦芽三钱，炒 山查炭三钱 广藿梗一
钱半 甘草五分 瓜蒌仁三钱，研

加生姜皮五分、葱白两枚。

服后午后仍发热，有汗兼咳，更余热退。

又，复诊方：今晨大便结粪两次，小溲赤，舌
苔仍腻。

薄荷一钱半 蔓荆子一钱半 杏仁三钱 赤茯
苓三钱 橘红八分 块滑石三钱 甘草五分 连翘

壳一钱半 瓜蒌仁二钱

加白蔻仁末二分冲。

服此热退清，咳嗽亦减。再以养胃生津、润肺止咳之法，二三剂而安。

(案獠) 上舍刘玉成由泻转痢治验

上舍刘玉成。

痢起于六月下旬，先一日腹痛水泻，次日转为白痢，约昼夜十余行，今则纯下红痢，一痛即下，却无寒热外感，脉象沉滞。暑湿交阻，法宜疏通，服后方两帖而愈。

茅山术一钱半 炒 薏苡仁三钱 香薷一钱
广木香一钱 赤茯苓三钱 淡条芩一钱半 炒 赤芍一钱半 炒 薤白三钱 五谷虫一钱 炙

加鸡内金二钱 炙。

(案獠) 王星池乃郎叶帆六月得时热无汗危险治验

王应奎(即星池)乃郎叶帆，嘉庆乙亥六月，年近二旬，未婚。

忽于初五日寒热交作，胸膈满闷，骨节疼，头顶痛。据述于未病前一日，无梦精遗。两日

来壮热不解，四肢遍身皆疼，甚至头痛不能举，足痛不能立，口不甚渴却喜饮凉，舌胎满布皆白。大便溏，日二三次。小溲短赤，出时觉痛，喉亦少痛。医因肢末清冷、便溏、咽痛，以为夹阴挟湿，用前胡、枳壳、赤芍、牛蒡、荆芥、苏子、大豆卷辈。服后反觉遍身不能动摇，因邀余治。诊其脉，寸、关小数不浮，左关、尺弦细。此时邪挟湿，伏于募原。虽滑泄于得病之先，不足深虑。所虑者，恐邪不外泄而内陷，致有劫津昏厥之虞。速宜疏解，使邪达表，是为上策，拟达原法损益之。

紫厚朴一钱 姜汁炒 葛根一钱半 淡豆豉三钱
秦艽二钱 白蔻仁五分 槟榔一钱 牛蒡子一钱
半 炒 滑石三钱 赤茯苓三钱 甘草六分 肥知母一钱半

加生姜皮五分、鲜荷叶一小个托底煎。

是日仍延前医，方用败毒散去川芎、薄荷，加黄芩，未服。亦云症重，须得汗解为妥。

又，复诊方进昨方，病无增减，疼痛身热如前，究竟得微汗为妥。

葛根一钱半 淡豆豉三钱 独活一钱 藿豆皮三钱 秦艽一钱半 瓜蒌全三钱 酒炒 枳壳一钱

半炒 大腹绒一钱半 川芎一钱 威灵仙一钱半
薄荷一钱半 淡黄芩一钱半 炒 木通一钱半

加鲜荷叶一小个。

是方疏解时邪，兼之除湿治痛，因加灵仙、木通，既能除经脉肢节之湿痹，而木通又治历节痛，且能利小便，此一举而两得之矣。

是方服后惟臂痛渐缓，其余未减，似乎药之未见奇绩也。而后忽烦热无宁，其脉见浮，得汗而解，岂非斯药之功欤！

又，复诊方：服前方惟臂痛渐缓，仍然壮热无汗，齿板干燥，痰多甚稠，筋脉抽掣疼痛，腿足尤甚，大便稀水，小溲赤少，胸中热闷，有时畏寒，盖被肢凉，忽又揭被烦热。究属邪伏半表半里，是以身体壮热，胸前烦闷，所饮汤水尽走大肠，而不能分利小肠，故大便溏泄，小溲短赤也。细绎脉形，今见脉浮，大有出汗之机。何以知之，缘忽烦于未汗之先，而脉见浮者必得汗而解也。

方用辛凉和解一法，佐以分清。嘱其药未服而先汗，是方免进，即服和胃生津之剂，方用石斛、麦冬、花粉、知母、滑石、黑山栀、甘草、陈皮，加姜、枣煎。

次日复诊：据述昨于午后，药尚未煎，病者愈烦，烦后渐渐汗出遍身及肢腿，惟两足跗未到。随将前和胃生津之方煎服，服后壮热渐退，周身疼痛顿缓，大便一夜未泄，小溲尚赤，腹中稍疼。舌苔腻白满布，今始自舌尖渐退，足征邪之解矣。午后稍有微热，此余波未尽也，拟“小柴胡”加瓜蒌仁、赤苓、麦冬、黑山栀，加姜、枣煎，服之邪热退清。

又，复诊方：热退身凉，邪从汗解，而犹有内热口渴，食不喜进。此胃津未复，余火未清也。法宜养胃生津，兼清余火为最也。

小生地三钱 麦冬一钱半，去心 小川连五分
花粉一钱半 块滑石三钱 甘草六分 赤茯苓三钱
陈皮八分

加竹沥五钱冲。

服前方两帖，内热口渴顿止，食饮渐贪，舌苔退其大半，小溲色淡，日来大便欲解不解，小腹稍胀，时有转失气。病后肠胃干燥，虽有宿垢，究宜润燥养荣为法。况平素大便俱二三日一解，其为肠燥可知矣。当以生首乌、麻仁、杏仁、柏子仁、松子仁、桃仁、油当归、陈皮、甘草辈。两帖而肠润便通，食饮倍增，神静睡安，继

用归脾汤出入 , 调理收功。

(案猿) 俞宝成五月间患时热便泄 , 邪阻中宫治验

俞宝成 , 年二十二岁。

患时热一旬 , 大便溏薄 , 溲少 , 胸闷 , 口干 , 舌苔干糙 , 不饥不纳 , 服药罔效。于五月二十五日始乞治于余 , 诊脉形弦数。邪阻中宫 , 深虑陷阴劫津。法宜清解 , 俾热退泄止为妥。

小生地三钱 丹皮一钱半 , 炒 淡黄芩一钱半 , 炒
葛根二钱 小川连四分 薄荷一钱半 淡豆豉三钱
赤苓三钱 煨木香一钱 甘草六分 车前子一钱半 , 炒 泽泻一钱半

加鲜荷叶一小个。

服一剂 , 未两时 , 汗出遍身 , 少顷热势大减 , 便泄止 , 小溲有 , 非前之难出可比。饮薄粥两碗 , 大有转机。

复诊 : 仍觉口干 , 胸中热。舌中央仍带腻黄苔 , 渐润 , 非昨之干糙可比 , 脉仍弦数。

原方去丹皮、豆豉、木香 , 加麦冬、滑石等。煎服一剂 , 热退清 , 胸中不闷不热 , 口干亦减 , 解结粪二三寸 , 小便少而长。舌中近根处尚有如

棋子大之焦黄胎未退，惟舌尖下半截之胎退，色红且润。凡一切舌苔，邪渐盛，则苔由舌根而渐至中央，而至舌尖也。退则由舌尖而渐退至中央，而至舌根也。此一定之理也，此证之退亦然。其舌根处之焦黄苔未退者，亦余邪之未尽也。宜和胃生津，佐以清火降浊而自平，无足虑耶。方用石斛、麦冬、花粉、川连、甘草、滑石、赤苓、陈皮，加陈粳米一撮煎汤代水，两剂而瘳。

（案猿）吴江吴树廷咳嗽十有余月，昼轻夜重，内热喉痒，痰不易出，几成虚怯治验

吴江吴树廷，年二十二岁。

咳嗽由去夏六月感冒而起，缠绵十月。土医作阴虚治，皆未获效，特买舟就治于余。细审病情，咳嗽十有余月，昼轻夜重，内热喉痒，痰不易出。幸食饮如常，神识不倦。右寸、关脉来细奕兼滑，肺气有亏，勿因内热而恣投寒凉，以致转怯。宜先清补肺脾，使金旺而水生，土旺而气充，则咳嗽自平矣。

白花百合一两 北沙参三钱 款冬花三钱
 苡仁三钱，炒 叭哒杏三钱，去皮尖炒 淮山药三钱，
 炒 黑苏子一钱半，炒 炙草八分 海浮石三钱

加老枇杷叶三钱，去毛蜜水炙。

服后咳嗽如前，仍甚于半夜，必待痰出咳渐缓。再剂服于临睡时，服后即咳且甚，至夜半应咳之时，反不咳嗽矣，一夜安宁，颇属合宜。第肺气久虚，左关微弦，防木火侮金而有痰红之虑。

复诊：前方去苡仁、海浮石，加茯苓、蛤粉炒阿胶，紫衣胡桃肉（连鬲板用）。服两帖，咳嗽更减。再二剂，咳嗽较未服余药前约十去其五矣。

又，复诊方：进前方咳嗽日减，再以益气养阴，以冀其平耳。

北沙参三钱 制首乌三钱 炙鳖甲三钱 茯苓二钱 叭啞杏三钱，去皮尖炒 淮山药三钱，炒 左牡蛎三钱，煨块 天冬一钱半，去心 五味子三分，研 紫衣胡桃肉一枚，连鬲

加白花百合一两五钱煎汤代水。

服此三剂，午后咳缓，夜半后咳亦日减，痰易出，喉痒平可。

又，复诊方：咳嗽昼轻夜减，惟素有梦泄，约月余一遗，亦关肝肾之阴弱，肺脾之阳虚，二者兼施。

西党参三钱 北沙参三钱 山药三钱，炒 制

首乌三钱 女贞子三钱 左牡蛎三钱 煨块 芡实
三钱 炒 叭哒杏三钱 去皮尖炒 五味子三分 研
紫衣胡桃肉一枚 连鬲 天冬一钱半 去心

加白花百合一两半煎汤代水。

服前方十五剂 咳嗽全安 继以丸方 调理
收功。

丸方：

西党参五两 淮山药三两 炒 大熟地五两 捣
入 茯苓一两半 清阿胶二两 融化 甘枸杞二两 焙
山萸肉一两半 芡实三两 炒 天门冬一两半 去
心 大麦冬一两半 去心 叭哒杏四两 去皮尖炒 陈
皮一两 炙甘草一两

上为细末 先将熟地、阿胶捣杵融化 入药
和匀 加炼白蜜为丸如桐子大。每服五钱 清晨
滚水送。

(案獾) 李小山六月身热、头胀、骨节疼
治验

李小山 乙亥六月十九。

忽身热头胀 骨节兼疼 脉小数不浮。时邪
内伏 法宜疏散。

蔓荆子一钱半 防风皮一钱半 秦艽一钱半

大豆卷一钱半 块滑石三钱 生甘草五分 陈皮一钱半 广藿香一钱半

加葱白两枚、鲜荷叶边一个。

服此，至天明汗出，当即热退身凉，诸证咸安。

（案獯） 详论盛泽李餐竹荒于酒色，阳事不甚举，为土医过用热药，以致媾精时徒劳空阵，得余丸方益气养水、填精固肾之法，服之颇效。

盛泽王江泾李餐竹。

年逾五旬，一妻三妾，酒色过度，阳事不甚举。就治于土医，皆以为阳不足，概以兴阳助火之剂。如桂、附、鹿茸、蛤蚧、楮实、破故纸、淫羊藿、巴戟天辈备尝之矣。间有知为阳不足而侑以养阴者，其阴药较所用之阳药不过十之三，何济其事。是以阳事虽举，据述交媾时并无精出，徒劳空阵。即此，知其身中之元阴、元阳皆大亏矣，而尚欲兴阳助火之剂以图战，何自轻命若斯哉。而医者亦不究水火阴阳之偏盛，惟附会其情而竟妄施兴阳之法，谁之咎欤？无怪乎遍体不疏，肢节痠疼，腰膝无力，口燥喉干，一身难以

鸣状^①也。皆为妄投药饵所误，亦自取之也。于乙亥秋七月，买舟来郡，寓于虎丘我与山居，友人钱上舍荐治于余。诊其脉，右寸、关虚细，尺虚而小数。左寸虚小，关弦，尺软如绵。知其气虚而血弱，火少而水亏。盖坎离交济宜平而不宜偏，经云“阴平阳秘，精神乃治”。阴以阳为主，阳以阴为基也。老子云：“知其雄，守其雌。”“知其白，守其黑。”人能知雄之有雌，白之有黑，则阴阳水火之不可偏盛者明矣。不于此而求治，而妄投壮火兴阳之剂，吾何忍哉，因制丸剂以善其后。

高丽参二两，另研极细筛和 大熟地八两，砂仁一两同捣 元武胶二两，熔化 归身一两半 鹿角胶二两，熔化 菟丝饼一两半 枸杞子三两，焙 茯苓二两 女贞子三两 山萸肉一两半 炙鳖甲三两 续断一两半，炒 益智仁一两半 怀牛膝一两半，酒拌蒸 羊腰子四对，用杜仲末一两半铺甑底，以羊腰子摆上同蒸同捣 羊外肾两对，用马料豆一两半拌和蒸熟同捣入药

上为细末，同熟地、龟、鹿胶等熔化捣和。外用生黄芪三两、枳椇子五两煎膏代蜜为丸，桐

① 鸣状 描述。

子大。如膏不足，稍加炼白蜜同丸。每服五钱，清晨桂圆汤送下（乙亥七月二十七日秋季，丸方第一次）。

十月十二日复诊，据述服前丸两月余，觉精神健旺，行房时不致屡试空阵，偶有雨势滂沱，自是药之对证也，再定冬季丸方予后。

丸方第二次（十月十二日冬季定）：

西党参八两 炙黄芪五两 大熟地十两，捣入 归身二两 元武胶二两，融化 鹿角胶三两，融化 破故纸二两 炙草一两半 淡苁蓉三两 淮山药三两，炒 山萸肉三两 砂仁二两 羊外肾三对 黑豆二两同煮 羊腰子六对，内填青盐三钱同煮 鹿腿筋四两，砂炒 胡桃肉三两，连高

上为细末，用枳椇子六两煎膏，少加炼白蜜和前胶并熟地等捣和为丸，如梧桐子大。每服五钱，清晨桂圆汤送下。

前丸服后，精神爽健，诸恙俱平，惟房事阳不甚举，精薄不充，却非向之屡空可比，其余饮食起居如常，且夜半及天明时喉舌亦不干燥。前丸将毕，于丙子二月初一日复诊，方列于下。

丸方第三次（丙子春季定）：

高丽参二两，另研细末和匀 大熟地八两，捣入

元武胶三两，炙，烱化 鳖甲四两，炙 甘枸杞三两，焙
 勿黄 於白术二两，土炒 菟丝饼一两半 茯苓三两
 破故纸二两，酒炒 巴戟天一两半，去心，酒浸炒 炙
 甘草一两半 仙茅一两，去皮，米泔浸炒 女贞子四两
 阳春砂仁二两 宣木瓜二两

上为细末，照方熔捣筛和。外用大有黄芪四两、枳椇子六两，二味煎膏代蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨用橘饼汤送下。

四月二十八日复诊：据述服前丸，遍体舒畅，阳事亦举而带坚。他如喉舌之干燥、腰腿之痠疼等状咸若失矣。细察脉象，右寸短涩，惟欠浮耳，关虚小滑，尺脉举之数而按之不足；左寸浮数，关脉虚弦，尺则濡奕，合而审之，究竟水少于火，而阴阳犹有未平也。今交夏令，必得使其平而不偏，则气血和而荣卫流通矣，岂仅为阳事之举而已耶。前丸将毕，治法可征，再继以丸剂调补，尤宜节欲为紧要关头。《黄帝内经》曰：“急守精室勿妄泄，闭而实之可长活”，旨哉斯言！

丸方第四次（丙子四月夏季定）：

大熟地八两，捣入 制洋参四两 元武胶四两，
 烱化 茯神二两 鹿角胶三两，烱化 西党参五两
 於白术一两半，土炒 归身一两半 白芍药一两半，酒

炒 酸枣仁一两半,炒 炙甘草一两 琐阳一两,酥
炙 淡苁蓉二两 桑螵蛸一两半,用醋同煮炒 阳春
砂仁一两半 五味子一两

上为细末,筛捣、烱化如法。外用大有芪五
两、枳椇子六两,二味煎膏代蜜为丸,如桐子大。
每服五钱,清晨用建莲汤送下。

(案源) 论治山西赵景福左乳下痛,痛即
呕奇效(附丸方)

山西赵景福,年五十五岁。

体小形瘦,六脉沉细乏力。痛起于左乳下,
因痛而呕,呕则食物俱出,甚则酸水上逆。病起
于七月间,客于上洋,医作肝胃气治,用“左金”
合归、芍、厚朴、郁金辈疏气、平肝、温中,间有用
参、附、川楝、吴茱萸等。服药月余,似效非效,
因买舟来郡,友人程梅溪翁特荐治于余。

细审病情,合之色脉,呕痛两月却非每日如
是,或因食不如意而痛呕并至,或因劳役动怒而
即痛且呕,日积月累。痛呕皆从左乳下起,正阳
明胃络也,可以容受水谷,即痰饮之征也。医者
概作肝胃气治,用香燥破气、辛凉之品以治标。
岂知胃气弥伤,脾阳愈弱,即间佐参、附于泄肝药

中亦非法也。据述日来饮粥方安，得饭即有呕痛之势，每发约在午后者居多。所呕之物，或稠痰兼酸，或仍是所食之原物也，且有冷气自下冲上。足征脾土之不运，胃底之无火可知矣，此又虑其下膈反胃之成也。不思扶土温中，补火生土，佐以养肝疏木，而妄行耗散，鲜有不误事者。今先以调脾温中，少佐补火生土法，再为之计。

於白术二钱 土炒 淮山药三钱 炒 淡干姜六分 炒 茯苓一钱半 代赭石三钱 煅红醋淬 益智仁一钱半 广木香八分 炙草五分 菟丝饼一钱半

加紫沉香二分 磨汁冲。

据述未服余方前，食粥后即觉胃中有泛泛欲上之势，且常暖腐气，顷之又有一团冷气上奔。大便日解溏粪一二次，解后亦有冷气一团下走，脐上不时作疼。自服余药一剂，腹中冷气即不觉上奔，粥后泛泛欲上之势亦平。再剂仍解溏粪，而冷气下走之势全无，服药颇合。

复诊：原方再加煨姜、陈皮，煎服两剂甚妥。自早至晚，饮粥三次，每次约两中碗，初次饮毕觉左乳下至中脘少有上泛之意，却不呕不痛，午后所食亦然。惟晚间所食之一次，脐上似有泛泡不运之声，尚有暖腐气，腹中疼止毫不觉矣。

又,复诊方:服前方四剂,呕痛未发,诸证俱减。

西党参二钱 於白术一钱半,土炒 干姜八分,炒 熟附子六分 益智仁一钱半 青木香八分 炙草五分 旋覆花一钱半,包

加代赭石三钱,煨红,醋淬三次。

服此三剂,诸恙咸安,大便日解一次,不结不溏。晚间食粥,脐上有泛泡不运之声及暖腐气,自服此后俱不觉矣。即午前食饭,亦安妥如常。

又,复诊方:仍以附子理中汤合补命火法,而少佐运食调气之品,使其脾健而食不滞,则脾肾更有益焉。服后方五剂,调理瘳可。丸方即于此方略为增减,服之收功。

西党参三钱 於白术一钱半,土炒 熟附子五分 芡实三钱,炒 淡干姜七分,炒 炙甘草五分 煨肉果五分 陈皮一钱半 紫沉香五分 鸡内金二钱,炙 河水煎服。

(案源) 详论徽州叶朝栋伤寒无汗,误投寒凉不治症

徽州叶朝栋,年四旬。

乙亥九秋病感身热无汗，未经表解，早投寒凉，斑未透发，误进“白虎”，又进犀、羚、生地、石斛、苓、连辈，一派苦寒，以致壮热不解，昏沉呓语。更医用鸡子地黄汤加减，似觉手指牵动之势稍缓。又投参须、黄连、阿胶等，两剂不应。再以人参、苓、连、阿胶辈，服后人事昏迷，二便不禁，腿膝觉冷，款证毕集，邀予诊视。其脉两手细软无根，二目戴眼，面赤神迷，口开鼾睡。头汗如珠，分颗不散，此油汗也。

戴眼者，谓瞳子上视不见而定直不动也。经云：瞳子高者，太阳不足。戴眼者，太阳已绝。此决死生之要，不可不察也。注云：瞳子高者，目上视也。戴眼者，上视之甚而定直不动也。

真阳既已外亡，万难挽回。必欲求救，勉拟生脉散合四逆汤。煎好，临服入黄连一分泡须臾服，以尽人力耳。

二方合用，出自心裁。后阅《古方选注》内，有陶节庵回阳返本汤，与余方相同，不觉鼓掌称奇，既又自责之曰，是书日于案头，过目屡屡，漫不经心，成何用功者，因记以自警。

节庵方中，参、附、姜、草、麦、味，此生脉合四逆汤方也，命名回阳返本汤。内加腊茶、陈

皮取其芳香苦降通气,以作向导。如面戴阳者,下虚也,加葱白、黄连少许,取其(指葱白言)通阳,又取(指黄连言)热因寒用之义耳。余方后所加黄连一分泡服者,亦是意耳。

附注 格阳、戴阳两症 戴阳者上虽热而下则寒,阴盛于下而阳戴于上也。格阳者外虽热而内则寒,阴盛于内而阳格于外也。二症俱属虚寒,治法总宜热因寒用。

(案 瀾) 叶宏基孟冬身热、便泄、湿阻治
验

叶宏基。

孟冬身热间作转为日发,舌苔中心白、边赤,口淡不渴,欲呕,溲少,大便泄泻日数次,此湿阻中焦。法宜除湿分清,佐以温中。

生茅术一钱半 淡豆豉三钱 半夏曲一钱半,
炒 葛根一钱半 厚朴八分,姜汁炒 赤茯苓三钱
猪苓一钱半 泽泻一钱半 柴胡八分

加老枇杷叶三钱,去毛净,用姜汁涂炙。

服此一剂,身热大减。大便一次,微溏,并不泄泻。小溲尚少,仍欲呕。湿阻已松,犹未尽也。

又复诊方：

生茅术一钱 厚朴八分，姜制 赤苓三钱 苡仁四钱 黑山栀一钱半 猪苓一钱半 木通一钱 广藿梗一钱半 半夏曲一钱半，炒 陈皮一钱半 加焦谷芽三钱。

服后身热退清，舌中白苔十去其八九，小溲长而多，欲呕之势已平。次日以二陈汤加石斛、谷芽和胃而安。

（案源）邑宰史元甫瘰疬，详议治法

邑宰史元甫先生，年三十五岁。瘰疬症，宜用王道法治。

病原：疔起半载，坚溃交加，自右颈而牵连颊颐之处。未溃者色红，形如皂子；既溃者脓黄，象似桃胶，按之外腐内坚，核犹未出，遍治罔效。官居浙闽，因此告假来吴。

疔自右颈而起者，名盘蛇疔。由左颈而生者，名蜂巢疔。古人虽分左右而异其名，其治之之法实亦不拘拘于斯也。

延程疔医治，半月间不过如是。于嘉庆丙子四月望日，友人钱君荐治于余。诊其脉皆阴脉也，此先天稟质所成，非病脉也。其右手举之

不足，按之似数。左关虚弦，尺脉濡小。知其气弱血亏，相火旺而坎水不足以济之。再加厚味不禁，嗜欲过度，水愈亏而火愈旺，此瘰疬之所由生也。不思探本穷源之治，而概以疔门套药为法，恐坚者不消，而溃者难以完口矣。就色脉而详审之，虚中挟毒。先以调气养血为主，使血活动而腐者自去，俾气流通而坚者自消，或间以补中解毒，益阳助阴，补阴济阳，或水火并治，皆王道法也。神明变化，存乎人耳。此为内治之法，而外治之法亦必精详熟玩，不用刀针，亦无拘执于板方图形。察脉辨色，活法在人，则治病如拾芥耳。

病症之生，有因虚而生者，亦有因发毒而恣食金石毒药而成者，或因纵欲而喜服燥热之剂而起者。若是证，则兼而有之。余昔年治病诸法，悉载前卷，可参阅之。

（案源） 崇川曹普南耳鸣症，丸方调理治验

崇川曹普南，嘉庆丙子四月。

耳鸣症，左耳尤甚，服后丸剂全愈。

耳内时鸣，肾水不足，相火上炎。左耳甚者，东方

甲乙木也。

大熟地四两 捣入 淮山药二两 炒 山萸肉一
两半 茯神一两半 酸枣仁一两半 甘枸杞一两
半 远志肉一两 炙草一两 柏子仁二两 女贞
子二两 当归身一两半 元参一两半 石菖蒲五钱

上为细末,先将熟地捣杵,加炼白蜜和丸,
如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

(案 源) 王宗华甥呕吐沉痾屡发屡验,继
以丸方调理永不再发

王宗华甥,十二岁,丙子七月十二。

身热呕吐,无论汤水食药,到口即吐,稍带
酸味。是证已起二三载,不时举发。发则必先
头痛,痛则呕吐随至。每发必延余诊,脉形右
滑、左弦。

当用:广藿香、半夏曲、鸡内金各一钱五分,
淡茺萸二分。

四味煎好去渣,投生姜汁约一钱,炒开口椒
五粒。二味入汤内,再五六滚,放碗内候温,徐
徐服。服后呕吐顿止,从此热退食进。后于九
月初一复发,适余往乡,因仍查前方煎服,服后
呕吐立已。

又宗华丸方 童年质弱 呕吐常发 甚则酸水齐涌。虽煎帖屡效 而右关虚滞 左关弦细。积岁沉痾 欲拔病根 继以丸剂 斯为戡穀^①。

西党参三两 生冬术二两 用淡茱萸三钱同炒、同研 姜制半夏一两五钱 白茯苓二两 白蔻仁一两 新会皮一两五钱 炒麦芽二两 莱菔子二两 用炒开口川椒二钱同焙同研 山楂肉三两 炒 广木香一两 勿经火 炙甘草一两

上为细末 用荷叶煎汤洒叠成丸。每服四钱 清晨用炒米汤送下。

呕吐有年 用扶土运食之法理所当然。而其中白术用茱萸同焙 菔子以川椒同炒 义取土中疏木 不治肝而肝治 不治呕而呕治 医者之用意微矣。

自服此丸之后 果不再发。竹亭(邻)识

(案源) 夏禹功脾阳不运 单腹作胀治验坛里夏禹功 年二十五岁。

单腹胀起自丙子五月间 每至午后大腹膨胀 两小腿亦然 睡则渐软 服他医祛湿之药渐

① 戡 (jiǎn 碱 gǔ 鼓) 尽善。

平。至八月中，大腹又复大如前，仍在午后，即渐膨急腹硬，波及小腿，早上渐宽。自觉腹、腿内冷而不暖，二便如常，知饥能纳。于九月二十五始求治于余。细绎病情，其人玉匠为业，两手日于水中同宝砂摩弄玉器，饥饱失常，劳力感湿，致令脾胃失运化之机。右关迟软，面色痿黄。腹大膨急，每在于午后，其为脾虚气滞而阳不运者可知。当处以附子理中汤以温脾阳，佐以木香、陈皮、大腹绒者，取其补中兼舒，最后引以鸡内金以运脾胃之滞，何患其药之不效也。服后果然腹中响声，大腹膨急及腿腹内冷俱减其半。再以理中汤合五味异功法，调治而安。

（案源） 总司陈岐山呕痛痼疾常发治验
社坛总司陈岐山，于嘉庆丙子孟冬之三日
诊。

素有胃脘痛，偏于右，迄今数年，偶遇寒或劳力、动气必发。发则呕吐、刺痛，痛甚则酸水涌出，不时举发，遍治罔效，特求治于余。

案云：呕痛常发，食入即吐，吐盛则酸水如涌。六脉细小，右关虚弦。脾胃久亏，木来乘土，曲直作酸，此呕痛之所由来耶。先议和法以

治标 ,再为扶本之计。

制香附三钱 制半夏一钱半 淡干姜一钱 ,
炒 陈皮一钱半 淡茺萸三分 生山柎八分 炙甘
草五分 川椒五粒 炒 广藿梗一钱半

加鸡内金一钱半 ,炙 临服入盐花少许 ,冲。
服两帖 ,呕痛顿止。

(案 源) 门人金继文痔血有年治验

门人金继文 ,丙子十月六日。

案 痔血有年 ,见于粪后 ,非近血也。两关
虚弦 ,肝脾并亏。藏血者肝 ,统血者脾 ,于此而
求治 ,自无遗憾矣。

西党参四钱 制首乌三钱 鳖甲三钱 ,炙 苡
仁三钱 炒 炒归身一钱 炒白芍一钱半 荷叶一钱
半 炒黑 蒲黄一钱半 炒黑 旱莲草二钱 侧柏叶三
钱 ,炙 甘草五分 ,炙 伏龙肝三钱

复诊 :原方去鳖甲、柏叶、旱莲草、荷叶 ,加
炙黄芪、女贞子、血余、炮姜、真降香辈。

前后两方服之 ,渐平。

(案 源) 陆钟范冬月脘腹频痛治验

陆钟范 ,孟冬二十三日。

两关沉紧 ,气滞寒凝 ,脘腹频痛不已。速宜温通 ,通则不痛。

制香附三钱 薤白三钱 淡干姜八分 炒 神曲三钱 炒 淡附子六分 陈皮一钱半 莱菔子三钱 炒 甘草六分

加青葱管四寸 ,内填去油乳香五分 ,两头线扎 ,同煎。

服后痛势立缓 ,夜来大便一次甚结。

次日复诊 :据述天明痛止 ,侵晨饮粥 ,食以海 ,又稍有痛意。用“厚朴温中”意 ,两帖而愈。

(案 缘) 吴声振症后肢跗浮肿治验

吴声振 ,十一月十八诊。

症延日久 ,虽已停止 ,而脉右虚数 ,肢跗浮肿。脾弱胃强 ,恐转中满 ,亟宜益胃调脾 ,俾清升浊降 ,庶乎尽善。方用异功散加苡仁、建莲、芡实、川石斛、鸡内金。服两帖 ,脾胃颇调 ,足肿稍退 ,小便夜间少 ,大便之溏少减。

复诊案 :脾土稍健 ,胃土稍和。阴气虽亏 ,且从缓商。盖土为万物之母 ,胃为水谷之海 ,后天旺而先天自充 ,得其意者可与言医。方用六

君子汤加建莲、黄精、苡仁、白芍、菟丝饼，引以鸡内金。

服两剂，足跗浮肿已退，大便日一次，尚未结。再以‘四君子’加木香、山药、益智仁辈。服后脾胃渐健，后用归脾汤加鹿角霜、益智仁、山萸、女贞子等出入，数剂而痊。

(案缘) 详论王星池乃郎叶帆患春温症危险治验

王星池乃郎叶帆，丁丑正月六日，患春温症。

身热起自去冬二十七日，稍能进粥。至正月二日，延张姓治，桑叶、牛蒡、苏、杏、甘、桔、川贝、橘红、枇杷叶辈以疏解肺气。连用此等药四帖，身热不减，反增胸闷，遍体痠疼，食饮毫不能进，到口即欲呕。因其喉舌黏腻干燥，惟少饮开水以润之，非口渴可比。苔色中间焦黄如钱大，舌边淡红而不干。夜来神识不爽，少有昏语。小溲短赤，大便时有稀水溜出，脉象沉小。此邪伏于冬，而发于春也。恐有陷阴之变，当用苏叶、防风、豆豉、制半夏、瓜蒌全、枳壳、陈皮、神曲、薄荷、秦艽辈。服后汗未出，口干喜饮，诸恙

如前，小溲短热，面色带红，二目内眦多眵，最虑邪热内陷劫津。

初七日：用葛根、黄芩、瓜蒌根、薄荷、赤苓、麦冬、竹茹、石斛、黑山栀、陈皮辈。服后病仍如前，惟舌苔中黄，边带红润。

初八日：用达原饮意，加味服之，病无增减，惟热势稍缓。

初九日：用生地、丹皮、葛根、黄芩、瓜蒌、二苓、车前、石斛等，服后反不如前之妥当，愈觉周身疼痛，并左臂痛剧，身热，胸闷，不食，腰背俱疼，大便仍泻出稀水，小溲短赤热痛，烦躁不宁。病起十四日，脉形沉小弦细。邪气留恋，深虑内陷。所幸者，热虽未解而尚知遍体疼痛，夜来虽有乱语而日间应答尚清，此际尚可图救。若待其神识昏昧，陷阴劫津，则用药棘手矣。今拟表里和解一法，以冀转机。

初十日方列下：

川黄连五分 酒炒 瓜蒌皮三钱 酒炒 姜半夏一钱半 葛根一钱半 鳖血炒柴胡八分 川郁金五分 摩冲 片姜黄一钱 独活一钱半 秦艽一钱半 生甘草六分 赤茯苓二钱

加生谷芽一两五钱煎汤代水。

服前方，未几汗出，头面、胸背俱到，却不淋漓。当时遍身疼痛顿减，即左臂、腰背亦不觉痛。胸脘痞闷十去其七，可进薄粥一二杯，大便稀水亦止，小溲稍长。脉象稍起而究嫌弦细，热势虽退，余邪未清，加意图维。

表邪郁而不解，大便稀水，肺移热于大肠也。里邪闭而不疏，小溲短赤，心移热于小肠也。用表里两解之法，汗出、溲长，诸恙顿退。神矣！神矣！

十一日复诊：原方去郁金、姜黄、独活、秦艽，加厚朴、陈皮、黑山栀。服后至夜半又少有微汗，热始退清，饮粥倍增，胸脘痞闷之势亦十减八九矣。舌根腐苔渐减，中心尚有焦黄胎如钱大。所喜者，舌尖胎退色红滋润。惟小溲出时，仍觉热赤而痛，余热未尽也。

复诊（十二日方）：

川黄连五分，水炒 厚朴八分，姜制 半夏曲钱半
 石斛四钱 麦冬一钱半，去心 陈皮一钱半 桑白皮钱半
 甘草八分 赤茯苓三钱

加生谷芽一两五钱煎汤代水。

服后，日进粥三四碗，且知饥，夜能睡，胸脘不闷，小溲赤而不热痛，非昨可比也。

复诊（十三日方）：

鲜石斛四钱 大麦冬一钱半,去心 黑山栀一钱半 通草八分 半夏曲一钱半,炒 生苡仁三钱 广藿梗一钱半 甘草八分 赤茯苓三钱

加生谷芽一两半如前煎。

服三剂后,以清补、养胃、生津之药调理全安。

(案 纒) 南京张玉亭腰痛偏左治验

南京张玉亭,年二十九岁,嘉庆丁丑正月。

患腰痛偏左,脉形右大,左奕,小澁混浊。

法当壮水温阳。

大熟地四钱 山药三钱,炒 山萸肉一钱半 归尾二钱 上肉桂五分,去粗皮 杜仲三钱,盐水炒 泽泻一钱半 赤苓三钱 宣木瓜一钱半

加猪腰子一个,劈开去白膜,内填青盐五分,线扎煎。

服两帖,腰痛减十之二。

复诊:即原方去肉桂,加破故纸、牛膝、枸杞、续断,引用猪脊髓三条同煎,不用猪腰子煎汤代水。

服后,腰痛又稍减,平坐不疼,曲腰仍痛。

又,复诊:

大熟地四钱 归身一钱半 白芍一钱半 炒
 益智仁一钱半 菟丝子一钱半 木瓜一钱半 炙草
 八分 女贞子三钱 制香附三钱 茯苓二钱 杜仲
 三钱 炒 川续断二钱 炒

加猪脊髓两条 剪断 去外皮 用内髓同煎。

服三剂 腰痛大减 曲腰转侧亦不觉疼 非前之坐立俱疼、内如针刺可较也。再三剂而痊。

附 腰痛论 偶阅《汇补·腰痛门》末后云：凡腰痛不能立者 刺人中穴。又 瘀血作痛者 刺委中穴以行血滞。如肾虚作痛 药中加猪脊髓丸服。因思予治张氏肾虚腰痛之加脊髓 与此暗符欤。

（案 缘）福建谢客水肠红廿载 近又兼泄泻治验（并丸方）

谢客水 嘉庆丙子七月十三日。

素有肠红廿有余年 近又泄泻 日数十次 脾肺脉虚。服予益气止泻法 出入于“补中益气”、“四、六君”或间用“归芍六君”佐赤石脂、禹余粮辈。服数余帖 泻有时止 偶又见肠红旧恙。仍以炙芪、党参、山药、莲肉、归、芍、炙草、陈皮、益智、炮姜、旱莲草、降香、罌粟壳辈 以之

益气扶土，佐以止泻、止血、收涩之剂以图之。服后血止，泻又减，日二三次，非六月间日泻数十次可比。连日亦有无稀粪者，亦有稀粪中兼结粪者，此皆气虚不能统，土弱不能运之故，所以得油腻肥甘而即泻者是之谓尔。继以丸方调理收功。

西党参六两，煎膏代蜜 生黄芪三两，土炒 生於术二两，土炒 山药二两，土炒 芡实二两，炒 归身一两，炒 炙甘草一两 白芍一两，炒 制首乌二两 炙鳖甲一两半 山萸肉一两 蒲黄一两，炒 五味子一两 炒荷叶一两半 炊单布^① 三两，炙 血余一两 赤石脂三两 禹馀粮三两

上为细末，用党参膏代蜜为丸。如膏不足，稍加炼白蜜和丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

（案缘）山西石生玫体虚咳痰治验

山西石生玫，年逾六旬。

体倦食少，咳痰浓厚，脉右浮滑，法宜肺胃并治。

① 炊单布 蒸笼中所用以蒸物时所衬垫之布。

薏苡仁三钱 炒 款冬花三钱 百合三钱 茯苓二钱 黑苏子一钱半 炒 姜半夏一钱半 陈皮一钱半 甘草五分 桔梗八分 瓜蒌仁一钱半 加生谷芽三钱。

服两帖 ,咳减 ,痰少大半 ,鼻知香味 ,知饥渐进食。原方去桔梗 ,加山药 ,三剂而安。

(案 缘) 溧阳金渭川间症治验

溧阳金渭川 ,丁丑五月。

症发间日 ,脉来弦细 ,右关滑数。痰食交阻 ,少阳之邪未楚 ,风邪不避 ,无怪乎至期热重寒轻 ,节食避风 ,以免缠延。

青蒿子一钱半 瓜蒌皮一钱半 半夏曲一钱半 炒 陈皮一钱半 广藿香一钱半 白蔻仁五分 蔓荆子一钱半 黄芩一钱半 炒 赤茯苓三钱 块滑石三钱

加鲜荷蒂一枚。

服一帖 ,次日间症临期 ,原方去瓜蒌皮、豆蔻 ,加煨草果、槟榔等 ,于症未至前一时煎服 ,服后症止。再以养胃生津之剂 ,调治而痊。

(案 缘) 南京夏耀宗子红痢腹痛治验

南京夏耀宗子 ,年二旬 ,七月初一。

痢下色红 ,腹痛后重 ,昼夜数十次 ,寒热 ,舌苔白腻 ,脉象滞涩 ,积垢犹存。病起半月 ,表里俱病 ,法宜导滞温中。

薤白三钱 广木香一钱 ,切 山查肉三钱 ,炒
 陈皮一钱半 桔梗一钱 五谷虫一钱半 ,炒 白蔻仁三分 ,冲 赤芍一钱半 ,炒 甘草六分 当归一钱
 红曲三钱 ,绢包 ,渣倒河内

服后痢减痛缓 ,身热、后重俱止 ,舌之白腻渐退。原方略为损益 ,三剂而痊。

(案缘) 休邑程梅溪大兄高年骤然呕吐、汗多、头眩、眼闭羞明极险治验

休邑程梅溪 ,年七十二岁 ,嘉庆丁丑七月十四。

天明后忽然呕吐 ,汗多 ,头眩 ,眼闭羞明。细绎病情 ,昨进夜膳 ,多啖火腿肉 ,临睡毫无所苦 ,天明骤然暴病 ,呕出尽是痰涎 ,素喜贪凉。舌胎白腻 ,脉象细小 ,按之无力。暑湿内伏 ,感寒挟食而起。第年高汗多 ,头眩眼闭 ,未便表解。宜用和胃调中 ,俾呕停眩止 ,庶无变幻。

姜制厚朴一钱 制半夏一钱半 藿香一钱半

陈皮一钱半 白蔻仁六分 研后入 赤茯苓一钱半
 山楂三钱 炒

加鲜荷叶一小个 临服投入盐花少许。

晚诊：服前方呕吐渐停，冷汗止，身温，目开，眩晕大减。至申后又呕酸水几口，据述味甚酸。又大便稀粪一次，小溲有。舌仍白，脉仍细小而软。知其正虚感寒，暑湿中停，舍温中和胃一法，竟难许治。既药服建绩，原渣尚在，即于复渣内加河水一钟，煎好去渣，加左金丸三分研细冲服，服后呕酸顿除。

次日复诊：食饮稍贪，尚不知饥，口苦、溲赤，舌胎边白，中心淡黄，余滞未清。用“二陈”合鲜石斛、生谷芽、麦冬辈和胃生津，诸恙向安。数日后调理肝肾，用“六味地黄”去丹皮、泽泻，加归身、枸杞、兔丝、淡苁蓉、炙甘草辈而收全功。

（案缘） 详审海门张胪先咽痛治验

海门张胪先，丁丑九月。

咽喉疼痛，脉右浮小，左尺虚数，上过于关，此相火挟外邪而上炎。得斯脉者，必从泄精而致，且咽喉色红，非浮游之火挟邪者，不能有此

形色。当问之，答曰昨曾有之，足征脉证相符。有诸内而形诸外，特恐人之不善于审察色脉耳。方用元参、川贝、牛蒡、桔梗、荆芥、前胡、甘草等，两帖而痊。

(案缘) 山西任富泰腰痛、腹块奇效并调
理丸方

山西任富泰，嘉庆丁丑季秋。

痛起于腰，波及肝胃，发则腹痛块现，形如葫芦。痛止块消，遍体不疏，脉左右弦细沉紧。此气滞而兼寒痰为患也，以故痛甚欲呕，口吐冷痰耳。不速治，恐痛剧见厥。病经匝月，慎勿轻视。

制香附三钱 广木香八分，切片 淡附子六分 陈皮一钱半 淡茺萸五分 半夏曲一钱半，炒
炙甘草六分 杜仲三钱，炒

加鸡内金二钱(炙) 陈佛手柑一钱半。

服后腰腹痛止，块亦不攻。原方加制首乌、续断等。服之如前安妥，冷痰并不一吐，惟腰膝久坐痠疼，仍于前方去半夏曲、陈皮，加归、芍、枸杞，服后渐平。

又，复诊方 进前方，腰膝痠疼将平，而腹中

又有小痛之势，幸无块现之苦。再以温补下元，缓缓图之，痛可平而块可消矣。

制首乌四钱 女贞子四钱 枸杞子三钱 归身一钱半 上肉桂六分，去桂皮 淡茺萸六分 怀牛膝一钱半 杜仲四钱，炒 白芍药一钱半，炒 炙甘草八分

加猪脊髓三条同煎。

服此一剂，腹痛即止，腰脊毫无痛意。连服四日，病若失矣。

又复诊方：素有梦遗，约五六日一遗。自腰腹痛服药后，却有廿余日未遗，至昨夜方梦泄，幸腰腹未痛。

大熟地四钱 湘莲肉三钱，炒 山药三钱，炒 杜仲四钱，炒 山萸肉一钱半 菟丝饼一钱半 砂仁五分 茯苓一钱半 淡茺萸五分 左牡蛎四钱，煨 加猪脊髓三条。

服数剂安妥如常，梦泄亦止，继以丸剂调理收功。丸方附后：

西党参二两 焦冬术一两半 茯苓一两半 炙甘草一两 大熟地三两，捣入 淮山药一两半，炒 芡实二两，炒 牡蛎粉二两 破故纸二两，炒 胡桃肉七枚，连皮捣 香附二两，炒 金樱子一两半，去毛

猪脊髓六条,蒸熟同捣 羊腰子三对,蒸熟同捣 陈皮一两二钱 山萸肉一两半

上为细末,内有捣者俱入药捣和,加炼白蜜为丸,如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

(案 18) 山西晋宏达痛痹兼杂症治法颇善而收全功

山西晋宏达,年近四旬。

时值孟冬,遍体痠疼,腹痛兼之,脉象沉滞。此风寒湿合而成痹之象。痹者,闭也。是以痠疼中又兼腹痛、便结也,证起月余。他医缘便结,屡进大黄推荡,便虽通而前证不减。何取乎通,且苦寒伐胃,食饮减而胃阳衰,病日加深,证颇棘手矣。法宜祛风寒、渗湿和胃、疏理经隧,庶可图之。

秦艽二钱 防风二钱 全当归二钱 广木香一钱,切 陈皮一钱半 茅术一钱半,炒 元胡索一钱半,炒 制半夏一钱半 甘草六分

加葱白三枚。

服三剂,遍体痠疼与腹之痛俱缓。原方去元胡索,加制香附。再三剂,前证十去其五。

又,复诊方:进前方,疼痛大减,食饮渐增,

惟大便甚结 ,欲解不能 ,脉虚涩而小。此气弱血燥 ,肠胃不滋 ,宜养荣润燥为法。若性急而欲速 ,如前医用“大承气”以推荡 ,而大便甚结 ,解之不暢 ,次日反增恶心不食 ,周体痠疼 ,大腹胀痛愈增 ,皆缘性急妄攻 ,几乎误事。日来服余方 ,幸诸恙俱减 ,惟便结不通 ,仍宜养荣润燥 ,侑以通幽一法 ,最为稳当。

生首乌一两 全当归二钱 肉苁蓉四钱 麻仁三钱 研 郁李仁三钱 研 桃仁泥三钱 广木香一钱 枳壳一钱半 炒

煎好去渣 ,用更衣丸一钱研细冲。

服润燥通幽法 ,大便至五更解出 ,甚结。第二次解出溏粪 ,于此观之 ,足证非胃实之证也。今虽用润燥通幽法 ,亦因其结之过甚而权拟之方也。

又 ,复诊方 :

当归身二钱 茯神三钱 炒枣仁一钱半 半夏曲一钱半 炒 制香附三钱 木瓜二钱 广木香一钱 炙甘草六分 薏苡仁四钱 炒 陈皮一钱半 加生谷芽四钱。

又 ,复诊方 :自服余方后 ,疼痛俱减六七 ,日饮粥五六盏 ,较前增半 ,是好消息。第右脉尚微

细,左脉虚涩,犹恐变迁。

焦冬术二钱 苡仁四钱,炒 秦艽二钱 独活二钱 晚蚕沙三钱 木瓜二钱 怀牛膝一钱半 归身一钱半 制香附三钱 木香一钱 片姜黄二钱

服三帖,遍体手足之痠疼、麻木俱减。原方去独活、木香,加西党参、酒炒丝瓜络煎服。服后身中发出风疹甚痒,而四肢腿膝尚觉痠麻却有停止,非前之遍体痠疼、大腹时痛可比也。

又,复诊方:气血亏而肢体痠麻,转侧不便。三日来腹中又有小痛,知饥而不贪食。土虚胃弱,冬至前后尤为紧要关头,慎勿渺视。

焦冬术一钱半 鹿角霜二钱 当归一钱半 木瓜二钱 淡干姜八分,炒 益智仁一钱半 茯神二钱 茯苓二钱 广木香一钱,切片 炙甘草六分
加粳米一合煎汤代水。

服后颇安,原方去干姜,加熟地、牛膝、虎胫骨等。再五剂,痠疼、腹痛俱大减,即两足指及膝痛亦缓,惟两臂之疼,觉右臂轻于左臂,腿臂常觉冷。

又,复诊方:

焦冬术一钱半 茯苓二钱 淡附子六分 鹿角霜三钱 广木香一钱 炙草八分 制首乌三钱 枸

杞子三钱 片姜黄一钱半 青皮一钱 柏子仁三钱
加牛筋一两,切段,煎汤代水。

服此六剂,遍身痠疼、腿腹之痛俱平,食饮日健,面容有神,大便日解。

复诊:原方去木香、姜黄、青皮,加西党参、归身、续断、牛膝辈,又进五剂,仍以牛筋煎汤代水。服后诸证痊愈,皆得力于温养气血、调和荣卫之功也,不然几成废人矣。

(案选) 山西曹伯侯素有脚气,发则胀痛、呕吐、肢体不能举动,药服奇效

山西曹伯侯,嘉庆丁丑仲冬,年四十四岁。

体肥身长,素有脚气,举发无时。发则腿膝胀痛,呕吐痰涎,胸脘闭闷,牵连腰痛,必得痛至足指方渐减可,据述此常例也。现在痛胀尚在膝弯,不能下行,是以胸闷、呕吐未已,脉象细小沉滑。法当祛湿,兼之疏通,通则不痛。脚气,古称壅疾^①。最虑上冲,冲则虚阳上越而防脱,慎勿轻视。

秦艽二钱 生苡仁六钱 威灵仙二钱 独活

① 壅疾:脚气多由湿邪壅滞而成,治法大要是疏通其壅。

二钱 当归一钱半 怀牛膝二钱 制香附三钱 陈皮一钱半 续断一钱半 茅山术一钱半 炒

加连须葱白三枚。

服药一剂，头痛顿松，已行至足指，是以膝中松爽，而遍身之疼痛亦从此而缓矣。惟小溲甚少，此湿气究未尽彻也。

复诊：原方去威灵仙、当归、香附、续断，加薏豆皮、赤苓、防己、木通。再剂服之，可以扶出火坑，少能步行。

又，复诊方：

焦冬术一钱半 茅山术一钱半，炒 苡仁六钱 汉防己一钱 威灵仙一钱半 制香附三钱 木瓜一钱半 制半夏一钱半 炙甘草八分 川续断一钱半 茯苓一钱半 川木通一钱

加莱菔子二钱。

服此，足指及跗俱渐松，小溲亦渐多，惟左足指尖尚未行到，右关细小且软，其为脾阳之不能运行可知，以脾主四末也。仍于此方出入之，痛胀大减，食饮渐贪。再以“六君子”佐理脾湿之剂，调治而痊。

(案 选) 山西陈云中痢疾点滴色红治验

山西陈云中 ,年逾三旬。

痢起两月 ,点滴色红 ,缠绵不已 ,左脉细微难寻。阴气大伤 ,脾阳不运 ,食少体瘦 ,口味不禁 ,以致于斯 ,难图奏功。用补中益气汤去黄芪、陈皮 ,加白芍、木香等。

凡痢疾 脉不拘浮、沉、迟、数 ,但指下无神便属虚象。所谓无神者 ,短而松 ,按之虚软也。

服后痢势稍减一二 ,肛门仍坠而不痛 ,精神仍疲极。

右手无脉 ,因其手坏于手腕交际之处 ,故无脉可凭。然何以知其脾阳之不运 ,观其面色痿黄 ,食少肌瘦 ,肛门时坠而不痛也 ,是其征也。

又 ,复诊方 拟附子理中汤加味治之。

西党参五钱 焦冬术二钱 干姜一钱 炒 淡附子七分 炙甘草八分 广木香一钱 归身一钱半 蜜炙柴胡四分 蜜炙升麻四分

加生谷芽五钱。

服药后 ,昼夜约十数次 ,较前减半 ,常有转失气下 ,足征脾气之渐能运动也。连进五剂 ,精神渐健 ,头颈之奕亦渐有力 ,日饮粥三四盏。后于此方出入 ,总不离于温中健脾之法 ,少佐固涩之意 ,调治月余而康。

〔案述〕介休宋仁伯咳久痰红治验

介休^①宋仁伯,年二十九岁,丁丑季冬。

咳久伤肺,近日痰中见血,色带紫红,右寸细数。肺金火郁,法宜清降。西人最喜啖面、食辛酸、饮火酒,俱当深禁。

老枇杷叶三钱 拭毛蜜炙 叭啞杏三钱 去皮尖
陈皮六分 甘草六分 人中白八分 生蛤壳四钱
血余六分 研细冲

加藕节五个 打碎同煎。

服此,瘀血稍减,痰终黏厚,胸中嘈杂易饥,咳嗽仍带痰红。

复诊:用鲜石斛、茜草、苏子、人中白、茯苓、山药、甘草、叭啞杏等,煎好去渣,仍以血余冲服。服后咳稍平,痰血三四次,较前又少。第脉象细小无力,而尚东奔西走,日行数余里。肺气虚,加之劳力,冬寒不避,现在咳血未除,尤难胜任,何西人之不自量也。

又,复诊方:

北沙参二钱 款冬花三钱 百合四钱 紫菀
一钱半 侧柏叶四钱 炙 人中白一钱 降香八分

① 介休 地名。在山西中部,汾河中游,太原盆地南缘。

甘草八分 叭哒杏三钱 去皮尖

加血余一钱 研细冲。

服后痰红大减 ,即于是方略为损益。连服数剂 ,颇为合宜。

又 复诊方 :咳嗽渐缓 ,痰红未尽 ,腹中时疼 疏补为宜。

淮山药三钱 炒 百合三钱 款冬花三钱 旱
莲草二钱 生蛤壳三钱 人中白一钱 黑苏子一钱
半 炒 侧柏叶三钱 炙 广木香六分 甘草八分

服五剂 ,痰血偶见 ,咳呛渐平 ,腹疼已止。
即此方去旱莲草、蛤壳、木香 ,加白扁豆、茯苓
辈 ,五帖而安。

(案 远) 山西梁文彩畏寒欲呕、胸闷作疼
治验

山西梁文彩 嘉庆戊寅正月。

畏寒欲呕、胸脘作疼 ,舌白胎腻 溲赤 脉象
浮紧。法宜解表和中 ,当用桂枝、秦艽、干姜、草
薶、防风、制半夏、香附、赤苓辈煎服 ,仍然畏寒 ,
两腿觉冷稍松一二 ,其余未减。

次日复诊 :脉仍如昨 ,畏寒稍缓 ,而遍体拘
束 ,两大腿又觉冷疼 ,虽近火炉亦不见暖 ,法宜

温散。用：

独活二钱 秦艽一钱五分 防风、陈皮各一钱五分
分 熟附子一钱 稽豆皮三钱 甘草五分

加连须葱白三枚。

煎服一剂，畏寒大减，两腿冷疼亦平，再剂而痊。

（案 遼） 陆诚斋乃郎出痘治验

陆诚斋乃郎，戊寅正月七日。

身热三日，两颧纹现，睡中似惊，防有出花之喜，当用荆、葛、麦、曲、防、桔、牛蒡、查、陈、甘草辈煎服。

次日复诊：身热温和，大小便通利，人中上下（此处先见者吉象也）有二三粒红点，此标痘也。即昨方内去麦芽、神曲，加蝉衣、赤芍、芫荽、茅根辈煎服。

又初九日（初朝方）：头面痘点渐增，两颧尚有隐隐，人中上下俱有。所喜胸背稀疏，渐至腿膝，大便带溏，知饥能纳，神识清爽。所嫌痘点过红，幸无内症。仍宜疏表和里，冀其陆续出齐为妥。

荆芥穗一钱半 葛根一钱半 蝉衣一钱半，去

足 牛蒡子二钱 炒 赤芍药一钱半 炒 红花一钱半
连翘一钱半 生查肉三钱 生甘草五分 桔梗一钱
加芫荽三钱、笋尖三钱、茅根三钱。

两朝方(初十日):面部痘点疏朗,胸背稀少,四末未齐。

荆芥穗一钱半 紫草茸一钱 桔梗一钱 蝉衣一钱半,去足 生山查三钱 小青皮一钱 赤芍一钱半 炒 甘草六分 牛蒡子二钱 炒 连翘一钱半 加芫荽三钱,去心 茅根三钱,去心 笋尖三枚。

服此安妥,饮食如常,点粒起发,大便日解,不溏带结。

三朝方(十一日):手足俱齐,知饥能纳,夜间少有烦躁。所喜天庭印堂痘点匀净,腰间虽有攒簇,痘色少带娇红,不添内症却无所虑。

紫草茸一钱半 丹皮一钱半,炒 地丁一钱 人中黄五分 生查肉二钱 荆芥一钱半 青皮八分 赤芍药一钱半,炒 牛蒡子一钱半,炒 连翘一钱半 桔梗一钱

加笋尖三只,活水芦根五钱,去节。

四朝方(十二日方):顶白根红,气血将分。清火解毒,使其易于起胀。

羚羊角一钱半,镑 丹皮一钱半,炒 地丁一钱
连翘壳一钱半 牛蒡子二钱,炒 桔梗一钱
陈皮一钱半 川山甲六分,炙 人中黄五分 查肉
二钱 通草八分 紫草茸一钱半

加香蕈二钱、笋尖三枚、芦根六钱。

五朝方(十三日):痘已起胀,红晕渐收,大有行浆之势,法宜清火解毒。

犀角尖一钱,镑 羚羊角一钱半,镑 连翘一钱半
牛蒡子二钱,炒 紫草茸一钱半 川山甲六分,炙
桔梗一钱 人中黄六分 金线重楼二钱 木通五分
角针五分 小青皮六分

加活鲫鱼一大尾(去肠洗净),芦根八钱、笋尖四枚

六朝方(十四日):头面浆行半足,下体尚欠三分。红晕收紧,根脚渐固。议清火提浆,以冀充足。

紫草茸一钱半 小生地四钱 羚羊角一钱半,镑
川连五分 金线重楼二钱 人中黄五分 制僵蚕二钱
桔梗一钱 粉丹皮一钱半,炒 角针六分 小青皮八分

加雄鸡头一个,劈开,煎汤代水。

七朝方(十五日):浆来渐足,而胸背犹嫌其

平,议托里清火,以助浆足。

生黄芪三钱 防风一钱 羚羊角一钱半,镑
小川连四分 人中黄五分 麦冬一钱半,去心 生
查肉二钱 炙僵蚕一钱半 地骨皮一钱半 桔梗一
钱 广陈皮一钱

加雄鸡头一个(劈),芦根一两(去节),照前煎。

八朝方(十六日):头面渐有回浆之势,而胸背尚未充满。法宜托里清火,以冀浆足。

生黄芪三钱 小生地三钱 丹皮一钱半,炒
人中黄五分 地骨皮一钱半 大麦冬一钱半,去心
陈皮一钱 川通草八分 炒佳蚕一钱半 块滑石二
钱

加糯米一合煎汤代水。

九朝方(十七日):

北沙参三钱 生黄芪三钱 元参三钱 麦冬
一钱半,去心 地骨皮一钱半 人中黄五分 通草八
分 茯苓一钱半 粉丹皮一钱半 陈皮一钱

加糯米一合照前代水。

服前方,遍体浆充,饮食睡卧如常。

十朝方(十八日):浆回痘靨,气血并调。

生黄芪三钱 小生地三钱 丹皮一钱半,炒

元参三钱 人中黄四分 白茯苓二钱 苡仁三钱，
炒 陈皮一钱半 地骨皮一钱半 桑白皮一钱半
加荷蒂一枚 糯米一合如前煎。

十一朝方（十九日）：遍体浆回，头面痂渐结矣。脉虚小数，气血亏而余火未尽，宜清补兼施。

北沙参三钱 小生地三钱 麦冬一钱半 茯苓三钱
土贝母一钱半，去心 地骨皮一钱半 苡仁三钱 炒
元参二钱 生甘草八分 陈皮一钱

加红枣四枚，荷蒂一枚 糯米一合 照前法。

十二朝方（二十日）：头面痂结，渐至通体，先结先落。避风、节食、忌鲜为要。

方用“五味异功”加山药、苡仁、当归、元参、土贝母，加红枣、荷蒂煎服两帖。原方内去红枣、荷蒂、苡仁，加金银花、绿豆皮，再三剂而痊。

（案远） 怡贤寺二非大和尚正月感寒，咳嗽、无汗、痰甚，误治几成劳倦治验

怡贤寺二非大和尚。

由感寒误治，几成劳倦，于嘉庆戊寅二月初一日始问治于余。余细审病情，据述恶寒、身热、无汗，起自正月十七日。他医作温症治，以

柴胡、桂枝二汤出入，寒热稍减，而咳嗽转增，稠痰盈碗，俱是风痰，上有浮泡。不饥纳少，缠延半月，口中作甜，舌绛有津。日来仍然背心作寒，咳痰甚多，如前有泡。前医又作体虚治，用六君子汤加减，服之更不合宜，特求余治。诊其脉，右寸浮紧，左脉浮弦。知其风寒射肺，究未透表。是以起病至今，并未见汗，遍体不疏，终非症也。不亟治恐涉劳倦之门，况年逾七旬有一，速宜疏肺为第一着，俾邪得汗而解。拟麻杏石甘汤去石膏，加鲜石斛辈，缘病在肺胃两经耳。

麻黄七分 先煎 杏仁三钱 去皮尖 甘草六分
鲜石斛四钱 橘红六分 苏子一钱半 炒
加青葱管六寸、河水一碗半。

先煎麻黄两沸，去沫，内诸药，煎至八分一碗，去渣温服。

服前方一剂，顷之微汗，觉咳嗽顿减，痰亦渐少。

次日再剂，仍微汗，更觉胸中爽快，渐能进粥，咳止痰无，寒退食增而愈，诚对证之良剂也。

前症愈后，于十九日庙中公事备斋，多啖面筋杂食等物，觉胸中胀闷、脐下作痛。探其情，

不食痛减,食则痛增。诊其脉,举之软小,按之沉滑。知其气滞食凝,又值病后脾土失运化之职,以故中脘胀而脐下痛也。急则治标,于是以鸡内金、广木香、半夏曲、焦谷芽、神曲、青陈皮、乌药、沉香、煨姜等十味煎服,两帖胀除痛止。再以“香砂六君子”服四五剂调理收功。

卷三终

竹亭医案卷之四

古吴孙采邻亮揆甫著

门人程定治济霖

金传勋继文

侄兰生芳田

男鹤生于九

凤生茂常 同校

竹

亭

医

案

(案员) 汪善章风邪客肺,咳久肺虚治验
汪善章,年五旬,嘉庆己未春。

初因风邪客肺,咳久肺虚,肝木侮金,缠绵
不已,宜先散肺邪。

白花百合一两,后入 防风二钱 旋覆花一钱
半,绢包 前胡一钱半 橘红一钱 苏梗一钱

河水一碗半,先煎五味至一碗,去渣,投前
白花百合,煎至将烂,连汤一起嚼服。服此三
剂,咳全愈。

(案圆) 治陈元隆咳嗽,痰不易出,肺脾气虚之验

陈元隆,年逾五旬。

咳嗽,痰稠不易出,脉右虚弦。肺气亏而中气虚,速治为妥。

北沙参三钱 款冬花三钱 叭啞杏三钱,去皮尖
苏子一钱半,炒 冬桑叶一钱半 炙甘草八分
白茯苓二钱 百合三钱

加老枇杷叶三大片,拭毛蜜炙。

服三剂,咳平,痰易出,少有喘咳未除。肺气渐降,脾土尚欠温和。于益气养肝中少佐补火生土法,是谓上策。

复诊方附后:

西党参二钱 淮山药三钱,炒 白茯苓二钱
百合三钱 建莲肉三钱,去心炒 制首乌三钱 女
贞子三钱 甘草八分,炙 叭啞杏三钱,去皮尖 益
智仁二钱

加紫衣胡桃肉两枚。

服四帖而痊。

(案猿) 邹上珍素好饮酒,彻夜不寐,两耳常鸣治验

邹上珍 年逾四旬。

素好饮酒 厚味不禁 历有年矣。忽于嘉庆戊寅春得彻夜不寐症 两耳常鸣。遍访医治 月余来毫无一效 因邀余诊。余始作中虚湿阻挟痰治 不应。又以归脾法兼以安神、镇肝之剂 服数帖亦不应。又更医 医以“温胆”、珍珠母等法 经半月亦不应手。于三月初一日仍复求治于余 余再谛审病情兼察色脉 左脉细数。知其阳有余 阴不足 相火上炎 以致两耳常鸣、目不瞑者两月矣 求一刻安卧竟不可得也。于是处以四物汤为君 配以镇肝舒气之法。最后以酒浸炒龙胆草为引导之使。服两剂而耳鸣之声渐低 可以稍睡片刻。于此加减出入 治经一月而收全功。

方列于下：

大生地三钱 归身一钱半 白芍药一钱半 炒
川芎一钱 制半夏一钱半 丹皮一钱半 炒 煨
龙齿三钱 沉香一钱 小青皮一钱 枳实一钱 石
菖蒲八分 陈皮一钱

加陈酒浸炒龙胆草八分 河水煎服。

复诊 原方去龙齿、枳实、陈皮、青皮 加制首乌、远志、甘菊炭 仍用酒浸炒龙胆草为引。

服两剂,三更时睡着,约有一时,至五更复又睡着半时。耳鸣渐轻,舌胎糙腻、两边带淡黄俱减。数日来大荤虽戒,其野味、鱼膻仍未忌,是以舌苔浊腻究未能尽彻也。

复诊:仍用四物汤,佐酒浸炒龙胆草,加制洋参、元参、知母、丹皮、茯神、菖蒲根、五味子等煎服。服后如前安妥,不寐、耳鸣俱减半矣,竟有时不鸣,惟灯后临卧时则两耳仍鸣,较前却轻多矣。头角牵痛已平,小溲带赤,口淡不喜饮,干而不渴。

复诊:用六味地黄汤加甘菊、元参、花粉、苡仁、甘草煎服。服后舌苔、溲赤等亦大减。

复诊:益阴降火,调中除湿。

大生地三钱 丹皮一钱半,炒 川黄柏一钱,酒炒 白芍一钱半,炒 五味子五分 归身一钱半 生甘草八分 苡仁三钱,炒 远志肉一钱 青皮一钱 焦冬术一钱半

加沉香八分同煎,服之如前安妥。

复诊:再以熟地、归、芍、知、柏、苓、甘、元参、柏子仁、炒枣仁辈。煎服六剂,安睡如前,耳鸣更轻。

复诊:

大熟地四钱 山药三钱 炒 当归身一钱半
白芍一钱半 炒 川石斛三钱 茯苓二钱 黑山栀
一钱半 炙草八分 知母一钱半

上药九味 ,煎好去渣 ,投元武胶一钱 ,煎烱
炖服四五剂 ,耳鸣、不寐从此全瘳。

(案源) 太学张嵩山足跟漫肿疼痛 ,进药
立愈

太学张嵩山。

足跟漫肿疼痛 ,关、尺濡奕沉细 ,悠关肝肾。
肾主骨 ,肝主筋 ,水不滋木 ,更兼久立少坐 ,此肿
痛之所由生也。或云足跟生疽 ,何其两足皆然。
议养水滋木法。

大熟地三钱 山药三钱 炒 当归身一钱半
木瓜一钱半 山萸肉一钱半 牛膝一钱半 蒸 菟丝
子一钱半 炒 半夏一钱半 制 左牡蛎三钱 煨

加猪后蹄跟骨五钱 ,用去油乳香一钱和白
蜜调敷骨上 ,放瓦上炙黄脆 ,打碎同煎。

服两帖 ,足跟肿退 ,疼痛顿止。此方妙在猪
后蹄跟骨以作引导之使 ,故一剂知 ,二剂已也。

(案缘) 休邑程梅溪饮酒贪凉 ,骤然呕吐、

眩运之治验

太学程梅溪 嘉庆戊寅八月初三。

因游虎邱 , 饮酒贪凉 , 骤然呕吐痰水 , 有汗 , 不喜饮 , 舌苔腻白 , 眼开即眩 , 右关沉滑。中宫受寒凝食 , 法宜和中 , 佐以温舒。年逾七旬 , 勿轻视之。

姜制厚朴一钱 制半夏一钱半 淡茱萸二分
 陈皮一钱半 广藿香一钱 赤茯苓三钱 山楂炭三钱 木香六分

加炒出汗开口川椒五粒 , 临服入盐花少些。

服后呕吐渐止 , 眼开不眩 , 二便通利 , 舌苔仍腻白 , 口稍苦。原方去厚朴、茱萸 , 加石斛、焦谷芽、鸡内金煎服 , 服后渐能进食而安。

(案远) 山西温树三暑湿内伏 , 因误治几成消渴之验

山西温树三 , 年二十五岁 , 八月初五。

病由暑湿内伏 , 邪热未楚。医投清脾饮温燥之剂 , 不但热未清而反增口渴喜饮。医又投‘四苓’加沙参、黄芩、白芍辈以清利之。服后舌色纯红 , 舌尖芒刺无津 , 比前尤渴 , 日饮茶数十碗而不能解其渴 , 因就诊于余。右脉浮数 , 渴饮

无度,知其热在气分,几成消症。于是以白虎汤加竹叶、麦冬治之,渴饮顿减,热亦渐彻。即于方中加鲜石斛服之,渴减七八,舌尖红刺渐退而润。再以生地、丹皮、花粉、麦冬、元参、知母、甘草、竹卷心辈,三剂而瘳。

(案苑) 山西宋蔼堂暑湿内蕴,由单寒而转疟之验

山西宋蔼堂,戊寅仲秋。

暑湿内蕴,由单寒而转疟,寒轻热盛,头重且胀,小溲浓赤,舌腻如粉,脉右大左弦细。延绵有日,速治为妥。

羌活一钱半 藁本一钱半 半夏曲一钱半 炒
黄芩一钱半 草果一钱 煨 广藿香一钱半 瓜蒌
仁三钱 滑石三钱 甘草六分 黑山栀一钱半 赤
茯苓三钱 知母一钱半

用西瓜汁一碗,入生姜汁半小酒杯和匀,再加河水一碗同煎至一碗服。

服药后,寒至未一刻,热来未半时。自觉气从头顶缓缓至两颧而下达胸胃。自此头顶不重,两太阳尚少有疼意,小便浓赤亦减,舌苔亦薄。

次日原方去藁本、瓜蒌、山梔，加青、陈二皮，煎法如前。再剂疟止，诸恙向安矣。

〔附案〕先大人治山西陈慈民瘧疾奇效，又治毕永年之瘧疾，仿白虎加桂并小柴胡汤之意而化出妙方即愈，可与山西陈慈民之方合参。

先大人我舟公嘉庆元年七月十四日治山西陈慈民。

单热不寒，瘧疾之象，脉数不洪，舌苔尚白，口虽干而不喜多饮。暑热内伏，早投黄连，以致遏邪，应用和解法。

用西瓜汁一碗半 生姜汁半小酒杯，约重三钱，和匀 入制半夏、广藿梗、枳壳、陈皮各一钱五分 六神曲三钱 柴胡三分

同煎至碗上八分服。

服此一帖，至夜未热，自觉松爽。进饭一碗，予嫌其过。

先大人又治毕永年。

瘧疾十数发不止，脉大身热，有汗而渴。入夜则发，天明方退。先伤于暑，而后伤于风也。仿“白虎加桂”并小柴胡汤之意而化出妙方，一帖即愈，快甚！快甚！此我得意之笔，可与山西

陈慈民之方合参，亦大同小异也（嘉庆元年八月二日）。

西瓜汁一碗半 生姜汁半小酒杯，约重三钱，和匀 入制半夏二钱 广藿香一钱半 神曲三钱 炒 陈皮一钱半 柴胡一钱 小青皮一钱 大枣两枚，去核

将前二汁代水，煎至碗上八分服之。

（案愿）甄湘文得食即呕吐治验

甄湘文，九月初三日。

脉象沉滑，得食则呕，病经四日，拟和胃运食法。

姜制半夏二钱 赤苓三钱 广藿梗一钱半 神曲三钱 炒 焦谷芽三钱 木香六分

加左金丸四分，研细，药汤冲服，一剂而愈。

（案怨）治歙县汪吉士喘症垂危，卧不着枕，陡然汗出如淋，立刻救苏奇效，并详论收功调理丸方用药配合善后之法

徽歙汪吉士，喘症危候，年逾四旬，于道光二年三月二十三日诊。

素有喘症，举发无时，向延他医治，屡发屡

平。迺来发之甚剧，于是月二十二午后，因登園陡然汗出如雨，舌根强，不克多言，气急神呆。医以生脉饮，重加熟地八钱、牡蛎一两、熟附子六分。煎服后，渐自汗少气缓，而痰咳甚艰，白云要从脐下咳出（凡咳从脐下逆上，皆属肾气不固也），咳时必有汗出气急之状，小溲热而赤，其痰纯是白沫，日咳数盃。两月来头不着枕，喘不能卧，惟以被褥厚壅其背而倚卧之。据述每咳有浓厚之黄痰出，始能安卧。刻下五六日一发，神疲难支，精力日败，特求救于余。余诊其脉，右三部细软如绵，左脉寸小、关弦、尺濡。知其肾水素亏，相火易升，又值断弦纳妾之际，阴分更亏无疑。然喘而不能卧如平人者，此又关于肺气之虚。盖人卧则金气藏于肾宫，今肺气畏火刑金，则母不能隐于子胎，其为气虚者又可知。历阅前方皆以养阴为主，地黄亦用之无算，而喘症终屡发无休，深虑陡然一脱。既然望治情殷，必需亟固肺气，兼理脾胃，俾肺金得令，相火下降，脾土一健而胃中之水湿不停，则肺中之浊痰亦清。要之，调脾肺尤甚于养阴则可，专一于滋阴而不补脾肺则不可。况地黄辈群阴之药，惟能膩膈滞脾，更无所取。及今加意亟固，

犹恐上脱，岂可慢用滋膩之品而日伐肺脾之生气耶。今拟益气定喘之法，以冀转机。

人参八分，另煎冲 淮山药三钱，炒 蛤粉炒阿胶三钱 茯苓一钱半 炙草六分 叭啞杏三钱，去皮尖 左牡蛎一两，煅块 北五味子五分，研
加紫衣胡桃肉一枚连鬲板用。

服一帖，气渐平，神渐安。痰沫虽多，咳时气急汗出却减。小便带赤，出时不热，腹中知饥。因药合宜，二十四日仍将原方去人参，私加党参四钱，照方服之亦甚妥。

复诊（三月二十五日）：

西党参五钱 焦冬术一钱半 扁豆三钱，炒
苡仁五钱，炒 陈阿胶三钱，蛤粉炒 制首乌四钱
茯苓二钱 炙草八分 叭啞杏三钱，去皮尖 五味子六分，研

加紫衣胡桃肉一枚，连鬲板，大南枣三枚，去核。

服两帖，气喘之势又减，痰沫咳出如前，日间稍厚，夜间仍有盈盂之白沫痰。向日用被五条加两枕倚靠而睡，今可去枕而卧。食饮稍增，小便不赤，舌胎膩黄亦减。

复诊（廿七日）：

西党参五钱 山药三钱 炒 白扁豆三钱 炒
款冬花三钱 制首乌三钱 百合四钱 女贞子三
钱 五味子六分 研 陈阿胶三钱 蛤粉炒 茯苓一钱
半 炙甘草八分 白石英三钱 煨

加银杏十四粒 去心衣 大南枣三枚 去核。
临服入生姜汁 (和胃化痰极炒) 六分冲服。

服两帖 喘势大缓 白沫痰竟减其半 食饮
日增。惟夜半尚咳呛几声 而痰肯出且稍厚。
大便日解 不溏不结。安妥之至 足征药之效
也。

二十九日 原方再两剂 夜睡可用一被一枕
而倚卧之 且夜间咳痰不过数口 较前大相远
矣。

复诊 (四月初二日) :

生黄芪二钱 盐水炒 北沙参三钱 山药三钱 炒
苡仁五钱 炒 蛤粉炒阿胶三钱 柏子仁三
钱 茯神二钱 天冬一钱半 去心 枸杞子三钱 益
智仁八分 五味子五分 研

加大南枣四枚 (去核) 生姜汁六分 (冲)。
服两帖后 睡时不用枕被而安卧如平人。

复诊 (初四日) :调脾保肺 兼养肾肝。

西党参五钱 制西洋参一钱半 蛤粉炒阿胶

三钱 炙草八分 制首乌四钱 炙鳖甲三钱 大南
 枣四钱 去核 芡实三钱 炒 白茯苓二钱 白扁豆
 四钱 炒 紫沉香二分

加白石英三钱 煨红醋碎。

每交四鼓 必咳呛几声 痰出而安 其余俱
 平妥矣。余用连皮胡桃肉五枚、白冰糖五钱同
 捣极烂 搓如桂圆大。至咳时以一圆噙化 取其
 生津、宁嗽。至时含之 果然奇妙。

复诊(初七日):喘止咳平,食增睡安,大小
 便如常。惟痰味带咸,脉象软小乏力,尺脉濡
 细,法宜调坤土以助乾金,壮坎水以滋震木。则
 子有受荫之乐,母无食气之虞。得其意者,可与
 论治。

人参六分 另煎冲 於潜术一钱半 土炒 茯苓
 一钱半 炙甘草八分 元武胶一钱 烱化 菟丝子一
 钱半 炒 天冬一钱半 去心 海蛤粉三钱 煨 紫衣
 胡桃肉一枚 连隔

加猪脊髓三条 煎汤代水。

候药煎好 去渣 投龟胶熔化 将药汤倒碗
 中 再以参汤冲服。

服此三剂 精神更健 痰味不咸。

四月初十日复诊:用“归芍六君子”加制首

乌、女贞、益智、蛤粉辈，间以“五味异功”、“四君”等，加一二养水滋木之法而收全功，亦再生之幸也。第六脉未和，肌体未丰，精神未足，元气未充，此际首重在节欲养气，为紧要关头。盖“气乃神之祖，精乃气之子。气者，精神之根蒂也。大矣哉！积气以成精，积精以全神。”于此而加意求之，再继之以丸，庶几无遗憾矣。丸方列下：

何首乌八两，用马料豆四两同煮烂，去豆，铜刀切片，蒸晒九次，入后药捣和。元武胶二两，切片炒珠。鹿角胶二两，切片炒珠。白丑筋^①四两，切片，用黄土同炒黄色，筛去土用。白花百合五两，晒干，焙。黄明胶三两，拣明亮细条用海蛤粉二两同炒珠。叭哒杏仁二两，去皮尖炒。兔丝子三两，酒浸焙研。益智仁一两五钱。白茯苓二两，人乳浸蒸。炙甘草一两五钱。新会皮一两五钱，陈酱油浸，焙。淮山药四两，用生姜汁拌，焙。

上药十三味如法制焙，共为细末，内首乌捣和。再用炙黄芪五两、西党参五两，用长流水煎膏代蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

① 丑筋：牛筋。十二地支中丑属牛。

是喘也属脾、肺、肾三经，而兼乎肝。方中扶脾、保肺、滋肾、养肝等法在所必需，而熟地之所以不用者，因其膩膈而究非脾土之久亏者所宜也。方中侑以首乌、元武、阿胶辈，亦是养阴壮水之要药，第非熟地之性泥滞膈可比耳。用药用兵，设不细心揣摩，何能深中肯綮耶！数年之喘得余药十有余剂，而喘咳痰嗽顿平，足征活法在人，非笔舌所能罄者。

(案 苑) 王宇葵脾阳不运，胸胁胀痛，便泄兼呕酸之验

王宇葵，年逾三旬，四月二十三日。

脾阳不运，胸胁胀痛，便溏溲赤。右关迟奕，左关弦细。病关脾胃，甚则呕酸。木邪乘土，当理中焦。

焦冬术一钱半 白扁豆三钱，炒 苡仁五钱，炒
茯苓三钱 益智仁一钱 淡干姜八分，炒 陈皮一钱半 炙草七分

加砂仁末三分，冲。

服两帖，日间不胀不痛，至日落后觉两胁有胀痛之势。

二十五日复诊：原方去苡仁，加西党参、广

藿梗各一钱五分。服四帖后 ,早晚胀痛俱平 ,大便不溏 ,小溲渐淡。

二十九日诊 :用六君子汤加干姜、木香、扁豆、青皮、砂仁辈 ,调理而康。

(案 癩) 山西曹伯侯脚气常发 ,发时腿膝胀痛 ,甚则寒热 ,手臂肩背皆不能举动 ,治之屡效

曹门人乃尊伯侯。

素有脚气 ,举发无时 ,嘉庆戊寅六月告诊。年逾四旬 ,体肥身大 ,好啖厚味湿面。脉象沉细 ,腿膝胀痛 ,右甚于左。湿气内侵 ,下达为顺 ,最怕上升 ,拟疏通法。

独活一钱半 当归一钱半 怀牛膝一钱半 木通一钱 秦艽一钱半 陈皮一钱半 小青皮一钱 苡仁三钱 木香八分 甘草六分 制香附三钱 猪苓一钱半

加葱须五枚。

服两帖 ,全愈。

(案 癩) 妹倩王履安丹症 ,寒热、额痛、咽疼极险奇验

妹倩王履安兄 嘉庆戊寅十月二十六日 丹症治验。

始于额痛 喉疼、寒热 舌苔白腻。当用羌、防、甘、桔、藁本、僵蚕、牛蒡、马勃、桑白皮、干浮萍草煎服。次日天明 微汗 头额痛缓 而面额、颈项俱发作红丹成块 大小不一 光亮而痛于外 内痛大减。仍先寒后热 喉痛未减 早轻午重 时有呓语。脉形浮弦 左大右小。再以荆芥、牛蒡、酒炒黄芩、连翘、葛根、蝉衣、生地、薄荷、甘、桔辈清疏之 使素蕴之风热丹毒出表为最。服后寒热俱轻 额痛十减六七 惟丹块愈觉高突 足征丹毒外达之象 故胸膈不闷、语言清楚。三日间头面、手臂肢体俱发丹毒 大如胡桃 小如蚕豆。此即时行丹毒、大头疮痞瘟之类也 当以家制霞城散水调涂丹 顷之痛减 高突渐平 而寒热未罢 口干欲呕 小溲色赤 究竟邪毒未尽。即于前方去葛根、蝉衣、生地 加花粉、山栀、贝母、滑石辈 加雪梨肉二两同煎服 仍用霞城散水调涂 甚妙。服煎剂 夜稍寐 无乱语 头额之丹块亦十平其七八。惟两颧、耳后及唇下尚未大平 肢臂、下体之小块亦稍平 痛大减。仍于前方损益之 服后寒热、喉疼俱退尽 而犹

觉口中不爽 ,自知难过而又不能言。其所以然之故 ,细审之 ,此口糜也 ,兼之鼻声如鼾。《经》云 :“心肺有病而呼吸为之不利也 ” ,又曰 :“膀胱移热于小肠。膈肠不便 ,上为口糜。”治以苦寒之剂 ,以辛温佐之 ,拟既济解毒汤法 ,以清余蕴之邪。

黄芩一钱半 陈酒浸透 炒 川黄连一钱 陈酒浸透 ,
炒 桔梗一钱半 甘草一钱半 连翘壳一钱五分
当归一钱 柴胡一钱 升麻一钱

河水煎服 ,外仍用前药如法涂之 ,赤肿立平。服后口糜十去其八 ,项颐之块亦俱起皱纹。再以清火解毒二三剂 ,大小丹粒渐自脱盖 ,其疤尚有一层白衣剥下 ,宛如痘之托衣 ,从此收功 ,亦丹毒中之险症也。

(案 疑) 山西田德润素有喘症 ,因感而发极重治验

山西田德润 ,年五旬又六。

素有喘症 ,今于十一月初二日因伤风而起。西人好啖面食葷 ,日来不禁。昨夜半 ,忽然喘发不能卧 ,胸腕闷 ,背板如缚 ,而喘声一刻不停 ,犹如抽风箱之声 ,特延余诊。其脉右寸浮紧 ,关脉

小滑。知其风寒闭肺,痰凝气滞,阻塞清道,此喘之所由来也。速宜疏肺定喘,佐以豁痰顺气。势属险途,慎勿轻视。

苏叶三钱 防风一钱半 豆豉三钱 半夏曲一钱半 甜葶苈一钱半,米同炒 杏仁三钱 薤白三钱 广木香一钱 桑白皮一钱半 莱菔子四钱,炒加青葱管五寸。长流水煎服。

服后未两时,喘渐停矣,即能进粥。顷之安卧,毫无喘意。效如桴鼓,称为仙丹,快矣!快矣!

(案原) 邢裕芳白浊治验

邢裕芳,戊寅十一月初旬。

白浊半月,服通利之剂罔效。予以清降相火法,佐以疏泄。服四帖,白浊渐减,溺端不封。惟小便时及完后,少有针刺之象。脉寸、尺小,数,此相火未静,宜养阴以济之,浊自止矣。

大熟地三钱 大生地三钱 甘草八分 茯苓二钱 人参须五分,另煎冲 山萸肉二钱 黄柏八分,盐水炒 牡蛎四钱,煅块 海金沙一钱半

服四帖,浊止。去海金沙,再服两剂而安。

(案 员) 海盐张铁珊堂侄身热、耳聋、便秘治验

张铁珊堂侄，戊寅秋，年十八岁。

身热数日，热非壮热。口干喜饮，却不多饮。舌苔中央腻滞淡黄，不饥纳少。问答尚清，起坐自如。兼之耳聋，脉左大于右。此暑伏湿闭之象也，拟清解以和之。方用“小柴胡”去参，加葛根、香薷、瓜蒌皮、赤苓、花粉辈，加藕煎服。热稍缓，小溲增。但舌根腐腻、胎黄，大便十有余日未解，有欲解未能之势。宿垢内蕴，以解表通里法。方用瓜蒌实、豆豉、槟榔、枳实、黄芩、油当归、大腹绒七味。煎好去渣，入元明粉二钱冲服。

服此，病如前，惟舌根之腐腻、黄胎十减其半。

复诊：热缓，头尚重，小溲赤，大便欲解未能，小腹气紧，即有转失气下。夜来热减，而又有似寒之势。究竟邪未尽彻，宿垢停滞，二者兼治，斯为善矣。

葛根一钱半 蔓荆子一钱半 秦艽一钱半 小
生地三钱 丹皮一钱半 炒 黑山栀一钱半 赤苓三
钱 生甘草六分 黄芩一钱半 炒

上九味煎好去渣，入更衣丸一钱，药汤送。服后次日，身热渐退，头重亦平。灯后解结粪尺余一条，顷之又结块数枚。自觉软倦，随饮稀粥安卧。

复诊：再以小生地、鲜石斛、生谷芽、甘草、藿梗、陈皮、赤苓、苡仁，加荷蒂一枚，两剂而痊。

（案 苑） 伯岳陆鉴堂风邪上攻，脑后、鱼尾二穴牵掣抽痛、寒热治法极效

陆鉴堂伯岳，十月初四。

风邪上攻，脑后、鱼尾二处牵掣抽痛，寒热。舌苔淡黄、边白，脉象浮软小数。速宜舒解退热，恐高年人难以胜任。

蔓荆子一钱半 羌活八分 藁本一钱 薄荷一钱
炒池菊一钱 陈皮一钱 炒谷芽三钱 查肉三钱 炒

加荷叶边一小个同煎。

服后未几得微汗，即觉脑后、鱼尾二处牵掣抽痛顿松。至晚十去其八，身热渐退，饮粥碗许而愈。

(案 员) 马元奎子初生胎毒 腿胯浸淫湿烂治验

马元奎子 ,产未一月。

腿胯浸淫 湿烂皮损 波及阴囊 此胎毒也。当用熟石膏、黄丹研粉 ,以新绵蘸搽患处。内用生甘草、银花、绿豆皮三味煎汤 ,用新绵裹如奶头式蘸药汤与吮 ,日四五度。

据述如法服之 ,并搽药后 腿胯湿烂顿平 ,且一夜安宁。次日仍如前方煎服 搽亦同前 两日而痊。

(案 员) 山西任福泰大小腹痛则便泄治验

山西任福泰。

大小腹俱痛 痛则大便溏泄 早三二次 晚五六次 病起月余。脉左小 右大 尺浮。肾阳虚而脾土亏 兼之食积中宫。当以理脾、温肾为主 不得泛泛治痛。服后方三帖 腹痛大减 便泄顿止。

制香附三钱 广木香六分 淡茺萸三分 枳壳一钱半 破故纸一钱半 焦谷芽三钱 六神曲三钱 炒 乌药一钱

加生姜四片。

(案 疑) 张凤梧小便涓滴有年,举发无期,内如刀割,症起于壮年溺情过度,治法奇妙,效如桴鼓之应

张凤梧。

小溲涓滴有年,举发无时,于道光二年正月初十日延诊。小溲急数欲解,出时涓滴不爽,刻刻欲出。出时溺窍不疼,疼刺在半出未完之际,如刀割刺痛难忍。出未几而顷之又欲出,及出仍如前般。日间数余次,口中觉干,夜来频出不爽。坐直则腿中筋急,溺管中即刺痛,必得曲腰坐之则少安。且溺时,阴茎底面筋急则溺窍越觉痠疼之极,若筋柔软则安。种种情事,病由昔年溺情过度所致。攸关厥阴肝木而兼乎阳明宗筋,波及膀胱、肺、肾者有之。况右脉之细软,左脉之弦急,尺数,非无自也。第年逾六旬,病根已久,性急心活,屡屡更医,纵有妙手亦难以建绩也(是证可与后之黄其祥之病合参)

大生地六钱 清阿胶四钱 炒珠 秋石化水浸
知母一钱半 小青皮一钱 人中白一钱 漂淡 盐
水炒川黄柏一钱 黑山栀一钱半 柴胡五分

上八味制炒和勻，听后用。

先用生黄芪五钱 生香附五钱 研 生苡仁一

两

三味，用原福珍酒一茶杯拌匀浸透。约一炷香时，再用干荷叶一个，不破者用热水泡软，将酒浸之三味包于软荷叶内，线扎，用井水三碗煎至一半，去荷叶包，以此汤煎前八味，煎至碗上八分服之。

用方之意颇妙，非深悉阴阳刚柔之理者亦难知其妙耳。

如法煎服，小洩之急数、出时之涓滴、疼刺之难忍毫不觉矣，诚对症之良剂也，理宜加意调摄。岂知病虽小愈而竟不复再视，反恣啖厚味以为补，无怪乎病根难除，念^①自误之耳。

(案 國) 海盐张铁珊调理脾肾膏滋方治
验

海盐太学张铁珊膏滋方，道光元年冬十月初一日。

肝阴不滋，责诸肾水之少。脾阳不运，由于

① 念：皆。

命火之虛。而補火、補水之外，亦宜補肺。蓋肺為腎母，母足則子有受蔭之樂。肺為脾子，子足則母無食氣之虞。得其意者，可與論治。

大熟地八兩，搗 元武膠二兩，膏成烱化 鹿角膠六兩，膏成烱化 山藥四兩，炒 枸杞子三兩 山萸肉三兩 菟絲子四兩，蒸 歸身二兩 肉苁蓉二兩，酒洗 補骨脂二兩，炒 西黨參五兩 黃芪三兩，炙 建蓮肉六兩，去心 益智仁二兩 炙甘草一兩半 茯神二兩 淨砂仁一兩半

上藥十五味如常法用長流水浸，煎至膏成，再將龜、鹿二膠和入烱化調勻。懸掛井中一宿取起，再退火氣三日。每晨隔湯炖熱，服五六錢，冬至後或七八錢亦可，開水過口。

此症肺、脾、肝、腎皆虧，進食稍增則腹中不爽，或悶或疼，夜膳不敢多進，一不如法則小腹胀痛波及胸腕。冬來畏冷，四肢尤甚，年逾三旬。服此膏之後，諸恙俱平，頗為合宜。

(案圓) 歙縣丰干庭傷寒誤治垂危，立刻救蘇治驗(已後調理收功丸方)

歙縣丰干庭，年二十五歲，道光元年八月二十二日。

病由暑湿内蕴而起 ,未经疏解 ,药饵乱投 ,以致身热两月未退 ,耳聋体倦 ,不饥纳少 ,小溲短赤 ,大便溏泄 ,日解数次。医更多人 ,寒、热、温、凉备尝之矣 ,热终未退。舌苔灰色 ,边淡白 ,医又疑为虚热 ,以熟地、归、芍、鹿角胶、参、芪 ,加升、柴、术、草。其白术用至四钱 ,炙草用至二钱 ,以六一散为引。炙草二钱已嫌其过 ,而又加“六一”中之甘草 ,何其善用甘草若斯之甚也。更奇者 ,病已奄奄一息 ,其人仍将前方加附子一钱 ,并牡蛎、黑山栀辈温凉燥热并投 ,视人命如草菅。幸遇伊同乡子穀汪君 ,阻其所加附子之方不可再进 ,观其病势危笃 ,特求救于余。余至 ,诊其脉两关弦细不静 ,问其病则曰耳内常如蛙鼓蚊锣之响 ,察其色舌中灰色边淡 ,兼之溲赤、便溏。合证脉而详谛之 ,热未尽彻 ,棘手极矣 ,难以许治。姑念客途抱病 ,怜孤儿独子之形单 ,不得已 ,惟有和中一法 ,清暑却湿 ,俾上下交融 ,庶乎尽善 ,所谓击其中而首尾皆应也 ,或可图其幸耳。

川黄连五分 ,用陈酒二钱半同煮将干 ,勿焦 白扁豆四钱 ,炒 煨葛根一钱半 广藿梗一钱半 阳春砂仁五分 ,研 赤茯苓三钱 绿豆皮二钱 盐水炒

青皮八分

加生谷芽六钱。

上药九味 ,用河水两饭碗煎至一碗 ,去渣再煎去二分 ,仅存八分服之。

服此渐有微汗 ,小便稍长 ,身热 ,肤稍润泽 ,舌中灰胎稍薄 ,余如前。

又 ,二十三日复诊 :服昨方 ,今日不时呵欠 ,是佳兆也。

白扁豆五钱 炒 玉竹四钱 茯神二钱 苡仁四钱 杜芡实三钱 炒 山萸肉一钱半 木瓜一钱半 猪苓一钱半 泽泻一钱半

加鲜荷叶边一个 ,沉香汁二分 (冲)。

服此后呵欠更多 ,此荣卫有相引之机 ,佳象也。便溏稍减 ,可进烂饭半盏 ,日饮粥一二钟。口不喜饮 ,神清 ,夜能睡。舌中灰色苔竟退其半 ,舌尖已转淡红色 ,且滋润 ,身热退其六七 ,渐有生机之象也。

又 ,二十四日复诊方 :

西洋参一钱半 制 白扁豆三钱 炒 苡仁五钱 ,炒 甘草六分 川石斛四钱 远志肉一钱 ,去心炒 麦冬一钱半 ,去心 茯神二钱 赤茯苓三钱 益智仁八分 滑石三钱 木香五分

加生姜皮四分 黑大枣两枚 (去核)。

又 二十五日复诊方：

淮山药三钱 炒 白扁豆五钱 炒 元参二钱
茯苓二钱 远志肉一钱 炒 生鳖甲二钱 炙草八
分 木香七分 煨 青蒿子一钱半 益智仁一钱
陈皮八分

加生姜皮四分 黑大枣两枚 (去核)。

服前后两方 舌中灰黑胎今已全退 食饮稍
增。

又 二十七日复诊方：

西洋参一钱半 制 炙鳖甲三钱 元参二钱
白扁豆五钱 炒 青蒿子一钱半 云茯苓二钱 苡
仁五钱 炒 炙甘草八分 煨木香五分 陈皮一钱半
砂仁五分 生谷芽四钱

加大南枣三枚 去核。

服后热退八九 大便日二三次 且不甚薄；
小溲日四五次 出时觉热 舌转淡黄胎 耳内响
如前。

又 廿八日复诊方：两日间 天明时偶有鼻
衄。今交秋分 虚火上炎也。

元参三钱 麦冬一钱半 去心 炙鳖甲三钱
扁豆五钱 炒 女贞子三钱 苡仁五钱 炒 干百合

四钱 砂仁五分 炙甘草八分 滑石三钱

加湖藕二两,切片同煎。

服此,头额之热今始退清,舌转之淡黄苔亦从兹而渐退,鼻洪止,大便一次始结,小溲色淡,诸恙俱平,惟脉象软小濡细,精神尚疲,耳内犹响。加意图之,自尔痊愈。

二十九日:原方略为增减,服两剂安妥如前。

又,九月初一日复诊方:今可扶起诊脉,究未能多坐。

西党参一钱半 二原地三钱 归身一钱 女贞子三钱 远志肉一钱,炒 半夏曲一钱半,炒 炙甘草八分 大麦冬一钱半,去心 茯神一钱半 陈皮一钱半 芡实三钱

加生谷芽五钱。

服两帖,耳聋渐自减半,而耳鸣仍然如前,究关精气之未充也。

初三日:原方去半夏曲,加建莲肉,再二剂。

初五日:用制首乌、女贞、枸杞、菟丝、山萸肉、茯苓、木香、炙草、山药、建莲肉,引以砂仁末三分冲服。

连进五六剂,肝肾之阴渐复,耳鸣减半,食

饮亦增 ,惟六脉尚虚小乏力。大病两三月 ,气血久亏 ,肌瘦神疲 ,节食戒怒 ,毋贪厚味 ,淡蔬最宜 ,俾食饮旺而精气充 ,加意调摄 ,庶无他虞。

又 ,九月十一日方 :调脾胃 ,兼养肝阴 ,冀其坤土健运 ,再为滋补可也。

西党参三钱 白扁豆三钱 ,炒 归身一钱半
白芍一钱半 ,炒 广木香五分 半夏曲一钱半 ,炒
陈皮一钱半 甘草八分 ,炙 女贞子三钱 砂仁末
三分 ,冲

加大南枣三枚 ,去核。

服三剂 ,食饮增倍 ,精神稍健 ,大便日一次且结。

又 ,十四日方 :

高丽参一钱 ,另煎冲 淮山药三钱 ,炒 白扁豆
三钱 ,炒 茯苓一钱半 鹿角霜一钱 枸杞子三钱
女贞子三钱 白芍一钱半 ,炒 当归身一钱半 炙
甘草八分 砂仁五分

加桂圆肉五个。

服数剂 ,耳鸣止 ,精神健 ,食饮复原。即于方内去高丽参、归、芍、茯苓、砂仁、山药、扁豆等 ,加黄芪、党参、龟胶、莼肉、胡桃肉辈。进四五帖而收全功 ,继以丸方调理。方附下 :

大熟地八两 捣入 元武胶二两 切 炒珠 鹿角胶一两 切片炒珠 山药三两 炒 菟丝子二两 制熟 芡实三两 炒 沙苑蒺藜二两 归身一两半 线鱼鳔二两 切片砂炒 金樱子二两 去毛 怀牛膝一两五钱 酒蒸 杜仲二两 炒 女贞子二两 炙 山萸肉三

两
上药十四味 先将熟地杵膏入药和匀 再以黄芪三两、党参三两煎膏代蜜为丸 如桐子大。每服五钱 清晨滚水送下。

(案 圓) 何兆丰感暑湿病 余热未尽治验 并后调理收功丸方

何兆丰 年二十七岁 道光辛己七月十六日。

暑湿内侵 病已十八日 尚有余热未尽 有汗喜饮 小溲短赤 舌苔腻滞淡黄 知饥纳少 大便六七日未解 夜能寐。脉右小数 左弦细。此湿阻而兼暑气之未彻也 表之无益 即清之、凉之亦未见却病 莫如和中祛湿 俾暑湿由中以下达 庶几无变迁之虞。

白扁豆四钱 炒 薏苡仁四钱 炒 广藿梗一钱半 猪苓一钱半 泽泻一钱半 赤茯苓三钱 块滑

石三钱 甘草五分 砂仁五分 生山栀一钱半 姜汁炒
加西瓜汁一茶杯同煎。

进一剂热退，再剂解结粪成堆，小便长、赤减，自觉安妥。停药两日，又有微热。早上饮粥少有汗出，热渐退，午后又渐微热，知饥能寐。二十日复诊脉如前而舌胎愈觉腻滞，小便又短而赤。前方去猪苓、泽泻、山栀、西瓜汁，加鲜石斛、姜半夏、鳖甲、地骨皮等。两剂，热又退清。

又，二十二日诊：

白扁豆四钱 炒 淮山药三钱 炒 赤茯苓三钱
藿梗一钱半 半夏曲一钱半 炒 广木香五分 块
滑石三钱 陈皮一钱半 生甘草六分 生鳖甲三钱
加生姜二片、焦谷芽三钱。

进前方两剂，舌苔渐退而薄，舌尖已有淡红色。日进粥四盏，知饥而又不贪饮。细审之，连进老黄米粥廿有余日，故知饥而不过贪也。因嘱其进陈白米粥以养胃气，午后可进饭半盏，以鲫鱼煮汤过口。如法服之，胃口开而粥饮喜进。病人调治之法须当细心揣摩，始能得其真情也。

又，廿四日复诊方：

建莲肉四钱 去心 玉竹四钱 金石斛五钱
茯苓一钱半 女贞子三钱 陈皮一钱半 白扁豆三

钱炒 苡仁三钱炒 砂仁五分

加黑大枣两枚,去核。

服三剂,食饮日增,舌苔退去七八。二十七日诊再以调脾养肝之剂,用四君子汤加二原地、女贞子、枸杞子、陈皮、砂仁、大枣辈四五剂,继以异功散加制首乌、女贞、归身、远志、柏子仁等。又五剂,诸恙向安,惟足膝无力,精气未充。再以壮水滋肝之剂,间佐以党参、黄芪辈,数帖而康,继以丸方调理收功。方附下:

大熟地八两 捣入 元武板五两 炙 山药四两,炒 山萸肉四两 枸杞子三两 焙 菟丝子二两,蒸熟 茯苓一两半 当归身一两半 怀牛膝二两 酒蒸川续断二两 炒 杜仲二两 炒 砂仁一两半

上为细末,先将熟地杵膏入药和匀,再以西党参五两煎膏代蜜为丸,如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

(案 國醫) 休邑黄其祥尿血数月,渐自小便涓滴,甚至茎中疼刺,便溺不爽,必得小便先出而大便始解,亦由溺情所致,治法颇验(附论上层)

休宁黄其祥。

素多劳苦，娶妻甚迟。于道光辛己五月初十日延诊：尿血数月，日渐小便涓滴，甚至疼刺难出，大便欲解不能，必得溲先出而大便始解，小便时刻渗出，大便愈难一解，迩来以绢围扎阴头使其渗入。有时小腹疼痛，茎中又有鲜血频滴。面带虚浮，食饮如常，睡卧尚安。脉象虚软，左关弦劲，尺脉濡细小数。缠绵日久，深虑头倾背曲，变证蜂起，岂是小恙而可藐视之乎。

其人中年娶妻，肌体羸瘦，嗜欲无度而致溲便维艰，皆为色欲所累。褚待中云：男子阴已耗而思色以降其精，则精不出而内败，小便秘涩如淋。阳已痿而复竭之，则大小便牵痛，愈痛则愈便，愈便则愈痛。按其言则阴中有水有火，水虚者固多，火衰者亦不少，未有精泄已虚而元阳独存者。况阴阳互为其根，议补阴者须以阳为主，盖无阳则阴无以生也。此论可与黄氏之症合而参之。乙未夏日竹亭识于有竹居 时年七十有一

生黄芪五钱 生香附四钱 柴胡一钱

上三味，用大荷叶一个（泡软）包前三味，线扎。用福珍酒一饭碗、顺流水两饭碗和匀煎药，煎至一碗半，去荷叶包，将此汤煎后药（煎时以铁物压煎，不然恐荷叶包浮于面上）。

蜜炙黄柏二钱 蜜炙知母二钱 土牛膝二钱

黑牵牛一钱半 上肉桂二分,去粗皮

五味以前汤一碗半煎药至八分一碗,入血余六分,研极细冲服。

进药约在申初,至戌时知饥,吃饭两瓯。少顷先欲大便,解时甚畅。随后溲出杯余,顷之又出,非前之涓滴难忍,亦非前之先小便而后大便始出者可比。况未服余方前之欲大便而不能,必得用力挣之,甚至头眩眼花,如斯弩睁,而大便解出不过些少,而小便则仍涓滴,究不能如服前方后之通畅可较也。

又,十一日复诊方:

生黄芪五钱 小茴香一钱半 小青皮一钱
柴胡一钱

上四味用童便一杯以拌透为度,仍照昨用大鲜荷叶包药,线扎。仍以福珍酒一瓯、顺流水两瓯和匀煎药,煎至一碗半,去荷叶包,将汤煎后药。

蜜炙黄柏二钱 盐水炒知母三钱 黑牵牛一钱半
黑山栀一钱半 上肉桂二分,去粗皮

上五味用前汤一碗半煎至一半,临服仍用血余灰六分冲服。

自五月初十、十一两方虽略为变易,亦各有

取意存焉。服后果然奇妙，小溲出时不用并气而出，出后不尽少有溜出，却非前之涓滴可比。次日早晨大便结粪，出时甚爽，亦非前之胀坠可较，据述病象三减其二矣。

又，十二日复诊：侵晨出街，步行劳力，午前陡然尿血如箭，内有紫块。前后胀急，大便欲解不能，尿血仍频滴不止。少顷大便解出成条粪些少，溺管中解出血块一二，立觉松爽。病在二阴之间，迄今半载余矣，不无溺情所累，况血从精窍而出，非比血淋之茎痛由膀胱溺窍而出者可较也。当急以半通半涩之法，兼以治本，以照顾左关、尺之弦急小数之意耳。服后尿血减而胀急未除，更医用龟板、熟地、知、柏、麦冬辈，反增胸前胀闷，二便秘结难忍，气壅于上，面浮白，不饥不纳，较前之进食如常者大不同矣，因于十四日复求治于余。诊其脉，右寸、关虚滞，左关、尺弦紧小数。二便不通，努力并睁，不由自主。前阴血出涓滴、胀急，必得瘀块出、大便稍通，渐自宽松。二三日来无一刻之安宁，甚至小肋胀痛。证属险极，姑念告治情殷，亟以升降通幽法，或可望诸。

生黄芪五钱 生香附五钱 柴胡一钱 淡菜

莫五分

四味用童便浸透，以荷叶一小个包紧，线扎。用顺流水四碗煎至一半，去荷叶包，只用此汤煎后药。

大生地六钱 藕节一两，切 紫沉香一钱，切
黑牵牛一钱半 人中白一钱 漂 小蓟一钱

用前汤煎至一饭碗服。未进药前先用陈酒炖温，送更衣丸二钱可以不必用。

按：细阅病情，竟服煎方不用更衣丸则更妥、更稳。竹亭自识，时在壬辰十一月二十五日午刻注。

据述先进丸，后服煎剂，少顷即睡。睡醒觉面浮稍退，口干舌糙亦少润。至夜半又少有小腹并紧之势，至天明解出粪如大指粗者三二条，小溲稍增，却无尿血。少顷饮粥杯许，忽然欲呕，呕出盈碗之水。顷之又呕，其味带酸，非痰非涎，中兼黄色，好似昨进更衣丸外之朱砂也。想连日下焦秘结不通者，上焦必壅而不能下达者有之。更兼前医用寒凉无温热之佐，不无阻滞中宫，假此米饮而痛呕，呕后反觉上部稍宽，况有余之升降、疏补、通幽之法，是以前后二阴稍通，故小腹不觉并紧张急也，药服颇合。第右脉如昨，左关、尺弦紧小数未平。肾为胃关，胃

土壅滯 故胸中脹而兼疼 而食不貪也。厥陰不舒 郁結前陰。腎關不利 幽門難通。深慮復閉 閉則必結 結則必厥。當以和法開其上壅 佐以疏通下焦 仍不外乎升降一法。冀其二便通利 庶几可圖。

十五日復診方：

小川連五分 姜汁炒 制香附三錢 鹽水炒 淡
 茺莢二分 柴胡六分 小青皮八分 川楝子二錢 打碎
 黑山梔一錢半 黑丑即牽牛 一錢半 小茴香一錢 鹽水炒

加藕汁半茶杯(沖) 血余灰八分(沖)。

服此 知飢進粥 小便頻滴漸稀 稍有約束。天明時大便成堆 毫不覺墜 出如平時。小溲亦增 却非涓滴可比。惟小腹下兩傍少疼 尚欠柔軟。至于大腹之脹、臍之突、面之浮俱已十去八矣。

又 復診方：右脈虛奕 左關、尺弦細小数。固氣養榮 兼理肝腎。俾二陰之氣調勻 則氣旺水充 肝木滋而相火不升。心不下蕩 血自歸經 而尿血可止矣。當加意圖維 耐性靜養斯可矣。

生黃芪三錢 鹽水炒 丹參三錢 淮山藥三錢 。

炒 白芍一钱半 炒 川楝子一钱半 研 青皮八分
 生益智八分 乌药一钱 盐水炒 桑螵蛸二钱 炙
 血余八分 冲 人中白六分 漂

服前方 ,大便通畅 ,小便频滴又减 ,少腹两傍亦渐柔和不疼。复诊又以“四君子”加首乌、女贞、白芍、淡茺萸、杜仲、小茴香等服之。小便每次可杯许 ,大便日解带结 ,腰间疼已 ,食饮亦增。连进数剂 ,大为合宜。又以“四六君”佐养荣汤出入之 ,继以壮水滋木之法调理渐安。

是证也 ,得余前方之奇思妙想而奏功甚捷 ,亦再生之幸耳。数月后 ,缘房事不节而病复 ,延就近者调治 ,纵啖厚味 ,未经月而逝 ,诚可惜矣。

(案 國原) 休宁汪春舫房劳不节 ,脾肾大亏 ,兼之肝气作楚 ,两手足掌心痛剧难忍为最甚治验 (并丸方洗方)

汪春舫 ,休宁人 ,年逾五旬 ,道光元年正月十一诊。

六脉虚大 ,脾肾两亏 ,又兼肝气作楚。病延日久 ,正值春令 ,土为木乘。脾主四末 ,无怪乎手足掌心痛剧难忍 ,且肿也。二目水光外含 ,其为肾水之不足已露先声矣 ,盍早图之 ,深虑骤

变。权拟一方,先治筋脉,兼之调脾和肝,待病势少衰,再为之计。

白丑筋一两,切片 鹿筋六钱,切片 归身一钱半
檀香泥一钱二分 广木香七分 橘红八分,盐水炒
续断二钱,炒以葱汁

加苡仁二两。

先将牛、鹿二筋打扁、切短,用河水四盏煎去一半,入前药同煎至一盏服。

服两剂,手足心肿痛俱减,且能少步出房。大便之秘结可日解一次而畅,颇属合宜。

复诊(十三日):仍用前方加虎掌骨、木瓜辈。服后如前,每至申酉后,觉手足心之疼渐增,胸中气闷不爽,两胁作痛,引动肝气。当理气血,和其筋脉,再商。

西党参三钱 山药三钱,炒 制首乌三钱 鳖甲三钱 元武板四钱,炙 归身一钱半 女贞子三钱
茯苓二钱 制香附二钱 泽泻一钱半 五加皮一钱半 甘草八分

加鹿筋五钱,切片,用去油乳香、没药各五分与筋同炒,同前药煎服。

外用樟木屑四两,先将急流水煎极滚,泡樟木屑置盆中。以手放盆边上,用绵布盖之,先

熏候温可以淋洗。如足指、跟痛亦可熏而后洗，即膝中冷疼又可用棉布浸透绞干熨之，冷则易。

服前方并熨后，两足毫不觉痛，步行亦然。

复诊：四肢无力，遍体不疏，幸手足心不痛，时觉筋惕。诊其脉，幸肺脉之数急已缓，惟左关弦劲未舒。知其木有侮土之象，故食不贪，而素有之痰饮黏腻者时而呕出。常多怒，怒则火升。脾土不运，肝木过旺，过旺者肝亦自伤。为之调脾温中，佐以舒肝，和其筋脉，通其经络。俾其渐减，再为之计。

西党参三钱 焦冬术一钱半 淡干姜五分 炒
香附三钱 炒 淡附子五分 制半夏一钱半 炙甘草六分 白芍一钱 炒 当归身一钱半 云茯苓三钱
加沉香三分 末（冲），竹沥六钱和生姜汁六分 冲。

服前方六帖，诸证俱减。即于原方去白芍、沉香、竹沥、姜汁等，加龟胶、鳖甲胶各一钱，候药煎好去渣，烱化。引用油松节、苏木节各三钱。先用长流水两盏，将二节先煎数滚，入前药同煎，煎好去渣，再投二胶，候烱温服。

服三帖，更妥，行步可不用人扶，手足不痛，

筋脉安舒。

复诊：脉之虚软、弦劲俱渐平可，惟左尺濡奕、右尺浮虚乏力。阴气亏而命火不足，是以腰疼膝冷，虽丝绵固护而膝骨中究嫌其冷，攸关元阳、元阴之不足耳。议火土相生、水火并济之法，或不无小补云尔。

西党参三钱 焦冬术一钱半 茯神二钱 归身一钱半 大熟地三钱 淡干姜五分 炒 炙草八分 枣仁一钱半 炒 淡附子六分 上肉桂四分 去粗皮 牛膝一钱半 陈酒浸蒸

加鳖血拌晒木瓜（妙法可传，用意颇精）一钱五分，此药前次预备存用

服数剂，膝冷、腰疼大减，食饮安卧如常。

复诊（二月）：

大熟地五钱 归身一钱半 山药三钱 炒 熟附子五分 上肉桂四分 茯苓二钱 山萸肉一钱半 西党参五钱 左牡蛎三钱 煨块 炙草八分

加鳖血拌木瓜一钱半 沉香四分 切片。

服后腰膝疼冷俱渐平，可以独步行走。手足心痛极难忍之势，自服余方缓缓而平，毫不觉矣。

复诊（正值春分节届）：服数帖，继以后丸调

理收功。

大熟地五钱 元武胶八分, 熔化 鹿角胶一钱半, 熔化 茯神二钱 酸枣仁二钱, 炒 西党参五钱 焦冬术一钱半 干姜六分, 炒 炙甘草八分

引 鳖血炒木瓜一钱半。

丸方(道光元年辛巳岁定): 病从四肢不能举动, 牵引痠疼, 手足掌心肿痛。症起年余, 药投罔效。于正月延诊, 药服应手, 病已痊可, 继以丸剂, 以善其后。

高丽参二两, 切片, 另研极细再同后药和匀 大生地八两, 用水煮半日, 再用陈酒同砂仁一两半同煮半日, 放盆内, 饭锅上蒸透, 捣入 元武板四两, 炙 鹿角霜二两 归身一两半, 酒洗 柏子仁三两, 去油 淮山药三两, 炒 山萸肉三两 杜仲二两, 盐水炒 淡苁蓉三两, 酥炙 沙蒺藜二两 宣木瓜一两半, 用去油乳香一钱五分同炒, 同研用

沙苑蒺藜——用大猪腰子劈开, 去内白膜, 剜空, 内填蒺藜末, 线扎, 蒸熟, 去腰子, 以蒺藜晒干研细, 入药和匀。

上为细末, 先将熟地捣杵入药, 同群药和匀, 加炼白蜜为丸, 如小绿豆大, 晒令极干。

外用:

焦冬术二两 云茯苓二两 半夏曲二两 木香一两 勿经火 炙甘草一两 鸡内金一两半 炙新会皮一两半 用生姜汁拌透 晒干 略焙

上七味共研极细末，用荷叶煎汤洒叠为衣。每服五钱，清晨滚水送下，或陈皮汤送亦可。

（案 圆象）詹苻洲长子旧有淋症未楚，新感风寒，误治病增，几乎变症治验

詹苻洲长子，道光元年正月二十二日，年十八岁。

去年七月间得淋症，溲出疼痛，溺窍封口，迄今未已。半月前曾身热、咳嗽、胸闷、痰稠，医治热稍减。据述，淋症自己讳疾忌医，乃尊细审方知，始告治于医。医以生地、丹皮、芩、连辈不应，继以鲜石斛、麦冬、竹叶、石膏、芩、连、知、柏一派苦寒，不第客热未除，即淋症亦未减。夜不安宁，不饥纳少。溲赤，出时疼，完时痛，茎中胀刺不爽，因延治于余。余至，前医已定一方，用温胆汤加味以作不寐治，杂乱无章，妄治误人。余诊其脉，右浮大，左弦细。春温未解，兼之湿热下注。淋症半载，疼刺胀痛，此脾湿而兼少阳

甲胆^①之火郁未清,又兼风温上受,无怪热难彻而夜不安宁也。此皆前医滥用苦寒之误耳,一误而两病不瘳,再误而虚怯之虞难免。就余视之,退其热则神安而自寐,清其湿热、解其郁火则淋症之胀痛可平,何必妄治哉。

青蒿子一钱半 蔓荆子一钱半 黑苏子一钱半 炒 赤茯苓三钱 鲜石斛五钱 黑山栀一钱半 升麻五分 柴胡三分 甘草梢一钱 块滑石三钱 地骨皮一钱

加荷叶一小个托底煎药。

服药后热渐缓,溲出胀痛亦减,且色淡而稍长,进粥渐增,夜卧稍安,惟大便数余日未解。

复诊(二十三日):

生鳖甲四钱 地骨皮一钱半 青蒿子一钱半 麦冬一钱半 赤茯苓三钱 甘草梢一钱 块滑石三钱 泽泻一钱半 二原地三钱 白杏仁三钱 柴胡四分 升麻二分

服后身热渐退,惟侵晨似有微冷,两额少疼,舌苔淡黄,日饮粥三碗,口干不渴,小溲少,

① 少阳甲胆:胆腑在十二经脉中属足少阳,十天干中属甲。

邪已解而余波未尽。至于淋浊、溲时窍端如针刺、茎中稍有疼胀之势，非前之胀痛可较也。

复诊（二十四日）：

元武板三钱 炙 炙鳖甲三钱 青蒿子一钱半
猪苓一钱半 蔓荆子一钱半 赤茯苓三钱 黑山栀
一钱半 泽泻一钱半 小青皮一钱 薏苡仁五钱 炒
引 生姜皮六分 大枣二枚，去核。

进药两剂，客热已退，溲时胀痛大减，饮粥又增。大便虽数余日未解，不必攻伐，缘阴气虚也。

复诊（二十六日）：

大首乌四钱，半生半制 炙鳖甲三钱 川石斛
五钱 茯苓三钱 黑山栀一钱半 广藿梗一钱半
小青皮一钱 通草一钱 甘草梢一钱 泽泻一钱半
服此安妥如前。

复诊（二十八日）：病后气荣两虚，大便半月余未解，审其平时亦要三四日一解。色脉合参，益气养血，兼以舒运。俾其缓缓而解，庶乎渐安。

西党参一钱半 大首乌八钱，半生半制 归身一
钱半 淮山药三钱 炒 榆白皮一钱半 郁李仁三钱
陈皮一钱半 枳实炭八分 茯神二钱 炙甘草八分

柏子仁四钱 鸡内金二钱 炙

服两帖，初帖出结粪三二寸，次帖出结粪五六寸，色黑成条。小溲出时疼胀已平，食饮日增。

复诊（二月初一日）进前方两剂，计出结粪约七八寸。右脉虚滞，左脉细弦。宿垢未尽，第廿余日之大便秘结于淋浊身热之后者，必体虚肠燥而宿滞难尽。诸恙向安，仍宜益气、养血、润燥以滑之，斯为正治。

西党参二钱 焦冬术一钱 归身一钱半 炙
草六分 柏子仁三钱 黑芝麻三钱 炒 茯苓二钱
陈皮一钱半 榆白皮二钱 蜜炙 金石斛四钱 槟
榔一钱 炒 槟榔可以不用

加松子仁二十粒，鸡内金二钱，炙。

进三剂，大便色转淡黄，此正粪也。知饥贪食，小溲出畅。后以“五味异功”加归、地、莼肉、山药、女贞、怀牛膝辈，服数帖而收全功。

（案 圆） 吴廷玉幼子腹痛块攻，食积挟虫治验

吴廷玉子，八岁，二月二十五日。

腹痛块攻有时，甚则欲厥。色脉合参，食积

挟虫。

六神曲三钱 炒 焦谷芽三钱 木香六分 切片
使君子三钱 去壳 淡茺萸二分 鹤虱一钱 焙 乌
药一钱二分

加炒开口川椒十粒。

一剂知 二剂已。

(案 國節) 歙县汪小庭伤寒垂危救苏 ,并详
议治法奇效 ,调理丸方收功

歙县汪小庭 ,年四十四岁 ,嘉庆庚辰岁 ,伤
寒垂危证治验。

细绎病情 ,素不节欲 ,于二月十三日畏寒而
起。未病前三日泄精两次 ,既病后又溏泻三四
日。其始也 ,他医作春温症 ,用清解退热之剂不
应 ,日渐加重 ,始显三阴见厥之势 ,体倦 ,微热无
汗。医又用四逆散加干姜 ,服后肢冷稍温 ,少顷
又冷 ,更医。医作风温化热见厥 ,以清疏法 ,加
羚羊角等 (未曾服) 。主家见势危险 ,特求治于
余。余诊得脉形右脉沉细、左脉虚微。知其阴
阳两亏 ,寒邪陷入于三阴 ,而致四肢厥逆 ,邪难
达表 ,以故神识模糊、语言错乱、舌根短缩、口不
喜饮也 ,难以许治 ,姑念客途抱病 ,聊尽婆心以

应之（二月二十一日诊）。

人参三分，另煎冲 大熟地四钱 淡附子六分
干姜八分，炒 炙甘草八分

加葱白两枚，六味河水煎服。

是方也，缘阴阳两亏而寒邪陷入于三阴者，必兼辅正以驱邪，或可图其幸耳。设仅用温法，恐正不胜邪，而邪终难达表，故用人参以助正、葱白通阳以达表，取微汗而解。然阴亏者又恐汗出劫津，故又以熟地之养水以济之，则汗出而无涸津之虞。人参、熟地之用于葱白四逆汤中，取其邪易达表，汗出不涸津，非为补阴补阳之谓也。方虽神奇，恐不合时人之眼而阻之，亦数也、命也，与予何尤^①。

据述点灯前进药，少顷睡着，约更余方醒。醒后小便一次，清白且长。未几又睡，睡醒饮粥一盞，又小便一次，渐觉四肢温暖，身热微汗，不喜饮，时欲起坐，语言似清非清。舌缩渐伸，中心淡黄。病势稍减，脉亦渐起，足征里邪少有出表之机。

复诊（二月二十二日）：证脉合参，仍以辅正

① 尤，即“尤”。过失、责怪。

兼以和解，俾邪由里达表，取微汗而解。方用“小柴胡”，去黄芩之苦寒，加生地以退荣分之热，得姜汁以和卫。桂枝汤中去芍药之酸收，而加葛根以解肌。且柴胡得葛根使邪由少阳而出阳明，葛根得桂枝使邪由阳明而出太阳也。无非为阴阳两虚之体辅正以和解，祛邪以达表，斯为标本两固之法，加减于柴、桂二汤之间，妙义深矣方附后。

柴胡一钱二分 大生地四钱，生姜汁拌炒 制半夏一钱半 人参三分，冲 桂枝一钱二分 葛根一钱半 炙甘草六分

加生姜五分，黑大枣两枚（去核）。

未服前方，据述起坐不宁，时欲往外，有烦躁之势。至灯后服药，渐自安妥。少顷睡着，醒后少有微汗，口干饮茶半盏，小溲淡赤而长。夜半进粥盏许，神识渐清。次日午前欲大便，解腻粪一堆，淡黄甚臭。此二十三日主家细告而知之也。

复诊（二月二十三日）：证脉合参，寒邪陷入三阴而致四肢厥逆。进前后两方，脉形渐出，有鼓指之势，自是邪有出表之象。今始口干喜饮，溲转淡黄，大便黏腻而臭也。再以生津退热、调

和荣卫 取小汗以彻热 庶几无遗蕴矣。

大生地五钱 大麦冬一钱半 元米炒 淡黄芩
一钱半 酒炒 丹皮一钱半 炒 地骨皮一钱半 川石
斛五钱 生甘草六分 柴胡八分

加生姜五分 黑大枣二枚 (去核)。

服此方 唇燥、喜饮俱减。少顷饮粥一盏，
渐自汗出，头项、胸堂、手臂俱到，从此热退七
八，舌尖渐转红润，语言清爽，小溲渐长，粥饮喜
进。

复诊 (二月二十四日) 汗出热缓 陷阴之变
庶可免矣。第脉尚细微，左关、尺更觉弦细，自
是邪退而余波未尽也。议养阴、生津、和胃之
剂。

大生地五钱 生鳖甲三钱 地骨皮一钱半
葛根一钱半 鲜石斛五钱 知母一钱半 广皮白八
分 甘草六分 大麦冬一钱半

加生姜二钱 大枣两枚 (去核)。

服后热始退清，再以生地、麦冬、花粉、甘
草、茯神、远志、石斛辈养胃生津之剂二三帖后，
去生地，加西洋参、南枣、粳米辈，间去远志、石
斛而佐建莲、扁豆、木瓜、砂仁辈。又四五帖服
之，食饮渐贪，睡卧渐安。

复诊(三月初三日):自前月二十三解膩粪之后,至今数日欲解未解,当以益阴润燥之剂,冀其自解方附后。

玉竹三钱 女贞子三钱 柏子仁三钱 木瓜一钱半 炙甘草八分 陈皮一钱半 归身一钱半 茯苓一钱半

加阳春砂仁五分。

服后解结粪一次。

复诊(三月初四日):大病之后,理应大补,而数日之宿垢留恋中宫,昨始解之。证脉合参,尚有余垢未尽,权以疏而运之、和而达之之法,再为议补自无遗憾矣。

白扁豆四钱炒 建莲肉四钱炒 沉香三分切片 木香七分 大腹绒一钱半 半夏曲一钱 薤白二钱 陈皮一钱

服一帖,安卧如常,腹中响动,两足温暖。至次日侵晨饮粥后,忽欲大便,解出结粪如弹丸者三二块,色黑,随又解一条,腹中之舒畅更甚于前之解也。

复诊(三月初五日)昨以舒运一法,果然余垢已解,且结如弹丸,亦从权之良剂也。伤寒之后,胃阴烁而津液不敷,脾阳虚而肌肉瘦削。不

但此也，土虚不能生金，肺金失平木之职，此脉之所以兼弦也。土虚不能制水，肾水有泛痰之虞，此痰之所以带咸也。预为扶土，厚培坤元。中宫健运，妙在资生。方用六君子汤加归身、柏子仁，引以鸡内金。服后次日又大便结粪成条，先黑后黄，此宿垢尽而正粪出也。知饥食增，胃土渐旺。

复诊（三月初七日）：用“五味异功”加女贞、麦冬、石斛、柏子仁、制首乌，引以鸡内金，取其扶土运食，佐以养水滋木之轻剂，服之颇佳，即于此而加减。数日后食饮日健，精神渐复。惟气血未充，步履无力耳。再以“五味异功”加盐水炒黄芪、木香、谷芽、益智仁辈。又数剂，继以熟地、山药、杞子、萸肉、益智、砂仁、破故纸、胡桃肉等补火生土、脾肾双治之法，大为合宜。服五六剂，继以丸方调理收功。

丸方（四月初五日）：证脉合参，大病之后，气血两亏，理宜补气养血。然气阳而血阴，又当壮坎阳而滋离阴，使荣卫冲和，则气血流通，而精髓可填。第填精益髓之法又非草木之所能尽其长也，须借气血有情之品而少佐导引之法，始能胜其任矣。若不此之求，而泛作气血不足之

治 何济其事。法宜补火生土、壮水滋木 ,俾元
气日充 精神自健。商瞿有后 ,尚可望诸。

鹿角胶二两 ,炒珠 龟板胶一两半 ,炒珠 枸杞
子一两半 焙 泽泻一两半 西党参三两 大熟地六
两 山萸肉三两 ,酒洗 山药三两 ,炒 焦冬术一两半
粉丹皮一两半 ,酒炒 熟附子五钱 肉桂五钱 ,去皮
云茯苓一两半 炙甘草一两

上为细末 ,先将熟地杵膏 ,和炼白蜜为丸 ,
如桐子大。每服四钱 ,清晨滚水送下。服后如
稍有喉燥 ,用麦冬两枚泡汤送下可也。

(案 國) 山西梁瑞文腹中频痛治验

梁瑞文 ,山西客 嘉庆庚辰正月。

右脉沉紧 ,腹中频痛 寒与食并 ,小便短赤 ,
宜以温中运食法。

淡干姜六分 ,炒 木香八分 神曲三钱 ,炒 陈
皮一钱半 山查炭三钱 半夏曲一钱半 赤茯苓三
钱 泽泻一钱半 枳壳一钱半

加葱一枝、姜一片。

服两帖寒散痛止 ,溲多赤退 ,大便两次带
渣 ,诸恙俱平。

(案 國) 陆诚斋尻骨痠疼治验 (附案)

陆诚斋 庚辰正月。

脉形沉滞 ,尻骨痠疼。肾阳虚而肝木不舒。
服后方四帖 ,痠疼顿平。

盐水炒杜仲三钱 盐水炒马料豆三钱 香附
三钱 炒 盐水炒独活一钱半 川续断一钱半 全
当归一钱半 山萸肉一钱半 菟丝子一钱半 炒 小
茴香一钱

加猪脊髓一条。

复诊 :原方去香附、当归、茴香 ,加熟地、山
药等 ,调理数剂而痊。

〔附案〕 先大人雨香公于乾隆三十七年十一
月十四日治崇川王殷璧尻骨痛 ,方用龟板、首
乌、当归、乌药、杜仲、续断、女贞子辈七味 ,引用
猪尻骨一块。先用白蜜半杯和升麻一钱 ,煎好
涂尻骨上 ,火炙打碎同煎。服一帖减去八九 ,再
服全安。是方与邻治陆氏之方大意相同 ,妙在
一用尻骨 ,一用脊髓 ,皆应手而愈 ,故并记之。

(案 猿) 余于季冬忽然畏寒 ,遍体不舒治
验

予于己卯季冬 ,天气过冷 ,午后忽觉畏寒之极 ,遍体不舒。知其脾阳不运 ,又为风寒所侵 ,以温中散寒合和荣卫之法。用四逆汤加桂枝汤去芍药 ,增苏叶煎服。约寸香之久 ,随吐寒痰 ,顷之畏寒渐减。至灯后夜膳 ,周身爽快 ,次日霍然矣。足征药原有益于病 ,特恐不识病耳。

淡干姜八分 炒 淡附子五分 桂枝一钱半
炙甘草六分 苏叶一钱半
加生姜二片 ,大枣两枚 (去核)。

(案 猿) 梁士奎脐腹作疼治验 ,并外用熨法

梁士奎 ,年三旬 ,己卯春。

脐下小腹胀闷且疼 ,曲腰低头。气滞于下 ,食填于中 ,攸关肝脾 ,法当舒运。

生香附三钱 酒炒 淡茺萸六分 小茴香一钱
沉香五分 薤白三钱 山查炭三钱 莱菔子三钱 ,
炒 青皮一钱 枳壳一钱半

加生姜三片。

外用大皂角三挺、生姜二两、青葱三两 ,三味切碎用河水煎滚 ,以棉布浸透绞干熨脐腹上下 ,冷则再温再熨。

服药并熨后 ,痛胀俱减大半 ,反觉胸前气闷且疼 ,知其宿食未下也。用二陈汤加瓜蒌全、香附、神曲、枳壳、山查、木香、沉香等煎服。服后胸闷且疼俱缓 ,时有矢气 ,知是气松而宿食有运动之象。再以瓜蒌、薤白、木香、枳实、赤苓、莱菔子、查肉、青陈皮等煎服。据述服后药性行至小腹 ,自觉上部松爽。次早大便结粪成堆 ,胸腹顿宽而愈。

(案獾) 周玉如脾湿中阻 ,口吐涎沫治验周玉如。

脉形右关濡软 ,脾湿中阻 ,口吐涎沫 ,自觉从两腮涌出。半月前不过偶吐 ,三日间涎涌无时 ,不酸不苦 ,自有一种气味难言。一日约吐四五盏 ,频频而出。

自予观之 ,涎沫由舌底左右二窍而出者有之。经云左金津、右玉液者此也。

自去冬四末常生蝼蛄如小豆 ,渐破出水 ,缠延今秋。手腕、足指大小重叠 ,水出渐愈 ,愈后又报 ,绵绵不已 ,亦皆脾湿为患 ,犹是小事 ,惟涎沫上涌日渐增多为虑耳。细审之 ,素贪湿面、肥肉 ,好啖咸物 ,即菜素荤腥内亦必加增咸味。病

之从来非无自也，积久伤脾，脾土虚而不能摄涎耳。

焦冬术二钱 茅山术一钱五分 炒 茯苓四钱
炙甘草八分 制半夏一钱半 淡干姜五分 炒 白扁豆三钱 炒

加沉香三分同煎服。

午刻进药，至戌初涎沫渐少，临卧时更少。次日早上并无涎沫，至吃粥后始有几口耳。再剂如前，后以六君子汤稍佐温舒之法而收全功。

（案猿）程秉维幼子痧痘之后，便泄、神倦、气短、面、不食垂危治验

程秉维子，两岁。

痘后继之以痧，质弱多汗，又失调治，便泄半月未止，神倦、气短、面、时睡、不贪食惟哺乳，皆虚象也，速治犹恐鞭长莫及。

人参三分，另煎冲 焦冬术八分 茯苓一钱
炙甘草五分 木香五分 煨 五味子二分 研

加赤石脂五分、禹馀粮五分。

上方煎服两剂，便泄顿减，渐可进粥。再三剂，大便已结，喜进饮食。极险极危之症，得余

方五帖而收全功 ,快矣 ! 快矣 !

(案 獠) 胡恒大劳力吐血治验

胡恒大

去冬劳力损膜 ,以致吐血 ,今夏复发。诊得脉象过硬 ,知其素性刚勇 ,遇事不耐 ,性急火升 ,此血之所由来也。从此耐性 ,庶可无虞。今血止之后 ,忽尔得食即呕吐者 ,胃病也。细审之 ,吐血时前医过用寒凉之剂 ,血虽止而胃土为寒凉所遏 ,以故食入即吐。不容少待 ,余以治呕药中而佐温胃之法 ,故一剂而呕吐立止 ,效如桴鼓之相应也 ,快哉 !

生姜汁炒半夏一钱半 盐水炒橘红一钱 旋覆花二钱 ,生绢包扎 生姜汁炒生山栀一钱半 盐水炒枳壳一钱半 代赭石三钱 煅红醋淬

上药六味如法煎服 ,未三时进饭一盞半 ,呕吐顿止。

(案 獠) 宋兆奎脐腹上下金痛 ,胸闷块攻治验

宋兆奎 ,山西 ,年二十七岁 ,道光元年三月初九。

胸闷块攻，脐之上下俱痛。西人素好食面，
 不忌生冷，寒与湿食交阻，脉息沉滞，宜于温舒。

制香附三钱 木香六分 干姜六分 炒 神曲
 三钱 炒 莱菔子三钱 炒 枳壳一钱半 查肉三钱，
 炒 陈皮一钱半 淡茺萸三分 麦芽三钱 炒 乌
 药一钱半

煎服一剂，痛势减半，胸腹未爽，小溲仍赤。

复诊（初十日）：

制厚朴一钱 木香六分 藿梗一钱半 薤白三
 钱 赤茯苓三钱 甘草六分 谷芽三钱 炒 查肉
 三钱 炒 小青皮八分

加鸡内金二钱，炙。

服此，溲淡痛止。

（案 獭）山西任光斗白浊症，溺窍澀出疼
 痛治验

山西介休任光斗。

白浊症，溺时疼痛难忍。进泻肝法，溺时痛
 减。两日后，小便频数，出少而时刻欲解，茎中
 疼痛。此湿火内郁，议升清降浊法。

云茯苓二钱 猪苓一钱半 泽泻一钱半 木通
 一钱 黑山栀一钱半 柴胡五分 升麻三分 甘草

梢一钱

加干荷叶一小个托底煎药。

服前方两剂 ,小溲爽快而长 ,疼胀若失。

(案猿) 歙县李载扬两足浮肿治验

歙县李载扬 ,年五十三岁。

两足浮肿 ,朝退夕肿 ,脉右软滑。不速治 ,防成中满。

焦冬术一钱半 茯苓二钱 苡仁三钱 ,炒 制
半夏一钱半 大腹绒一钱半 木香六分 ,切片 白扁
豆三钱 ,炒 生甘草六分 陈皮一钱半

加砂仁末三分 ,冲。

服五剂足肿渐退 ,原方去陈皮、甘草 ,加干姜、赤小豆、蜜炙升麻 (三分) 。再五剂 ,两足肿退 ,痰亦减。复以六君子汤加山药、苡仁、砂仁、鸡内金、荷叶等 ,煎服数帖而收全功。

(案猿) 海盐上舍张铁珊由怔忡症兼脐上胀痛 ,肝胃气阻 ,宜先治标之验

上舍张铁珊 ,道光元年六月十四。

病原 :气出于中焦而行于遍体 ,贯注百脉 ,往来不息。近缘怔忡时发 ,心荣不足 ,胃土失养 ,肺气因而不充 ,肝木乘之。以故三日间 ,每

至四鼓气由脐而上达于胸，并紧不舒，且胀且疼，必得手捺重按而后渐散。种种情事，合之脉象之浮而不沉，似与病象不符。惟两关细小兼弦，又未尝不关乎肝胃，而其源实由于心荣之不足，中气之有亏也。《经》云：“缓治其本，急治其标”。宜乎先治其标，再为探本穷源之法。

盐水炒香附二钱 盐水炒青皮一钱 麦冬一钱半，内填朱砂二分 线扎 泡淡吴茱萸二分 广藿香梗一钱半 沉香五分

加代赭石五钱，煨红，米醋淬三次。

上方如法煎服一剂，至四鼓气不上并，不胀不疼。次日复诊，据述口苦舌干，却不多饮。原方去青皮、茱萸，加茯神、黑山栀、盐水炒乌药等，全愈。

（案猿）张耀文小溲涓滴不爽，溺底痠疼刺痛，病发无时，得之少不节欲奇验

张耀文，年逾四旬。

小溲频频欲出，出而不爽，溺后窍底痠疼刺痛。病起有年，得之少不节欲，举发无时，遍治罔效，以致精力不充，食饮渐减，于辛巳六月二十四始邀予诊治。脉息右寸关浮数，左关、尺虚

数。湿火下注，兼之相火不静，当从肺、肝、肾三经落想。

元武板五钱，炙 北沙参三钱 知母二钱，酒炒
黄柏二钱，盐水炒 上肉桂二分，去粗皮

用鲜荷叶一小个托底煎药。

服前方两剂，小溲早晨稍稀，夜来仍如前六七次。惟妙者，小便后窍底痠疼刺痛难忍之状大减。二十六日复诊原方去沙参，加西党参四钱、麦冬一钱半（去心）、五味子二分（研）。服此，小便稀而长，惟出时不大通畅，而小便后之疼痛已全无矣。

换方（六月二十八日复诊）：

大生地四钱 粉丹皮一钱半，炒 知母二钱，酒炒
黄柏二钱，盐水炒 西党参四钱 上肉桂二分，去粗皮
青皮一钱，盐水炒

加鲜荷叶一个托底煎。

服两帖，小便通畅。

复诊（六月三十日）：方用六味地黄汤去泽，加知、柏、麦冬、西党参，加荷梗七寸同煎。服三剂，安妥如前。当用益阴以降火、养水以滋木之法而全愈。

（案源）旌德周仁山瘧症奇效

旌德周仁山，道光壬午歲七月十八日。

風暑相搏，單熱不寒，發為瘧症。每于午後熱至，酉後熱漸退。但退時無汗，必待睡着汗出如淋，醒後始知席濕不堪。每夜如斯，已六七日矣，服藥罔效，特求治于予。予診得脈息弦細小數，午後熱時心熱如焚，口渴喜飲，熱退無汗，眼一閉而汗出，頃之睡着盜汗淋漓。陽盛陰弱，榮衛兩傷，水中火發，與溫症何異，豈可作泛泛症治。

淡黃芩一錢半 知母一錢半 葛根一錢半 甘草八分 小生地三錢 麥冬一錢半，去心 赤苓三錢
加淮小麥三錢。

服前方兩帖，症至熱減三之一，且熱退時有汗，非前之熱退無汗而夜出盜汗可比。

服藥兩劑，熱退汗來，而盜汗全無，妙矣！妙矣！

自覺身中爽快，神識稍靜，大有轉機，加意圖之。

淡黃芩一錢半 知母二錢 麥冬一錢半，去心
甘草七分 花粉一錢半 青蒿子二錢 小生地四錢
塊滑石三錢 小麥三錢

加生薑一片，黑大棗一枚，去核。

服后症止，盗汗全无，食饮复而全安矣。

(案源) 叶含青肝胃气，腹胀无时治验
叶含青，道光壬午岁七月。

右脉虚软，左脉弦细。素有肝胃气，迺来腹胀无时，由下而上。肢倦食减，或暖气，或转失气，则腹中渐爽。其气自胸腹而上升，必得头顶举直，则气能暖出而胸顿宽，或转失气下亦然。大便不结不溏，每解不畅。此气虚气滞而脾阳不温也，当用理中汤加益智仁、广木香、茯苓、木瓜、续断等，加沉香汁二分冲。

服此三帖，腹胀减半，惟腿膝痠疼、腰间板滞未减，且呵欠无时，亦脾阳之不运。速治之，免成中满。(七月二十一日诊)

又，复诊(二十四日)：方用附子理中汤加味
西党参三钱 焦冬术一钱半 熟附子六分
炙草八分 淡干姜六分 炒 杜仲三钱 炒 川续断
一钱半 炒 木瓜一钱半

加沉香汁二分冲。

服前方四剂，腹胀顿止，大便亦爽。

又，七月二十八日诊：仍用附子理中汤加盐水炒黄芪、归身、山萸肉、陈皮等。煎服五剂，精神

愈健。至八月初四日，用香砂六君子汤加玉竹、南枣、建莲、女贞、青皮，兼以养肝舒木，取肝脾并调、土木合德而收全功。

(案 瀾) 徽歙丰干庭症由呕恶、腹疼误治垂危治验

徽歙丰干庭，年二十六岁，道光壬午七月二十九日延诊。

症由六月二十五多啖湿面而起，次日觉胸闷不饥，身倦微热，呕恶腹疼。医不审起病之因，误作暑湿治，以致吐泻交作，投利湿药不应，又以清暑益气法，甚至腹块内攻。复更医，又以疏通法数帖，病益增，又有用芩、连、槟、枳等清攻并投。病延月余，奄奄一息，始求治于余。其人肌瘦肉削，不饥不纳，日呕清水。口干喜饮热汤，到口即吐。不呕时又吐白沫，兼之腹疼水泻，昼夜约二十余次，纯是薄水。小溲少，出时甚热。脉右细软，左小弦。脾不运，胃不和，以致上呕下泻而中宫阻滞不舒也，先理中宫为亟亟也。

制半夏一钱半 淡干姜八分 炒 藿梗一钱半
苡仁三钱 炒 旋覆花一钱半 生绢包 广木香八分

赤苓三钱 防风一钱半 白芍药一钱半 炒 陈皮一钱半

加乌梅肉五分 临服入生姜汁七分(冲)。

服此泻止、痛平,而呕吐未止。服后约未一时药亦呕出,且不贪食,又增呃忒,虽有停止,大非所宜,此胃气之逆也。细审之,数日间尚啖炙肉,病日加深,肌体骨立,奈何!奈何!

又,八月初一日诊:调脾温中,冀其呕止呃停,庶有生机。

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 苡仁五钱 炒
茯苓三钱 制半夏一钱半 淡干姜六分 炒 木香六分 川椒十粒 炒开口 生姜渣一钱半

加母丁香五只、柿蒂五只。

上药煎好去渣,入左金丸五分,研细冲。

服此呕始止,腹仍不疼不泻,呃忒亦减。夜间小便两次,且长赤而热,出时阴头小疼。小便之长而畅莫过于今日,此亦湿邪从小肠而出,故大肠之泄泻止矣。

又,八月初二日方:今晨进粥一盞并无呕意,诸恙安妥,惟脉息仍细爽无力、体倦神疲为虑耳。

焦冬术二钱 淮山药三钱 炒 苡仁五钱 炒

赤苓三钱 姜水炒竹茹一钱半 盐水炒橘皮八分
滑石三钱 木香六分 半夏曲一钱 生姜渣二钱
加母丁香七只、柿蒂六只。

临服，入左金丸五分，研细冲。

服此呃忒又平，小溲如前之畅，出时不疼，
饮粥如前。

又，八月初三日方：养胃生津，佐以舒运。

生西洋参一钱 焦冬术二钱 扁豆三钱，炒
苡仁五钱，炒 广木香六分 益智仁八分 赤苓三
钱 玉竹三钱 生姜渣二钱 广藿梗一钱半 沉香
二分，切片 南枣两枚，去核

加生谷芽六钱同煎。

服此诸恙向安，口干喜饮大减，胸闷亦松，
惟少腹稍疼，此中宫健运，日前之宿滞渐有欲
下之势，故觉疼也，且大便必然结粪无疑。何
以知之，于前之泄泻可知，泄泻甚而小溲少，小
便多而泄泻平矣。今连进调中养胃之剂，脾胃
渐健，肺金得令，通调水道，下输膀胱，此小便
之所以长而畅也。既长且畅，则大便之结硬更
可知矣。仲景《伤寒》中论之最详，当明辨之，
兹不细注。

又，九月初四日方：

用理中汤加鲜石斛、橘红、木香、生姜渣等，引以生谷芽、南枣，河水煎服。服后当解结粪两段，小便畅，食粥又增，少腹稍闷微疼，宿垢犹未净。尽结硬之粪，足征前之豫断不诬也。

又，九月初五日方：

用“四君子”加木香、砂仁、青皮、鸡内金八味，加姜、枣煎以和营卫，因呵欠多也。服后又大便一次，不结不溏，惟神疲、肌瘦肉削、脉息软弱为虑耳。

又，九月初六日方：

用六君子汤加建莲肉、青皮、乌药、沉香，补而兼舒，脾胃气旺而脾土运，再为之计。服两剂，大便又解结粪，食饮更贪，小腹不闷不疼，再剂如前。

又，九月初九日方：益气调中，脾气血荣润，肌体渐丰。

人参四分 冲 於白术一钱 土炒 茯苓一钱半
 茯神二钱 归身一钱 白芍药一钱半 炒 陈皮八分
 炙甘草八分

加大南枣两枚，去核。

服前方三剂，精神日健，睡卧渐安。原方加黄芪、益智仁辈。再三剂而病霍然矣，后以归脾

丸調理收功。

(案源) 休邑上舍程梅溪感寒挾食治驗

休邑上舍程梅溪 道光二年壬午八月中秋。

感寒挾食 先寒後熱 小溲多 此寒感于下焦也 脈息浮緊。年近八旬 輕舒為宜。

蘇葉一錢半 防風一錢半 半夏曲一錢半 獨活一錢 神曲三錢 炒 查炭三錢 橘紅八分 甘草五分 廣藿梗一錢半

加蔥一枝、生姜兩片。

服此一帖寒熱退 次日用和胃法而愈。于二十四日歸鄉 以享老來之福。

(案源) 門人金書山外痔、脫肛治驗

門人金書山 道光壬午九月。

素有外痔 好酒喜茶 忽然肛脫如雞卵大 脹墜痛如雞啄 起坐不能 睡臥不安 大便欲解 疼痛難忍 此痔也。脈形右關、尺并數 知其濕火注于大腸 非清不能散 非通不能除其脹墜疼痛 亟治之 免其痛漏之虞。

薏苡仁五錢 炒 當歸尾一錢半 槐角子三錢 研 地榆二錢 條芩一錢半 皂角子八分 炒 生

甘草八分

加盐水炒生大黄七分清解大肠之湿火。九月二十七日方

据述灯后煎服，少顷痛止，渐自胀平、坠缓，夜睡安宁。次早视之，肛脱如卵者缩小其半，可以起坐而未能步行者，仍以前方再剂。次日侵晨登厕，先结后溏，碍动外痔痛甚，顷之渐平。肛门口有两块，长圆如荔枝核式，此奶痔也。究属湿火下注，未能速消，内外兼治可也。（九月二十九日方附后）

大生地四钱 川黄柏一钱 归尾一钱半 苡仁五钱 赤芍药一钱半 半夏曲一钱半 条芩一钱半 槐角三钱，研 生大黄八分 赤茯苓三钱

上药十味，河水煎服。

外用白芷、甘草、朴硝各二钱煎滚，先熏后洗，拭干，用人中白、儿茶、黄柏、薄荷研粉，入冰片一分和匀搽上，干则以唾调搽之。

服药后（并熏洗、搽药），肛痔两枚，其一已缩小如黄豆大，十去其七八；其余一枚色淡黄者，据述此素有之，此刻略增大耳，稍可步行，惟大便时仍疼。

又，九月三十日方：

用四物汤加山梔、连翘、槐角、地榆、赤苓、半夏、条芩、蜜炙升麻辈煎服。

外熏洗、搽药如前。

服三帖，肛傍素有之一枚又胀痛极，坐立不安，乃阳明戊土之风热化燥，大肠庚金之湿火下注。况舌苔白腻，中焦不舒则下焦壅滞，良有因也，议防风秦艽汤出入之。

十月初三日方：

秦艽一钱半 防风一钱半 皂角子一钱，炒
枳实一钱 槐角子三钱，研 条芩一钱半 车前子
一钱半，炒 赤苓三钱 桃仁三钱，研 归尾一钱半
赤芍药一钱半，炒 苡仁五钱

服此肛门气疏便通，外痔之胀痛亦宽，小便亦畅。次日再剂，惟大便时气阻肛门，仍有坐立难忍之势。中宫有似饥非饥、心嘈不宁之状。

又，十月初五日方：肛脱渐收，外痔将平，肠中偶而见红，坐立不克自如，未免心烦食减。诊其脉，右脉奕短，关中见数，按之不足。左关弦而按之软，自是弦非真弦，数非真数。得其意者于此中消息之，庶乎尽善。

大熟地四钱 焦冬术一钱半 炒归身一钱

升麻二分 蜜炙 西党参一钱半 皂角子一钱半 炒
 槐角子三钱 研 柴胡三分 蜜炙 小青皮八分
 上九味 河水煎服。

服三剂 诸证平妥 食饮如常。

又 拾月初八日方 :大便又有急坠之势 欲解不能 并紧难忍 权拟一方暂服之。

生首乌五钱 柏子仁三钱 炒麦芽三钱 炙
 草八分 大麻仁三钱 研 大南枣三枚 去核 元明
 粉六分 冲 大黄一钱 制

是方也 以仲景麻仁丸合甘麦大枣汤出入
 用之 乃润燥通幽之法也 妙在首乌、南枣益阴
 调中 仍不外乎脾肾交通之意欵。

服后 至初更时解结粪如弹丸者四枚 解时
 肛门疼痛 至早渐平。

初九日 :即于前初五日之方去升、柴 加柏
 子仁、地榆辈。再进二三剂后 朝用归芍六君子
 丸 每服五钱 滚水送下。午后以后方煎服之 :
 用生地、首乌、归身、女贞、柏子仁、条芩、槐角
 子、郁李仁等煎服。计服煎、丸半月 而收全功
 矣。

(案 源) 昭文邑宰金 斋先生脘腹胀痛

奇驗

江苏昭文邑宰金 斋先生 ,壬午十一月二十七
日。

脾土不运 ,食滞中宫。肝木横冲 ,腹胀且
痛。七旬老人 ,脉软大无力。不饮不纳 ,中焦气
馁 ,亟宜温中以和之 ,深虑中满之虞。

熟附子七分 淡干姜五分 沉香三分 淡菜
莼三分 山查炭三钱 大腹绒一钱半 青皮八分
加生姜两片 ,南枣两枚 (去核)。

服后痛缓 ,腹仍胀 ,有转失气 ,欲大便而未
能 ,宜以温润法。

二十八日方 :用姜、附、淡菜莼同前 ,加乌
药、当归、柏子仁、生首乌八钱 ,鸡内金等。煎服
一帖 ,胀痛俱减 ,大便十日未解 ,仍宜温中运食。
缘年高脉弱 ,未便擅投攻伐。

二十九日方 :用淡附子六分 淡干姜四分
乌药一钱半 炒槟榔一钱 枳实炭一钱 薤白头二
钱 陈皮一钱半 大腹绒一钱半
加鸡内金二钱 ,炙。

服一帖 ,次日早上 ,解不结不软之粪两长
条 ,胸腹顿宽 ,且不胀痛 ,知饥能纳而全愈。

门人书山谓余曰 :“胞叔抱病有日 ,胀痛异

常得先生温中法，一剂知，二剂已，三剂便通而霍然矣，何其神也若斯？”曰：“非神也。证与脉合，药与病对，是以效如桴鼓之相应也。”书山钦服。

（案源④）休邑詹寅宾子寒热、呕吐治验

休邑詹寅宾子，癸未季春。

寒热骨节痛，两鼻热气直冲。舌苔腻白，恶心呕吐。当用蔓荆子、防风、秦艽、半夏曲、藿梗、橘红、查肉辈，以解表邪。

服之热退，骨节疼止。惟食入仍呕，小腹微疼，不喜饮，小溲短赤。以二陈汤减甘草，加藿梗、谷芽、黑山栀、淡茺萸、旋覆花等。

服一帖，呕止痛平而全安。

（案源⑤）山西宋大成得汤即呕，胸胃作疼

治验

山西宋大成，癸未孟夏。

汤水下咽即呕，胸胃作疼。脉象沉小，左弦细。寒气内蕴，食阻于中，宜以温之和之。

方用苏梗、香附、豆豉、陈皮、木香、半曲、赤苓、神曲、藿梗、生姜渣等，河水煎服。

一帖減半 ,再帖全愈。

(案 瀝) 李兆文胸悶、腹疼治驗

李兆文 ,年三旬 ,六月十七日。

胸脘閉悶 ,腹中小疼。舌胎白膩 ,脈象細小。小便赤 ,大便四五日未解。此濕阻上、中二焦 ,治宜溫舒。

姜厚朴一錢半 枳實一錢 半夏曲一錢半 赤
苓三錢 廣木香六分 陳皮一錢半 焦谷芽三錢
烏藥一錢半

加砂仁末三分 (沖) ,生姜二片。

服一帖胸脘頓寬 ,腹不疼 ,小便長 ,遍體爽快 ,惟大便欲解未解。

十八日 ,用疏通潤腸法 ,少頃大便即通。

十九日 ,以和胃法而病痊矣。

(案 瀝) 溧陽金元愷溺血成條几危治驗

溧陽金元愷 ,年逾二旬 ,道光三年六月二十八。

得溺血証 ,日三十余次。中夾血條 ,約長四五寸 ,去後莖管中始松。少頃或尿血 ,或純鮮紅血 ,忽又出血條如前 ,或努力睜出 ,尿管中漸松。

顷之,觉管中空冷如冰,应心而疼。腰腿痿软,食饮无味,大便欲出不能。缘前阴之血去过多,后阴之肠燥不润耳。脉右细小乏力,左手反关,弦细小数。深虑神疲难支,议益气养水、去瘀生新之法,以冀转机。

炙黄芪二钱 大熟地四钱 山药三钱,炒 丹皮一钱半,炒 炒黑蒲黄一钱半 炒黑荷叶二钱
丹参三钱 炮姜三分 炒黑柏叶四钱 炙甘草八分
血余五分,冲 人中白八分,漂淡

服药三剂,据述溺血减半,食增便通,惟溺管中仍觉冷疼。细审之,炮姜三分未用,因药店人云,此物性热,故去之。甚矣!不知妙在此君,岂可不用乎。

又,七月初二方进前方,溺血减半,脉仍细软无力。试思人身血有几何,而能当此之去血过多也,阴固亏而阳亦伤。血之瘀条尚有,茎中仍觉冷疼。人第知血之热,而不知虚冷而见瘀也,庸工焉能明此,近代惟薛立斋深得其旨。照方服之,毋得妄为增减。

炙黄芪三钱 大熟地三钱 大生地三钱 丹皮一钱半 炒黑荷叶二钱 炒黑柏叶四钱 旱莲草二钱 降香一钱 炮姜三分 血余五分,冲 炙

甘草八分 丹参四钱

服三帖，溺血十减其八，成条之瘀血顿止，惟有点滴未尽，茎中疼缓，溲出少有不爽，食饮渐增。再三剂，尿血止而安妥如常。后以气荣两补之法，未一月而精神渐复、食饮倍增而收全功矣。

（案缘）太平吴卓人泄泻两月极险治验
太平府吴卓人，年三旬，甲申七月初四。

泄泻两月未止且痛，食纳脘中不爽，惟饮粥无妨，脉形沉细无力。日夕数次，脾土大惫，岂可渺视之乎。

焦冬术一钱半 白扁豆三钱 炒 苡仁四钱 炒
山药三钱 炒 煨木香八分 茯苓一钱半 炙草八分
陈皮一钱 淡干姜六分

引 罌粟壳，去蒂醋炙，八分。

服后，昼夜泄泻只三二次。

初七日，仍以原方去粟壳，加煨诃子肉六分。再两剂，全愈。

（案缘）溧阳金元恺溺血全愈，因二便不畅误治，腹痛难忍，辜丸胀大，食不喜进几危治验

溧阳金元恺。

前曾溺血 ,调治全愈。仲秋因二便不畅 ,他医以通利二便之法 ,前阴稍通 ,后阴仍秘。复又往药铺告其所由 ,竟用凉膈散 ,内大黄用五钱。服后大便仍未通 ,而反增大小腹俱痛剧难忍 ,辜丸胀大 ,食毫不进 ,面青有浮油光起 ,兼之畏寒身热 ,有顷刻垂危之势 ,伊叔渭川张灯扣门求救。绎其病情 ,实为寒凉攻伐所误。诊得脉象细软无力 ,左脉反关弦紧。中下二焦为寒凉所遏 ,表里不和。以故外则畏寒身热 ,内则卵痛偏左。势属险途 ,治在温舒 ,冀其转机。八月廿三日案、方附后 :

老苏梗一钱半 桂枝梢一钱 淡附子七分
甘草八分 山查核三钱 小茴香一钱半 淡茺莢三分
乌药一钱半 生香附二钱 小青皮一钱
加葱须五枚。

服药后 ,至天明 ,大、小腹痛止 ,左辜丸之疼亦减 ,皮内觉热 ,牵引小疼。

二十四日诊 ,方附后 :

侵晨已饮粥两盏 ,小便利 ,口淡无味。用制香附、柴胡、升麻、赤苓、泽泻、山查核、荔枝核、小茴香、金铃子、青皮、猪苓、甘草 ,加生谷芽、鲜

荷叶等同煎服。服后大便通 ,胃口渐和 ,能进粥饭。惟辜丸尚坠、小疼牵引、胯内肿硬 ,大小便出时甚热。体虚湿火内郁 ,宜以却湿 ,兼之清舒 ,冀其速退为最。

二十六日方附后 :

小生地四钱 川石斛四钱 赤苓三钱 车前子一钱半 炒 金铃子三钱 研 淡茺萸二分 黑山柅一钱半 通草八分 荔枝核三钱 生甘草六分 橘核二钱 泽泻一钱半

加鲜稻叶四钱、鲜荷叶一小个。

服后 ,辜丸坠痛、胯内肿硬俱已平妥 ,反觉其痒 ,阴囊起白皮 ,胃和食贪。再剂而安然无恙矣。

是证因庸工误投寒凉 ,重加攻伐而致剧痛异常 ,几乎垂危。得余温舒之法 ,痛势顿平 ,亦甚幸矣。设仍遭若辈之手 ,更不知如何形状也。甚矣 ! 医之难矣。

(案 纒) 詹介臣目疾治验

詹介臣 ,八月二十日。

因目疾而肝火内郁 ,喜啖鸡、虾 ,引动内风。风火煽而左颐漫肿 ,兼之牙疼。宜散风火为最 ,

方用蔓荆子、荆芥、白芷、薄荷、池菊、青皮、甘草，佐蝉蜕，加鲜荷叶一小个同煎服。

服后，肿消大半，牙疼亦减，再剂而霍然矣。

（案缘）妹倩王履安吐血垂危治验

王履安妹倩，道光三年十月初十日诊。

素有血症，因咳而吐者居多。忽于立冬前三日，呕血几口渐止。至初八日夜，骤然大吐，据述约有四五大菜碗。甚至血涌不及吐，以致从鼻内噀出。当饮童便，血势少平。是日夜深，在城中过宿，初九买舟送归已夜。至初十日邀余往诊，身壮热，头少疼，咳呛气逆，痰稠。舌胖苔白，不饥纳少，面带浮光，痰中挟血，脉见芤数，按之无力。气血大亏，深恐汗脱，亟宜益气养荣法以固之。

生黄芪三钱 西党参四钱 大生地五钱 炮姜五分 侧柏叶四钱 炙 人中白八分 漂 真降香八分 白芍一钱半 炒 旱莲草三钱 炙甘草八分 茯神二钱

加白花百合二两，煎汤代水煎药。

服此热退，自早至未时进粥两盏。惟脉象仍空虚无力为虑耳，痰血渐止。

复诊(十月十一日):

生黄芪三钱 西党参四钱 元武板四钱 炙
鳖甲三钱 陈阿胶二钱 蛤粉炒 淮山药三钱 炒
巴旦杏三钱 去皮尖 炙草八分 云茯苓一钱半 款
冬花三钱 血余四分 冲 百合二两 如前

服此 咳呛、气逆渐减 饮粥如前 痰血将停。

复诊(十月十二日):

炒熟地四钱 西党参五钱 北沙参三钱 山
药三钱 炒 茯神二钱 炒枣仁二钱 巴旦杏三钱,
去皮尖 紫菀二钱 天冬一钱半 去心 五味子三分
炙甘草八分 南枣三枚 去核

服后 咳呛气逆十减其七 痰亦甚少。惟脉
右软大无力, 食饮未健, 入夜心神不静, 交阳分
渐安。仍将前方略为加减, 再服四剂。昨大便
一次, 不结不溏, 舌苔白退, 口苦亦减, 仍不知
饥。

复诊(十月十七日):

炙黄芪一钱半 丹参三钱 北沙参三钱 炙
草八分 白茯苓一钱半 茯神二钱 款冬花三钱
归身一钱 柏子仁三钱 远志一钱 去心 炒 淮山
药三钱 炒 海石三钱 五味子三分 研

加白花百合五钱。

服后咳减痰少 ,早进粥盏许 ,午吃饭半盏 ,夜饮粥如前。再剂 ,夜睡渐安 ,胃口渐开。

复诊 (十月十九日) :胃气渐和 ,脾土未运 ,仍宜先调坤元 ,少佐养心益阴之法 ,再为之计。斯时食饮渐贪 ,滋阴膩补之剂缓进为妥。若以为血吐四五大碗而重投滋补群阴之品 ,固恐膩膈生痰 ,亦虑胃气难复、脾土壅滞耳。起初缘大血去多 ,气血两伤之际 ,阴火扰乱之时 ,固气中暂佐滋阴者 ,取气血并固权拟之法也 ,又不可一概论之。

西党参四钱 丹参三钱 淮山药三钱 炒 茯苓一钱半 炙甘草八分 归身一钱 黑芝麻三钱 石斛三钱 枸杞子三钱 山萸肉一钱半 北沙参三钱 柏子仁三钱

加白花百合五钱。

复诊 (十月二十三日) :气血渐和 ,食饮渐增 ,咳呛大减。惟两寸脉究嫌细奕难寻 ,夜寐不安 ,左尺虚濡。法宜荣卫并治 ,佐以养神安魂为善耳。

西党参四钱 焦冬术一钱半 茯神二钱 炙甘草八分 大熟地三钱 归身一钱 炒 远志一钱半 去心炒 龙齿三钱 煨 柏子仁三钱 左牡蛎五钱 煨

百合五钱 南枣两个,去核

复诊(十月二十七日):服前方颇合,自觉左乳下板滞不疏,夜间痰中挟血几次。幸食饮未减,速止为妥。

西党参四钱 北沙参三钱 山药三钱,炒 茯苓一钱半 人中白七分,漂淡 炙甘草八分 柏子仁三钱 降香八分 叭啞杏三钱,去皮尖 款冬花三钱 元武板五钱,炙 血余五分,冲

服一剂,痰中仍有血,再剂血止。

复诊(十月二十九日):

炙黄芪三钱 北沙参三钱 丹参三钱 山药三钱 制首乌三钱 巴旦杏三钱,去皮尖 茯神三钱 天冬一钱半 炙鳖甲三钱 炙甘草八分 白花百合五钱 血余五分,冲

加老枇杷叶三大片,去毛蜜炙。

复诊(十二月初九日):

吐血之后,调治颇宜,食饮如常,精神渐健。遵俗见“药补不如食补”,图口腹之欲,而竟忘气血之未充,精神之未旺耶,停药月余。渐自咳呛气逆,稠痰盈盂。从此食减,舌色呆白,胃气攸关。脉右急,关滑,皆无力;左关弦,两尺浮濡。乃病后气血大亏,又值严冬水冷金寒之际,子母

并虚已属棘手，若再见血尤非所宜。

生黄芪三钱 北沙参三钱 山药三钱，炒 炙
草八分 云茯苓一钱半 巴旦杏三钱 陈阿胶三
钱，蛤粉炒 桔梗一钱 枇杷叶三钱，去毛炙 广皮白
八分 黑南枣三枚，去核 百合四钱

服此，当夜咳缓。次日再剂，夜间咳止，痰亦全无，惟饮食未贪。

十一日：

原方去阿胶、桔梗、陈皮，加制首乌、归身、款冬花，加北五味子三分同煎。服后日间咳呛大减，稠黏之痰亦甚少。服六剂，大为合宜，惟身中气荣两虚有畏寒发热之势。

复诊（十二月十七日）：

入晨畏寒，午后微热，卫阳虚而荣阴亏。日咳痰出，则夜必安。小便如常，大便两日一解，解时气急难忍。服药数日，咳减其半，知饥食有味，而精神未旺。究宜加意调摄，不致前病复发为善耳。

炙黄芪三钱 西党参四钱 山药三钱，炒 炙
草八分 鹿角霜二钱 淡苁蓉一钱半 大熟地五钱
归身一钱半 制首乌三钱 白芍药一钱半，炒 五
五味子四分 研 大枣三个，去核 黑芝麻三钱，炒

加生姜皮五分。

服七八剂，虚寒虚热之象大减。所咳之痰皆自左乳下上升，俟痰咳出方平，痰不升则不咳。所咳之痰稠薄有小沫。余思胃之大络出于左乳下，究属脾胃大虚、肺气不固也。当用异功散加首乌、熟地、叭啞杏、芝麻、归身、山药辈，取其扶土生金、固气养水。亦宗经旨脾肾交通，金水相生之意云。嘱服三四剂后，至来年新正用归芍六君子丸。每清晨服四钱，滚水送下。晚间以都气丸五钱，开水送之。暂停煎剂三二日。

复诊，道光甲申正月初四日案：

咳呛气喘，因痰而至，痰去咳平，宜乎治痰为最。然脾肺久亏者，又不专乎治痰为先。盖脾虚生痰，气虚发喘。金不生水，相火易升。初六交春，深虑喘汗交加。为此时计，究宜益气调中，加之养荣，以冀喘咳渐平，庶乎可也。

人参五分，冲 炙黄芪三钱 焦冬术一钱半
茯神三钱 归身一钱 制首乌四钱 柏子仁四钱
炙草八分 山药三钱，炒 五味子四分，研 海浮石
三钱

加蛤蚧一钱，去头足用尾尖（酥炙），黑大枣

三枚(去核)。

服后,至立春夜半,稍有喘,汗之势幸而得免,足征固气养荣之力欤。

正月初九日:

原方去蛤蚧、大枣、山药、海石,以党参易人参,加大熟地、天冬等。十一味照煎方分量十倍,内党参五两,五味子一两,其余照煎方十倍。如常法煎膏,候至滴水不散,贮瓶内,置井水盆内一宿退火气。每晨用膏五六钱,隔汤炖温服。服此后,咳痰俱无,食饮渐复,睡卧安宁。惟多步劳力则左乳下辘辘有声,行至中腕即有气急之势。没不远步多劳,则精神如常。

甲申三月十七日:

又定丸方于下,是方颇有至理。照方制度修合,得血肉有情之品而同治之,不无小补云尔。

生黄芪二两,用防风一两五钱煎浓汤同黄芪拌透,晒干焙研。西党参三两,用北沙参二两煎浓汤拌透党参,晒干同焙同研。焦冬术二两,干百合四两,山药三两,炒巴旦杏三两,去皮尖。大熟地六两,用砂仁末一两同捣。元武板四两,炙。天冬一两半,去心。五味子一两。白丑筋四两,切片砂炒。猪脊髓五条,蒸熟捣。归身一

两半 酒洗 炙甘草一两半 云茯苓一两半 白芍药
一两半 炒 陈皮一两半

上药十七味为细末,先将熟地、脊筋同捣入药,加炼白蜜再捣和匀,丸如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。此丸服毕,诸恙向安矣。

(案 缘) 歙县吴声振高年湿毒,痒无宁刻
治验

徽歙吴声振,年七十五岁,道光癸未九月初十日诊。

因长夏生肚疽,收功后两股腿胯及肢臂湾内俱生湿毒小疔,痒极难忍,抓无宁刻,惟浴后稍安,隔夜依然,终无治疗。喜其食饮精神如常,特求余视。知其湿毒未楚,当以生地、丹皮、萆薢、苦参、甘草、白术、苡仁、黄柏辈以凉血解毒、却湿法治之。外用干蟾蜍皮二两、干浮萍草四两、青葱五两、苍耳子四两、白芷二两共五味,量加河水煎汤,置大盆内,不可加水。候稍热,气稍减,用板放盆边上,将身坐上,先熏后浴,以棉布蘸汤淋洗下体。候汤温,坐盆内,遍淋周身,惟头目不可淋洗。浴后拭干,避风为最。

两日后,延治孙女,据述当服余方并浴后甚

妙 ,每夜痒极难忍之势十去其八。再以前方减半 ,如法浴之 ,而痒若失矣 ,妙乎不妙。即此观之 ,有一证必有一方 ,惟人不识证所以用药无功也 ,明乎此则治证如拾芥耳。

(案缘) 徐云坡子房劳感寒治验

徐云坡子 ,年廿岁 ,癸未十一月初四日。

下焦感寒停食 ,手足逆冷 ,腰疼足蜷 ,尺脉沉紧 ,其为受寒于房劳之后也无疑。细绎之 ,曰 :诚然。当用稽豆皮、独活、香附、木香、杜仲、神曲、查肉、木瓜、葱须等煎服。服后腰疼足蜷顿平 ,惟头眩、不饥、胸闷 ,余邪、宿食未清。次日用蔓荆子、苏梗、稽豆皮、枳壳、制半夏、神曲、麦芽、木香 ,加葱白二枚煎服 ,全愈。

(案缘) 余于癸未九秋心嘈、咽塞治验

余于癸未九月间 ,心嘈咽塞 ,得食稍缓。早平 ,昼觉 ,夜发二三次 ,夜半偶有之。得糕饼、果物下咽似缓 ,顷之又至。胸腕紧束 ,牵连咽管似噎并气结 ,气一下达 ,则喉中有泛泡之声 ,下行即平。中午吃饭一二口 ,偶而咽塞 ,气噎难忍 ,得气下行即已。或以汤淘食 ,则无所苦。此噎

之渐也,每发在季秋间。午后喉舌干燥,却不喜饮。幸饮食如常,睡卧安宁。先调心脾,庶乎渐安。当以“五味异功”,以茯神易茯苓,加炙黄芪、归身、远志、枣仁、代赭石、大枣等十一味,河水煎。服四帖,日间固平,即夜半亦大减。再用归芍六君子汤四五剂,昼夜俱安,惟天明后稍有一二次。适大便不结,原方加扁豆服之,便结不溏,旧恙未发。半月后,因劳碌夜间又有脘腹气紧、咽塞之势。即以原方加扁豆之方,服之顿平。

(案缘) 南京李灿明肠红治验

南京李灿明,年四十九岁,癸未孟冬。

素有肠红,今冬复发,月余未止。每大便必有血,不便却无,亦不拘拘于粪之前后。医作湿热治,间有以固涩兼补者,而总不离清火凉血之法,故俱罔效。

先大人云:“凡下血,腹中不痛谓之湿毒。”验之屢屢。

余诊其脉,右关虚软,左关弦细。此脾不能统,肝不能藏。当从肝脾治,是为探本穷源之法。

西党参四钱 於白术一钱半,炒 白扁豆三钱,
炒 炙草八分 丹参三钱 炙鳖甲三钱 侧柏叶四
钱,炙 血余五分,冲 百草霜一钱,荷蒂包扎同煎 陈
棕灰二钱,存性 伏龙肝三钱 藕节七枚

上十二味河水煎,内血余研细冲服。

服此初帖,侵晨大便肠血稍减。次日再帖,
早上大便血止,惟两乳胁傍少有不舒之象,亦关
肝胃之不和也。

又,复诊方:

生黄芪三钱,盐水炒 焦於术一钱半 白扁豆
三钱,炒 苡仁四钱,炒 广木香五分 丹参三钱
归身一钱半 陈皮一钱半 炙鳖甲三钱 伏龙肝三
钱 百草霜八分,荷蒂包扎 血余五分,冲

上十二味,如前法。

服后两乳胁下松爽,每大便肠血全无。

又,复诊方:肝脾并治,气荣两补,服此数剂
而收全功:

生黄芪三钱,盐水炒 西党参三钱 淮小药三
钱,炒 苡仁四钱,炒 伏龙肝三钱 制首乌三钱
炙鳖甲三钱 木香六分 侧柏叶三钱,炙 陈皮一
钱半 归身一钱,炒

加血余五分,研极细,冲。

(案 緣) 休邑程宏元腹痛難忍 ,寒與蟲并
治驗

休邑程宏元 ,年十九歲 ,十一月初七。

畏寒腹痛 ,痛在臍之上下。其痛據述如拔腸之痛 ,忽止忽痛 ,痛甚口角流涎。唇紅舌膩 ,脈象弦細。病起數日 ,外有寒而內有蟲也。先宜散寒止痛為妥 ,方用桂枝、蘇梗、淡菜萸、干姜、木香、烏藥、小茴香、查肉、陳皮、青蔥等。兩劑畏寒止 ,臍腹痛如前。

復診用后方：

制香附三錢 苦楝子一錢半 ,研 淡干姜八分 ,
炒 烏藥一錢半 廣木香五分 ,切片 淡菜萸四分
半夏曲一錢半 檳榔一錢半 烏梅肉一錢半

加開口川椒二十一粒同煎。

服三劑 ,痛止八九 ,再劑全愈。

(案 緣) 呂毅庵余熱未清 ,誤投寒涼以致
嘔吐治驗

呂毅庵 ,五月初三日。

寒熱未罷 ,余邪未盡 ,誤投寒涼 ,以致嘔吐無時。舌苔膩厚 ,小溲短赤 ,不飢納少 ,延綿半月。素體陰虛而邪郁陽明 ,未便擅補 ,宜先和

胃,佐以清舒,庶无变幻。

生姜汁炒半夏一钱半 生姜汁炒生山栀一钱半
老苏梗一钱半 防风一钱半 赤茯苓三钱 苡仁四钱 车前子一钱半

加雪梨肉八钱同煎。

服一剂,寒热退,呕吐顿止,舌苔腻厚减半,溲淡且长,渐可进食。

次日:以二陈汤加鲜石斛、黑山栀、苡仁、生谷芽、砂仁等以和胃,两帖而愈矣。

(案 16) 木川文学吴磊斋素好饮酒,以致得食即泻,迄今半载,肌瘦体羸危症治验

木川文学吴磊斋,年三十八岁,道光甲申五月二十三日延诊。

细绎病情,素好饮酒,近年尤喜火酒,每日数餐。以致肌体羸瘦,咳嗽喉疼,便泄直溜,得食即泻,昼夜数余次。业已半载,诸治罔效,告治于余。诊得脉形虚濡,面色痿黄,知其湿热伤脾而土弱,虚火烁肺而金衰,此便泄、咳呛等证之所由来也。宜戒其酒而治以药则可,治以药而加之酒则不可,请问醉翁之意何在。

西党参四钱 淮山药三钱,炒 芡实三钱,炒

炙甘草七分 大南枣五钱,去核 建莲肉三钱,去心,
炒 款冬花二钱 禹余粮三钱 赤石脂三钱

加北五味子三分,研同煎。

进前方两剂,日泻三四次,夜仅两次。最妙者食后不泻,即泻亦非前之滑溜而不自觉者可比。且连日无小溲,尽归大肠而出,自进予方后小便顿畅,大小分利。夜间好眠之极,其腰疼、腿痠等亦不自觉,即咳嗽、喉疼亦从斯缓矣。

又复诊(五月二十五日):据述食饮倍增,早上饮粥,中午可进饭半盏,并啖酱炙肉三块,因泻减而即恣啖厚味。吾嫌其早贪口味,犹恐变端叠出。缘久病之躯,必得食饮健旺,气血充和,肌体易复,岂图厚味而能愈疾也。

仍以原方加煨木香五分,用河水三饭碗将前赤石脂、禹余粮原方同煎至一碗半服。多煎者,取其性之柔和浓厚而留恋于肠胃,且得石脂、余粮之粘着,则肠胃更不至滑溜也。制方之意颇妙,服后果如桴鼓之应。

自愈之后,并不加意图维。数月间酒性复萌,纵啖厚味,以致于病复难挽,诚可惜矣。

(案选) 王宗华甥暑热症治验

王宗华甥,甲申六月初九。

得暑热症,忽然畏寒,顷之身热、头胀,当用疏解。午后又寒复热,至晚呕吐。次日热退,午前畏寒肢冷一二时,周身仍热,手足亦温,饮汤不呕。舌苔白腻,脉象浮弦。乃邪伏募原,究未达表,故肤燥则遍身不松,汗出身润则周体松爽矣。治宜解表和中,俾邪外彻为最。用竹茹、瓜蒌皮、小生地、丹皮、青蒿子、地骨皮、葱汁炒防风、姜汁炒半夏、薄荷、赤苓等。服后身热稍减,日晡略增,仍少恶心,舌苔白腻,胸脘气短,不能提起。此邪郁阳明,宜以退热、解肌、和胃之法,冀其得汗而解。

小生地三钱 粉丹皮一钱半 地骨皮一钱半
赤苓三钱 葛根一钱半 半夏曲一钱半 瓜蒌仁三钱
黄芩一钱半 鲜石斛五钱 陈皮八分

加藕一两半同煎。

论暑月身热,四日未解,理宜竟用清凉除热之法。而其中晡时加甚,少顷又缓,舌苔白腻,恶心尚存,究竟邪犹郁于阳明胃土,治法当从清凉退热中佐以葛根、半夏之解肌、和胃,俾其邪由肌解而热自退。制方之意,妙在二味。灯后进药更余时,周身战栗。顷之遍体汗出如

雨 ,渐渐热退身凉。三更后饮粥而安 ,快甚 ! 快甚 !

(案 远) 山西介休张旭升脐腹上下痛甚
治验

山西介休张旭升 ,六月二十四。

脐之上下作痛 ,痛甚块结如石伏于腕底 ,左右俱有 ,按之稍缓。寒与气食交阻 ,病起二旬 ,脉来沉紧小滑 ,显有明征 ,拟温中法。用厚朴、香附、干姜、草蔻、木香、陈皮、赤苓、甘草、莱菔子辈。煎服一帖 ,痛稍缓 ,块亦渐小 ,大便溏粪一次。

又 ,复诊 (六月二十五日方) :

制香附三钱 熟附子五分 淡茺萸三分 神曲三钱 炒 炙甘草六分 广木香五分 乌药一钱半 陈皮一钱

加鸡内金二钱 ,炙。

服后 ,痛与块俱减十之八。次日用炒焦扁豆、木香、陈皮、乌药、茯苓、元胡索、淡茺萸、甘草、益智仁、山查肉等煎服 ,痛止块消而全安。

(案 选) 歙县鲍云樵痰症 ,丸方调理治验
(计三方)

歙县鲍云樵先生丸方 ,道光甲申闰七月初一日案 ,年三十九岁 ,原任浙江玉泉场。

证脉合参 ,素好浓茶 ,痰吐盈盂 ,精薄囊冷 ,攸关脾肾。脾土虚而湿痰上溢 ,肾阳亏而精气不充 ,无怪乎痰多、精清而囊冷也。此右关之所以虚弦 ,弦主痰饮 ,尺脉迟奕 ,左关、尺弦细虚濡 ,显有明征。法宜厚培坤元 ,大壮坎宫 ,不凉不热 ,不润不燥。其中水火宜平而不宜偏 ,取水旺而木滋 ,相火自静 ;火足而土温 ,湿痰自除。正合脾肾同治之法 ,岂仅愈疾已也。从兹气血融和 ,精气贯注 ,百脉流通。纯阳子云 :“精养灵根 ,气养神。”于此中消息之 ,他日充闾之庆 ,可较商瞿之有后矣。

充闾 ,注 :贾充始生 ,父逵曰 :“后有充闾之庆 ” 故名充 ,字公闾。

商瞿 ,注 :商瞿年三十八无子 ,孔子曰 :“无忧也 ,瞿过四十当有五丈夫 ” ,今果然。(《家语》)

制首乌八两 元武胶三两 ,炒成珠 甘枸杞三两 ,悬火焙 ,仍要红色 山药三两 ,炒 山萸肉二两 菟

丝子四两 蒸熟 於白朮二两 土炒 再以黑芝麻一两同炒
同研 茯苓二两 人乳拌晒 益智仁二两 制半夏一
两半 线鱼鳔三两 牡蛎粉二两同炒 杜仲二两 盐水炒
炙甘草一两半 新会皮一两半 陈酱油炒

上为细末 ,用西党参八两、大有黄芪三两同煎膏 ,代蜜为丸 ,如桐子大。每服五钱 ,清晨滚水送下 ,或橘饼汤送亦可。

此方服之甚妥。据云服毕照方又合一料 ,服后诸恙向安 ,惟痰仍多 ,素好之茶未能戒耳。

又 ,复诊丸方 (乙酉二月十三日) :

制首乌八两 元武胶三两 炒珠 鹿角胶二两 ,炒珠 山药三两 炒 覆盆子二两 酒拌炒 淫羊藿二两 酒拌炒 枸杞子二两 焙勿黄 芡实三两 炒 山萸肉二两 杜仲二两 盐水炒 砂仁一两半

上十一味为细末 ,炼白蜜为丸 ,如小绿豆大 ,晒令极干。外用 :

西党参四两 於白朮一两半 土炒 茯苓一两半 炙草一两 半夏曲一两半 沉香一两 勿经火 牡蛎粉三两 煨

七味各研极细粉 ,用新会皮二两煎汤洒叠为衣 ,晒干。每服五钱 ,清晨滚水送下。

是丸服毕 ,吐痰十去其八。惟阴囊之冷如

前,其余俱平妥。

又,复诊丸方(乙酉九月二十二日)连进前丸,诸恙悉减,得子甚艰。证脉合参,水火并济,保肾固精即种子之良法也。治法戩穀,颇有至理存焉。

制首乌八两 龟板胶三两,炒珠 鹿角胶四两,炒珠 天冬二两,去心 菟丝子三两,酒蒸晒 沙蒺藜四两,酒拌蒸 线鱼鳔三两,牡蛎粉同炒 茯苓二两 柏子仁三两,去油 覆盆子四两,去蒂,酒拌蒸晒 五味子一两五钱,连核肉焙 怀牛膝二两,陈酒蒸 枸杞子四两

制法附后:拣红润者,用陈酒、河水各半杯和匀,浸枸杞子约三时,取出晒干,分为四分。以一两用川椒一钱半拌焙干,拣去川椒。以一两用小茴香一钱半拌焙干,拣去茴香。以一两用黑芝麻两钱拌焙干,不拣去芝麻。以一两同青盐二钱同焙干,不拣去青盐。焙法:以绳挂铜盆悬火三四寸,不住手将铜盆旋转,焙至燥。要枸杞子仍是大红,焙焦则不灵。各研极细,和匀前药同丸。

上药十三味,法制为末。用羊内肾一对、外肾一对俱以盐、酒拌,蒸熟,捣入和匀。量加炼

白蜜和丸,如梧桐子大。每清晨用五钱,临卧用三钱,俱以淡盐汤送下。

服此一料,冬间畏冷及阴囊之冷俱大减,食饮、便溺如常,颇为合宜。

复诊(十二月十五日):即于原方中略为损益之,再加党参、黄芪,炼蜜丸如桐子大。每服五钱,清晨滚水送下。

(案 远源) 鲍氏价人怔忡治验

鲍氏价者。

怔忡有年,心荡无时。迩来胸膈气筑,不食少缓,食稍增则肚脐收缩吊紧,背曲,两乳下有似筋抽难状之势。头眩足浮,脉象细小。进后方六帖,心荡大减,食后脐腹之收缩顿平,背曲、头眩俱缓。方附下:

丹参四钱 茯神二钱 远志一钱,去心炒 沉香五分 柏子仁三钱 归身一钱半 木瓜一钱半
元参三钱

加白檀香一钱五分同煎。

复诊:仍以原方加西党参二钱,煎服数剂而痊。

(案 遯) 山西介休张仁伯胎疟间发治验
山西张仁伯。

胎疟间发，寒轻热重，午后始至，已发五六次。舌苔白腻如粉，小溲色赤，大便稀粪，水果湿面不禁，腹中有块，邪食内蕴，脉象弦硬。正值九秋，速退疟邪，以免变幻，拟清脾饮出入之。

姜厚朴一钱半 柴胡一钱 黄芩一钱半 炒
甘草六分 山楂肉三钱 半夏曲一钱半 青皮一钱
滑石三钱 车前子一钱半 炒 大麦仁三钱 炒 草
薏仁一钱 炒

加生姜二片、松萝茶叶二分。

今系疟发之期，服一剂即止。次日原方加减，佐以和胃，两帖而痊。

(案 远) 山西任承山风邪外袭，头痛畏寒治验

任承山，山西介休，年二十二岁，九月十二。头疼畏寒发热，骨节疼。舌苔腻，脉来浮缓。风邪外袭，治宜于散。

羌活一钱半 防风一钱半 蔓荆子一钱半 甘
草六分 秦艽一钱半 神曲三钱 炒 半夏曲一钱半

陈皮一钱半 川芎一钱 山查肉三钱 炒
加生姜二片、葱白两枚。
服后寒热顿退。

(案 述) 山西宋鉴堂胸脘胀痛、呕吐酸水
治验

山西介休宋鉴堂 四月初九。

胸脘腹胀闷且痛难忍，呕吐酸水，舌苔白腻，小溲赤疼。脉右沉紧，左小弦。拟温中定痛止呕之法，方用厚朴、姜制半夏、木香、豆蔻、藜子、赤苓、橘红、麦仁、车前子等。煎好去滓，用左金丸五分，煎药汤送下。服后呕酸、腹痛顿止，惟胸脘胀闷未平。

次日复诊：用熟附子七分 姜制厚朴一钱
白蔻仁八分 茯苓二钱 陈皮一钱 大腹绒一钱半
砂仁壳一钱

上七味加鸡内金一钱半，炙同煎。

据述服后未一时，即觉胸脘胀闷顿松。次早再剂，豁然而愈。至半月后以丸方调理，用“香砂六君子”去半夏，四物汤去川芎加山药、山萸肉、女贞子等十三味为细末，炼白蜜和丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

(案 选) 萧斗光阴虚吐血几危 , 亟救治验
萧斗光 , 年逾二旬 , 道光丙戌五月九日诊。

素体阴亏 , 骤然血吐两三盏 , 申后又吐如前
之多 , 今早复吐两盏。两日间约吐七八盏 , 特求
救于余。诊得脉形虚芤 , 左弦数无力。深虑汗
脱 , 亟亟扶正 , 犹恐鞭长莫及。

后方服两剂 , 午后约痰红数口 , 再五六剂而
血停、食健矣。

大生地七钱 元武板八钱 , 炙 西党参四钱
丹皮一钱半 侧柏叶四钱 , 炙 炙鳖甲四钱 淮山
药三钱 , 炒 麦冬一钱半 陈阿胶三钱 , 蛤粉炒 叭啞
杏三钱 , 去皮尖 北五味子三分 , 研 茯神二钱
加藕节七个 , 血余八分 (研冲)。

卷四终

竹亭医案卷之五

三吴孙亮揆甫著

受业休宁程定治济霖

金传勋继文

侄兰生芳田

男鹤生于九

凤生茂常 同校

中医古籍珍稀抄本精选（九）

（案员）山西梁济生气食相凝，脐腹胀痛，兼呕治验

山西梁济生，丙戌五月二十日。

气食相凝，脐腹胀痛，得汤即呕，小溲短赤，脉象沉滞，宜以温舒。

姜半夏一钱半 淡干姜七分 炒 神曲三钱 炒
生香附二钱 广木香六分 广藿香一钱半 查肉三
钱 炒 车前子一钱半 炒研 枳壳一钱半 赤茯苓三
钱

加生姜三片。

服药后痛胀顿止 , 呕吐减 , 小溲长 , 再剂霍然矣。

(案圆) 介休任富泰冒风霖雨 , 湿侵腠理 , 臂痛如割 , 兼寒热间疟 , 汗出过多 , 神虚见鬼危症奇验

介休任富泰 , 丙戌六月初八。

冒风淋雨 , 湿侵肤腠 , 始则臂腕痛如刀割 , 继而寒热交作 , 当服却湿疏表之剂。两日间转为太阴湿疟 , 热甚于寒 , 间日一发。据述昨午临期 , 寒少热多 , 口渴喜饮 , 舌腻溲赤。因无汗而加棉被以遏之 , 顷之汗出如雨。予深嘱其不可遏汗 , 况暑天乎 ! 何西人之性躁若斯 , 不思水湿暴雨侵于皮肤而取之以汗者 , 宜徐而少 , 得微汗则湿邪渐解 , 此正仲师治湿之妙法 , 非比风寒之邪可一汗而解也。

湿分表里 , 治里湿以利小便为第一义 , 治表湿以取微汗为第一义。

疟虽太阴 , 而脉象弦细 , 右关浮缓而细。细者湿也 , 浮而缓者风也。岂非风湿之感于肌肤 , 而侵于太阴湿土者乎。然脉左之细弦 , 是又少

阳而兼乎太阴者有之。仲景云“疟脉自弦”，由少阳而兼他经者亦有之。谓他经而全不涉少阳者，则不成其为疟矣。旨哉斯言！于是用小柴胡汤加草果、藿香、车前、滑石、赤苓、青皮辈。早上煎服，午后疟至，寒热俱轻，转为单日。发时惟腕臂仍痛，较前减半，而痛时仍不能耐。即于原方加减，疟日减轻，来亦渐早。三四日来，每疟至腕臂必痛。

复诊（六月）：疟邪渐减，寒热俱轻。第脉息软大无力，左关弦细。连发有日，汗出过多，正气不足，阴气又亏。发时臂痛伤神，汗乃心液，神更伤矣。不饥不食，胃土又伤，颇属棘手。议养阴、祛邪以冀疟停。

醋炙鳖甲四钱 制首乌三钱 青蒿子一钱半
 当归二钱 酒炒常山一钱 煨草果一钱 栝蒌根
 一钱半 黄芩一钱半 炒 醋炙青皮一钱 生甘草六
 分 赤茯苓一钱半

加生姜二片，黑大枣一枚（去核）。

服一剂，疟止，臂腕之痛亦大减。所恨者，天明病者心烦，啖西瓜碗许，顷之腹中难过，呻吟，午前疟复来。当用西瓜汁一盞半、生姜汁半酒杯和匀，用二陈汤加清舒和胃之法，以前汁同

煎至一半服，服后症又止。

纵啖西瓜而症复，予即以西瓜汁煎药治之而症立愈。此中微妙，与杨介治宋徽宗用冰水煎药之意同也。昔徽宗食冰太过，病脾疾，国医不效。召杨介，进理中丸。上曰：“服之屡矣。”介曰：“疾因食冰，臣请以冰煎此药，治受病之源也。”果愈。

复诊：昨症复虽停，而心中烦躁扰乱，食少妄语，目瞑见鬼无算，脉象虚豁似空。知其阴气亏而阳不能入于阴也，究非阳虚见鬼而致汗脱者可比也。病者于床中向余跪哭求救，当以和阳益阴敛神法以救之。

制西洋参二钱 茯神三钱 炒枣仁一钱半
麦冬一钱半 五味子四分，研 甘草七分 左牡蛎
五钱，煨块 远志八分，去心

加大南枣两枚（去核）生姜两片。

服前方，顷之安睡半日，醒后鬼不见矣。随饮粥盏许，倦而不烦，复又饮粥，颇安。是证见鬼，因前汗出过多，心荣有亏，加之症止而余蕴之邪尚未净尽，故心烦扰乱，神不守舍，而致见鬼也。前方服之，如响斯应。设或真阴内亏，虚阳外越而致见鬼者，又当以回阳法急固之，岂此方所能治也，当深辨之。

前方加减二三剂，食增神安，便溺未畅，睡卧渐平。后以异功散加生地、麦冬、归、芍辈调理数剂，津液渐复，脾胃渐健。再以“归芍六君子”，未匝月而全愈。

（案猿） 庐州张耀宗堂弟不服水土，纵啖荤腥，以致呕吐、泄泻、转筋极险治验

庐州张耀宗堂弟，年三十五岁，道光乙酉八月十二。

初次来苏，水土不服，纵啖油腻荤腥，泄泻日数余次，迄今四日，忽然转筋于两腿足跗。此缘泻久伤脾，脾虚肝乘而致筋转也。脉象虚弦，右脉沉细，舌苔白腻。中宫又为寒阻，以故进汤即呕，幸不腹痛。病势匪浅，宜以和胃、止泻、舒筋为最。

煨葛根一钱半 煨木香一钱 白蔻仁八分
藿香一钱半 制香附三钱 半夏曲一钱半 枳壳一钱
木瓜一钱半 防风一钱半 白芍药一钱半

加生姜一钱半、葱白二枚。

灯后进药，少顷呕吐宿食并蛔虫两条。至于泄泻，一夜平安，次日早晨仅泻二次。

申刻复诊：并未一泻，转筋亦停。方用姜厚

朴、姜半夏、木瓜、煨木香、神曲、查肉、赤苓、陈皮、枳壳、乌梅肉等，加炒开口川椒十粒。煎服两帖而愈。

（案源） 吴菊圃内侄蒋世兄伏暑误治，以致身热不彻邪陷，耳聋、脐下痛、溺时疼极险奇效

吴菊圃内侄蒋世兄，十三岁，乙酉八月十七日。

身热一旬未解，始投清疏不应，复以生地、羚羊、翘、栀、青、陈、牛蒡、地骨皮辈，服后仍热，再进，便溏、胸闷。药投数剂，以致耳聋、脐下疼、溺时窍痛、溲赤，病日加深，特延余诊。其脉左弦细，右小，舌白如粉。胸前气闷，溲短赤色，邪陷耳聋，此伏暑症也。当用香薷饮加赤苓、木瓜、蔻仁、葵皮等煎服，身热渐减，气闷稍宽，白苔渐化，小溲仍赤。

又，复诊：伏邪晚发，头额潮润则热势必清。设不潮润则身中干热不爽，足征伏邪内陷可知。证脉合参，冲龄阴亏邪陷，议益阴彻热法，冀其转机。

青蒿子一钱半 炙鳖甲三钱 半夏曲一钱半

葛根一钱半 前胡一钱半 赤茯苓三钱 车前子一钱半 炒 甘草八分 枳壳一钱半

加白萝卜汁半酒杯冲。

服前方 ,潮润适意 ,胸前气闷亦爽 ,自早至申饮粥三盏 ,小溲赤减 ,耳聋渐轻 ,大有生机。

复诊 :原方去前胡、枳壳 ,加白通草、陈皮。再剂热退 ,诸恙若失。后以养胃生津 ,调理收功。

(案缘) 山西梁茂千寒凝气阻 ,泄泻、腹痛治验

梁茂千 ,年三十四岁。

西人喜啖湿面 ,加之寒凝气滞 ,以致腹痛不止。自服牵牛等 ,甚至泄泻无度。痛剧防厥 ,慎勿藐视。

生香附三钱 广木香六分 干姜八分 半夏曲一钱半 白蔻仁六分 赤茯苓三钱 陈皮一钱半 山查炭三钱 六神曲三钱 炒

加生姜二片。

上药煎服 ,一剂痛止。

次日复诊 :舌苔尚腻 ,食滞未清。原方去香附、蔻仁 ,加藿梗、莱菔子、砂仁等 ,两帖

而愈。

(案远) 山西董湘文两胁胀疼 ,波及肩背、腰胯 ,外受风寒 ,内挟食积治验 (心中寒者 ,其人病心如啖蒜状)

山西董湘文。

两胁作胀兼疼 ,舌苔白腻如粉 ,肩背腰胯痠疼不已 ,体倦欲睡 ,溲便不爽。皆外受寒湿 ,内挟食积 ,温舒为宜。

秦艽一钱半 茅山术一钱半 炒 生香附三钱
木香八分 白豆蔻七分 六神曲三钱 炒 大腹绒
一钱半 枳壳一钱半 大麦芽三钱 炒 淡干姜七分
车前子一钱半 炒

加生姜三片。

服一剂 ,两胁胀大减 ,腰胯、肩背痠疼已平。惟胸中作痛愈甚 ,舌苔仍白如粉 ,自觉腕中如啖蒜之味 ,此湿去而寒未撤也。《金匱》云 :“心中寒者 ,其人苦病心如啖蒜状 ” ,即是谓耳。余用苏梗、桂枝、干姜、草蔻、砂仁、香附、枳壳、淡茺萸、木香、陈皮、生姜等 ,煎服一剂而痛顿止。余以温舒而治腕中之寒如啖蒜之味者 ,与仲圣暗相符欵。

〔案 苑〕 余次子茂常仲夏出正痧极重治验
余次子茂常 年十九岁。

道光丙戌五月出痧 ,于初四五日身倦微热 ,
至六七日觉眩 ,不饥 ,目眶疼。至八日用疏解
药 ,两颧额少有红点隐隐 ,咳嗽食减。

仁端录云 :热至六七日而痧始出矣 ,又必出现三
日 ,身和色淡渐没为佳。

至初九日再剂 ,身热渐增。于初十早晨始
现正痧 ,头面两颧色红点现 ,及鼻梁、手臂满布 ,
日三四潮 ,胸背稍稀 ,两足甚少。舌苔淡黄 ,溲
赤。当用前胡、杏仁、桑皮、地骨皮、蝉衣、桔梗、
连翘、薄荷、谷芽、滑石、甘草、西河柳等煎服 ,至
夜眼泪始出并清涕。

至十一日 ,痧将齐 ,热未除 ,早晨痧点如昨 ,
觉喉干兼咳 ,小腹微疼 ,大便三日未解 ,舌苔腻
黄 ,小溲仍赤。方用前胡、杏仁、苏子、桔梗、牛
蒡、桔芩、桑皮、地骨皮、连翘、赤苓、甘草、西河
柳等煎服。至点灯后 ,头面甚热 ,咳嗽喉疼 ,痰
不易出。是晚又以葛根、前胡、苏子、杏仁、牛
蒡、马勃、桔梗、甘草、薄荷、贝母、黄芩、枳实煎 ,
去渣置碗内 ,入生大黄六分泡药碗内 ,盖须臾
服 ,未几即泻稀粪二三次。

至十二日寅、卯时，身热如昨，手臂足之痧点较头面愈增满布。自早至午又泻二三次，痧仍日潮两次。巳后疼止泻平，痧正齐透。

十三日：用生地、羚羊角、牛蒡、连翘、薄荷、葛根、川贝、甘、桔、木通等煎服后，热缓痧点红减。

至十四日早上，热始大减，痧点渐退。用泻白散加银花、知母、石膏、元参、芦根等煎服。

至十五日，热平痧退，鼻中清涕常有。再以清养肺胃之剂，调治全愈。

（案愿）徐绳武咳嗽匝月，痰出不易治，徐绳武，年逾二旬。

咳呛匝月，痰不易出，午后发热，口干，小溲赤。法宜润燥宁嗽，再咳防血。

丙戌七月十六日方：

老枇杷叶三钱，去毛，炙 桑白皮一钱半，蜜炙
黑芝麻二钱，炒 前胡一钱半 白杏仁三钱 赤茯苓二钱
车前子一钱半，炒，研 蛤壳三钱

加藕二两，切片同煎。

服两帖，咳减，痰肯出，午后热缓。原方加减，再两剂而全安。

(案怨) 歙县孝廉洪季威先生仲秋得伏暑
极险治验

歙县孝廉洪季威先生,年逾四旬,于丙戌仲秋得伏暑症。

据述病情:前月远出,天气炎蒸,舟中过啖西瓜,寒凉阻胃。素体丰肥,湿痰中虚,途中冒暑贪凉。八月上旬回苏后,渐有畏寒,舌苔腻白,自服姜、附各一钱半,又苏叶三钱,佐桂枝、厚朴等。温热之药过重,已后舌苔白退而复白。至十六日始问治于余,诊得脉象软小而濡,左脉沉细而弦,知其暑伏湿阻。连日口渴,喜饮温汤,汗出如雨,胸前闷,身微热,小便短赤,舌苔糙白,得汤即呕,时吐稠痰,夜有昏语,眼闭即梦。证脉合参,暑湿感于盛夏,发于深秋,治法未当,疾反增重。亟宜祛痰以止呕,利湿以清暑,为紧要关头。

姜制厚朴一钱 旋覆花二钱 绢包 炒半夏一钱
赤苓三钱 姜汁炒黄连五分 盐水炒橘红七分
块滑石三钱 车前子一钱半 炒
加鲜西瓜子四十粒,不落水。

共药九味,河水煎好去渣,入生姜汁八分冲服。

服后呕止、痰减、热退、舌苔渐薄。口仍喜饮，小便仍赤，三四日不能进粥。又兼肝郁，夜不能寐。拟和胃舒肝法，用二陈汤，加鲜石斛、生谷芽、旋覆花（绢包扎）、沉香、白蔻仁、鲜荷叶等煎服。临服，入川郁金四分（磨冲），服之当晚，即能安卧。

次日再剂，小便色淡，口不渴矣。又解结粪如弹丸者数枚，惟食饮仍未贪耳。

复诊 细审之，诸恙俱减，惟食未贪。自觉胃中冷气上冲，左腕有一块，气阻不爽。此胃土不温而肝木不舒也，议温胃、舒肝之法。方用：

建莲肉三钱，去心 茯苓一钱半 大南枣两枚，去核
川淡附子三分 淡干姜四分 焙 香附一钱半
小青皮八分 生谷芽四钱

煎服两帖，夜能多寐，上冲之冷气并左腕之块俱不觉矣。余因其不贪食，嘱其以鲜芡实捣烂绞汁，炖滚调如浆粥，少加白糖冲服。清香开胃之良法，余屡验之，或再以炒米粉间服。如法行之，可日进二三盏，大小便通利，神识渐安，惟觉其食少而人软倦乏力耳。

复诊：

生西洋参一钱半 建莲肉四钱，去心 生益智

仁七分 茯苓一钱半 生苡仁五钱 金石斛五钱
小青皮八分 甘草六分 大南枣两枚,去核

加阳春砂仁二分,冲。

服前方三剂,渐能进食,且知饥,安卧。四鼓可进建莲、桂圆一盞,清晨饮粥盞许,午前进饭钟许。中宫得食,渐有运动之机。

复诊:用四君子汤去白术,加山药、归、芍、南枣、木瓜、青皮、乌梅等服之。

日进粥三盞,午前吃饭一盞,知饥有味。四鼓时进食如前,后以“五味异功”加味,合归脾汤法,调理一月而痊。

(案 苑) 王庆书湿温症,寒热、头疼欲呕、两胫冷治验

王庆书,年逾二旬,道光乙酉五月二十三,湿温症。

先寒凜,后发热,热无已时,似汗非汗,口干喜饮,却不渴,舌苔腻白,小溲短赤,头痛欲呕。未病前曾食冷饭,胸闷不饥,晨轻午后烦,两足小腿觉冷,脉象濡细。此湿温也,服清暑等剂不应,特延余诊治,当用:

葱汁炒豆豉三钱 半夏曲一钱五分 蔓荆子、

枳壳、藿香、赤苓各一钱五分，查肉、神曲各三钱，白蔻仁六分

加生姜皮六分、葱白二个煎服。

服后，两胫不逆冷，欲呕止，舌苔转淡黄。仍先寒凜而后热，热无停期，头重痛，目红肿。

复诊（五月二十四日方）：

防风皮一钱半 羌活一钱半 葛根一钱半 半夏曲一钱半 焦谷芽三钱 神曲三钱 炒连翘一钱半 去心 赤茯苓二钱 薄荷一钱半 白蔻仁五分 研加生姜皮五分、葱白两枚。

服此，畏寒止，热稍减，大小便利，稍可进粥。头痛胸闷，背脊遍体不爽，俱未一减。

复诊（五月二十五日方）：

防风皮一钱 淡豆豉三钱 佩兰叶一钱半 椰熟 羌活一钱半 白通草八分 霍山石斛三钱 块滑石三钱 薄荷一钱 秦艽一钱半 瓜蒌皮一钱半 连翘壳一钱半 藿香一钱半

上药十二味，河水煎服。服后小便甚长，诸恙若失。当用和胃法，二陈汤加石斛、砂仁壳、鲜荷叶蒂，两帖而痊。

（案 录） 余次子茂常孟秋头痛、寒热、咳

嗽成症治验

余次子茂常悬壶于胥门程氏，于丙戌七月二十二日，忽头痛、寒热、咳嗽，自服疏解之剂。次日有延诊者，仍然轿出，申后回寓，病发如前。至二十四日午后，又头疼畏寒，寒后复热，随即肩舆至家。余适往枫镇，归已三鼓，知其发症，因未进药。

二十五日侵晨诊脉，右浮左弦，知其风暑搏而成症，当用蔓荆子、防风、半夏曲、柴胡、黄芩、草蔻仁、神曲、青皮，加六一散煎服。服后至申正，仍先头痛畏寒，约半时即热，热至更余，汗出而热渐退。

二十六日用小柴胡汤去参，加煨草果、青皮、赤苓、焦谷芽、车前子等，姜、枣同煎。服后仍如前发，至更余大汗淋漓而退。

次日仍用原方，再剂症即止，小溲长而清，自此诸恙全瘥矣。

(案 圆) 南京孙云衢胸脘痛胀痼疾五载奇效 (并详论治法)

南京孙云衢，年二十五岁，丙戌季冬。

胸脘痛胀，痼疾五载，春减夏愈，秋发冬甚。

今正举发 ,胸脘刺痛 ,痛剧则胀 ,渐横至脐腹 ,早缓午甚 ,夜间更增 ,天晓渐减 ,得食亦稍减 ,脘中时响 ,脉右沉细而紧 ,此皆沉寒痼冷 ,脾阳之不运所致也。是以交春而减者 ,寒得温气而痛缓矣 ;逢夏而愈者 ,寒得热气而痛解矣 ;至秋而发者 ,寒得凉气而痛作矣 ;遇冬而甚者 ,寒得冷气而痛益增矣。议附子理中汤加味治之 ,庶可立起积岁沉痾 ,永免终身大累 ,非曰仙丹 ,理可信耳。

西党参二钱 生冬术一钱半 熟附子一钱
干姜八分 炒 炙甘草七分 上沉香四分 五灵脂
一钱 炒

加荔枝核三钱 炒黄 研。

上药八味 ,河水煎服。

服两帖 ,痛胀减半 ,且痛胀时亦俱觉宽松 ,非前之拘束难忍可比。再 ,脘中有臭腐之味出 ,小溲色赤 ,想皆得温中之力欤。

再以原方去沉香、荔枝核 ,加茯苓、木香、淡茺萸三味 ,内附子用一钱五分。

煎服两剂 ,痛胀十去其八 ,腐秽之味亦减。

仍用附子理中汤加首乌、女贞、茯苓、木香等。煎服两帖 ,昼夜痛胀俱止 ,腐秽之气全无。

后以理中汤加制首乌、归身、木香、茯苓、草薳仁辈，调理收功。

(案 员) 山西曹门人风痰闭络，胸闷、背臂痠楚治验

山西曹门人。

胸闷刺痛，腹疼，背臂痠楚。皆前之风痰闭络之余波也，拟疏气和血调中之剂为妥。

制香附一钱半 当归一钱半 片姜黄一钱半
赤苓一钱半 广木香六分 陈皮一钱 半夏曲一钱
甘草六分 薏苡仁四钱 炒

加鸡内金一钱五分，炙。

三剂而安。

(案 员) 徽州曹雅堂风温症误治，身热不解治验

徽州曹雅堂，三月初三诊。

病由寒热而起，他医未经疏解早投寒凉，以致身热不退，病势增重，迄今半月，始求治于余。此风温症也，寒热头胀，胸闷口渴，不喜冷饮。舌苔中心绛，边白无津。耳聋，脉小，澀赤。防邪内陷，亟亟祛邪，冀其热退为稳。

瓜蒌皮三钱 小生地四钱 竹卷心三钱 黄芩一钱半 鲜石斛四钱 黑山栀一钱半 车前子一钱半 炒 麦冬一钱半 石菖蒲六分 焙 生甘草六分 加水梨肉二两同煎。

服一帖，热渐缓其半，日进粥二盞。舌仍干，耳仍聾。

又用小生地、丹皮、麦冬、甘草、花粉、赤苓、滑石、元参、薄荷、川石斛，加雪梨肉二两。

煎服后，热始退清，舌之绛胎渐转淡黄且润泽，安卧。

复诊：

生西洋参一钱半 小生地四钱 元参三钱 麦冬一钱半 知母一钱半 块滑石三钱 甘草六分 陈皮一钱半 泽泻一钱半

加灯心三尺。

服此，舌之黄胎退尽，耳聾亦减，小溲亦长，食渐增。再以养胃生津之剂二三帖后，继以六味地黄加味服之，耳聾全安。又用四君子汤加熟地、枸杞、元武板、柏子仁、砂仁、山萸肉、南枣辈煎服，调理半月而康。

(案 55) 黄云泉大兄咳嗽喉痒昼轻夜重

治驗

黃云泉大兄，丁亥三月初五。

咳嗽喉痒，夜甚于昼，天明漸已，痰出稠粘。脉右軟，左弦細。宜清補肺胃之陰，俾其火降而自平。

北沙參三錢 款冬花二錢 百合三錢 苡仁五錢 炒 巴旦杏三錢 生蛤壳四錢 芡實三錢 炒 炙草六分 天冬一錢半，去心

加老枇杷葉三大片，拭去毛，蜜炙。

上藥十味，河水煎服，五劑全安。

(案 員) 文學汪書蕉二兄上下齒齦偏左作痛治驗

文學汪書蕉二兄，道光丙戌四月初九。

上下齒齦作痛偏左，左脉細小兼數。心肝虛火上炎，法宜養陰以降火。

方用小生地、元參、薄荷、茯神、甘草、青皮、當歸頭，加雪梨肉二兩同煎。

服三帖，大減，尚有悠悠而痛。再以六味地黃湯去澤瀉，加女貞子、炙甘草等，三帖而痊。

(案 員) 海鹽鄭淡園次子內疝誤治，以致

腹膨有块 ,小腹疼由阴囊上冲 ,夜来发热、足肿、肌瘦骨立 ,迄今九月 ,几危救苏奇效极验

海盐郑淡园次子 ,丁亥五月初五 ,年十一岁 ,内疝误治几危。

于去秋九月发三疝 ,三发而止。已后渐自腹膨有块 ,小腹疼痛 ,由阴囊而上冲小腹。土医误作虫症治 ,反增。食少体瘦 ,肌皮骨立 ,夜间发热、足肿 ,迄今九月矣。于端阳日 ,特求余治。诊其脉 ,右关浮软 ,左弦细。症属内疝 ,任脉为病 ,病根深沉 ,不此之求 ,药饵妄投 ,恐有虚损不测之虞。先以和肝法 ,冀其病缓 ,再为良图。

荔枝壳一个 ,剪开 ,去其肉核 ,内填搓软荷叶一团 ,线扎 ,同煎 元胡索一钱五分 乌药一钱半 小青皮七分 盐水拌炒 柴胡三分 川楝子二钱 打碎 车前子一钱半 ,炒

用百劳水两钟煎至一钟服 ,扬百遍 ,即仲景甘澜水也。

进药后 ,痛从小腹而牵引两旁至脐而止 ,块坚腹胀。惟阴囊中未痛 ,是其妙处。夜来发热、足肿如前。

复诊 (五月初六日方) :

制首乌三钱 归身一钱 炙鳖甲三钱 青皮

七分 川楝子一钱半 肉桂三分,去粗皮 五灵脂八分 炒 炙草六分 元胡索一钱半 醋炒 小茴香一钱
仍用百劳水煎法。

服后,据云痛未减。次日再剂,痛缓且有停时,腹未胀,块尚在,足仍肿,夜竟未热,大为合宜。仍宜原方加减,方用首乌、女贞、归、芍、五灵、肉桂、乌药、木香、小茴香,加荔壳(如前填扎)同煎。服三剂,小腹之痛十去其八,且不由阴囊而上冲小腹。更奇者,其坚块作胀竟不知消归于何有矣。再以四君子汤加首乌、归身、女贞、白芍、益智仁、茴香等,煎服五剂而收全功。

(案 五) 金六吉湿温症误治几危治验

金六吉,年逾二旬,丁亥五月初八,湿温症误治几危。

是病由受凉停食而起,以故身热胸闷,按之而痛。未经解肌透表,早投“陷胸”,继又妄用“承气”。服后大便先软后溏,不但热不除而反增重。业已六日,口渴喜饮,舌苔糙刺无津,阴液涸矣。且愈热愈渴,日饮茶数十瓯而究未能解其一渴。脉息左弦劲,右滑数。此温邪留恋于气分也,缘误治而至此极。议“仲圣”竹叶石

膏汤法出入之。

生石膏五钱 竹卷心三钱 麦冬一钱半,去心
黄芩一钱半,炒 生甘草六分

加陈梗米百粒,用百劳水煎。

服后顷之睡着,约一时而醒,醒后叹气一声。问之答曰:“周身松爽”。少缓遍体汗出,热从斯退。自此渴止溲长,病若失矣。次日清养胃阴,用生地、石斛、黄连、麦冬、山栀、甘草辈煎服,以清虚热耳。

(案 癘) 陆琴轩乃弟囑轩痛痹症迄今三载治验

陆琴轩乃弟囑轩,年十九,丁亥四月二十五。

胸膈痛痹症,由劳力而得,迄今三载,举发无时。右脉弱,左脉细涩,血凝气滞也。当以养荣祛瘀,佐以疏之和之,庶乎渐安。

丹参四钱 归身一钱半 五灵脂一钱,半生半炒
乳香一钱,去油 玄胡索二钱,醋炒 牡蛎六钱

加旧铁器两许同煎。

服前方三剂,痛减三之一,再以原方去归身、乳香、牡蛎,加香附、良姜、山栀、甘草等。煎

服后 ,胸痛减半 ,再三帖而痛止矣。

(案 圆) 山西武之文胸腹奇痛 ,湿与寒并治验

山西武之文。

胸腹俱痛 ,舌苔腻白、根黄 ,小便短赤。进厚朴温中法 ,顷之即吐 ,痛仍如前 ,左脉细小难寻 ,右关中按小数。再以温凉并进以和之 ,方用香附、木香、陈皮、枳壳、槟榔、乌药、良姜、生山栀、甘草、查肉等。服之脘腹痛始减 ,而舌苔仍腻白如粉 ,口不觉干 ,知其湿与寒并。服后方一帖 ,上下痛止。

方用茅术、良姜、青皮各一钱 香附、滑石、莱菔子各三钱 乌药、生山栀各一钱五分 甘草、白蔻仁各四分

一剂而痛顿平。

(案 圆) 万松岩大兄脾湿症六载沉痾治验 (并附丸方、八珍粉方)

万松岩大兄 ,年五十八岁 ,丁亥六月初七日 ,脾湿症。

素体肥胖 ,好酒贪荤 ,迩来肌瘦其半 ,业已

六载。腹有时膨,足有时肿,肢节亦有时作痛。屡进燥湿之剂,终未克奏绩,因求治于余。诊得脉形软细,先宜调中却湿,佐以疏运,再为之计。

鲜莲肉一两 薏苡仁四钱 南枣五钱,去核
金石斛四钱 生谷芽四钱 云茯苓一钱半 砂仁五分

上药七味,河水煎服。少顷用更衣丸一钱半,陈酒送下。大便七八日未解,服后始大便结粪两次,后带软。

复诊进前方,脘腹渐松,便结已解,而食仍未贪,惟日饮粥二三盏。证脉合参,法当养胃生津,以图胃气旺而食饮渐贪。

人参四分,另煎,冲 茯苓一钱半 麦冬一钱半,
去心 大南枣两枚,去核 炙甘草五分 陈皮六分
荷梗五寸

服后,多进粥盏许,颇妙,仍以原方加新莲肉一两、木香四分。再两剂,食饮渐增,小溲渐淡。又用“五味异功”加建莲、益智仁、南枣、苡仁辈,服数剂胃土稍和,饮粥之后稍可进饭半盏,而体倦欲睡,晡后小腿足跗浮肿犹未减也,再议补中益气汤加南枣。进四五剂后,精神稍健,清晨可先进鲜苡实捣浆燉熟如米粉,少和白

糖,可吃一盞,少顷再饮粥一二盞,足征胃口有醒豁之机,是以足跗浮肿亦渐有退象。仍以原方再两帖,临卧前即以二煎汤送二神丸一钱。服后安妥如前,上半日健,下半日渐倦。

复诊:舌苔滞白,口淡溲赤,不喜饮,脉象奕小,究属脾土不运,命火不足以生之。论口淡似胃热,而按脉审症当理脾胃,兼补肾中之阳为上策。

方用桂附八味丸,每晨空心服三钱,滚水送下。午后用健脾丸三钱,炒米汤送下。

服丸五日,精神稍健,食饮稍贪,食后少腹每多作闷亦减,口淡溲赤亦渐减,惟舌苔之白未减也。

复诊仍以桂附八味丸四钱,空心如前服。午后之健脾丸亦如前服。

再进五日,诸恙减可,食饮渐增,腕腹俱无闷象。四五日来,两足小腿发出云头细点满布,痒极,抓之有滋水出。自余观之,此向年脾湿内蕴之根,得余补火生土、温肾健脾之法,知其脾肾交通,湿气下降,而从两足小腿出之耶,亦极妙之事也。

再拟香砂六君丸四钱,午后米汤送下。清

晨仍以桂附八味丸三钱，滚水送下。

再服五日，外用川椒、白芷、苦参等煎汤淋洗腿足，四五次而痒止肿消矣。清晨仍用桂附八味丸三钱，午后以六君子丸三钱和三妙丸一钱五分同服，以淡姜汤送下。

再服五剂，继以丸剂调补，仍不外乎脾肾之意耳。

丸方（九月初六日定）：大熟地三两 元武板一两 炙 鹿角霜一两半 山药一两半 炒 山萸肉一两半 上肉桂五钱，去粗皮 补骨脂一两半 炒 当归一两 枸杞子一两半 焙 砂仁六钱

上为细末，用炼白蜜为丸，如小绿豆大，晒令极干。

外用西党参二两，焦冬术一两半，陈皮一两半，查肉二两，炒，大麦仁一两半，鸡内金一两半，炙。

上六味共研极细，用荷叶煎汤，洒叠为衣。每服五钱，清晨滚水送下。

又，八珍粉方（九月二十五日定）：锅焦心^①

^① 锅焦心：煮饭时附着锅底的焦饭，苦甘平，补气运脾消食止泻。又称饭滞、饭匙。

三斤炒 建莲肉一斤炒 苡仁一斤炒 芡实一斤，
炒 六神曲五两炒 鸡内金三两炙 陈皮四两烘
砂仁四两，去内衣不烘

上为细末，筛极细如粉。每用粉两许，少加白糖，用滚水调如稠糊，每早空心服一盞。

如法调服二三月，易饥食增。且前丸服后，精神日健，肌体渐丰，步履如常，亦再生之幸也。

前丸服至十一月初旬将毕，因初五冬至，复诊定方。余即以前方出入，仍不外乎脾肾双补之法。况值水冷金寒，身中之元阳未充，加以固气护阳之法，尤不可少也。

西党参三两 生黄芪二两，盐水炒 大熟地六
两 山药三两炒 鹿角霜一两半 鹿角胶一两半炒
珠 补骨脂二两，酒炒 归身一两半 肉蔻仁一两，面
包煨 白丑筋二两，切片，砂炒 山萸肉一两半 砂仁
一两半 新会皮一两半

上为细末，炼白蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨滚水送下。

（案 圆） 陆琴轩六兄痛痹症治验

陆琴轩六兄，丁亥十一月十一日，痛痹症。

中虚气壅，壅则痛，痛则不通，脉象沉滞，当

和其中，调其气，气舒而痛缓，食自贪矣。

制香附三钱 良姜一钱 木香六分 甘草五分
焦谷芽三钱 陈皮一钱 查炭三钱 乌药一钱
半 白通草六分

加鸡内金二钱，炙。

两剂，痛立止。

(案 圆) 宁波苏成章左头角刺痛如锥治
验

宁波苏成章，年六十八岁，丁亥仲冬二十七。

左头角刺痛如锥，风邪上侵，少阳攸关。病起六日，速以祛风和血法。

蔓荆子一钱半 川芎一钱 归头一钱半 薄荷一钱
制僵蚕一钱半 甘草七分 青皮一钱 池菊一钱
羌活一钱半

加青葱白两个，同煎服。

一帖而安。

(案 圆) 山西焦永盛高年身热、泄泻、动即出汗垂危治验

山西焦永盛，年六十六，丁亥九月十七。

身热泄泻危症，兼之面红口干，喜饮，腹痛，动辄汗出，神识模糊。虚中挟滞，表里俱病。恐其骤变，亟以退热止泻，以冀转机。用葛根黄芩黄连汤法加减之。

葛根二钱，煨 黄芩一钱半 小生地四钱 麦冬一钱半 泽泻一钱半 木香六分 赤茯苓二钱 甘草六分 半夏曲一钱 益智仁一钱 生姜一钱 陈皮一钱

上十二味，河水煎服。

服后身热大减，泻止六七，神识渐清，稍可饮粥，口干亦减，小腹尚痛。仍以原方，再剂诸恙渐平，痛亦止矣。后以和胃运食法，五剂而痊。

（案 圆） 门人金书山滑精之后忽又闪腰，不能举立，治法颇奇立效

门人金书山，丁亥季秋。

滑精之后，偶因举手取物闪腰，当时不觉，至晚间忽然尾骶骨板滞痠疼，牵引腰胯骨，不能举立，惟曲腰弯膝稍可步行。次日侵晨肩舆索方，余以后方一剂，霍然而愈。

大熟地五钱 独活一钱半 稽豆皮三钱 杜

仲三钱 炒 全当归一钱半 木瓜一钱半

上药六味 ,用陈酒、河水各一盞和匀煎药。煎至一半 ,去渣再煎滚 听用。取雄蟹一只如茶杯口大者 ,洗净捣烂。即将煎滚药汤乘热冲入蟹内 ,盖少顷。带热饮汤 ,服毕以被遮卧约两时之久 ,起身步行 ,病若失矣。

尾骶骨 ,一名尻骨 ,又名穷骨。腰胯骨 ,一名腰髀 ,自十六椎而下挟脊附着之所也。

(案 圆) 山西李世安中脘胀闷 ,食不能进 ,昼夜不安 ,先进温舒 ,再以通幽 ,立见奇验

山西李世安 ,年近三旬 ,戊子四月。

中脘胀闷 ,食不能进 ,昼夜不安 ,舌苔腻白 ,小溲色赤 ,少腹微疼。

薤白三钱 莱菔子三钱 沉香六分 枳壳一钱半 查肉三钱 车前子一钱半 炒 干姜一钱 炒 乌药一钱半 赤苓三钱

加砂仁末三分 ,冲。

服后少顷 ,腹中响 ,转失气下。至酉后胀闷顿宽 ,夜可安睡 ,食饮渐进。两日后 ,腹中发热 ,溲赤 ,大便欲解不能已六七日 ,时有转失气。议“小承气”加味。服后方一帖大便即通 ,从此

而愈。

姜厚朴一钱 生大黄一钱半 枳实一钱半 赤
苓三钱 陈皮一钱半 甘草七分
加沉香末三分 冲。

(案 圆) 孝廉洪季威先生左足次指生疽
极险 用灸法奇验

孝廉洪季威四兄先生 戊子八月中浣^① 得
左足发疽极险治验。

于足左次指甲后肿如黍朱 疼痛异常。疡
科妄作疗治 用拔疗散治 据述疼痛尤甚 血水
淋漓 足不履地 苦无宁刻。于二十八日始问治
于余 余视其疮头赘肉平扁不松 四边血水频频
出 痛伤食减。非灸不能治 因取艾圆如黄豆大
者 先将生姜片切如三钱厚者放于疮顶 以艾圆
铺于姜上 点火灸之。灸至数壮 疮内始知热
气。至二十一壮 方觉疮中刺痛 如是停灸。用
家制红云散掺膏药上贴之 日换一张 内服托里
排脓之剂。

一切灸法用姜、用蒜 俱宜横切当如三文钱厚。

① 中浣 夏历中旬。

至八月三十日延診：視之瘡內胬肉發松且有厚膿，非前之曰出血水可比。腳能垂下，亦不覺痛。細視根腳猶未大松，仍如前灸。灸至十六壯，始覺瘡痛，停灸，膏蓋同前。

九月初二延診：胬肉腐其一半，以剪取下，仍如前灸。灸至八壯，知痛而止，膏蓋同上，煎劑如前。

至初五日：其餘胬肉始盡脫落，細視瘡邊尚未大松，仍如前灸。灸至六壯，覺痛而止。膏蓋如前，內服參、芪、朮、草，佐歸身、牛膝、銀花、貝母、大棗輩煎服。

初八復診：瘡之四圍肉色鮮紅，邊起白衣，有生新之勢，中間胬肉去而潭深。此處指末氣血罕到之所，仍用艾圓灸如前法，五壯而止，其艾圓如綠豆大。前之艾灸引毒外出，故灸後瘡頭即高聳而胬肉即脫。今日之灸助其生新，故艾圓宜小而壯數宜少。灸法之妙，活法在人，非僅提毒已也。膏藥同前。

九月十二，延診第六次：瘡口四圍新肉漸生，中間之潭亦漸平，不必再灸，當用生肌膏貼之。三日後瘡口已平，用家制青雲散摻之，膏蓋，肌完而收全功。

(案 圆) 屈世泰冲年仲秋患夜热及四肢、唇裂、衄血，延绵周年，几成童怯之验

屈世泰，年十四岁，戊子仲秋。

夜间内热，波及四肢。口唇燥裂，牙龈出血，脉来弦细小数。脾阴虚而荣血不足，缠延周年。冲龄^① 阴弱，尤防骨蒸劳热，亟宜调摄，勿得忽视。

大生地五钱 炙鳖甲四钱 丹皮一钱半，炒
茯苓一钱半 地骨皮二钱 山药三钱，炒 炙甘草
六分 元参三钱

加黑大枣两枚，去核。

服两帖，夜间内热减半，唇裂、衄血俱止。仍于原方内去元参，加麦冬、女贞子、元武板等，再三剂而全愈矣。

(案 圆) 黄埭顾文元滞下红白，湿热交阻治验

黄埭顾文元，年五十四岁，戊子季秋。

滞下红白，昼夜二十余度，迄今三月。体瘦食减，所下污秽异常，肛门甚热，小溲短赤，脉形

① 冲龄：年龄幼小。

濡数。乡人长夏田野劳苦，湿热酿成久痢，脾虚而兼湿热为患者，究宜调脾祛积，兼清湿热，庶乎尽善。

焦冬术二钱 苡仁五钱，炒 白头翁一钱半
秦皮一钱半 煨木香八分 赤苓三钱 椿根白皮二钱
升麻五分，醋炙 五谷虫一钱，炙 桔梗一钱
炙甘草八分

煎服三帖，一昼夜滞下五六次，食饮亦渐增。再三剂十减其七八，原方去升麻，加扁豆、查肉。再三帖而痢止，后用“香砂六君子”调理收功。

〔案猿〕 萧山胡福堂鼻衄如注极危奇验

萧山胡福堂，戊子季秋，年四十六，鼻衄如注几危治验。

左鼻出血，十有二日。昼轻夜重，每至二鼓频频而滴，约有盈盂之多，阴气弥伤。他医妄投苦寒，如犀、羚、知、苓，加以凉膈散辈，屡投不应，衄血反增，而致举头即眩，朝轻暮盛。脉形细数，右脉虚芤，究关阴火潜然，非实火可知。再衄防晕，亟议启玄子益阴济阳以救之。

玄武板一两，炙 丹参五钱 侧柏叶四钱，炙

降香一钱半 漂人中白一钱 老枇杷叶三大片,去毛 桑白皮一钱半

上药七味,用新汲水即井泉水两钟,缓火煎至一钟,去渣。入血余灰一钱冲服。外用大蒜一瓢,捣烂,贴左足心,血止即去之。

当日照方煎服,据述服一帖,夜间鼻衄仍然一茶杯许,惟血色转淡红。次日再剂,是夜血止。连进三帖,衄止全愈。

(案猿) 萧二泉三疟年余,正虚邪恋,治法极效

萧二泉,年逾五旬,季秋二日诊。

三疟年余,发于子、午、卯、酉日。先寒后热,热甚呓语绵绵,口渴喜饮,至半夜后始得汗而解。寒少热多,肌瘦食减,便结溲赤,脉形软滑,左关弦细。正虚而疟邪留恋也,治在肝脾,当用六君子汤,加首乌、鳖甲、黄芩、草果、车前子辈,姜、枣为引。

服六剂,临期寒如前,热渐减。原方再六剂,临时寒甚轻,热至点灯时微汗而退。仍以“六君子”加首乌、归、芍、黄芩、乌梅肉等,仍以姜、枣为引。

又六剂 ,至期寒热更轻 ,食饮倍增。第坤土将健 ,食宜节制。庶几脾气得令而能上归下输 ,水精四布 ,五经并行矣。设因能食而多餐 ,致令脾土壅而腹膨气滞 ,岂非自误也 ,慎之 !慎之 !又以“六君子”加首乌、鳖甲、青皮、女贞、乌梅肉等。又六剂 ,转失气更多且臭极 ,足征脾土因壅滞而致太阴三症。今以“六君子”加味 ,连进数十剂症止而脾土始健。此转失气之极多者 ,皆得于补脾之功非浅也。年余之症 ,肌瘦食减 ,若不细心揣摩 ,何能知之深而效之捷也。

(案猿) 汪书蕉二兄素好饮茶 ,脘痛欲呕
治验

汪书蕉二兄 ,戊子正月。

脘痛已久 ,午后尤甚 ,且有泛泛欲呕之势。素好饮茶 ,右脉细小 ,左关、尺濡小。先理中焦 ,再为之计。

制香附三钱 淡干姜八分 ,炒 淡茺莢三分
茯苓一钱半 半夏曲一钱半 女贞子三钱 广皮白
一钱 青皮七分

加九香虫一钱半 ,焙 ,荔枝核四钱 ,炒。
服此两帖 ,痛减七八 ,再二剂而止矣。

(案猿) 王店屈文炳胃气作楚,感寒呕酸
治验

王店屈文炳。

素有胃气作楚,感寒而发,痛即呕酸,拟和胃舒肝法。

姜半夏二钱 木香六分 陈皮一钱半 青皮八分
淡茱萸三分 草蔻仁一钱半 茯苓一钱半 沉香三分

加生姜两片。

服两帖,呕痛顿止。再剂,中宫之气舒畅而食饮贪矣。

(案猿) 袁履安喘症危候,卧不着枕,痰出不易,便溏食减,屢进滋阴病增,立刻救治,渐自回生之验

袁履安,五十九岁,道光戊子十一月十八诊。喘症极险危笃治验。

素有吐血症,迩来因喘兼咳。月余来,卧不着枕,痰不易出,口燥舌干,大便溏薄,食饮日减,脉象虚软,按之细数。议益气、定喘、化痰,冀其渐缓,庶乎尽善。

北沙参三钱 蛤粉炒阿胶三钱 白花百合一

两 山药三钱 炒 款冬花三钱 叭啞杏仁三钱 去皮尖
 黑苏子一钱半 炒 天冬一钱 去心 炙甘草八分
 海浮石三钱 薏苡仁五钱 炒 茯神三钱

加紫衣胡桃肉一枚 连鬲板用。

服两剂 喘咳稍减 原方加西党参三钱。再两帖 痰减三之一。

复诊：西党参三钱 山药三钱 炒 苡仁五钱 炒
 茯神三钱 蛤粉炒阿胶三钱 炒枣仁一钱半
 炙甘草八分 南枣三枚 去核 浮海石三钱 款冬花三钱
 五味子三分 研 巴旦杏三钱 去皮尖

加白花百合一两半。

服六剂 喘咳渐缓 痰亦稍易 渐能着枕 惟夜半咳痰 必坐起方安。食饮稍增 中午可吃饭一碗又半。大便日一次 带溏。仍宜脾肺并治 少佐滋肾养肝之法。

用四君子汤加苡仁、芡实、首乌、女贞、款冬、巴旦杏、五味子等 引以南枣、白花百合 煎好去渣 入生姜汁六分 冲。

服数帖颇安。

复诊：服前方颇合 因方中无熟地滋阴 以为不能速效 以故复延前医用熟地、枸杞、归身、附子、霞天曲、茯苓、党参、白术、五味子、白石英

辈三四帖，喘咳反增，而且日间尤甚于夜，痰咳不易，食减，不能卧。始知余药对症，复求诊治。脉右虚突，左弦硬。较前病增，自取之也。其人意，中老年续弦，自揣肾虚极矣，非熟地不能补。殊不知脾肺久虚，重用熟地辈滋泥之药，徒然腻膈滞脾，又何取乎早投。况便溏日久，更非所宜。今虽深悉，其如喘咳已增重矣，议益气定喘法。

生黄芪二钱，盐水炒 西党参三钱 山药三钱，炒 苡仁五钱，炒 蛤粉炒阿胶三钱 海浮石三钱 茯苓一钱半 炙草八分 五味子四分，研 款冬花三钱 巴旦杏三钱，去皮尖 扁豆三钱，炒

加大南枣三枚，去核 银杏十四粒，去心衣，同煎。

服前方四帖，喘咳顿减，足征扶脾、肺尤甚于滋肾、肝也。原方再六剂，神健、食增、便结、喘平，咳痰亦十去其七八矣。

复诊（己丑正月初五日）：

去冬进药，诸恙向安。残冬停药，自觉气稍逆，痰稍增。据述即于前方中去党参，加人参五分。又服三剂甚妥，今延诊定方于下：

炙黄芪三钱 西党参四钱 鹿角霜一钱半

茯苓一钱半 大熟地四钱 淮山药三钱,炒 焦冬
 术一钱半 炙草八分 巴旦杏三钱,去皮尖 北五味
 子五分,研 广皮白八分 牡蛎八钱,煨块
 加建莲肉五钱,去心同煎。
 调理十五剂,全愈。

(案猿) 山西杨国桢食后脐下作胀、胸闷
 呕酸治验

山西杨国桢,年六十二岁,戊子季冬。

食后脐下作胀,腕中闭闷,暖之不暢,酸水
 时呕,粘痰并出。病经匝月,大便秘结,二三日
 一解,脉象两关弦细。土制于木,当以二陈汤合
 温舒之法不应,又以“旋覆代赭”法出入亦不应。

于初九日仍用二陈汤,加沉香三分、砂仁六
 分,同煎去渣,以汤送左金丸六分。

服后酸水、粘痰顿减,脐下之胀亦缓。再服
 两剂,呕酸止矣,大便结粪已解,胀减三之一。

再以二陈汤加苡仁、砂仁、生山栀一钱五
 分,用生姜汁拌炒、淡茺萸三分、鸡内金二钱,炙
 同煎,两帖而愈。

(案猿) 管芝亭吐血三载,梦泄五年,体

瘦食减治验

管芝亭 年二十五 道光己丑季春。

向有吐血症 已三年矣。又有梦泄病 迄今五载矣。吐血屡发 刻下虽日吐无多 而体瘦食少 究非所宜 况又有梦泄耶。

案云 脉右软左濡 上则吐红 下则遗白。病经有年 屡发无时。攸关坤土之不足 坎水之有亏。而脾恶湿 肾恶燥 二者最难调摄。善治者 于先后缓急轻重间而求之 斯为善矣。

生黄芪三钱 盐水炒 丹参五钱 山药三钱 炒
天冬一钱半 去心 玄武板五钱 炙 侧柏叶三钱 炙
茯苓一钱半 炙草八分 真降香一钱 劈

加参三七四分 磨冲 藕汁一酒杯 冲。

服两剂 血止未吐 惟痰中血丝未净耳。

复诊 西党参三钱 淮山药三钱 炒 建莲肉
四钱 去心 芡实三钱 炒 玄武板五钱 炙 漂淡人
中白一钱 生黄芪二钱 盐水炒 茯苓一钱半 天冬
一钱半 去心 炙甘草八分

加参三七四分 磨冲 藕汁一酒杯 冲。

服前方五帖 痰中之血又止矣。

(案猿) 歙县洪季威孝廉四兄先生病后

动辄冷汗、头眩欲仆 阳虚阴弱危险奇验

歙县洪季威四兄先生 己丑五月初六诊。

病后中气不足 动辄冷汗 舌苔肥白 尾骶骨(即尻骨)痛。脉形细爽 不能鼓指 左三部濡小不足。阴气亏而卫阳不护 当扶阳益阴 冀其汗止 庶免虚波之虞。

人参一钱 另煎 冲 於白术二钱 土炒 茯神三钱 炙草八分 熟附子一钱 淡干姜一钱 炒 生黄芪三钱 北五味子五分 研

进药后 头与手臂冷汗未出 稍动即有小汗 食仍未贪 胸中气闷 额心胀疼。有上轻下重之势 又有头眩欲仆之象 前方益气、护阳、敛汗颇为合宜 而食饮不贪 舌苔腻白 胸闷、额疼亦须兼治。进谷乃昌 亦是紧要关头。据述向年痰发 姜、附服过四十余帖而奏绩 自信虚寒之体。就余论之 药以治病对证便是良方。阴虚体质而兼阳弱者 又非概以温热之药为法也。昨方之用附子理中法者 亦救急从权之治也 暂用取效 分量多寡不同 随证脉而增减斯可矣。

复诊(五月初七日方):

人参六分 另煎 冲 於白术一钱半 土炒 淡附子六分 干姜五分 炒 茯神三钱 炒枣仁三钱

干石斛四钱 南枣两个,去核 炙草七分 左牡蛎五钱 煨 白池菊八分 陈皮一钱 五味子五分,研

上药煎服,诸恙渐减。惟动辄汗出,或食即出冷汗,甚至发根亦有。幸不如珠之滴,亦不淋漓直流,稍能进食,然究宜速止其汗为亟亟也。

复诊(五月初八日方):

生黄芪三钱,盐水炒 於白术一钱半,土炒 元参一钱半 白芍一钱半,炒 姜半夏一钱半 炒枣仁三钱 木香六分 茯神三钱 石决明四钱,盐水煨块 炙甘草八分 陈皮一钱 乌梅肉七分 麻黄根六分

服一帖,早上吃粥未出汗,头眩额胀、舌胎糙亦渐减,而食饮亦渐贪矣。

原方再剂,动辄汗出十减六七,转侧头眩欲仆等状亦减大半矣。大便六七日未解,缘汗多肠燥,无足虑。舌尖及两旁渐转淡红色,此胃土渐和之象也。

复诊(五月初十日方):

用“五味异功”加归、芍、丹参、柏子仁、木香、远志、北五味子、小麦;加麻黄节六分同煎。

服两帖,诸恙渐平,食亦喜进。再以归脾汤

出入,调理心脾,间佐以六君子汤,不数日而收功。

(案猿) 湖广周正璉暑湿症误治几危奇验

湖广周正璉,年五十三,己丑八月十四日诊,暑湿症误治几危治验。

病由七月间暑湿内侵,寒热胸闷。医以清疏却湿,热虽退,而胸闷、痰多、溲赤、便秘未减。更医,医以清凉佐大黄、芒硝等服之,大便仍未解。又以消导佐更衣丸,亦不解。又有用麻仁丸等法,不应。医更数手,非但便秘十余日不通,反增口糜、咽干,舌胎淡白湿润,上腭、两颌干燥无津。刻吐白痰,黏腻如胶,状若瓜子大,时吐无宁刻。小溲短赤,大便十余日未解,食饮甚少。细审之,因口苦粘腻,痰胶满嘴,牙龈白腐,上腭干涸,以故粥难下咽,惟用炒米泡汤咽下以充饥,非不欲食者可比。于八月十四延治,诊其脉左沉细如丝,右脉稍大于左,亦在沉小、弦细之间。知其中焦阻膈,上则口糜,下则便秘。概以通幽攻伐,非惟大便不通,徒伤中气,无怪乎口糜腐而干涸喜饮也。当以厚朴、葵仁、

二苓、麦、斛、阿胶、南枣、元参辈服之，肢体少有微汗，身中渐有活动之机。

次日，原方去厚朴、阿胶，加二原地、麻仁等。服后有转失气，而大便仍无，似觉精神稍健，其口苦、黏腻白痰、龈腐、干涸、喜饮、刻吐粘沫无已，俱未一减，《经》云：“膈肠不便，上为口糜”，下则便溺不爽者是也。治阳明而兼治少阳，冀其中焦和而口齿利，食饮贪而大便通矣。

八月十六日方附下：

小生地四钱 瓜蒌仁三钱 淡干姜八分 炒
僵蚕一钱半 灸 地骨皮三钱 广藿香一钱半 鲜
石斛三钱 柴胡八分 薄荷头一钱 归身一钱半
生甘草六分

上药十一味，煎好去渣，入生白蜜六钱，冲，用此以润大便之燥结。

服此一帖，口糜若失，黏腻之痰竟不一吐，且口舌上腭干涸、龈腐亦不自觉矣。

次日，原方去归身、薄荷，加麦冬、赤茯苓等。再剂，胃和食增，惟大便半月未解。仍宜养胃、生津、润燥以通幽，方用生首乌、玉竹、柏子仁、归、陈、麦、斛、枳实、山楂等。煎服一剂，午后大便结粪成条，早晚两次，解之甚畅，诸恙向

安矣。

月余之病 ,医更数手。因妄通大便而致口糜肉腐 ,甚至食难下咽 ,几乎误事。得余十六日方 ,一剂而口糜等全愈 ,再剂而食进神安。又以生津润燥一剂 ,而半月之便秘顿通。用药若有神助 ,全赖心领意会间 ,非笔舌所能罄其长也。

(案猿) 韩晚香类中症几危 ,又兼滞下后重之验

韩晚香先生 ,年六十三 ,己丑八月初十日 ,类中症。

体丰身健 ,劳神会计 ,两妾 ,子幼 ,每夜饮酒半斤之酣。忽于初十二鼓时 ,身蜷语謇 ,畏寒身热 ,痰声如锯 ,连泻数次 ,举家仓皇。于十一日侵晨 ,乃甥陆琴轩六兄特邀余诊治。余至 ,问答无知 ,神识模糊 ,敲齿视舌。舌苔白腻 ,中心淡黄。诊脉时 ,手臂牵掣 ,忽然转里 ,有劲厥之象。脉形软小 ,左弦细。类中之萌 ,深恐昏厥 ,权拟温中、却湿、除痰之法 ,俟其转机再商。

姜厚朴一钱 姜半夏一钱半 草蔻仁一钱 炒
赤苓三钱 广木香六分 猪苓一钱半 泽泻一钱半
橘皮一钱 淡茺萸三分

引竹沥六钱，入生姜汁两小匙，冲服。

服后寒热退，神识稍清，泄泻未已，体倦不饥。

复诊（八月十二日方）：

姜厚朴一钱 煨葛根一钱半 姜半夏一钱半
赤苓三钱 煨木香七分 薏苡仁四钱，炒 白通草
八分 泽泻一钱半 淡干姜六分，炒 生甘草六分
陈胆星六分

加竹沥六钱，生姜汁二匙冲服。

服此，诸恙渐安，神识清而语言爽，并能自坐，问答明白，大有转机。第泄泻而转白痢，里急后重，腹痛即痢，又非轻候。况自早至申已十有余次，溺短赤，舌苔滑，食不贪，此脾传肾之贼邪，险候也，慎勿渺视。

十三日复诊方列下：

姜厚朴一钱 薤白三钱 豆豉三钱 木香七分
半夏曲一钱半 五谷虫一钱半，炙 赤苓三钱 滑
石三钱 淡茱萸三分 甘草六分

加白扁豆花十四朵，洗，鲜稻叶三钱。

服后肠中稍松爽，今转红白痢，昼夜约五十余度，里急后重。

十四日复诊：用扁豆、苡仁、二苓、滑、草、

槟、陈、枳、桔、木香等十一味，加生谷芽五钱、红白扁豆花各十二朵，洗净同煎。

服后如前，因天气炎热，床侧窗中冒风，至夜半忽然身热烦躁，痢势尤甚，口干喜饮，便急甚速，所泻者水多积少，不饥，小溲短少。

十五日复诊：用煨葛根、苏梗、半夏曲、石斛、二苓、甘、陈、芩、芍、升、桔、谷芽、木香等十四味，煎服。

服一帖，热退痢缓，口渴亦减，食渐贪，惟红白痢兼里急后重之势未减也。

复诊（八月十六日方）：

川黄连四分 白头翁一钱 苡仁五钱 炒 赤芩三钱 半夏曲一钱半 广木香七分 猪苓一钱半 通草八分 赤芍药一钱半 炒

加生益智仁五分、生谷芽六钱、鲜荷叶一小个（托底煎药）。

服后痢又减，一昼夜约三十余度。十七、八、九三日仍于原方出入，一日可进粥二三盏。自早至夜痢势较前减半，而究有里急后重之势。

复诊（八月二十日方）：

焦冬术一钱半 山药三钱 苡仁四钱 炒 归身一钱 炒 焦谷芽三钱 白芍一钱半 炒 查肉三

钱 炒 桔梗一钱 炙甘草七分

服前方两帖 ,里急平 ,后重未已。进食如前 ,积少粪多 ,一日夜约数次 睡安。

复诊 (八月二十二日方):

玉竹四钱 扁豆三钱 炒 苡仁四钱 炒 酒炒
条芩一钱 水炙甘草六分 白芍一钱半 炒 柴胡
三分 蜜炙升麻三分 半夏曲一钱半

加陈粳米一撮同煎 ,绢包扎 ,倒河内。

服三帖痢止 ,每解一二次 ,无积 纯粪 ,知饥能纳。再以“六君子”加建莲、山药辈以调坤土 ,精神渐复。数日后 ,用“归芍六君子”调理收功。

(案 源) 萧山胡福堂鼻衄期年复发治验

萧山胡福堂 ,己丑八月 ,鼻衄复发。

去秋衄血 ,几乎昏晕而脱 ,得余大剂壮水而痊。记前三百五十一页内 ,可检阅之。今正期年复衄 ,先觉胸闷不爽 ,三四日而鼻衄随至。右脉浮软 ,左弦大。相火上升 ,治宜养阴降火 ,兼之逐瘀。

大生地五钱 元参三钱 茜草一钱半 漂淡
人中白一钱 真降香二钱 劈 甜梨汁一酒杯 冲
藕汁一茶杯 冲 血余炭六分 冲

上五味煎好去渣 ,入二汁和血余冲前药汤内服。如冷 ,再隔汤炖温服。

服一帖 ,当夜未衄。至次日早上 ,又衄血直冲盈盂 ,原方再剂而血止。

(案 源) 山西康上珍 戌初气逆、腹胀、暖腐、下行使泄有声 ,寒与湿食交阻 ,并论药服有时乃效之验

山西康上珍。

食入至戌初 ,腹中之气必上逆 ,暖出腐气或朝食原味之气。中宫奔响 ,腹胀 ,气从下行即便泄有声 ,迄今匝月 ,脉息两关沉细。寒与湿食交阻 ,久防成“膈” ,法宜温中、却湿、运食为妥。

益智仁一钱半 草蔻仁一钱半 苡仁五钱 炒
赤苓三钱 鸡内金二钱 炙 山查肉三钱 炒 神曲
三钱 炒 半夏曲一钱半

加生姜两片。

药服气逆愈增 ,细审之 ,西人放债 ,朝出暮归 ,药服于气逆之时 ,故难建绩。

次日复诊 ,原方再剂 ,嘱其午前服药 ,方可图功。服后 ,至戌初 ,气逆十减六七 ,且暖气胸中松爽 ,并无腐气原味。于此观之 ,用药固宜对

病为最，而服药之先后亦要明白其理，始能见效。如斯症，药服于气逆之先，故效速。

复诊用淡干姜、草薹仁、木香、陈、枳、二苓、泽泻、砂仁等

加生姜二片同煎。

服三帖，诸恙俱安矣。

(案源) 顾建功痛痹症，外寒引动内湿治
验

顾建功，己丑十月初七日，痛痹症。

五日前，畏寒舌白。素好浓茶，头微热，食无味。由外寒引动内湿，骤然腰胯、股腿、足膝皆痛，步履维艰，屈伸不能。法宜舒筋活血、解寒除湿为最也。

独活一钱半 秦艽二钱 续断二钱，炒 杜仲三钱，炒 藿豆皮三钱 蚕沙三钱 木瓜一钱半 苡仁五钱，炒 茅山术一钱半，炒 当归二钱 苏木节五钱 黄松节即茯神心木，三钱

加嫩桑枝一两。

服一帖，腰股腿俱渐松，稍可以立，畏寒微热俱不觉矣。原方去蚕沙、续断，加威灵仙、怀牛膝。再剂，如前安妥。

复诊 (十月初九日方):

制香附三钱 归身二钱 秦艽二钱 杜仲三钱
炒 薏苡仁五钱 炒 木瓜一钱半 茯苓三钱
炙草六分 苏木节五钱 红花一钱半 怀牛膝一钱半
蚕沙三钱

加嫩桑枝一两五钱、杉木节五钱。

服前方诸恙皆减,两胁刺痛未已。原方去秦艽、蚕沙、苏木节,加焦冬术、虎胫骨、汉防己等。再剂,两胁不觉刺痛矣。

复诊 (十月十一日方):

焦冬术一钱半 苡仁五钱 炒 续断一钱半 炒
松节三钱 炙甘草七分 归身一钱半 茯苓一钱半
陈皮一钱半 黄松节即茯神心木,三钱 怀牛膝一钱半
姜半夏一钱半 杜仲三钱 炒 虎胫骨三钱 炙
加嫩桑枝一两半。

服两帖,痛痹日缓,食入有味,睡卧不痛,起立稍便,腿足跖之痛俱平。惟右膝腿湾及左腰胯处仍觉板滞不舒,自知在肌肉之间,非前之痛在筋骨间也。惟步履究不能自如,更宜养血舒筋。

复诊 (十月十三日方):

制首乌三钱 归身一钱半 木瓜一钱半 乳香一

钱同炒 松节四钱 虎髀骨四钱 酥炙 陈皮一钱半
茯苓二钱 苡仁五钱 炒 怀牛膝一钱半 五加皮
三钱 炙甘草六分

加白丑筋一两 锤扁 水浸软 剪短 用河水
三盏煎去一半 去筋 将汤代水煎药 煎至一半
服。

服后前症更减 步履渐自活动。再剂 更
妥。随用四君子汤加当归、木瓜、苡仁、女贞子、
虎腰骨、杜仲、五加皮辈 仍以牛筋如前煎汤代
水煎药 服五帖而痊。

(案源) 金岳山颈肩痠疼 转侧维艰 寒
湿上侵治验

金岳山 六十四岁 庚寅正月初二日诊。

寒湿上侵 颈肩痠疼 转侧维艰 波及两臂。
脉象浮紧 右滑。防有痛痹之虞 拟舒风活血
法。

秦艽二钱 防风一钱半 羌活一钱半 桂枝—
钱 片姜黄二钱 嫩桑枝一两 黄松节三钱 当
归一钱半 制半夏一钱半

加苏木节五钱 乳香一钱 (去油 箸包押煎)

服此两帖 颈肩之牵疼十去其八 惟两肘臂

尚疼痛，咳痰则胸膈牵痛气逆。

初四日复诊：用旋覆花、秦艽、制半夏、片姜黄、茯苓、当归、陈皮、杏仁、甘草、苡仁、木瓜、五加皮等，三剂而全愈。

（案源）王履安妹倩旧恙屡发，气逆痰鸣治验

王履安妹倩，年五十二，庚寅正月初五日诊。

虚羸有年，频发无时，气逆痰鸣，舌白无苔。胃阳虚而食饮不贪，荣阴亏而夜寐少安。肌瘦肉削，脉息软弱，深虑虚波之险。

大有黄芪二钱 西党参三钱 鹿角霜一钱半
茯苓三钱 焦冬术一钱半 淡干姜八分，炒 旋覆花三钱，绢包扎 炙草八分 代赭石三钱，煅红醋淬
叭啞杏三钱，去皮尖

加大南枣两枚，去核。

服一帖，据述药入喉即觉痰声顿止，少顷即睡多刻。醒后即索粥吃，食后又睡多时。约饮粥两次，夜间好眠，药服颇宜。

次日仍用原方，参、芪各加一钱，鹿角霜加倍，余如前。再服三剂，而气逆痰鸣之势如前安

妥。再以原方去旋覆、代赭、杏仁，加首乌、归身、陈皮白、五味子四分，左牡蛎八钱，紫衣胡桃肉两枚，连鬲板等，连前共十四味，同煎服。服五剂，食增睡安，又可带病延年矣。幸甚！幸甚！

（案 源） 泾县朱际云心肾不交，水火不济
治验

泾县朱际云，年三十五，庚寅二月，心肾不交症治验。

左寸虚数，卜心神之失守；左尺虚浮，知肾水之有亏。是以火升则心惕足冷，火降则惕止足暖。时而口苦作酸，忽而口甜带臭。痰有时黑，亦有时黄。种种见证，虽关心肾，亦未尝不关乎脾也。盖心为姹女^①，肾属婴儿^②，其中无黄婆^③为之媒合，则心肾难交，水火难济也。况右关脾脉虚数而滑，膏粱厚味阻滞中州，痰火内结，常常梦泄，非无以也。吾于斯而得其治法，识者鉴之，匪朝伊夕功^④也。

① 姹女（chà 讒～）少女，亦作囈女。借指心神。

② 婴儿，借指肾精。

③ 黄婆，脾能母养五脏，养生家谓之黄婆。

④ 匪朝伊夕功：非一日之功。

西党参三钱 焦冬术一钱半 建莲肉五钱,去
心 茯神三钱 川黄连四分 淡黄芩一钱半 炙甘
草六分

上味七味,用向阳土二两,淘净澄清,煎汤
代水。候药煎好去渣,投梨汁六钱,蔗浆五钱,
二汁和匀冲,再隔汤炖温服。

服两帖,诸恙减半。因火不升,则足亦不
冷,足不冷则夜能寐而安矣。

复诊:原方内川连用五分,梨汁用八钱,余
照前。再服两帖,诸恙俱平。惟临睡时,觉脐上
少有火升之象,喉舌干燥,其余安妥。

复诊:再用参、芪各三钱,建莲、茯苓、小川
连、水炙甘草、桑、陈、花粉等九味,河水煎好去
渣,入雪梨汁八钱(炖温服)。

服三帖,中焦之火不升,口燥舌干顿平,两
胁疼及头眩十去其八矣。

复诊(二月十七日方):

午前服归脾丸三钱,橘皮汤送。晚进知柏
地黄丸五钱,淡盐汤下。服五剂如前,颇妙。

复诊(二月二十二日方):

大熟地四钱 玄武板四钱,炙 炙鳖甲三钱
山药三钱,炒 女贞子三钱 山萸肉一钱半 粉丹

皮一钱半 炒 杜仲三钱 炒 马料豆三钱 盐水炒
加猪脊髓三条。

服此七帖 ,前恙俱安。继以膏滋 ,调理收功。

膏滋方 ,三月三十日定 :

西党参五两 大熟地八两 元武胶三两 ,候后
膏煎成大半 ,同后猪脊烱化 山药四两 ,炒 柏子仁四
两 ,去油 山萸肉三两 金石斛四两 杜仲三两 ,炒
女贞子四两 ,蜜炙 猪脊髓二十一条 ,去外皮 ,以髓捣烂 ,
同玄武胶齐下再煎 ,候烱化搅匀 芡实四两 ,炒 金樱子
三两 ,去毛 新会皮一两半

上药用长流水如法煎膏 ,候膏将成 ,入玄武
胶、脊髓再煎 ,至烱化和匀。待冷贮磁器内 ,置
井水盆内 ,退火气一宿。每早空心服五钱 ,隔汤
炖温服或和滚水冲服 橘饼汤过口亦可。

(案源) 泾县朱小园疝症有年 ,兼之滑精
治验 (并附丸方)

泾县朱小园 ,年二十二岁 ,道光庚寅诊。

疝症有年 ,兼之滑精 ,肝肾有亏。体肥痰
多 ,食后腹膨 ,又关坤土之不运。此右脉之所以
软 ,左关、尺之所以虚弦也。暂服汤药 ,继以丸

剂调补，自无遗憾矣。

人参五分，冲 大熟地四钱 枸杞子三钱 山
药三钱，炒 龟板三钱，炙 湖莲肉三钱，炒，去心 荔
枝核三钱，炒，研 青皮一钱

煎好去渣，投水陆二仙膏三钱化服。

丸方：右三部浮小软滑，左脉虚弦尺濡，病
关足三阴。方中用异功散益气调脾，俾脾土得
令，食后不致膨胀气腐，而湿痰可祛也；加以壮
水滋木、温肾固精之法，则疝可平而精滑可已
也，诚善治肝、脾、肾之良法也。

人参二两，另研极细和匀 於潜术二两，土炒 大
熟地六两 山药三两，炒 龟板六两，炙 女贞子五
两 山萸肉三两 茯苓二两 芡实四两，炒 湖莲
肉四两，去心 生菟丝子一两半 炙草一两 小茴
香二两，盐水炒 砂仁一两 新会皮一两半

上药十五味，各焙研极细末，用金樱子煎膏
代蜜为丸，如桐子大。每服五钱，清晨建莲汤送
下。

〔案源〕 於潜董仲海中满症治验

於潜董仲海，四十九岁，庚寅四月初五诊。

中满症由痒疥湿气而起，疡科重投清火解

毒之剂，致湿气内蕴。面色痿黄，渐自面目虚浮，大腹膨胀，两足浮肿，便溏澀少，食减肌瘦，脉象虚濡。证名肿满，中虚挟湿，治之非易。法宜温中除湿，加意调摄，斯为善矣。

治肿以补中行气为主，治胀必补中行湿为要。是症二者兼之，不责速效，庶几无妨。

焦冬术二钱 白扁豆三钱，炒 苡仁五钱，炒
茯苓三钱 广木香七分 淡干姜八分，炒 陈皮一钱半
青皮一钱 川石斛四钱 山查炭三钱
加生姜皮一钱。

服此三帖，两足腿肿渐有宽象，食亦渐贪，余如前。

复诊：

焦冬术一钱半 薏苡仁五钱，炒 建莲肉三钱，炒，去心
干姜八分 益智仁一钱 鸡内金二钱，炙
广木香六分 麦芽三钱，炒 山查炭三钱 陈皮一钱半
上沉香四分

服三剂，腹胀始松，据云十去其三，原方略为增减。再二剂，胀平、食增，小腿肿退，惟足跗踝之浮肿未消，再用五味异功加淡茺萸、苡仁、查肉、麦芽等服之。四帖，肿胀俱已全退，大便渐结，惟疥痒未平，用四君子汤加苍耳子、白芷、

苡仁、归、芍辈，加蜜炙升、柴各三分为引。再四剂，足跖之肿固退，即疥疮之痒亦止矣。后以“归芍六君”加味，调理收功。

(案源) 海盐张铁珊喉痒如有物阻于上奇症奇验

海盐张铁珊五兄，道光庚寅岁五月二十得喉痒症。

天气通于喉，地气通于咽。喉中燥痒咳呛，痰不易出，如有物阻。必得渐次痰出，咳始平而喉始爽。初不介意，刻则日发数次。固由于气之上壅，亦关火郁于脑门。气为火伴，清肃之令不降，斯疾之所由来也。何以知之，验之于右脉细小微数是其征耶。

据述形状，喉中似有箬叶、竹衣贴近于喉管中，象其意也。其实咳之、咯之而极力以吐之，皆无其事也。

百部二钱 盐水炒橘红八分 黑苏子一钱半，炒 桔梗八分 水炙甘草五分 生蛤壳五钱 辛夷一钱，去外皮毛 焙勿黄

煎好去渣，入雪梨汁六钱，和生姜汁六分，冲。

服两帖，喉中燥痒顿减，痰亦易出，病去三

之二。

复诊：原方去甘、桔、蛤壳三味，加海浮石、瓜蒌仁各三钱、不落水西瓜子一两同煎，两帖而痊。

（案源）万梅圃胎疟误治转剧治验

万梅圃，庚寅五月，胎疟误治增重治验。

胎疟初发，发在申末，寒凜手战，至戌初而渐热。热时口渴喜饮，饮则汗出，而热不止，至二鼓而渐退，迄今五六发。服前医方，疟不减。二日前，因便秘，治疟方中佐麻仁丸始解结粪，夜半腹痛，继解溏粪。是以疟至，寒热更盛，因请治于余。诊其脉左弦细，小腹有块且疼，此疟邪内伏，体瘦食减，正不胜邪，岂可妄攻。细阅前方，尚用桂枝解肌，又加以茅术、石膏，连进二剂，疟势愈剧。就此时计，究宜和阴阳，冀其寒热速减为最。

草薏仁一钱半 炒 常山苗七分 酒炒 青蒿子二钱 藿梗一钱半 姜半夏一钱半 淡黄芩一钱 炒 滑石三钱 赤苓三钱 猪苓一钱半 甘草五分 鲜石斛四钱

加生姜皮五分、松萝茶三分。

服药于疟发之前一时 ,来时寒战鼓栗之势已缓 ,热仍二更而退。

复诊 :用小柴胡汤加知母、煨草果、块滑石、槟榔、青皮、赤苓、瓜蒌仁等煎服、疟来寒热俱渐减 ,大便亦结 ,食亦稍贪 ,小腹之块亦稍软 ,非前之膨急不爽可较也。然寒时仍凜凜 ,热至尚渴饮无比。仍从少阳、阳明 和解退邪为善。

复诊方列下 :

柴胡八分 葛根一钱半 黄芩一钱半 ,炒 知母一钱半 花粉一钱半 草果一钱 ,煨 青皮一钱 滑石三钱 赤苓三钱 甘草六分 槟榔一钱半 谷芽四钱

加生姜二片、大黑枣一枚 ,去核。

服后寒热俱减半 ,冷而不战 ,热不甚渴 ,至起更而热退 ,小腹之块疼亦渐软而松矣。再以原方去槟榔、谷芽 ,加鳖甲、黑山栀、姜、枣煎。服之疟至 ,寒热更轻 ,且不渴饮。

再以小柴胡汤去半夏 ,加鳖甲、当归、花粉、麦冬、滑石、陈皮、知母、酒炒常山八分、煨草果一钱 ,加姜、枣煎。又用乌药一钱以兼治少腹之块 ,其疼已止。服此疟止 ,诸恙俱平。继以调脾养肝 ,三四剂而收全功矣。

此胎症也，庸工误投苍术白虎，致症增剧。申后寒来战栗鼓颔，约一时而转热，热至渴饮不已，较寒加倍，至二鼓始退。自服余方后，寒热日减，得力于小柴胡汤加减，其功匪浅。

（案 缘） 常熟胡在德六年前腹痛异常，今复发奇验

常熟胡在德，年近四旬。

细绎病情，素好饮酒，又贪浓茶。五六年前，于脐之上下四围气壅不爽，作痛异常，已后未发，直至于今而复发，痛极难忍。服他医调治脾阳之药反甚，于道光庚寅五月二十五日特求治于余。

案云 绕脐作楚，脉形弦紧，寒为气阻。旧疾有年，今始复发，业已十日，温舒为宜。（带下积存奇效方载后三百九十五页内）

制香附二钱 玄胡索一钱半 赤茯苓三钱
青皮三钱 淡茺萸四分 广木香六分 薤白头三钱
当归一钱半

加檀香木四分。

进药后，顷之脐之四旁响动不已，约一时痛缓欲大便，未一刻解白冻一块如胡桃大，十日之

痛从此顿失矣。

复诊：

制香附三钱 元胡索一钱半 淡茺萸三分
甘草六分 草薳仁一钱半,炒 白芍药一钱半,炒
炮姜四分 檀香四分

服前方两帖,又解寒积白冻成堆。六月初二用四君子加扁豆、木香、炮姜等,调理全愈。

(案缘) 陆吟轩虚羸几危,详论治法奇验
陆吟轩,年逾二旬,庚寅五月,虚羸几危治
验。

阴亏体质,潮热匝月,头眩眼花,腰疼腿痛,食少肌瘦,舌绛喉疼,兼之咳呛。脉形右虚软,左弦劲,尺濡小。金虚水亏,木旺火升,而心神不静也。心何以不静,相火内动也。固宜养水,亦须保心,而心尤难言之矣。禅机云:赤肉团上有一无位真人,诚哉是言!惟无位乃称真人,设有位则仍为赤肉团矣。于斯而守真,于斯而求治。冀其心肾交而水火济,速退潮热,庶乎戩穀。

九真藤三钱,即首乌藤,又名夜交藤 生鳖甲三钱

青蒿子一钱半 麦冬一钱半 去心 北沙参三钱 地骨皮二钱 炒黑归身一钱 茯神三钱 水炙甘草六分 金石斛四钱

加藕二两,切片同煎,蔗浆六钱,冲。

服两帖,潮热退其七八,惟喉疼、头眩、眼花、食少未平耳。

复诊:原方去沙参,加龟板、元参、制西洋参、池菊炭六分,引换南枣两枚,去核。

服此五帖,潮热退,食贪,眩晕、咽疼俱平。

复诊:

玄武板三钱 炙 炙鳖甲三钱 西党参三钱 茯苓一钱半 淮山药三钱 炒 山萸肉一钱半 女贞子三钱 陈皮一钱半 炙甘草八分

煎服数剂,全愈。

(案 纒) 山西张景章腹痛误攻增重治验

山西张景章,五月下浣,腹痛症。

因气、食、湿交阻,以致胸闷、骨节疼,舌苔白。私进大黄及青麟丸辈,致令腹痛甚剧,坐立难忍。脉象沉细,法宜温舒。

草薳仁一钱半 炒 木香六分 干姜七分 查炭三钱 半夏曲一钱半 枳壳一钱半 滑石三钱

橘皮一钱半 赤茯苓三钱 淡茺萸四分

服后痛渐缓,仍用原方。再剂痛势大减,脐腹块攻,大便欲解不能,食阻气滞之故耳。当用二陈汤加木香、枳壳、查肉、麦芽、神曲等,煎好去渣,送更衣丸三钱。少顷大便结粪成条,后兼溏粪而止。再以和胃调脾,使其能食而不胀满,是为上着。服之,果然即愈。

(案缘) 陈旭岑三令郎暑湿症误治,危笃救苏奇验

陈旭岑先生三令郎,年逾二旬。

病由暑热挟湿而起,医妄投川连、厚朴,继又早进犀、羚、翘、连。病增更医,又进竹叶石膏汤佐芩、连辈,而热仍未解。因大便秘,用麻仁丸等始解,先结后溏,身热稍缓,究未尽彻。两耳失聪,口干喜饮西瓜汁,据述饮时似乎喉舌觉爽,不饮顷之唇舌仍干,喉中黏痰时吐,惟饮米汤,粥不喜进,小便短赤,独赖西瓜汁以润喉舌之干。医更数手,病势日增,于庚寅六月初九始问治于余。诊其脉右浮软无力,左关弦细尺濡。知其暑热为寒凉遏抑,阳明胃津已涸,是以口干喜饮弗克少待,兼多咳呛痰黏,不喜纳谷。种种

见证，一身津液尽为寒凉所伤，无怪乎喉舌干而热终未能退彻也。病延匝月之久，当以养胃生津之法，冀其津回而食自贪，不治热而热自退矣。弗此之求，变端莫测，药岂轻投哉。

制西洋参一钱半 大麦冬一钱半，去心 鲜莲肉一两，去心衣 甘草六分 川贝母一钱半，去心 白花百合一两 生谷芽四钱 南枣两枚，去核 绿豆皮一钱半

加鲜稻叶三钱，洗净同煎。

服前方，口干顿除，热亦退矣。

再以原方去百合、绿豆皮、鲜稻叶，加北沙参、石斛、蔗浆六钱冲、藕一两同煎。服三剂，诸恙霍然矣。

(案缘) 镇海倪秉纲忽然泄泻，昼夜无度治验

镇海倪秉纲，六月二十九日，年逾三旬。

骤然泄泻，昼夜无度，脉息沉细。受寒挟湿，法从温舒。

草蔻仁一钱半 煨木香六分 苡仁五钱，炒 赤苓三钱 陈粳米五钱，绢包扎煎 陈皮白一钱 猪苓一钱半 甘草六分 泽泻一钱半

加鲜荷叶一小个托底煎药。
服一帖，泄泻立止。

（案缘）张竹坡长子友卿暑湿病，复犯房劳险症治验

张竹坡长子友卿，年逾二旬，暑湿症复犯房劳治验。

病得之六月二十七，身热而起。次日尚啖葷面，再日又食肉点。至二十九日又犯房劳，少不节欲，阴气亏而暑湿之邪留恋于内，未克达表，以故身热忽轻忽重亦无定期也。加之食阻中宫，口干喜饮，水湿之邪未得从膀胱气化而出，同走阳明大肠而便泄也。有时足冷，固由阴气之不充，亦关湿阻于足胫，二者兼有之也。明知证非轻候，况脉象濡细，显有明征，而其所以犹可治者，邪达阳明。阳明为多气多血之乡，于斯而求治，或可免其变幻之虞矣。（道光十年七月初六诊）

煨葛根一钱半 青蒿子一钱半 淡黄芩一钱半
炒 赤苓三钱 煨木香六分 栝蒌根一钱半
鲜石斛四钱 滑石三钱 薏苡仁四钱，炒 广藿香
一钱半 猪苓一钱半 泽泻一钱半

加鲜稻叶五钱，洗净同煎。

服此，热势渐缓，便溏仅一次，口不甚干，小溲短少，脘腹微疼，余如前。次日，用煨葛根、丹皮、黄芩、车前、石斛、二苓、通草、地骨皮等九味，加陈粳米一撮，绢包线扎，用鲜荷叶一个，小者托底煎药。

服之如前无增减，惟夜半少有心烦、昏语之象。

复诊（七月初八日方）：

小川连五分，水炒 淡黄芩一钱半 姜半夏一钱半 赤苓三钱 青蒿子一钱半 地骨皮二钱 鲜石斛四钱 甘草六分

加陈米一撮，绢包线扎同煎。

服昨药后，至夜间烦躁、昏语。房中女伴传言内戚，次早延诸庸工，以为夹阴伤寒，必得温燥之药方能挽回。幸竹坡兄深信余言，伊等之方不许煎服。内戚袖手无法，又特代延曹乐山兄诊视，告知于竹坡，竹坡惟云既蒙代请，一诊只可，至于立方则断断不用，所服之药惟余定之方，必竹坡亲视煎之，何信之诚也。是日乐山至，亦以为暑湿夹食，因夺精之后邪难速退。亦云不可作夹阴伤寒论，而妄投燥热之剂。方用

生姜泻心汤加减，用醋炙半夏、黄芩、生西洋参各一钱半，黄连、甘草各六分，杏仁、瓜蒌全各四钱，赤苓三钱，生姜渣二分。是方未服，仍用余前方煎服。服后夜间似烦，天明热势大缓，大便不溏，喜饮不渴，稍进稀粥，胃土渐有运动之机。

复诊（七月初九日方）：

小川连五分 姜半夏一钱半 黄芩一钱半 甘草六分 细生地四钱 粉丹皮一钱半 地骨皮二钱 赤苓三钱

加陈粳米一撮，如前煎。

服此，热已渐减，朝退暮增，十去其半，夜无昏语。

复诊（七月初十日方）：

病经十三日，热势大衰，口干不多饮。舌绛两边微白而有小沫。此胃中之湿浊未净也。今晨鼻衄些少，大便中兼有瘀血如瓜子式一二块。此长夏炎蒸时，过啖凉粉、瓜果，积而成瘀，与暑湿热相混而并于肺胃，以故上下见血也。胃与大肠同属阳明，肺与大肠相为表里，理固然也。法宜退热生津，兼清肺胃之火为妥。

西洋参一钱半，去皮 细生地四钱 桑白皮一钱半 赤苓三钱 金石斛四钱 地骨皮二钱 生谷

芽五钱 丹皮一钱半 炒 生甘草六分

加藕汁一酒杯 冲。

服此 热退七八 上下血止 再剂而热退清矣。又用养胃生津之剂 食贪睡安。继以调补肝肾之阴 不数日而全愈矣。

是证初起 至夜烦躁 渐有昏语。房中女伴传言内戚 议论纷纷。次早延诸庸工诊视 以为夹阴伤寒 非温燥之剂不能救 非茅术、厚朴、姜、桂之药不能治 立方深嘱早进 迟恐不及 使竹坡狐疑 几误大事。然竹坡素信于余 特问余：“能治不？”应之曰：“能治！第须依余用药 庶可无虞。”盖此证重在暑湿夹食 兼之房劳 不过阴气有亏。然年壮邪盛 究宜祛邪外达 不使内陷为最。纵是热盛 不过较平常之热增重耳 以阴虚阳往乘之也。如果症为夹阴所感 必有脉证可凭。不得概作阴症之治以误人 使冤鬼夜嚎 诚堪痛惜。竹坡深信余言 悉屏他医 将性命寄于指下 余一力担承 前案可鉴。仍以前法出入 清舒运滞 俾邪解、食消、热退、津生 不数日而全活。设当时轻信旁议 竟遭若辈之手 而以温燥为法 其性命不知何有矣。此皆竹坡兄为善之报欤 与余何功焉。

汪 庵云：“人惟知有外伤寒，而不知有内伤寒，讹作阴症，非也。凡冷物不宜多食，不独房劳为然也。”周扬俊曰：“房劳未尝不病阳症，头痛发热是也，但不可轻用凉药耳。若以曾犯房劳使用温药，杀人多矣”。诸书从未有发明及此者，世医皆罕知之。周子此论，可谓有功于世矣。由此观之，足征余之治张子之夹阴伤寒，而不用温燥之剂可鉴矣。

（案 缘） 胡在德滞下早投止涩，攻痛匝月，几成休息之验

常熟胡在德，庚寅八月十九日。

滞下未几，积垢未除，早进鸦片烟而积止，止虽止矣，积滞犹存。月余来攻痛无宁刻，时欲登圉，至圉积减，淹缠不已，转成休息。速宜温通，幸勿藐视。前有绕脐作痛症，记前三百八十六页内。

姜厚朴一钱 淡干姜七分，炒 制大黄三钱
枳实一钱 水炙甘草七分 广木香六分 陈皮一钱
半 五谷虫八分，焙

服此一帖，一昼夜攻痛如前。直至天明解结垢成堆，顷之痛缓，据述十去其七，腹中松爽，而胸脘尚有气闷之势。细审之，素好饮酒、喜茶，又不无湿阻。

复诊(八月二十日方):

茅山术一钱半 炒 姜厚朴一钱 薤白三钱
枳实一钱半 淡茺萸三分 山查炭三钱 木香七分
陈皮一钱 炙甘草五分 五谷虫一钱 炙

服一帖,脘腹响动,少顷解绛色粪成堆,自
午至夜计解三次,末次尤多,自此而腹痛若失。
次日再以四君子汤加扁豆、苡仁、杜仲、续断、
归、芍等,五帖全愈。

(案缘) 王采堂虚羸咳嗽,内热便泄,肌
瘦肉削,救生之验

王采堂,虚羸危症救苏治验,道光庚寅年,
十七岁。

阴虚体质,内热咳嗽上气,缠绵年余。肌瘦
肉削,脉息濡小,右软。脾胃日损,便泄不止,食
饮维艰。虚损之门,已露先机矣。更兼鼻衄常
发,阳络又伤,胃气难复。日投滋腻之品,坤元
愈耗,无怪肠滑不固。亟宜扶脾保肺,为正本究
源之法。(九月二十日诊)

人参六分,另煎冲 山药三钱 炒 款冬花三钱
茯神三钱 南枣两枚,去核 百合四钱 杜芡实五
钱 炒 天冬一钱,去心 甘草六分 水炙

加紫衣胡核肉一个 ,连鬲板用。

服药两帖 ,便泄已减 ,日仅一次 ,非前之日三四度可比 ,余如前。

复诊 (九月二十三日方) :原方去天冬 ,加薏苡仁五钱。再服两剂 ,便泄仍一次 ,咳嗽亦减 ,食饮稍贪 ,颇为合宜。

复诊 (九月二十五日方) :

人参六分 冲 黄芪一钱半 盐水炒 茯苓二钱
炙草六分 於白术一钱半 土炒 芡实四钱 炒 益
智仁八分 木香七分 煨 巴旦杏三钱 去皮尖 大
南枣三枚 去核 款冬花三钱

加白花百合二两 煎汤代水。

服四帖 精神稍健 安妥如前。

复诊 (二十九日方) :

西党参四钱 生黄芪三钱 盐水炒 山药三钱 ,
炒 扁豆三钱 炒 柏子霜三钱 款冬花三钱 茯
苓一钱半 炙草六分 煨木香八分 大南枣三枚 去
核

加白花百合二两 ,如前法。

服四帖 ,便溏间一日解一次 ,比前更妥。

复诊 (十月初四日方) :

西党参四钱 生黄芪三钱 盐水炒 焦於术一

钱半 扁豆三钱 炒 薏苡仁五钱 炒 白茯苓一钱半
巴旦杏三钱 去皮尖 炙草七分 诃子肉一钱 煨
大南枣三个 去核

加白花百合二两 如前法。

服此四帖便泄止，虽不结亦不溏。咳嗽渐减，食饮稍增，惟脉象仍软濡，舌苔绛剥。究关胃津未复，脾气未旺。咸由咳嗽内热，他医日投养阴滋腻之误也。自九月二十日问治于余，诊脉察色，首重脾胃为紧要关头。盖土为万物之母，胃为水谷之海，坤土一健则肺金得令，而便泄、咳嗽皆可从斯而向安矣，此药之所以效如桴鼓之应也。

复诊（十月初八日方）：

西党参四钱 炙黄芪三钱 焦於术一钱半 土
炒 山药三钱 炒 云茯苓一钱半 炙甘草八分
诃子肉一钱 煨 芡实三钱 炒 款冬花三钱 煨木
香八分

加白花百合二两 如前法。

服此四帖，大便始结。

十二日复诊：

原方去诃子、煨木香，加益智仁、女贞子等。
服六帖，如前安妥，惟咳嗽未大减，鼻洪仍

常发。

复诊(十月十八日方):

西党参五钱 炙黄芪三钱 蛤粉炒阿胶三钱
 山药三钱 炒 巴旦杏三钱 去皮尖 白茯苓一钱半
 炙甘草六分 芡实三钱 炒 薏苡仁五钱 炒 天冬
 一钱半 去心

加紫衣胡桃肉两枚 连鬲用。

服此方六帖,咳嗽自此而止,食亦增半,大便日解结粪一次。惟鼻洪常发,自幼有之,两日来血衄成条,甚则钟许,少则杯许。

二十四日:用四君子汤,内人参用六分,加沙参、玄武板、降香、漂淡人中白等,煎服四帖而血止。两足常冷如冰,天寒愈甚,再用四君子汤加女贞子、枸杞子、左牡蛎、鹿角霜等。服之如前之妥,再以归脾汤加减。至岁暮严寒,脉象虚软,间以益气养荣之法调理收功。从兹体丰神健,亦再生之福也。

(案缘) 广东南海钱小汀淋症,溺时痛如刀割治验

广东南海钱小汀,庚寅仲冬,淋症痛剧难忍治验。

年三旬 ,好酒贪色 ,寓所潮湿。忽然小便淋
涓滴难忍 ,内如刀割 ,出时腰弯背曲 ,脉形弦
数。湿火内郁 ,用后方两帖而霍然矣。

木通一钱 赤苓三钱 猪苓一钱半 泽泻一钱
半 青皮一钱 黑山栀一钱半 扁蓄一钱半 瞿麦
一钱半 甘草梢六分 车前子一钱半 炒
十味 ,顺流水煎。

(案 缘) 孙永征脾土久亏 ,喜啖厚味 ,脘
腹胀痛治验

休宁孙远斋翁 ,六十四岁。

素好酒喜面 ,纵啖厚味 ,脾土久亏。迩来脘
腹胀痛 ,得食愈增。舌苔厚浊腻滞 ,大便三日不
通。小溲短赤 ,出时热臭。脉息濡细 ,金^① 因
气壅而兼湿食交阻也。急则治标 ,先以舒通法。
(道光庚寅九月初八日诊)

制香附二钱 莱菔子三钱 ,炒 枳实一钱半
槟榔一钱半 广木香六分 小青皮一钱 乌药一钱
半 猪苓一钱半

煎好去渣 ,入生白蜜六钱 ,冲。

① 金(qiān 迁)都 ,皆。

服后胀痛顿缓七八,转失气始有。惟大便未解,小便仍如前。

复诊:是症大便不通,明知非结粪也。因其湿阻气壅,酒湿厚味填塞中焦,以致胀痛异常。加之误投温补,中宫之气愈壅愈滞,酿成溏粪,致令大便难,而小便热赤且臭也。必得大便一解,粘着之宿滞顿下,则腹中之胀痛尽彻也。当用制半夏、神曲、木香、莱菔子、赤苓、黑山栀、淡苡蓉、大腹绒、山楂肉、鸡内金等。

服之,果然黏腻之粪早晚两次,胀痛顿失矣。继以冬术、苡仁、扁豆、木香、莱菔子、制半夏、赤苓、生谷芽、大腹绒、广皮白等,加鸡内金、砂仁末(冲)补脾运食。煎服五剂,调理收功。

病愈后,至仲冬胸脘作胀,小腹兼疼,知饥不敢多进,因其胀也。于近处就医,治之不问,因又问治于余。诊其脉,右关细硬,左脉弦劲。气壅湿阻,上胀下疼,病在脾而波及于肝。宜以温中运湿,舒补兼施,庶几无妨。

西党参一钱半 生冬术一钱半 干姜八分 炒
 陈皮一钱半 淡菜萸四分 广木香七分 槟榔一钱
 乌药一钱半 炙甘草五分 紫沉香四分
 加鸡内金二钱 炙。

服两帖 ,胀痛之势顿止 ,食饮如常矣。

又用归芍六君子加干姜、益智仁、木香、山查、麦芽等共十三味为细末 ,用蒸饼打糊为丸 ,如桐子大。每食后 ,以炒米泡汤送下五钱 (方中分两未载 ,临时观虚实而酌之)。

(案 述) 门人金书山怔忡极险奇效奇验 (并详明病原治法)

门人金书山 ,年五十三 ,得怔忡极险症奇效屡验。

素属中虚阴亏之体 ,每早喜啖湿面 ,至夜又好饮酒 ,酒后食饮可进可无 ,向来如斯。忽于数日前觉胸中摇荡 ,初不介意 ,渐自火升 ,头目不爽 ,舌尖刺痛 ,喉音不清。少顷心荡渐平则诸恙如失 ,忽而又至则前恙复作。三日前更增左乳下跳动异常 ,以手按之内如沸羹。尤奇者 ,脉亦三五不调 ,自治罔效。于庚寅十二月初二日特求治于余 ,细绎病情 ,胸中摇荡 ,此怔忡病也。火升头眩 ,兼之左乳下跳动异常 ,穴名虚里 ,胃之大络也。脉象忽迟忽数 ,忽止忽来 ,静则神安 ,烦则火升。土虚木摇 ,水亏火起 ,病关心、脾、肾、肝 ,岂是轻候 ,虑其跌仆神迷。

《经》云：“胃之大络名曰虚里。贯膈、络肺，出于左乳下……其动引衣，宗气泄也。”动之应手者，无常耳，乃知无常之脉指左乳下之动脉为言。有常，则宗气不虚。无常，则宗气大虚，而上焦之气始恢恢①不足也。

西党参四钱 制首乌四钱 女贞子四钱 茯神三钱 远志肉一钱，炒 焦冬术一钱半 炙甘草六分 池菊一钱 川黄连五分，水炒 代赭石四钱，煨红醋淬

加大南枣两枚，去核。

服一剂，诸恙俱平，惟面色仍红，舌尖尚绛，中有裂纹。原方加元参三钱。再剂，如前安妥。初四日方记后：

仍用四君子汤如首乌、鳖甲、枣仁、远志、女贞子、元参等，加梨汁六钱冲服。服两帖，心不荡则头眩火升亦平，惟早上心跳、火升易饥，必得多进食物始安。

复诊（十二月初六日方）：

今晨又觉心荡头眩，火升易饥，有饥不待食之势，有上重下轻欲仆之象。土虚木摇，内风挟

① 恢恢 (yān 厌)：不振貌。

痰火合而为一，拟标本两治之法。

羚羊角一钱半，镑 川黄连五分 钩藤钩四钱，
后入 天麻一钱，煨 西党参三钱 天竹黄一钱
生白芍二钱 橘红一钱 炙甘草五分
加饴糖三钱，冲。

服此一帖，诸恙若失，虽饥亦非昨之饥不待食可比。惟右脉弦硬，左脉未静，究宜加意图维。

复诊：侵晨未曾进食，渐觉心跳，引动虚里，顷之进食而平，头虽不眩，较昨稍增。方用四君子汤加羚羊角、黄连、石斛、沉香、天竹黄等。服后颇安，再用六君子加鲜石斛、姜汁炒山栀、牡蛎、南枣辈。服之至午、未时又有心跳火升，虚里穴亦然。从此面红、头眩、心平，却非前之饥不待食可比。

午、未两时正是心、脾攸关之际。

复诊：

西党参四钱 炙黄芪三钱 焦冬术一钱半
炙草八分 茯神三钱 鲜石斛五钱 川黄连七分
沉香六分

加代赭石四钱，煨红醋淬。

服两帖，心荡、火起、跳动毫不觉矣。原方

再加柏子仁霜三钱 煎服四剂 如前安逸。

复诊：

西党参三钱 炙黄芪三钱 焦冬术一钱半
茯神三钱 建莲肉三钱 远志肉一钱半 炒 大南
枣两枚 去核 炙草六分 金石斛五钱 炒枣仁二钱

服此四帖甚妥，仍以四君子汤加黄芪、龟板、女贞子、归身、远志、元参、南枣等，补心脾而兼养肾肝之阴，是治其本也，服数剂果然应手。交春在即，仍于此方略为加减，调理收功。

病痊之后于辛卯二月复发，心一荡则火升面红，有脱衣去帽之势。舌中心裂纹，两边红。齿舌润口苦，却不喜饮。惟有胸闷气阻，火欲升而不能，欲降而不得，必须胸脘气松，自知火降神安。证脉合参，前治可鉴，其所以屡发者，固关中虚阴亏，亦由心思过度、郁闷不舒而又难以告人者，是以越想越郁以故病发，则心荡火升、面红舌裂、胸闷不爽等情随至，必欲胸脘一爽则气顺火降矣。今心事郁结，因感而触之者，无怪乎易复也，最难调治。所谓实病易治，七情难疗，信不诬也。就症脉而详谛之，升降不灵也。用仲景黄连汤先治其标，再为治本。

小川连五分，生姜汁拌焙 淡干姜六分，炒 制

半夏一钱半 炙甘草六分 西党参四钱 上肉桂一分,去粗皮 大南枣两枚,去核

上药七味,用河水一盞二分,煎七分服。

据述未服药前胸脘烦闷,无一刻之安。速煎服毕,即觉脘中辘辘之声直奔而下,顷之胸中舒畅、气顺火降而霍然矣。数日间虚里又觉跳动,脘中闭闷,即于原方内去南枣,加盐水炒黄芪、焦冬术各二钱,整块朱砂三钱,用丝棉包扎同煎。服后胸闷顿松,连进四五剂病未一发,仍如前以扶脾养肝之法,调治颇合,间以四、六君佐肝肾同治之法而全瘳。

再论治病必明标本、六气:六气者,风寒暑湿燥火,与人身相应也。是症于三月十八日怔忡复发,胸中摇荡,气壅不舒,湿气上腾,二目如烟云笼罩,正值地之湿气上升,试观室中之础礫^①潮如露滴成流之时,病发更甚,岂非人身与天时相应也。因以六君子汤加茅山术一钱半,炒、川芎一钱,白池菊、薄荷各八分,松萝茶四分等。煎服一剂而病顿缓,再二剂而胸宽目爽,又三帖而病痊矣。方中终不离于四、六君

① 础礫:房屋柱子基底部的石礫。

者，治其本也。而治标之法亦何可少也，方中非佐以燥湿治标之法，则胸中湿气难以立除。足征治病之要，当深明标本、六气之因而求治，无不奏绩矣。

（案透）嘉兴王芝峽滞下，寒热、腹膨、面目虚浮险症之验

嘉兴上舍王芝峽兄，年逾五旬，于庚寅十二月初三患红白痢极险治验。

滞下昼夜三十余度，至圉积减，寒热腹膨，面目虚浮，有表里两感之势。第素有喘咳痰饮之症，房帟不节之躯，更兼体弱肌瘦，食饮不贪。脉象浮之小，中按沉滞，再按无力，险在此耳。姑拟煨葛根、苏梗、查肉、桔梗、枳壳、神曲、木香、五谷虫、赤茯苓等。

药于平淡中见神奇，妙！妙！

服二帖，积减热缓，腹痛稍平，原方加减。自述痢势日轻，自早夜不过三四次，仍兼红白。至初八晚诊，宿垢渐减，面浮颧红，食少不寐。操劳过度，心荣肺卫两亏，先议调脾养胃为主。

人参六分，冲另煎 於白术一钱半，土炒 川石斛四钱 茯苓一钱半 木香六分，切片 水炙甘草六

分 生谷芽五钱 半夏曲一钱半
加大南枣两枚,去核。

服前方两帖,宿垢大减,舌苔渐薄,饮粥渐增。原方去半夏,加益智仁七分,服之食饮渐贪。

十一日:用四君子加建莲、金石斛、谷芽、益智仁、芡实、南枣。

服两帖,大便溏粪日一次,无积,面浮、颧红、足跗等虚浮俱减。口舌时干,不喜饮,此津不足也。

十三日:用四君子汤加生黄芪皮一钱五分,南枣三钱,金石斛、生谷芽各五钱,麦冬一钱,益智仁七分,陈皮白六分,牡蛎五钱,煨块等。

服两帖,每次可进饭两盏,日二次,夜可再粥,大便如前,可以下楼少步。二目内眦连白珠甚红,亦虚火上升耳。

复诊(十二月十五日方):

人参一钱,煎冲 黄芪皮二钱 茯神三钱 茯苓一钱半 炙甘草六分 焦冬术一钱半 池菊一钱 沉香四分 大南枣三钱 左牡蛎五钱,煨块

服两帖,大便已结,二目红减。原方再二剂,甚妥。

十九日 :用四君子汤加炙黄芪、苡仁、金毛狗脊 (炙去毛) 等。煎服四帖 ,饮食如常 ,目红、足浮俱退 ,仍于原方损益之。再五帖而诸恙平矣。

于十二月二十八日用人参一钱 ,熟地四钱 ,黄芪、归身、益智仁、炙甘草各一钱 ,杜仲、茯神、山药各三钱 ,金石斛、大南枣各四钱等调补收功。

(案 通) 山西梁瑞之脐腹绞痛 ,寒与湿食交阻治验

山西梁瑞之 ,年逾二旬 ,辛卯正月望后。

忽畏寒身热 ,渐自脐腹绞痛 ,小便赤 ,大便秘。舌苔满白 ,脉象沉紧。寒与气食交阻 ,法宜温散。方用苏叶、秦艽、草薹、木香、夏、陈、查、麦芽、乌药、枳壳、干姜等煎服 ,寒热减 ,脐腹胀痛如前。

复诊 (正月十七日方) :

草薹仁一钱半 炒 半夏曲一钱半 木香六分
槟榔一钱半 山楂肉三钱 炒 大麦仁三钱 炒 枳实一钱半 陈皮一钱半 大腹绒一钱半 赤茯苓三钱

加生姜二片。

服此，胀平痛缓，惟大便未通，小溲仍赤，再以制香附、木香、谷芽、麻仁、乌药、查炭、枳实、薤白、赤苓、车前子等，加砂仁末三分，冲服之，痛止便通。

(案源) 胡世安风温，寒热、头痛、干咳无痰治验

胡世安，年近二旬，二月初二。

风温上受，寒热头胀，胸闷，干咳无痰，宜于轻舒。

蔓荆子一钱半 瓜蒌仁三钱 苏子一钱半 炒
连翘一钱半，去心 淡豆豉三钱 生甘草六分 橘
红七分 前胡一钱半 薄荷叶七分

加白萝卜汁一酒杯，冲。

服两帖，寒热、胸闷、头胀俱退。咳痰易出，非前之干咳可比。原方去蔓荆、前胡、豆豉、薄荷，加苡仁、桔梗、茯苓等，再二剂而安。

(案源) 山西荣盛华胸脘脐腹痛剧危症治验

山西荣华盛，四十七岁，辛卯四月十六，痛

症几危治验。

胸脘脐腹作痛，迄今数日。食少溲赤，舌腻苔白。体素瘦，痛剧防厥。脉形细粟，证颇棘手。当用厚朴、薏仁、半夏、木香、赤苓、车前、陈皮、薤白、淡茺萸辈，加生姜煎。服后脐腹痛稍减，胸脘仍痛如前。因大便不解，西人最喜通便，且擅用丹、丸，如青麟丸、九龙丹及木香槟榔等丸。弗论年之强壮虚弱，概以通为法，诚愚人之见也。况脉软痛甚，食少体弱，倘经攻伐，便泄、汗出而脱，咎将谁归，予深阻之。惟有温理中宫，免其痛厥为最耳。

姜厚朴一钱 制香附三钱 木香七分 干姜八分 炒 淡茺萸五分 白薏仁一钱 陈皮一钱半 查炭三钱 九香虫一钱 焙 大麦仁三钱 炒 甘草六分

加鸡内金二钱（炙），砂仁末三分（冲）。

服药后，脘腹痛十去六七。再剂痛平食贪，舌之白苔转为淡薄，大便一次，小溲亦淡。又以养胃和中之剂，二帖而愈。

（案 缘）忻州连涌泉咳嗽，痰不易出，气喘不能卧治验

忻州连涌泉，四十八岁，辛卯二月十八。

咳嗽痰不易出，气喘不能卧，胸膈不爽。痰火闭于肺胃，气壅于上不能下降耳，议降气、化痰、定喘法。

黑苏子二钱，炒 制半夏一钱半 款冬花三钱
橘红一钱 旋覆花三钱，生绢包扎 桑白皮一钱半，蜜炙
莱菔子三钱，炒 前胡一钱半 白杏仁三钱
鸡内金二钱，炙

加白萝卜汁一酒杯（冲），白冰糖三钱（冲）。

服一剂，喘咳大减，可以步行，非前之动辄气逆可比，且知饥，渐能进食，再剂而愈。

（案 远） 绍兴王学兴痛症数年，发于脐之左右治验

绍兴王学兴，年三十八岁。

痛症数年，举发无时。每痛于脐之左右，甚则呕吐食物。脉象沉滞，肝胃为病，法宜温舒。

草薳仁一钱半，炒 淡干姜七分，炒 淡茺萸四分
乌药一钱半 姜半夏一钱半 黑山栀一钱半
制香附二钱 赤苓一钱半 水炙甘草五分
加鸡内金一钱半，炙。

服前方一帖，痛顿止矣，再二剂而食贪睡安。

(案 选) 李芳园肠红见于粪后治验

李芳园，庚寅十月十七日。

肠红见于粪后，此远血也。脉息濡软，关小弦，坤土虚而震木不滋也。兼之素好浓茶，又不无湿阻中宫，法宜肝脾并治。

槐米四钱 侧柏叶四钱，炙 炒归身一钱半
白芍一钱半，炒 伏龙肝四钱 薏苡仁五钱，炒 炒
黑荷叶一钱半，存性 女贞子三钱 半夏曲一钱半
加建莲肉四钱，去心炒。

服一剂血即止，再二剂而安卧如常。

(案 选) 汪书蕉二兄滞下逼迫，湿火下注治验

汪书蕉二兄，庚寅七月十四。

滞下逼迫，水多于粪，昼夜十有余次，腹痛里急，至圜一响，稀粪随出，而仍有后重之势，脉象弦细。暑湿挟积，阻滞作痛。宜于舒通，通则不痛。

于是以薤白、豆豉、神曲、赤苓各三钱，五谷

虫、大腹皮、陈皮各一钱半，木香六分。

加鸡内金一钱五分，炙。

煎服两帖，逼迫稍减，水渐少，粪色红，仍然腹痛即痢。痢时肛门觉热，湿火下注也。宜以导滞，兼清湿火。

方用薤白、黄连、木香、红曲、查炭、大腹皮、赤苓、甘草、陈皮等，加扁豆花十四朵，洗，同煎。

服之，滞下日四五次，逼迫之势大减，腹痛，肛仍坠，小便赤。次日仍用原方，去大腹皮，加五谷虫。再两帖，痛平积松，日二三次，有粪，少有逼迫之象，而无后重肛坠之意，溲长食增。再以调脾和胃之法，三剂而愈。

（案透） 万松岩大兄大病愈后调理丸方
（并详明调治善后之法）

万松岩大兄丸方，年六十三岁，辛卯六月二十四日。

大病几危，调理病痊。脾胃久亏，由饮食不节、纵啖厚味、酒湿过度而起。渐自食少，肌瘦体倦，四肢无力，溲少，便溏，口干。舌苔黏腻，面色痿黄。小腿浮肿，朝轻暮重。起自正月，缠绵半载。得予调补脾胃之剂，间佐疏运

之法,以后食饮渐贪而渐增,脘腹之胀闷亦渐减可。大便之溏薄亦渐结,而且可间二三日一解,小溲渐多,精神渐健,两手腕之不能举动、颤振者亦渐有力矣,皆得于调补脾胃之功非浅矣。坤土既健,始兼养阴,以熟地、首乌、归、芍、枸杞、女贞辈,合五味异功等法。金土合德,乙癸同源,调治而愈。继以丸方而收全功,亦甚快矣。

大熟地六两 捣入 山药三两 炒 枸杞子二两, 焙 归身一两半 山萸肉二两 杜仲二两 炒断丝 怀牛膝一两半 酒拌蒸 破故纸二两 炒 桃肉同捣 胡桃肉三两 同破故纸捣入 菟丝子二两 酒炒 益智仁一两半 砂仁一两半

上药十二味,先将熟地捣杵,再将故纸、桃肉同捣入药,再以炼白蜜和匀,同捣极烂,丸如小绿豆大,晒令极干。外用:

西党参三两 焦冬术二两 茯苓一两半 炙草一两半 山查肉二两 炒 大麦仁二两 炒 陈皮一两半 鸡内金二两 炙

上药八味,各焙,研极细,和匀。用荷叶煎汤洒叠为衣。每服五钱,清晨滚水送下。

(案苑) 王省斋大兄次郎质弱肌瘦调理丸方

王省斋大兄次子，年十三岁。

于辛卯六月二十六日因质弱肌瘦，丸剂调理。脉右软小，左濡细。冲年^①质弱，肌瘦食少，咳嗽将痊。宜以益气以养阴则坎水自充，所谓水出高原是也。加以调脾运食则坤土日旺，乾金愈足，自尔食健肌丰矣。

西党参三两 白扁豆三两，炒 归身一两 苡仁三两，炒 制首乌三两 女贞子三两 山药二两，炒 炙草一两半 白燕窝一两半，水泡拣净毛隔纸焙於白术一两半，土炒 砂仁一两 陈皮一两半 潼蒺藜一两半 金石斛二两 茯苓一两半

上药十五味，焙研极细，炼白蜜为丸如桐子大。每服四钱，清晨滚水送下，或建莲汤送俱可。此丸服毕，据述颇宜。

(案苑) 胞侄芳田湿温夹食，胶痰内阻，乱语奔走治验

胞侄芳田，道光七年闰五月初一日，湿温夹

① 冲年：年龄幼小。

食极险治验。

因数日前过啖厚味 ,食填太阴 ,适感温邪 ,身热头胀 ,胸闷恶心 ,骨节痛。舌腻苔白满布 ,脉形浮滑。当服疏解消食之剂 ,病虽减而身热、胸闷俱未一减。至初五日用清火退热之剂 ,至酉后神识半清半昧 ,是晚一夜乱语 ,忽起忽坐 ,并出床行走。初六日用小生地、羚羊角、麦冬、茯神、远志、龙齿、橘红、黑山栀辈服之 ,热仍不解 ,口干喜饮 ,痰黏如胶 ,吐出不易 ,神识似清非清 ,行坐不定 ,与昨无异。初七日诊得脉息滑数 ,知其日前过啖厚味 ,兼挟湿温充斥。身热一候 ,朝衰夜盛 ,多语妄言 ,奔走无宁 ,胸脘不爽。此皆向日之厚味宿食阻塞中宫 ,酿成胶痰黏韧难吐 ,与温邪化热 ,是以痰火凝结不散 ,乱语奔走 ,而热终不能退也。亟宜清火化痰 ,以冀转机。

羚羊角一钱半 镑 细生地四钱 丹皮一钱半
茯神三钱 川黄连六分 水炒 瓜蒌仁三钱 枳壳
一钱 竹茹一钱半 陈胆星四分 川郁金五分 开水
磨汁冲 真川贝三钱 去心勿研 橘红一钱

加佩兰叶一钱半 (搓) ,枇杷叶三钱 (拭去毛) ,白茅根一两 (去心)。

上药十五味，午前煎服，至戌时渐觉稍安。是夜仍下床行走数次，较之昨夜十减六七。

初八日晨诊：舌胎由老黄而转红色，昏语减半。原方去羚羊角、枳壳、竹茹、郁金，加犀角尖五分（开水磨冲）、滑石、甘草，引用佩兰叶。如前煎服，昏语大减，是晚一夜未奔走，热退痰清。再以生津养胃和中之剂，便解、食贪而收全功。

又于次年戊子岁冬十月初三日，因五六日前又过啖厚味，外受风寒，而致身热胸闷。初以散寒消食之药二三剂，身热稍减，而神识似清非清，一夜乱语不止，朝轻暮重，起坐不安。口吐粘腻如胶之痰，白韧异常。证与前次颇同，脉形右滑数，左弦细。

初五日：用羚羊角、生地、丹皮、瓜蒌仁、川连、茯神、橘红、枳壳、天竹黄等服之，病仍如前，毫不一减。

初六早晨：用细生地五钱 丹皮一钱半 瓜蒌仁三钱 麦冬一钱半 菖蒲根六分 陈胆星四分 陈皮一钱 茯神三钱 远志肉一钱半

共九味，河水煎服。少顷乱语渐少，至夜十减其八，胶粘之痰亦从此少，再剂遂愈。细审之，初五之方与初六方相仿，而其一效一不效

者 ,前以清火为主 ,消痰兼之 ;今则祛痰为主 ,清火兼之 ,是以效速也。孰谓药之不灵也 ,特恐人之不善用耳。

(案 苑) 门人金书山暑湿内蕴 ,体倦好眠
治验

门人金书山 ,辛卯六月二十八日 ,暑湿内蕴症。

于三日前头疼如蒙 ,身热无汗 ,自服疏散药不应 ,于是求诊。体倦好眠 ,口淡多痰 ,胸闷不饥 ,脉形右大左小。暑风挟湿 ,热不发扬 ,邪内蕴也 ,未可忽视 ,祛暑却湿为宜。

方用鲜荷叶、鲜藿香、鲜石斛、瓜蒌皮、豆豉、陈皮、赤茯苓、连翘、地骨皮 ,加藕二两同煎。

服后 ,头疼、胸闷俱平 ,午后热甚及手心热、口淡等亦俱减半。次日再以厚朴、香薷、扁豆、滑石、甘草、藿香、瓜蒌仁、赤苓、草薹、地骨皮 ,加藕二两同煎 ,服之邪解热退而安。

(案 苑) 妹倩王履安兄久病虚羸 ,肌体骨立 ,喘咳痰癖 ,且兼虚浮鼓症极危急症再生奇验
妹倩王履安 ,久病虚羸 ,喘咳痰癖兼鼓极危

奇验,五十四岁。

自数年前吐血几危,治愈之后失于调理,渐自精力日惫,咳痰缠延,俯腰曲背,肌瘦肉削。脾肺久虚,中气大伤,痰由脐左上达于虚里胃络而至缺盆,得运气一咯而痰出,大如胡桃,韧而且滑。设中气无力,咯声不扬,则痰停滞其间,咯不出,咽不下,其苦万状,必得俟气少平,呼吸稍利而始出。数日间假伤风而起,动辄气喘,卧不着枕,惟于床侧倦足坐睡,倘一着枕即气逆痰升,而又不能吐出为最剧。历年受苦,身中之大肉俱削,诚所谓肌体骨立之躯也。其所以犹存者,胃气未败,食饮尚可,此其生机,不可不尽人力以图之。

于壬辰岁七月二十日,用六君子汤加炙黄芪、熟地、归身、枣仁、柏子仁、紫衣胡桃肉、南枣辈十三味。

煎服四剂,喘咳顿减,卧能着枕。于是仍用原方略为加减,半月而平。已后竟不服药,仅以饮食调治。

月余后至九月初五延诊,面目手足渐有虚浮之势,咳痰又增,仍从脐左而上至胁即有漉漉之声,上虚里,至缺盆,而入咽嗑,气稍顺则易于

咯出，一有阻滞则窒塞于咽嗑之间，内如刀刺，呼吸不灵，厌厌一息，必得耐久，候腕腹中之气渐从痰中透出，然后始能出口，即出亦要逐渐咳出。倘或顺利，得中气送出一块凝结厚痰，则适意极矣。一日之难过如此，而夜亦复如斯，以故求生不能，欲死不得，于床中向余哭告求救，情惨极矣。不得已而蹙额频思，索想良久，痰之生也，皆有脾胃之不运，肾气之有亏也。古人云：“脾为生痰之原，胃为贮痰之器”，本此意而求治，庶乎尽善，惟脉息软弱乏力为虑耳。（九月初五日方列下）

大熟地八钱 天冬一钱半，去心 水炙甘草七分
左牡蛎一两，煨块 沉香五分，切片 紫衣胡桃肉两枚，连高板用

加青铅一两同煎，煎好去渣，投竹沥六钱，生姜汁一匙，冲。

煎服两剂，痰自下而上顿减，且咳亦易出，不致内如刀刺之状。每至日晡，火升口干、动怒痰升等状亦毫不觉矣。仍以原方去沉香，加麦冬、白芥子、陈皮白三味，引如前。又两帖，痰减三之一，精神渐健，并无一刻难过之状。白云如服仙丹不过如是，亦云至矣。余细绎病

象果然痰少易出，日建奇绩。第食饮杂物尤宜节制，勿因小愈而竟任意多啖，或从此而停饮生痰，或受凉而中宫不舒，甚至前病复盛而致于不能挽回，诚可惜矣，保身者当自爱之。（九月初九日方列下）

大熟地八钱 西洋参一钱半 天冬一钱半，去心
左牡蛎一两，煨块 胡桃肉（紫皮）两枚，连鬲 水炙
甘草八分 苏子一钱半，炒 白芥子一钱，焙，建莲肉
三钱，去心

加青铅一两同煎。煎好去渣，投竹沥六钱，姜汁一匙，冲。

服药两剂，痰减其半，食饮亦增，并能出房行坐，睡卧渐安。

复诊（九月十一日方）：

大熟地八钱 龟腹板五钱，炙 胡桃肉两枚，连
皮鬲 苏子一钱半，炒 天冬二钱，去心 炙甘草八分
瓦楞子五钱 知母一钱半

加灵慈石五钱，煨红醋淬三次。

服此四剂，如前安妥。至十五日忽然腹痛作胀、便溏，细审之，因多啖食物及羊肉面等。次日胀痛虽平，而腹中究未爽快。余前案深嘱节食，何自不量也。幸咳痰未升，食未减也。当

用六君子汤加牡蛎、天冬、紫衣胡桃肉辈。服三剂，安妥如前。

此刻惟面目、小腿之虚浮渐增而波及小腹，手足并阴囊亦有肿胀之象，此又虚鼓将成之候也。旧恙垂危，进药渐有生机，今又继以鼓症，虚羸之体恐难胜任。脉息微弱，色脉同参，脾土不温，坎阳不足，岂不虑其一脱。不得已而以温中养胃之法，调其坤土。临卧用金匱肾气丸四钱，陈皮泡汤送下，此至当不易之法也。

至二十二日余甥至，据云服一帖，尊人嫌其丸中有桂、附辛热之药，不肯再进。因气逆食减，面目、手足、脐腹胀胀愈增。更难过者，阴囊冷重而胀大，阴头肿大光亮如鸡卵之大。小溲甚少，不能平卧，危在顷刻，复延求救。呜呼！病极至此而尚自作主张，无怪其三五日来病日加深。夫肾气丸者，以能收摄肾气，使水不泛滥耳。内用桂、附，所谓益火之源以消阴翳，为肿胀之圣药，诚对症之良剂。何自误之，而反谓痰积停阻必得峻攻为快，尤属可骇。往视之，证脉谛详，阳弱阴衰，惟有背水一法死里求生。若再不遵余用药，则必不可活矣。余甥求方，于是用金匱肾气丸加味治之。

大熟地八钱 淮山药三钱 炒 粉丹皮一钱半，
炒 茯苓二钱 淡附子七分 上肉桂六分 去粗皮
山萸肉一钱半 泽泻一钱半 怀牛膝一钱半 车前
子二钱 炒 左牡蛎八钱 煨 苡仁五钱 炒

上十二味河水煎服，更余服药，一夜如前，
痰咳不爽，不能仰卧。至天明，知阴囊稍暖。午
前陡然觉阴囊右边顿软，下体亦觉轻松，始信余
言之不诬矣。此九月二十七日方也。

复诊（九月二十八日方）仍用前方略为加
减，分量亦稍增重。

大熟地八钱 淮山药四钱 山萸肉二钱 茯
苓三钱 淡附子一钱 上肉桂七分 去粗皮 怀牛
膝二钱 丹皮二钱 炒 车前子二钱 炒 泽泻一钱半
陈皮一钱半 椒目四分

上十二味，用河水三盏煎至一半，分两次
服。至灯后，将药渣再以水一碗半煎至一半服，
须忌盐咸之味。

服此，脐腹之肿胀、面目手足之虚浮俱减其
二三，阴头及囊俱软三四。最妙者小便三四次
且长，较前松其半矣。

次日仍以此方去椒目、陈皮，加破故纸一钱
五分、胡桃肉两枚，连皮鬲用，内熟附子再加五

分用作一钱五分，余如前煎服。服后小便更多，脐腹肿退三之二，面目手足退其七八，食饮亦增。细绎病象，鼓势大减，渐有生机。惟素有之痰窠积于左乳下数有年矣，迺来每日升上，难过无比。痰不出则一夜难安，滞于喉则一刻难过，因欲与之兼治。

于九月三十正值霜降节日，于是以附子理中汤去参，加生黄芪，因其畏冷而用之护表也，合之五苓散，取脾肾两温。内附、桂之分两悉照昨方，二方合用即前金匱肾气丸之意而变易之方也，亦各有深意存焉。再佐以制半夏钱半、胆星五分、紫衣胡桃肉（连鬲）等，河水煎。更余服之，未几即觉腹中甚热，手臂牵掣，目闭神呆，喉中痰声，有发厥之势。张灯延余，乘舆而至，视其粘痰满口，唇吻间俱稠痰淋漓。斯时问答尚清，有吟咏之声而无痰涌之势，脉尚缓和。知其温中之剂入胃，与积痰相争，以致上则痰涎阻塞，下则遗尿，皆从温热之性相激而出也，究非脱象。如果是脱，何遗尿而不见尿出耶？

要眼

功在附子理中合五苓散之上下温和，佐以星、夏之祛痰逐饮。最后使以连鬲之紫衣胡桃肉者，取其解

膈内之痰饮，连皮能收肺经耗散之气，连鬲能通命门之火，故必加之也。服后腹中大热、发厥，不知者以为热药之误，即主家亦以为然。岂知却病回生即此一帖也，以后小便日数次，肿胀全消，咳痰亦平，安卧如常。只此一剂而克，起九死于一生，快哉！道光十二年壬辰岁冬日记。

是方也，温其中则积痰上溢，化其气则水湿下行。外以调中护卫，内以祛痰逐饮。合而用之，中原砥定，顷成破竹之功，皆得于生心化裁之妙，有非笔舌所能传者。竹亭再识

（案源） 徽州金六吉温邪身热误治增剧治验

徽州金六吉，年近三旬。

温邪十日，胸闷无汗，口干喜饮温汤。早投寒凉，恶心频频，黏痰阻喉，舌胎淡黄无津，脉象濡数，不饥溲赤。速宜达邪退热，免其内传骤变，议“泻心”合“陷胸”法（四月二十九日）。

川黄连五分，生姜汁炒 淡黄芩一钱半 瓜蒌实五钱，打碎酒炒 豆豉三钱，葱汁炒 淡干姜五分，炒制半夏一钱半 赤茯苓三钱 麦冬一钱半，去心 生甘草五分 滑石三钱

加佩兰叶一钱半，搓软。

服此 ,夜能睡 ,要饮米汤 ,神清热退。惟胸前近喉下仍然气闷 ,黏膩之痰未除。舌苔滞膩 ,两边有细沫如芥子大 ,此胃中之湿浊未清也。前方去黄芩、豆豉 ,加牛蒡子、僵蚕 ,以清喉中黏膩之痰。服之诸恙向安矣 ,再以养胃生津法 ,两剂而愈。

卷五全